

# 鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 36

## 令和元年度発掘調査報告

(第1分冊)

若宮大路周辺遺跡群

若宮大路周辺遺跡群

令和2年3月

鎌倉市教育委員会



若宮大路周辺遺跡群（小町一丁目333番2地点）Ⅱ区下層建物21  
磁器の出土状況（南から）



若宮大路周辺遺跡群（小町一丁目333番2地点）Ⅱ区下層建物21出土磁器  
（井上久美子氏撮影）

## ご あ い さ つ

本市は、市域の6割以上が埋蔵文化財包蔵地であり、多くの市民が埋蔵文化財が埋まった土地の上で生活を送っています。そのため、家屋や店舗の新築や建替え等に伴い、埋蔵文化財に影響を及ぼす工事が行われることも多くあります。このように、私たちが日々の生活を送っていく上でやむを得ず失われる埋蔵文化財について、記録を保存し後世に残すことは、現在を生きる私たちの責務であると言えます。

鎌倉市教育委員会では、昭和59年度から個人専用住宅の建築等に係る発掘調査を実施しています。本書は平成18・22～25・27・28年度に実施した、個人専用住宅の建築等に伴う発掘調査15か所の調査記録を掲載しています。

本書に収めたひとつひとつの調査成果は、武家政権発祥の地であり、今もその歴史を継承し、文化を発信する鎌倉の貴重な文化遺産です。これらの成果を広く知っていただくとともに、研究資料として活用されることを願って止みません。

最後になりましたが、発掘調査の実施にあたっては、関係者の皆様に深いご理解を賜るとともに、さまざまなご協力をいただきましたことを心からお礼を申し上げます。

令和2年3月 日

鎌倉市教育委員会

## 例 言

- 1 本書は令和元年度の国庫補助事業埋蔵文化財緊急調査に係る発掘調査報告書（第1分冊）である。
- 2 本書所収の調査地点及び所収分冊は別表・別図のとおりである。
- 3 現地調査及び出土資料の整理は、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。
- 4 出土遺物及び調査に関する図面及び写真等は、鎌倉市教育委員会文化財課が保管している。
- 5 各調査の成果は、それぞれの報告を参照されたい。

# 第1分冊 目次

ごあいさつ	I
例言	II
目次	III
本誌掲載の平成18・22～25・27・28年度発掘調査地点一覧	IV
令和元年度調査の概観	V
調査地点位置図	VI
<b>1 若宮大路周辺遺跡群（No. 242）小町一丁目333番2地点</b>	
第一章 遺跡の位置と周辺の発掘調査成果	7
第二章 調査の方法と経過	9
第三章 基本土層	11
第四章 検出遺構と出土遺物	12
第五章 若宮大路周辺遺跡群のプラント・オパール分析と花粉分析	143
第六章 調査成果のまとめ	146
<b>2 若宮大路周辺遺跡群（No. 242）小町二丁目281番2地点</b>	
第一章 遺跡の位置と歴史的環境	195
第二章 発見された遺構と遺物	202
第三章 まとめ	259

## 第1～4分冊掲載の平成18・22～25・27・28年度発掘調査地点一覧

### 第1分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
1	若宮大路周辺遺跡群 (No. 242)	小町一丁目333番2	個人専用住宅 (杭工事)	都市	180	平成19年2月1日 ～平成19年6月29日
2	若宮大路周辺遺跡群 (No. 242)	小町二丁目281番2	個人専用住宅 (柱状改良工事)	都市	104	平成24年1月23日 ～平成24年4月20日

### 第2分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
3	米町遺跡 (No. 245)	大町二丁目2400番5、6	個人専用住宅 (柱状改良工事)	都市	75	平成24年8月28日 ～平成24年11月22日
4	積善遺跡 (No. 440)	十二所字積善944番1、945番7、945番10	個人専用住宅 (柱状改良工事)	遺物散布地	47	平成27年8月18日 ～平成27年11月12日
5	積善遺跡 (No. 440)	十二所字積善944番6、7、10	個人専用住宅 (柱状改良工事)	遺物散布地	68	平成28年5月12日 ～平成28年9月7日

### 第3分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
6	円覚寺門前遺跡 (No. 287)	山ノ内字松岡1323番1、1338番2	賃貸併用住宅 (柱状改良工事)	遺物散布地	120	平成24年1月12日 ～平成24年5月18日
7	建長寺旧境内遺跡 (No. 397)	山ノ内字白黒小路1479番6	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	社寺跡 城館跡	96	平成22年9月15日 ～平成23年1月7日
8	公方屋敷跡 (No. 268)	浄明寺四丁目297番12、13	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡	48	平成22年6月8日 ～平成22年8月20日
9	報国寺遺跡 (No. 306)	浄明寺二丁目474番8、9	個人専用住宅 (柱状改良工事)	社寺跡 都市遺跡	72	平成23年6月6日 ～平成23年8月26日

### 第4分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
10	田楽辻子周辺遺跡 (No. 33)	浄明寺一丁目697番4	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	城館跡	54.00	平成22年10月18日 ～平成22年12月24日
11	清涼寺跡 (No. 183)	扇ガ谷四丁目570番1	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	社寺跡	67.50	平成24年11月6日 ～平成25年2月1日
12	名越ヶ谷遺跡 (No. 231)	大町四丁目1884番14	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡	45.00	平成24年9月25日 ～平成24年12月7日
13	若宮大路周辺遺跡群 (No. 231)	御成町773番2	店舗併用住宅 (柱状改良工事)	城館跡 都市遺跡	65.00	平成25年5月16日 ～平成25年7月24日
14	長谷小路周辺遺跡 (No. 236)	由比ガ浜三丁目204番5	店舗併用住宅 (鋼管杭工事)	城館跡 都市遺跡	72.00	平成23年1月14日 ～平成23年3月31日
15	甘縄神社遺跡群 (No. 177)	長谷一丁目262番14外	個人専用住宅 (柱状改良工事)	社寺跡 城館跡	36.00	平成22年4月23日 ～平成22年6月11日

## 令和元年度調査の概観

令和元年度の緊急調査実施件数は3件であり、調査面積は278.78m<sup>2</sup>であった。これを前年度の5件、281.79m<sup>2</sup>と比較してみると件数が2件減少し、調査面積も3.01m<sup>2</sup>の減少となる。しかし、1件の調査面積は平均で92.9m<sup>2</sup>（前年度は56.35m<sup>2</sup>）であり、前年度より増加となった。

調査原因は3件とも個人専用住宅の建設である。これらの工種別内訳は、基礎工事が1件、柱状改良工事が2件となっている。以下、各地点の調査成果の概要を紹介する。（調査面積及び調査期間等については「令和元年度調査地点一覧」を参照。）

### 1 多宝寺跡（No.187）

扇ガ谷二丁目に所在し、浄光明寺から東へ約140mに位置している。個人専用住宅の建築にともない、基礎工事の施工部分について発掘調査を実施した。調査の結果、2枚の中世遺構面を確認し、15世紀前半頃に埋没した切石積みの東西溝が検出された。敷地南辺の現行道路と同じ方向で延びており、位置的に見て中世道路の側溝である可能性が高い。遺物はかわらけ、国産陶器、瓦、金属製品、石製品等が出土している。

### 2 大倉幕府周辺遺跡群（No.49）

市内東部の二階堂に所在し、鶴岡八幡宮から東へ約800mに位置している。地盤の柱状改良工事を行う個人専用住宅の建築にともない、発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀から15世紀にかけての生活面を確認し、柱穴、土坑、砂岩敷等を確認した。遺物はかわらけ、国産陶器、舶載陶磁器、瓦、金属製品、石製品、木製品が出土している。

### 3 武蔵大路周辺遺跡（No.194）

扇ガ谷三丁目に所在し、薬王寺から南へ約100mに位置している。地盤の柱状改良工事を行う個人専用住宅の建築にともない発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀後半～14世紀前半を中心とする遺構面が6枚確認され、井戸、木組み遺構等が検出されている。遺物はかわらけ、国産陶器、金属製品、石製品、木製品、漆器等が出土している。発掘調査は、次年度に継続する予定である。

## 令和元年度発掘調査地点一覧

	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	遺跡種別	調査面積	調 査 期 間
1	多 宝 寺 跡 No.187	扇ガ谷二丁目260番 1	個人専用住宅 (基礎工事)	社寺跡	74.90	令和元年 6 月 12 日 ～令和元年 7 月 24 日
2	大倉幕府周辺遺跡群 No. 49	二階堂12番 6	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡 都市遺跡	82.87	令和元年10月15日 ～令和 2 年 3 月 2 日
3	武蔵大路周辺遺跡 No.194	扇ガ谷三丁目451番の一部	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城館跡 都市遺跡	121.01	令和元年12月10日 ～令和 2 年 3 月 31 日

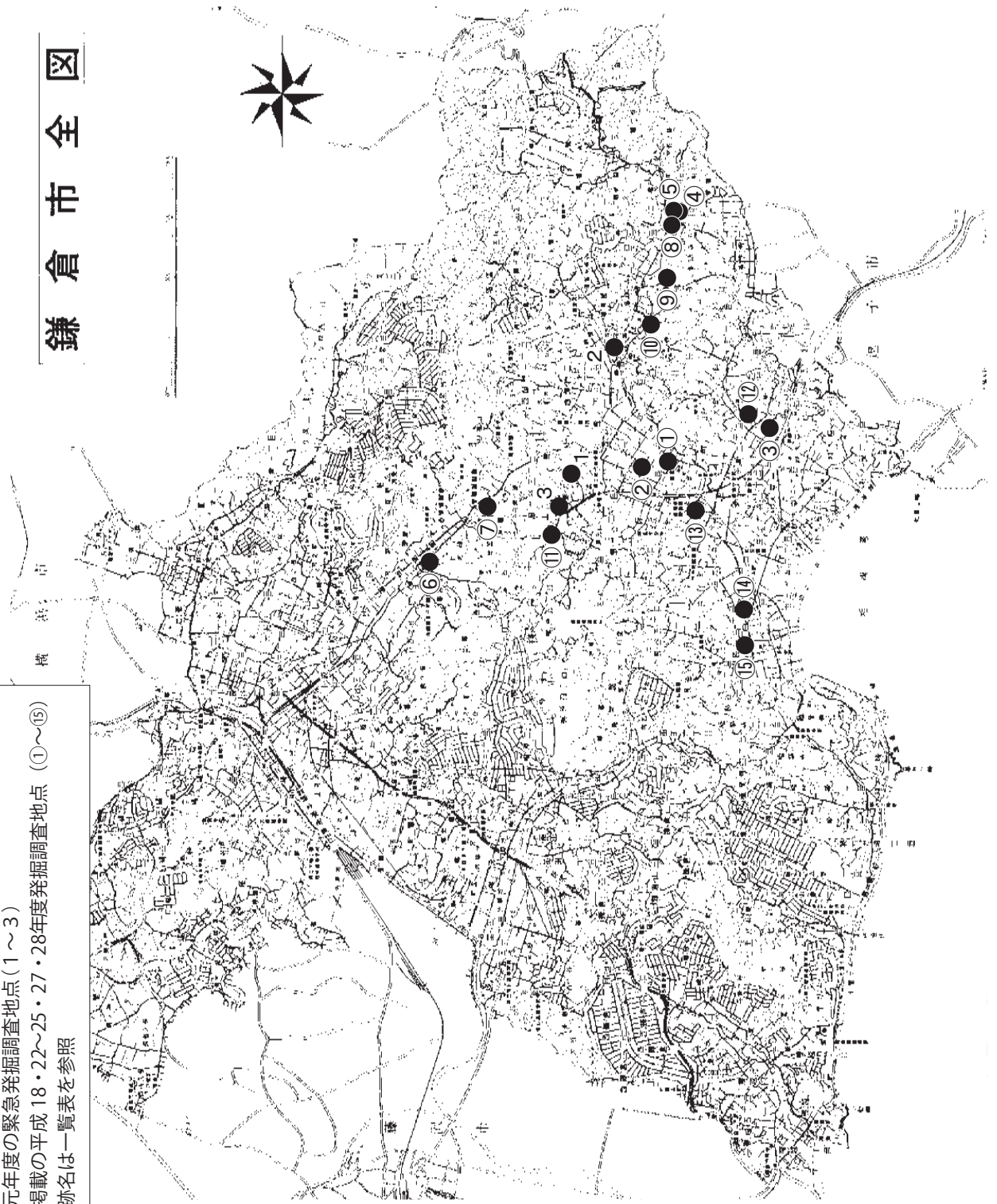


# 鎌倉市全図

令和元年度の緊急発掘調査地点(1～3)

本書掲載の平成18・22～25・27・28年度発掘調査地点(①～⑮)

※遺跡名は一覧表を参照





# 若宮大路周辺遺跡群 (No.242)

小町一丁目333番2地点

## 例 言

1. 本報告は、鎌倉市小町一丁目 333 番 2 において実施した、若宮大路周辺遺跡群（鎌倉市 No.242）の発掘調査報告である。
2. 発掘調査は平成 19 年 2 月 1 日から同年 6 月 29 日にかけて、個人専用住宅の建設に伴う国庫補助事業として鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。調査の対象面積は、約 180 m<sup>2</sup>である。
3. 発掘調査体制は、以下のとおりである。

調査担当者	原 廣志（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
調査員	岡本夏菜、須佐直子、須佐仁和、梅岡ケイト、中川建二、山口正紀 （以上、鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
作業員	赤坂 進、河原龍雄、佐藤美隆、伴 一明、舟田峰夫 （以上、公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター 文化財班）
整理作業参加者	原 廣志、岡本夏菜、須佐直子、須佐仁和、梅岡ケイト、山口正紀、 岩崎卓治、岡田慶子、押木弘己、神田倫子、佐藤千尋、菅野知子、鍋島昌代 （以上、鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
4. 本報告の作成は、以下の分担で行った。

執筆	押木（第五章以外）、鈴木 茂・森 将志（第五章、パレオ・ラボ）
編集	押木
遺構挿図作成	岡本、押木
遺物挿図作成	菅野
写真図版作成	押木
遺物観察表・カウント表作成	岡本、押木、神田
5. 本調査に係わる出土遺物および各種記録類は、鎌倉市教育委員会が保管している。本調査地の略称は市教育委員会の統一基準に従って「WA0621」とし、出土品への注記などに使用した。

## 凡 例

1. 挿図の縮尺は、遺構・遺物ともに図中に表示している。
2. 本書中に記載した国土座標値は、世界測地系（第IX系：東日本大震災後の補正後）に基づいている。
3. 挿図に示した方位標は座標北（Y軸）で、真北はこれより 0° 09' 25" ほど東に振れている。
4. 遺構挿図中の水糸高は、海拔値を示す。
5. 出土遺物の年代観は以下の文献を参考としたが、筆者が各所見を理解し切れていない部分もある。
  - ◆かわらけ・遺物全体の様相：宗基秀明 2019「鎌倉出土かわらけの系譜と編年—東国社会の変質と中世の成立（後）：かわらけの編年と中世社会」『鶴見大学紀要 第56号 第4部 人文・社会・自然科学編』鶴見大学
  - ◆瓦質土器：河野眞知郎 1993「中世鎌倉火鉢考」『考古論叢神奈河 第2集』神奈川県考古学会
  - ◆輸入陶磁器：太宰府市教育委員会 2000『大宰府条坊跡XV—陶磁器分類編一』
  - ◆瀬戸窯製品：藤澤良祐 2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院
  - ◆常滑・渥美窯製品：愛知県 2012『愛知県史 別編窯業3 中世・近世常滑系』

## 本文目次

第一章 遺跡の位置と周辺の発掘調査成果	7
第二章 調査の方法と経過	
第1節 調査の経緯と経過	9
第2節 調査の方法	9
第三章 基本土層	11
第四章 検出遺構と出土遺物	
第1節 検出遺構	12
第2節 出土遺物	34
第五章 若宮大路周辺遺跡群のプラント・オパール分析と花粉分析	143
第六章 調査成果のまとめ	
第1節 遺物点数・重量の提示方法について	146
第2節 遺構の変遷と遺物様相	146
第3節 「マグソ」の分析結果について	150

## 挿図目次

図1 調査地点の位置	8	図16 II区下層遺構面	
図2 調査区・グリッド配置図	10	竪穴建物13・18・19・22・24	30
図3 土層断面図(II区南壁)	11	図17 II区下層遺構面	
図4 上層遺構面全体図	12	竪穴建物23・井戸4周辺	31
図5 I・II区上層遺構面 遺構断面図		図18 II区下層遺構面 遺構断面図	31
・土坑39遺物出土状況	13	図19 II区調査区南壁 土層断面図	32
図6 II区上層遺構面遺構断面図	14	図20 I区 上層遺構面検出	
図7 下層遺構面 全体図	18	までの出土遺物(1)	35
図8 I区下層遺構面 竪穴建物2・5	19	図21 I区 上層遺構面検出	
図9 I区下層遺構面		までの出土遺物(2)	36
竪穴建物3・4・6・7ほか	21	図22 II区 上層遺構面検出	
図10 I区下層遺構面 竪穴建物4・6、		までの出土遺物(1)	37
土坑20土層断面図	22	図23 II区 上層遺構面検出までの	
図11 I区調査区北壁 土層断面図	23	出土遺物(2)・試掘坑・近世土坑	38
図12 II区下層遺構面		図24 I区上層遺構面	
竪穴建物A・10・11・12	24	竪穴建物1出土遺物	39
図13 II区下層遺構面		図25 I区上層遺構面	
竪穴建物10・11・12土層断面図	26	井戸1出土遺物(1)	40
図14 II区下層遺構面		図26 I区上層遺構面	
竪穴建物14・15・16	27	井戸1出土遺物(2)	41
図15 II区下層遺構面		図27 II区上層遺構面 掘甕遺構出土遺物	42
竪穴建物15・17・20・21	29		

図 28	Ⅱ区上層遺構面 方形竪穴状土坑 1 出土遺物 (1) ……43	図 48	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 11 出土遺物 (3) ……63
図 29	Ⅱ区上層遺構面 方形竪穴状土坑 1 出土遺物 (2) ……44	図 49	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 12・13 出土遺物 ……64
図 30	Ⅱ区上層遺構面 方形竪穴状土坑 2 ・井戸状遺構出土遺物 ……45	図 50	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 14 出土遺物 ……65
図 31	I・Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 ……46	図 51	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 15 出土遺物 (1) ……66
図 32	Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 (1) ……47	図 52	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 15 出土遺物 (2) ……67
図 33	Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 (2) ……48	図 53	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 15 出土遺物 (3) ……68
図 34	Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 (3) ……49	図 54	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 16 出土遺物 ……69
図 35	Ⅱ区上層遺構面 土坑出土遺物 (4) ……50	図 55	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 17・18 出土遺物 ……70
図 36	Ⅱ区上層遺構面 ピット出土遺物 ……51	図 56	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 19 出土遺物 ……71
図 37	Ⅱ区上層遺構面～下層遺構面 掘り下げ時出土遺物 (1) ……52	図 57	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 20 出土遺物 ……72
図 38	Ⅱ区上層遺構面～下層遺構面 掘り下げ時出土遺物 (2) ……53	図 58	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (1) ……73
図 39	I 区下層遺構面 竪穴建物 2 出土遺物 ……54	図 59	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (2) ……74
図 40	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 3 出土遺物 ……55	図 60	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (3) ……75
図 41	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 4 出土遺物 ……56	図 61	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (4) ……76
図 42	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 5・6 出土遺物 ……57	図 62	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 22・23・24 出土遺物 ……77
図 43	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 7 出土遺物 ……58	図 63	Ⅱ区下層遺構面 井戸 4 出土遺物 ……78
図 44	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 9 出土遺物 ……59	図 64	Ⅱ区上層・下層遺構面 土坑・遺構外出土遺物 ……78
図 45	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 10 出土遺物 ……60	図 65	I 区下層遺構面 溝 1・井戸 4 出土遺物 ……79
図 46	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 11 出土遺物 (1) ……61		
図 47	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 11 出土遺物 (2) ……62		

## 表目次

表 1	周辺の主な調査地点 ……………9	表 4	建物 11 出土箸の法量（長さ）分布 ……64
表 2	上層遺構面 遺構一覧 ……………15	表 5	出土遺物カウント・計量表 ……80～113
表 3	下層遺構面 遺構一覧 ……………17	表 6	出土遺物観察表 ……………114～142

## 写真図版目次

図版 1	3. I 区下層 建物 4 土層断面（東から）
1. I 区上層 西半部（西から）	4. I 区下層 建物 4 土層断面（東から）
2. I 区上層 井戸 1 埋土上層 礫検出状況（東から）	5. I 区下層 建物 3 土台材（西から）
3. I 区上層 井戸 1 埋土上層（東から）	6. I 区下層 建物 3 土層断面（南から）
4. I 区上層 井戸 1 埋土下層（東から）	7. I 区下層 建物 3 東辺壁板（西から）
5. I 区上層 井戸 1 完掘状況（西から）	図版 6
図版 2	1. I 区下層 全景（東から）
1. I 区上層 建物 1（南西から）	2. I 区下層 全景（西から）
2. I 区上層 建物 1 遺物出土状況（南から）	図版 7
3. I 区上層 土坑 1（北から）	1. I 区下層 建物 4 土台材（北から）
4. I 区上層 面上遺物出土状況（北から）	2. I 区下層 建物 5（南から）
5. I 区下層 建物 2A 西半部（北から）	3. I 区下層 建物 5 壁板（東から）
6. I 区下層 建物 2A 遺物出土状況（北から）	4. I 区下層 建物 5 裏込め土内遺物出土状況（北から）
7. I 区下層 建物 2A 遺物出土状況（東から）	5. I 区下層 建物 6（北西から）
8. I 区下層 建物 2A 遺物出土状況（南から）	6. I 区下層 建物 6（北から）
図版 3	7. I 区下層 建物 7 南辺壁板・柱穴（北から）
1. I 区下層 建物 2A 根太材（南から）	図版 8
2. I 区下層 建物 2A 根太材（東から）	1. I 区下層 建物 4（手前）・建物 7（北から）
3. I 区下層 建物 2A 柱材倒置状況（北から）	2. I 区下層 建物 7 底面柱穴列（南から）
4. I 区下層 建物 2A 束柱検出状況（東から）	3. II 区下層 溝 1・南辺道路状遺構（東から）
5. I 区下層 建物 2A（北から）	図版 9
6. I 区下層 建物 2A 南辺土土台材（東から）	1. II 区上層 据甕遺構断面（南から）
7. I 区下層 建物 2A 柱穴ニ（左）・ホ（東から）	2. II 区上層 据甕遺構（北から）
図版 4	3. II 区下層 方竪状土坑 2 （下層建物 9・東から）
1. I 区下層 建物 2A 柱穴ハ（南西から）	4. II 区上層 方竪状土坑 1 遺物出土状況（北から）
2. I 区下層 建物 2A・2B（南から）	5. II 区上層 方竪状土坑 1 遺物出土状況（北から）
3. I 区下層 建物 2A・2B（西から）	6. 同上 アップ（北から）
4. I 区下層 建物 2B 南辺壁板（西から）	7. II 区上層 方竪状土坑 1 遺物出土状況（北から）
5. I 区下層 建物 2B 東辺土台材（南から）	8. II 区下層 建物 9 遺物出土状況（東から）
6. I 区下層 建物 2B 南辺土台材（東から）	図版 10
図版 5	1. II 区上層 全景（東から）
1. I 区下層 建物 3・4（西から）	
2. I 区下層 建物 3 南辺壁板倒潰状況（北から）	

2. II区上層 全景（西から）

図版 11

1. II区上層 方竪状土坑 1（北から）
2. II区上層 方竪状土坑 2（下層建物 9）  
底面根太痕（南から）
3. II区上層 土坑 35 遺物出土状況（北から）
4. II区上層 土坑 39 遺物出土状況（北から）
5. II区上層 土坑 39 遺物出土状況（北から）
6. II区上層 土坑 31 遺物出土状況（北から）
7. 同上 イルカ頭骨アップ（北から）

図版 12

1. II区上層 溝状遺構（東から）
2. II区下層 建物 10 土層断面（南から）
3. II区下層 建物 10 床面炭層（北から）
4. II区下層 建物 10（南から）
5. II区下層 井戸 2 土層断面（東から）
6. II区下層 井戸 3（西から）
7. II区下層 井戸 3 土層断面（東から）

図版 13

1. II区下層 建物 11 遺物出土状況（西から）
2. II区下層 建物 11 遺物出土状況（西から）
3. II区下層 建物 11 遺物出土状況（北から）
4. II区下層 建物 11 遺物出土状況（東から）
5. II区下層 建物 15  
床下遺物出土状況（西から）
6. II区下層 建物 15  
床下遺物出土状況（西から）
7. II区下層 建物 16（東から）
8. II区下層 建物 18 掘り方（南から）

図版 14

1. II区下層 建物 11（左）・建物 12（北から）
2. II区下層 建物 11（奥）・建物 12（西から）
3. II区下層 建物 11 西辺壁板（東から）
4. II区下層 建物 12（南から）

図版 15

1. II区下層 建物 11（手前）・建物 12（東から）
2. II区下層 建物 11・12  
南辺土台材（北東から）
3. II区下層 建物 11・12 南辺壁板（北から）
4. II区下層 建物 11  
南辺土台材アップ（北から）
5. II区下層 建物 11 東辺土台材（西から）
6. II区下層 建物 12 西部（北から）
7. II区下層 建物 12 西部（南東から）

図版 16

1. II区下層 建物 15・20（東から）
2. II区下層 建物 15（北から）
3. II区下層 建物 15 遺物出土状況（北から）
4. II区下層 建物 15 根太材（東から）
5. II区下層 建物 15 根太材（北東から）
6. II区下層 建物 15 北辺壁板（南から）
7. II区下層 建物 15  
掘り方遺物出土状況（南から）

図版 17

1. II区下層 建物 19（東から）
2. II区下層 建物 19・24（東から）
3. II区下層 建物 17・21（南から）
4. II区下層 建物 22C（南から）
5. II区下層 建物 22C 床板（西から）
6. 同上 アップ（西から）

図版 18

1. II区下層 全景（東から）
2. II区下層 全景（西から）

図版 19

1. II区下層 建物 21  
北辺壁板倒潰状況（南から）
2. II区下層 建物 21  
北辺壁板倒潰状況（東から）
3. II区下層 建物 21  
壁板下遺物出土状況（東から）

図版 20

1. II区下層 建物 21  
壁板下遺物出土状況（南から）
2. 同上 アップ（南から）

図版 21

1. II区下層 建物 21 掘り方底面（南から）
2. II区下層 建物 21 西側  
遺物出土状況（東から）
3. II区下層 竪穴状土坑 3（南から）
4. II区下層 井戸 4（東から）
5. 同上（北から）

図版 22

1. II区北壁 土層断面  
（建物 11・12 の新旧関係 南から）
2. II区南壁 土層断面  
（建物 17・21 の新旧関係 北から）

図版 23～40 出土遺物



## 第一章 遺跡の位置と周辺の発掘調査成果

本調査地は鎌倉市小町一丁目 333 番 2 に所在する。若宮大路周辺遺跡群は鎌倉低地の中心部を占め、史跡若宮大路を挟んで東西に展開している。現在の鎌倉でも最も賑わう市街地に占地することから開発行為にともなう発掘調査の件数も多く、現在までに約 190 件が実施されている。それぞれの調査面積は小さなものだが、その積み重ねによって遺跡範囲における地区ごとの土地利用の傾向も掴めるようになってきている。

本地点が所在する若宮大路の東側でも、「二の鳥居」の以南は 13 世紀中頃以降に堅穴建物が繰り返し構築された地区で、特に小町大路に近い地点で良好な検出・報告事例が多い。堅穴建物は居住用よりも収蔵施設としての用途が主体であったと考えられ、小町大路＋滑川という陸・水運機能も組み合わさることで、当地区が中世都市鎌倉における物資流通・集積の中心的役割を果たしていたと想定されている。

近隣の調査では、図 1- 地点②・③で堅穴建物が特に多く、その構造や変遷を把握し得る良好な資料が検出されている。その成果からは、大まかな傾向として次の知見が得られている。① 13 世紀後半を中心に木組み構造の堅穴建物が建てられ、②この次段階に切石を土台や壁体として多用した堅穴建物が展開し、概ね 14 世紀半ば頃まで存続する。①は、道路や溝など区画性を持つ施設の整備にともなって進められたようである。

①の 13 世紀中頃～後半は鎌倉時代後期に当たり、これに先行する 13 世紀前半には当地区北方に將軍御所（幕府）が大倉から移転し（1225 年の宇津宮辻子幕府→1236 年の若宮大路幕府）、その滅亡まで政治の中心として機能した。堅穴構築以前の遺構は中世基盤層である黒褐色粘質土上で確認され、井戸やピット・土坑が検出されている。①・②段階で堅穴の構築が繰り返されたため遺構の残りは良くないが、地点③では 3.3 m 間隔で若宮大路と平行して連なる大型土坑列が検出されるなど、公権力との関連を想起させる成果も上がっている。画期①・②の年代観については報告書によって多少の違いも見られるが、建物構造の変化は斉一性が高いことから、土地利用形態の転換（再編）は漸移的ではなく一挙に進んだと理解すべきであろう。

小町大路に面した複数の調査地点では、鎌倉時代に遡る同大路の前身道路と側溝が検出され、地点⑤では 13 世紀前半～15 世紀に至る 7 段階の道路面と西側溝が検出されている。最古段階の道路面は中世基盤層上をそのまま利用し、次段階には泥岩粒や玉石・貝殻を用いた硬化面が構築される。これ以降、当初の側溝を埋め立てた上にも道路面が広がり、最終段階まで泥岩ブロックを敷き詰めた舗装が連綿と施される。側溝は、当初は素掘りであったが拡張後に木組み護岸、次いで切石積み護岸へと造り替えられていた。最古～第 2 段階の側溝は東肩のみの確認にとどまったが、地点②・④で西肩と思われる落ち込みが検出されており、これらを総合すると上幅が 7 m 近くを測る大規模な溝であったことが推測できる。道路面からの深さは 2 m を超え、現時点では溝底が確認された調査例はない。「河川遺構」と報告されている例もあるが、道路に沿って直線的に伸びている点や旧地形を勘案すると自然の流路とは見なし難く、鎌倉初期に開削された人工の流路と理解するのが妥当だろう。前後して開通したであろう若宮大路の側溝とともに、低地開発には不可欠である排水機能の主要な部分を担ったことが推測でき、鎌倉の都市化に大きく寄与した遺構と考えられる。

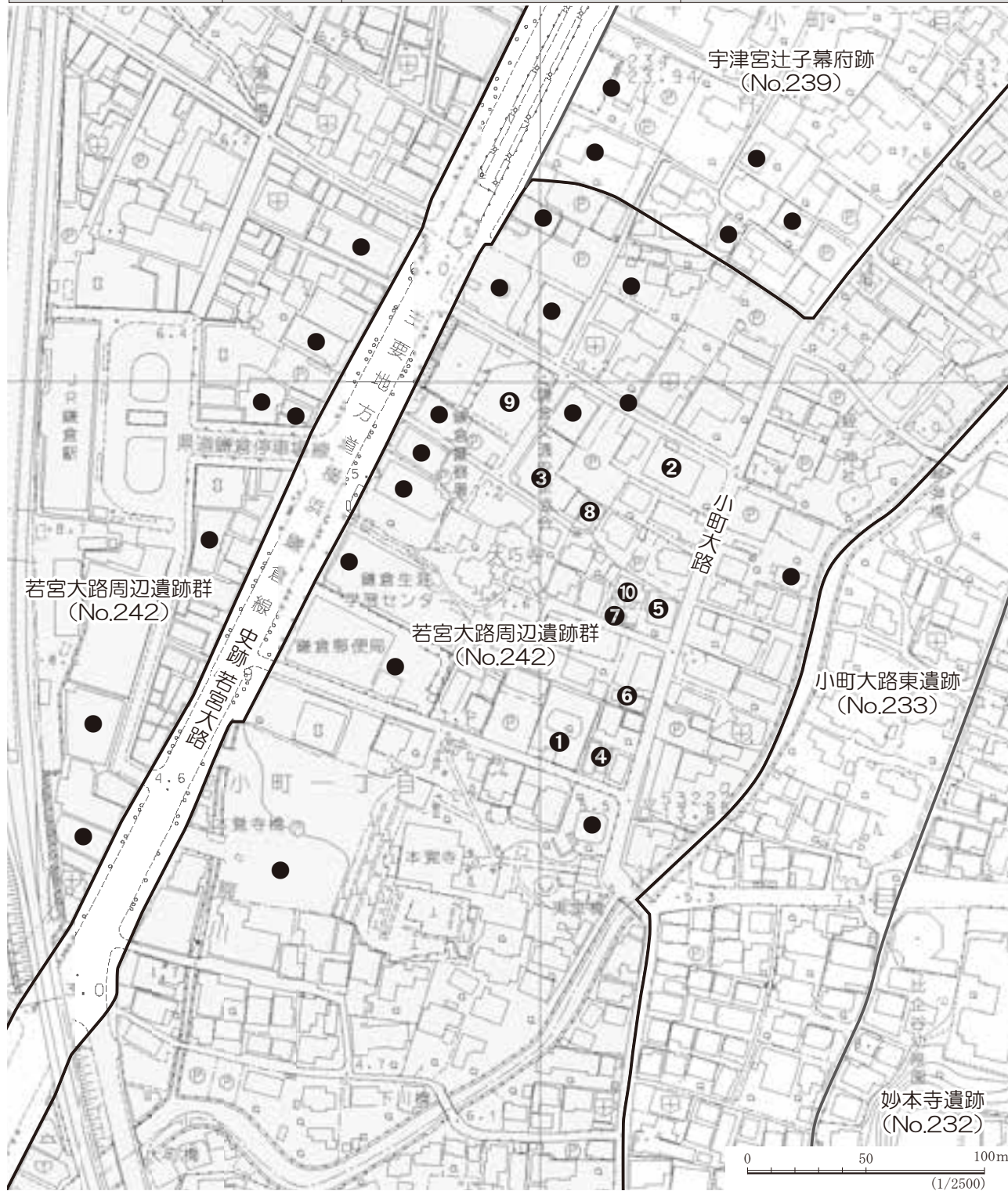
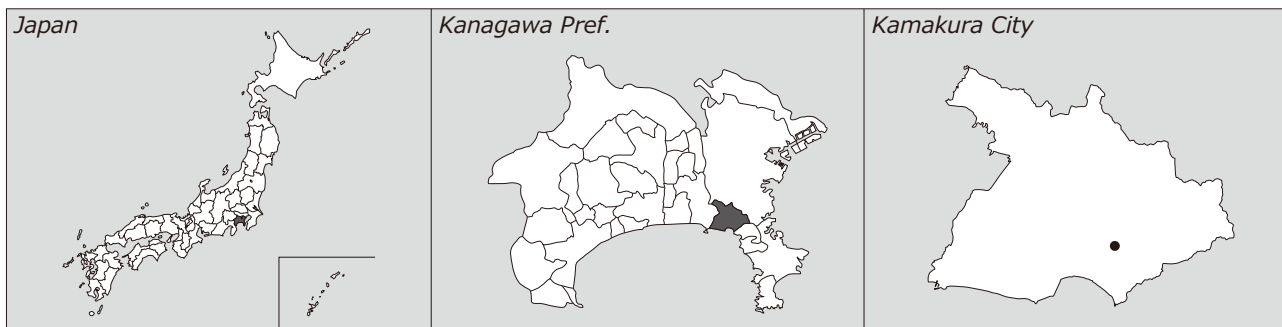


図1 調査地点の位置 (鎌倉市発行 1:2,500 都市計画基本図を使用・改変)

表 1 周辺の主な調査地点（番号は図 1 に対応）

No.	地番	調査年度 (開始年度)	面積 (㎡)	所収文献
①	小町一丁目 333 番 2	2006 年度	180	本報告
②	小町一丁目 325 番イ外	1992 年度	400	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 10（第 3 分冊）』鎌倉市教育委員会 佐藤仁彦・小林重子 1994
③	小町一丁目 322 番	1992 年度	685	『若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書』若宮大路周辺遺跡群発掘調査団 宮田 真・森 孝子 1997
④	小町一丁目 333 番 15	2010 年度	23	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 31（第 2 分冊）』鎌倉市教育委員会 押木弘己 2015
⑤	小町一丁目 329 番 1・10	2010 年度ほか	213	『若宮大路周辺遺跡群（No. 242）発掘調査報告書』（株）博通 宮田 真・滝澤晶子・安藤龍馬 2014
⑥	小町一丁目 331 番 1	2011 年度	62	『第 23 回 鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』NPO 法人鎌倉考古学研究所 山口正紀・松吉里永子 2013
⑦	小町一丁目 329 番 7	2013 年度	22	『若宮大路周辺遺跡群（No. 242）発掘調査報告書』（株）博通 宮田 真・森 健一郎 2016
⑧	小町一丁目 324 番 4	2014 年度	67	『第 25 回 鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』NPO 法人鎌倉考古学研究所 松吉里永子 2015
⑨	小町一丁目 319 番 1 外	2017 年度	706	『若宮大路周辺遺跡群（No. 242）発掘調査報告書』（株）斉藤建設 三ッ橋 勝・三ッ橋 正夫 2018
⑩	小町一丁目 329 番 1・8	2015 年度	120	『若宮大路周辺遺跡群（No. 242）発掘調査報告書』（株）博通 小野田 宏・森 健一郎 2019

## 第二章 調査の方法と経過

### 第 1 節 調査の経緯と経過

本発掘調査は個人専用住宅の建設工事に先立つ埋蔵文化財の記録保存調査として、鎌倉市教育委員会文化財課（市教委）が実施した。建設計画では基礎工事として鋼管杭を打ち込む設計であったことから、市教委では確認調査を実施し、その結果を受け、建設計画のうち埋蔵文化財に抵触する懸念がある部分については、工事着手前に本格的な発掘調査を行う必要があるという判断に至った。

発掘調査には平成 19 年 2 月 1 日～6 月 29 日の約 6 ヶ月間を要し、4 月中旬までに南側 I 区の調査を終え、残りの日数は北側 II 区の調査に要した。

### 第 2 節 調査の方法

今回の発掘調査は鋼管杭の打設範囲を対象としたが、安全面を配慮して隣地や道路との境界から十分な距離を取ったため、最終的な調査面積は 180 ㎡となった。

掘削にともなう発生土置き場を確保するため調査区は分割せざるを得ず、前節で述べたように南側の I 区→北側 II 区という順で調査を進めた（図 2）。両調査区は繋がっておらず、南北に 6 m ほど隔てた位置にある。両区とも表土は重機で掘削し、以下の掘削は人力作業で行った。今回は大きく 2 枚の中世遺構面を把握し、それぞれの面で遺構の確認と掘削作業を行い、写真撮影・測量図作成等の記録作業を進めた。測量には調査区の形状に沿った任意座標軸を設定して用い、調査区全体をカバーする 2 m 単位のグリッドを設けた。各グリッドは北西角を起点とし、東西 1～11 ラインと南北 A～M ラインの交点から名称を付けた。

任意基準点に対しては、市道上にある鎌倉市 4 級基準点「U068」・「U069」の二点間関係を基点として開放トラバース測量を行い、国家座標値（旧測地系）を与えた。現地調査が終了した後、本報告の作成にあたり web 版「TKY2JGD」を用いて国家座標値を世界測地系（JGD2011）に変換した。図 2 には、任意座標と JGD2011 双方のメッシュを示した。

標高は、若宮大路「二ノ鳥居」下の鎌倉市 3 級基準点（6.195 m）から直接水準測量によって敷地内の基準点に移設し、調査測量に用いた。

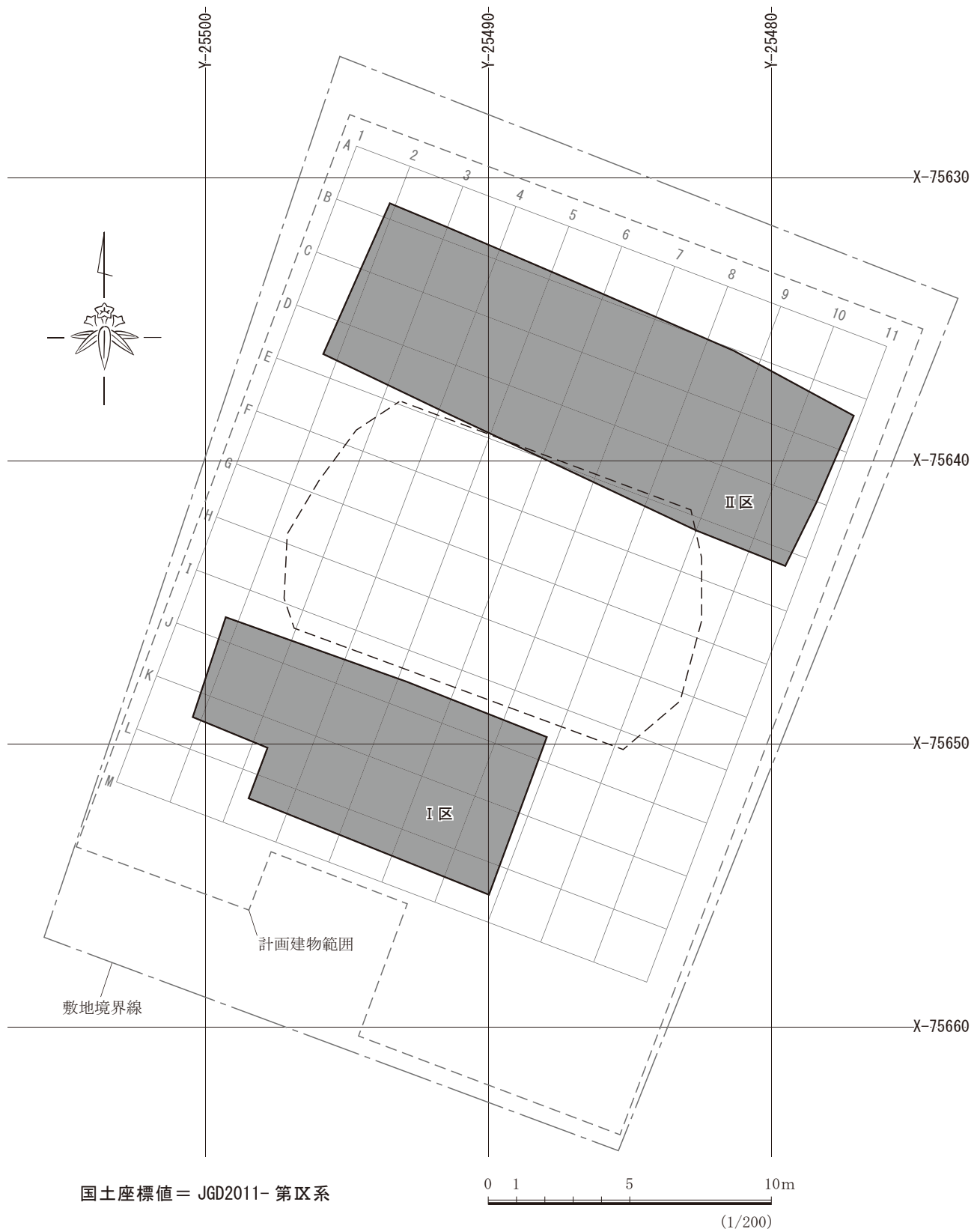


図2 調査区・グリッド配置図

### 第三章 基本土層

本地点では大別して2枚の遺構面を確認し、現地調査では上層遺構面・下層遺構面と呼称して作業を進めた。本報告でも、それに従って記述して行く。

現地表面の標高は7.4～7.5 mを測り、敷地の南側がわずかに低くなっている。

表土下には中世遺物包含層（1層）が堆積し、これを取り除いたところで上層遺構面が確認された。

上層遺構面は、I区では6.3～6.5 m前後、北側のII区では6.5～6.7 m前後で確認された。ただ、調査区壁の土層断面を見るとI区北壁で6.7～6.8 m前後、II区北壁では6.8 m前後が上面となることから、遺構の確認は本来の掘り込み面より低いレベルで実施したことになる。遺構面自体が現代までに削平を受け、中世当時の生活面ではない可能性が高い。このためか、上層遺構面を構築するのは褐色砂質土が主体で、泥岩を多用した整地層は確認できなかった。

下層遺構面は、I区北壁で6.3～6.4 m前後、II区北壁で6.4～6.7 m前後が上面となる。後述するようにI・II区とも調査区のほぼ全域が竪穴建物の埋土という状況を呈していたため、明確な整地面を把握するに至らなかった。

遺構の埋土（覆土）は褐色～暗褐色系の砂質土または粘質土を主体に構成され、泥岩・炭化物・貝殻など粒子の大小・多寡によって分層できる。現地調査の観察記録は詳細な内容であったが、本報告書の作成に当たってはその全てを採録できず、大幅に省略したものを掲載している（各断面図参照）。

本地点では、特に下層遺構面において竪穴建物を中心とした土地利用がされており、廃絶する竪穴を埋め立てて生活面を更新し、そこに新たな竪穴建物を掘削・建設して行く営為が比較的短期間のうちに繰り返されたものと見られる。その結果、泥岩塊を用いた盛土整地は行われず、簡単な地ならしを繰り返しながら土地利用を続けたことが推察される。

竪穴建物は中世基盤層である黒褐色粘質土層まで掘り込んでいる例が殆どであったため、本来ここに存在したであろう、鎌倉時代前半の遺構は多くが削り取られてしまった可能性が高い。そうした中でも、II区南部の中世基盤層上では東西に延びる溝状遺構が検出され、竪穴建物とは主軸ラインや遺物様相が異なることから、第一章で触れた土地利用上の転換期が、本地点でも共通して把握できる可能性がある。

図3には、II区南壁の土層断面を示した。この部分の下層遺構面では竪穴建物が繰り返し構築された結果、ほぼ隙間なく遺構の埋土となっている状況が明瞭に看取できる。古い竪穴の方が底面標高が低い傾向にあることから、構築面（生活面）の標高も埋め立て・地ならしを繰り返す過程で次第に高まって行った状況が推察できよう。また、上層遺構面の整地に当たっては、最終段階の竪穴構築面を削平して行われた可能性も考えられる。

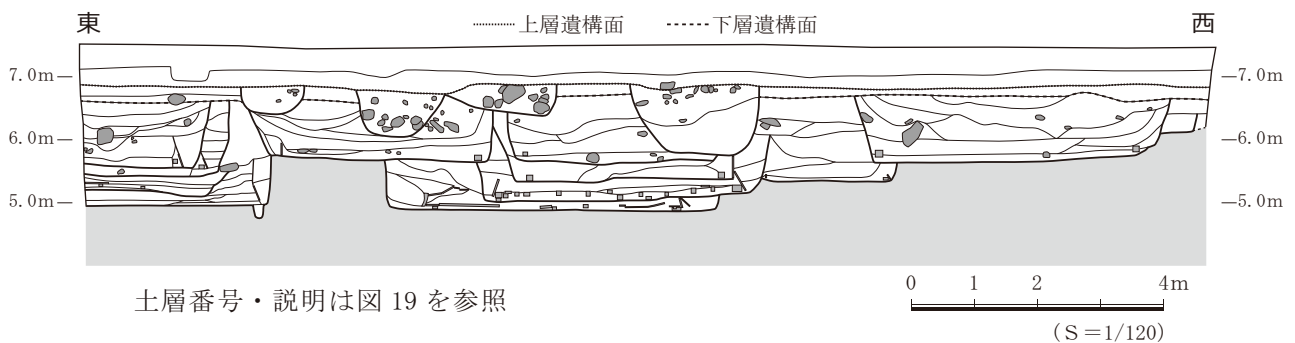


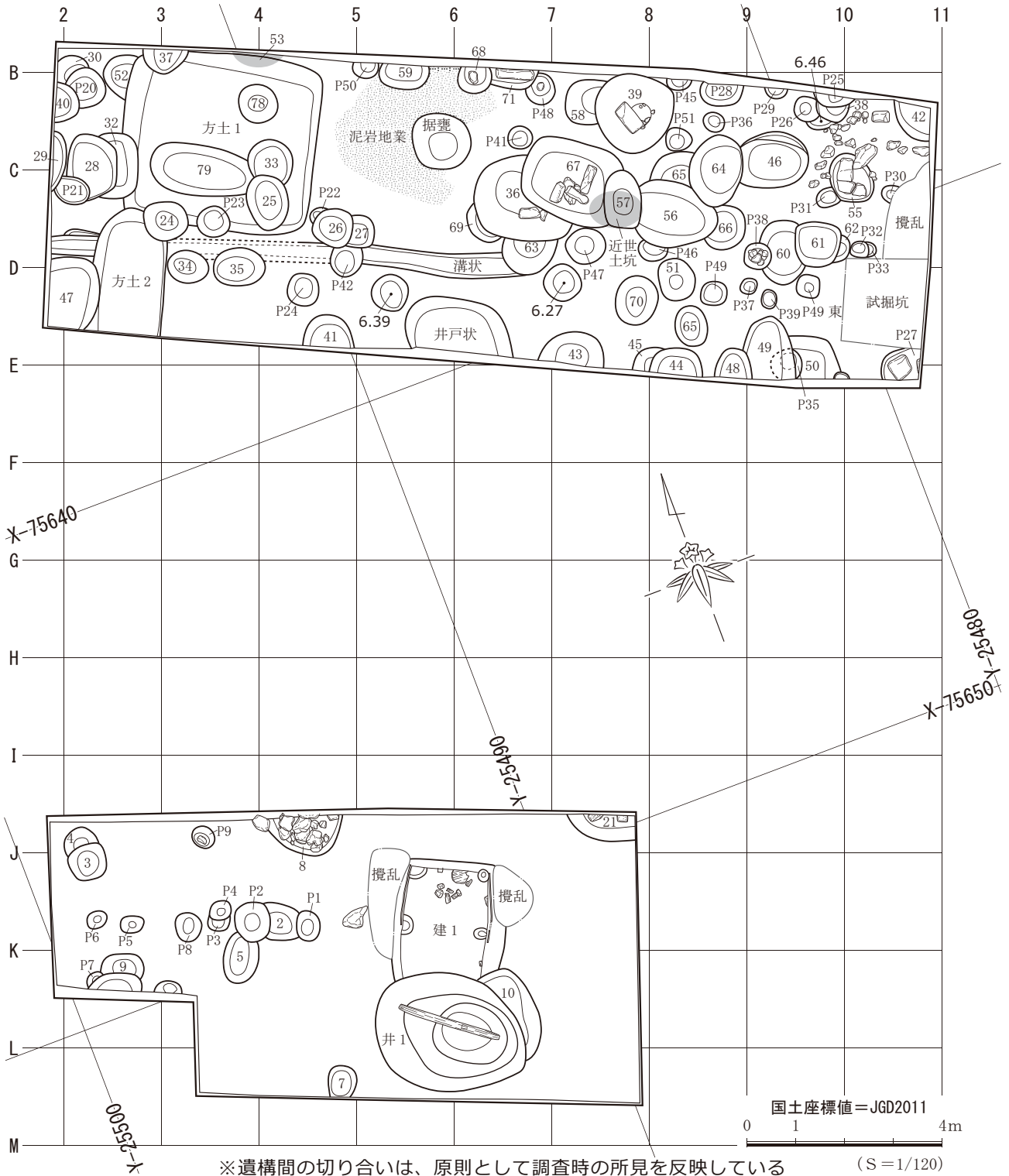
図3 土層断面図（II区南壁）

# 第四章 検出遺構と出土遺物

## 第1節 検出遺構

### (1) 上層遺構面の検出遺構

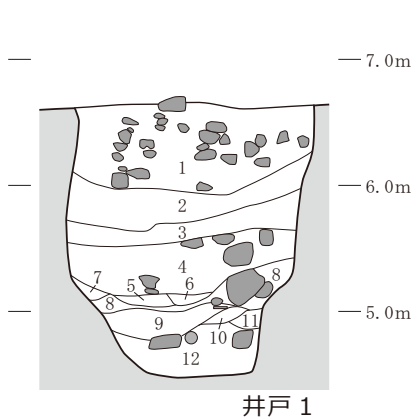
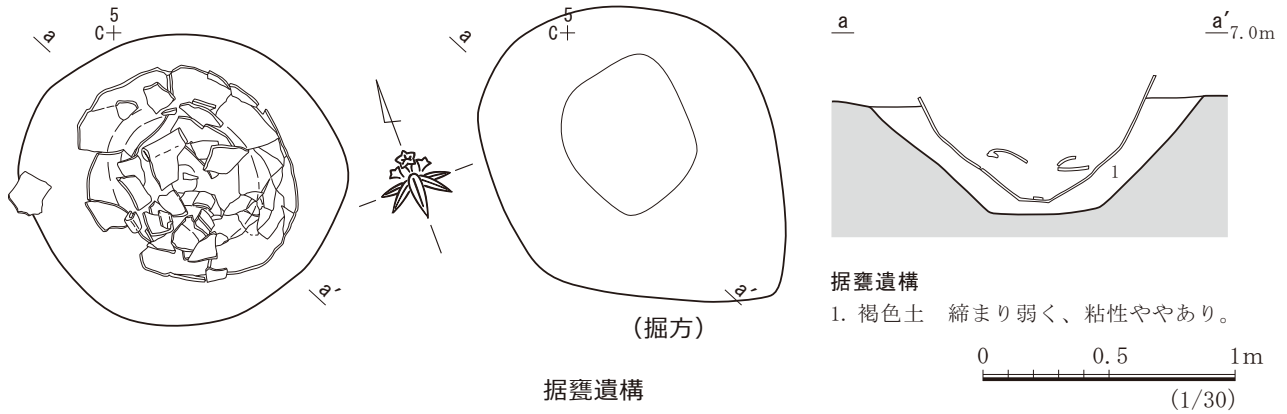
南側のⅠ区で標高6.3～6.5m前後、北側のⅡ区では6.5～6.7m前後で確認された。



※遺構間の切り合いは、原則として調査時の所見を反映している (S=1/120)  
 図4 上層遺構面 全体図

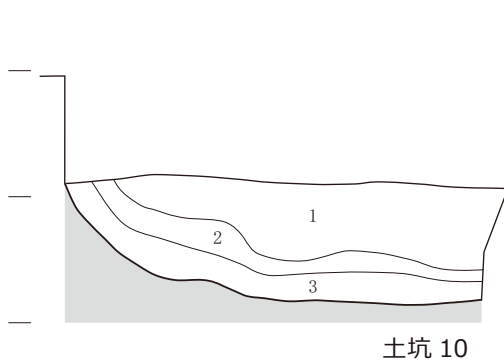
褐色砂質土をベースとした遺構面で、この面上で土坑・ピットを主体に井戸などの遺構が検出された。特にⅡ区での遺構密度が高く、新旧遺構の重複が顕著であった。

図5・6には、現地で断面図等の個別記録を残した遺構を掲載した。以下、掲図したものを中心に、遺物の出土状況等に特徴のある遺構について説明を加える。文章で触れられなかった遺構については、表2の一覧を参照されたい。



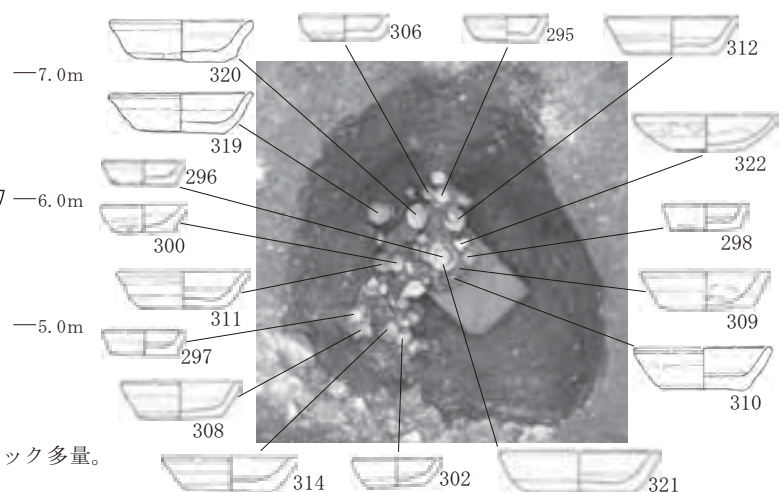
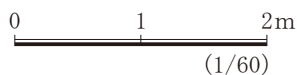
井戸 1

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| 1. 褐色土    | 砂質土。拳大～人頭大の安山岩礫と泥岩粒多量。 |
| 2. 暗褐色土   | 縮まり弱い。                 |
| 3. 暗褐色土   | 砂質土。                   |
| 4. 暗褐色土   | 砂質土。凝灰岩片と安山岩礫多量。       |
| 5. 褐色土    | 砂質土。縮まり弱い。             |
| 6. 暗褐色土   | 粘質土。                   |
| 7. 暗褐色土   | 砂質土。                   |
| 8. 褐色土    | 砂質土。                   |
| 9. 暗青灰色土  | 砂質土。                   |
| 10. 褐色土   | 粘質土。縮まり弱い。             |
| 11. 暗青灰色土 | 砂質土。                   |
| 12. 黒褐色土  | 粘質土。                   |



土坑 10

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 1. 褐色土   | 砂質土。拳大～人頭大の泥岩ブロック多量。 |
| 2. 褐色土   | 縮まり弱い。               |
| 3. 暗黄褐色土 | 砂質土。                 |



遺物図縮尺 = 1/6、No. は図 34 に対応

土坑 39 内遺物出土状況 (写真上方が南)

図5 I・Ⅱ区上層遺構面 遺構断面図・土坑 39 遺物出土状況

**竪穴建物 1（個別遺構図非掲載）**

I 区中央で検出された。南部を井戸 1 と土坑 10 に切られ、また下層遺構面の竪穴竪物埋土を切っている。東西 2.1 m、南北 2.3 m 以上の矩形プランを呈し、主軸方向は N27° E。標高 5.55 ～ 5.64 m の平らな床面から垂直に壁が立ち上がり、約 70 cm の高さを計測し得た。壁下の床面上では南北 1.2 m 間隔で並ぶ深さ 10 ～ 15 cm のピット 4 基が検出され、北半部では東・西・北壁に沿って板材が遺存していた。こうした状況から、柱と壁板を有する建物と判断した。

本遺構の出土遺物は図 24 に掲載し、埋土全体（84 ～ 99）と床面上（100 ～ 107）とに分けて示した。

**井戸 1（図 5）**

I 区中央部の南寄りで検出された。竪穴建物 1 と土坑 10 を切って構築される。上場は長径 330 cm × 短径 240 cm の楕円形プランを呈し、確認面からの深さは 216 cm、底面の標高は 4.47 m を測る。断面は円筒状を呈し、井戸枠は痕跡も含め確認できなかったことから、井戸としても素掘りであった可能性が高い。坑底近くに木材が数本、埋土の上層には礫がまとまって廃棄されていた（図版 1）。

出土遺物は図 25・26 に掲載し、埋土全体（108 ～ 153）と埋土下層（154 ～ 156）とに分けて示した。

**土坑 10（図 5）**

井戸 1 に切られ、竪穴建物 1 を切っている。全体の規模・形状は不明。確認面からの深さは 104 cm で、底面標高は 5.14 m を測る。埋土中から少量の遺物が出土しているが、図示すべき個体はなかった。

**据甕遺構（図 5）**

II 区中央北寄りで検出された。常滑甕を据え置いた土坑で、径 1.1 ～ 1.3 m の不正円形の平面プランを有する。甕の上部は破損して口縁は甕内部に落ち込んでいた（図版 9-1・2）。残存する甕胴部の上端

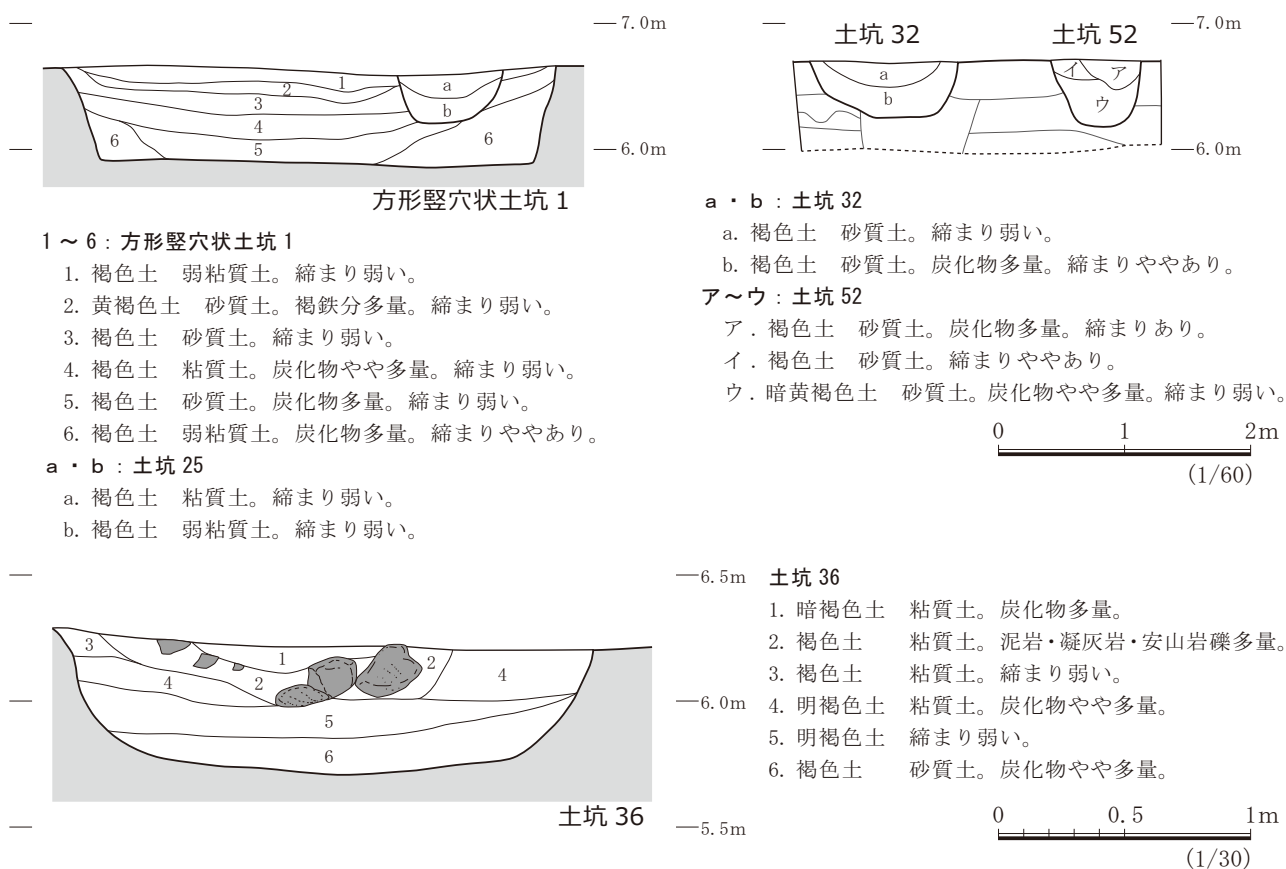


図 6 II 区上層遺構面 遺構断面図



から掘方底面までは55cmの深さがあり、土坑底面の標高は6.28mであった。本遺構の南北と西側には破砕泥岩を多用した比較的丁寧な整地面が遺存していたが、覆屋を復元できそうな遺構の確認には及ばなかった。

本遺構からの出土遺物は、図27に掲載した。

### 方形竪穴状土坑1(土坑31・図6)

Ⅱ区の北西角付近で検出された。東西400cm×南北350cmの方形プランを呈し、直立する壁面と平らな底面を有する。確認面からの深さは80cmで、底面標高は5.85～6.08mを測る。遺構中心軸はN29°E。

表2 上層遺構面 遺構一覧

区	遺構 No.	底面標高 (m)
I	竪穴建物1	5.55～5.64
I	井戸1	4.47
I	土坑2	6.10
I	土坑3	6.33
I	土坑4	6.36
I	土坑5	6.17
I	土坑7	6.32
I	土坑8	6.15
I	土坑9	6.13
I	土坑10	5.14
I	土坑21	6.41
I	ピット1	6.22
I	ピット2	6.13
I	ピット3	6.17
I	ピット4	6.20
I	ピット5	6.27
I	ピット6	6.37
I	ピット7	6.20
I	ピット8	6.27
I	ピット9	6.40
II	近世土坑	6.31
II	据籠遺構	6.28
II	井戸2 (土坑77)	4.89
II	井戸状遺構	5.78
II	溝状遺構	6.33～6.41 (西が低い)
II	方竪状土坑1	5.85～6.08
II	方竪状土坑2	→竪穴建物9
II	土坑24	6.33
II	土坑25	6.22
II	土坑26	6.30
II	土坑27	6.35
II	土坑28	6.37
II	土坑29	6.45
II	土坑30	6.28
II	土坑31	→方竪状土坑1

区	遺構 No.	底面標高 (m)
II	土坑32	6.24
II	土坑33	6.28
II	土坑34	6.27
II	土坑35	6.20
II	土坑36	5.71
II	土坑37	5.82
II	土坑39	6.02
II	土坑38	6.29
II	土坑40	6.41
II	土坑41	6.32
II	土坑42	6.28
II	土坑43	6.16
II	土坑44	6.19
II	土坑45	6.27
II	土坑46	6.07
II	土坑47	6.41
II	土坑48	6.27
II	土坑49	6.33
II	土坑50	6.00
II	土坑51	6.29
II	土坑53	6.02
II	土坑55	6.33
II	土坑56	6.25
II	土坑57	6.33
II	土坑58	6.01
II	土坑59	6.15
II	土坑60	6.02
II	土坑61	6.08
II	土坑62	6.10
II	土坑63	6.24
II	土坑64	6.39
II	土坑65	6.02
II	土坑66	6.24
II	土坑67	6.01
II	土坑68	6.28
II	土坑69	6.16

区	遺構 No.	底面標高 (m)
II	土坑70	6.29
II	土坑71	6.31
II	土坑78	5.49
II	土坑79	5.73～5.69
II	ピット20	6.37
II	ピット21	6.42
II	ピット22	6.39
II	ピット23	6.43
II	ピット24	6.22
II	ピット25	6.47
II	ピット26	6.37
II	ピット27	6.23
II	ピット28	6.39
II	ピット29	6.49
II	ピット30	6.34
II	ピット31	6.40
II	ピット32	6.32
II	ピット33	6.31
II	ピット35	5.93
II	ピット36	6.27
II	ピット37	6.40
II	ピット38	6.04
II	ピット39	6.38
II	ピット40	6.27
II	ピット41	6.25
II	ピット42	6.17
II	ピット45	6.30
II	ピット46	6.11
II	ピット47	6.14
II	ピット48	6.27
II	ピット49東	6.24
II	ピット49西	—
II	ピット50	6.18
II	ピット51	6.26

平面規模は、図4を参照のこと  
黒地欄の遺構は、図4に載らず

木材や切石による構造物をとみなわず、また底面上では柱穴や根太痕など付帯施設を見出せなかったことから、建物であった可能性は残しつつも、土坑の一類として扱った。

本遺構では多くの遺物が出土しており、図 28 に埋土出土分を、図 29 に床面上出土資料を掲載した。

#### 方形竪穴状土坑 2（下層竪穴建物 9・個別遺構図なし）

Ⅱ区の南西角付近で検出され、南側は調査区の外に続く。土坑 24・47 に切られ、溝状遺構とも重複するが新旧関係は掴めていない。調査を進めるに連れて下層遺構面の竪穴建物 9 にともなう落ち込みと判断されたが、遺物の取り上げも個別に行ったため、同建物の埋土上層に帰属する出土品ということで、図 30-224～250 に掲載した。

#### 井戸状遺構（個別遺構図なし）

Ⅱ区中央部の南壁際に位置し、北側の約 1/2 程度が検出されたものと見られる。現地では井戸状遺構と名付けたものの、おそらく構築当初から湧水層までは掘削が及んでいなかったものと考えられる。よって正式には土坑と称すべきものであろう。東西径は 207 cm、南北は 100 cm 以上を測る。南壁の土層断面で確認できた深さは 107 cm で、底面標高は 5.78 m を測る。本遺構は下層遺構面の竪穴建物 19 に重なる位置にあり、これに後続する竪穴建物 B（土層断面でのみ存在を確認）を切っている。

本遺構からの出土遺物は少なく、2 点のみを図化した（図 30-251・252）。

#### 溝状遺構（遺構個別図なし）

Ⅱ区の南寄り、D ラインに沿って検出された東西溝で、西は調査区外に続き、東は土坑 63 に切られたところで終わっている。上幅 40～50 cm、底面幅 20～30 cm を測り、長さは 9.7 m までを計測できた。底面標高は 6.33～6.41 m で、西側が低い傾向にある。走行軸は、N66° W。

本遺構からの出土遺物は少なく、図化すべきものもなかった。

#### 土坑 36（図 6）

Ⅱ区中央部付近で検出された。土坑 67 に切られ、土坑 69・63 を切って構築される。長径 215 cm の大型土坑で、確認面からの深さは 58 cm、底面標高は 5.71 m を測る。

本遺構からの出土遺物は比較的多く、図 33 に掲載した。

#### 土坑 39（図 5）

Ⅱ区北壁近くの中央部、やや東側で検出された。土坑 58 を切る。坑底付近に凝灰質砂岩の切石（鎌倉石）が投棄され、この上にかわらけの完形品を含む遺物がまとまって廃棄されていた。切石を取り除いた下の底面標高は、6.02 m を測る。

出土遺物は図 34-292～328 に示した。

(2) 下層遺構面の検出遺構

I 区で標高 6.3～6.4 m 前後、II 区では 6.4～6.7 m 前後で検出された。図 7 が示すように I・II 区とも調査区全域にわたって堅穴建物が展開し、この間に幅 1 m 弱の空闲地が延びている。これを通路と見なせるかは、屋根の葺き下ろし方により評価が分かれるかもしれない。堅穴建物は I・II 区合わせて 23 棟を確認し、細かな建て替えや土層断面でしか捉えることができなかった事例を含めると、さらに多数に上る。

検出された堅穴建物の殆どが土台構造を取り、堅穴底面の四周に土台材を巡らせ、そこから柄組みで柱を立てた背後に横板を当てて壁体を構築している。床板が良好に残る事例はなかったが、II 区の建物 22c では腐朽して掘方底面に落ち込んだ状況が確認されている。基本的には土台材の内区に一定の方向・間隔で根太材を這わせ、その上に直交方向で床板を敷き並べていたものと考えられる。また、青磁碗の一括廃棄状況が確認された建物 21 などでは根太材の痕跡は確認されず、掘方底面の周縁に柱スパンの短い掘立柱建物を立ち上げる構造を取っていた。

建物のない場所では重複する土坑群が検出され、また建物群が構築される前段階の遺構として東西溝（I 区溝 1）や井戸（II 区井戸 4）などが確認された。

以下、主な遺構について概略を説明するが、遺構間の新旧関係については各遺構図面を、底面標高については表 3 の一覧を参照されたい。この他、建物の平面規模や主軸方位、柱穴や柄穴の間隔といった図から情報を得られる項目については、記述を省略する。

表 3 下層遺構面 遺構一覧

区	遺構 No.	底面標高 (m)
I	堅穴建物 2A	5.18～5.25
I	堅穴建物 2B	5.10～5.19
I	堅穴建物 3	5.10
I	堅穴建物 4	4.92～4.98
I	堅穴建物 5	5.46～5.58
I	堅穴建物 6	5.28～5.32
I	堅穴建物 6 張り出し	5.48～5.50
I	堅穴建物 7	4.84～4.89
I	溝 1	5.24
I	土坑 14	5.35
I	土坑 17	5.99
I	土坑 18	5.32
I	土坑 19	5.40
I	土坑 20	5.46
I	ピット 10	5.79
I	ピット 11	5.66
I	ピット 12	5.26
I	ピット 13	5.85
I	ピット 14	5.64

区	遺構 No.	底面標高 (m)
I	ピット 15	5.83
I	ピット 16	5.28
I	ピット 17	5.85
I	ピット 18	5.88
I	ピット 19	6.10
II	堅穴建物 9	5.63～5.74
II	堅穴建物 10	5.60～5.69
II	堅穴建物 11	5.91～5.96
II	堅穴建物 12	5.96
II	堅穴建物 13	5.34～5.40
II	堅穴建物 14	5.50～5.70
II	堅穴建物 15	5.23～5.44
II	堅穴建物 16	5.40～5.48
II	堅穴建物 17	5.08～5.18
II	堅穴建物 18	5.64～5.76
II	堅穴建物 19	5.01～5.12
II	堅穴建物 20	5.11～5.20
II	堅穴建物 21	4.92～4.96
II	堅穴建物 22	5.33～5.38
II	堅穴建物 24	4.86～4.90

区	遺構 No.	底面標高 (m)
II	井戸 3 (未完掘)	[5.02]
II	井戸 4 (未完掘)	[4.27]
II	方堅状土坑 3	4.64～4.74
II	土坑 23	5.30
II	土坑 75	6.15
II	土坑 76	6.16
II	土坑 77 (井戸 2)	4.89
II	土坑 82	5.68
II	土坑 81	5.95
II	土坑 82	5.68
II	土坑 83	5.29
II	土坑 84	5.78
II	土坑 86	5.03
II	ピット 52	4.74
II	ピット 62	5.71

平面規模は、図 7 を参照のこと

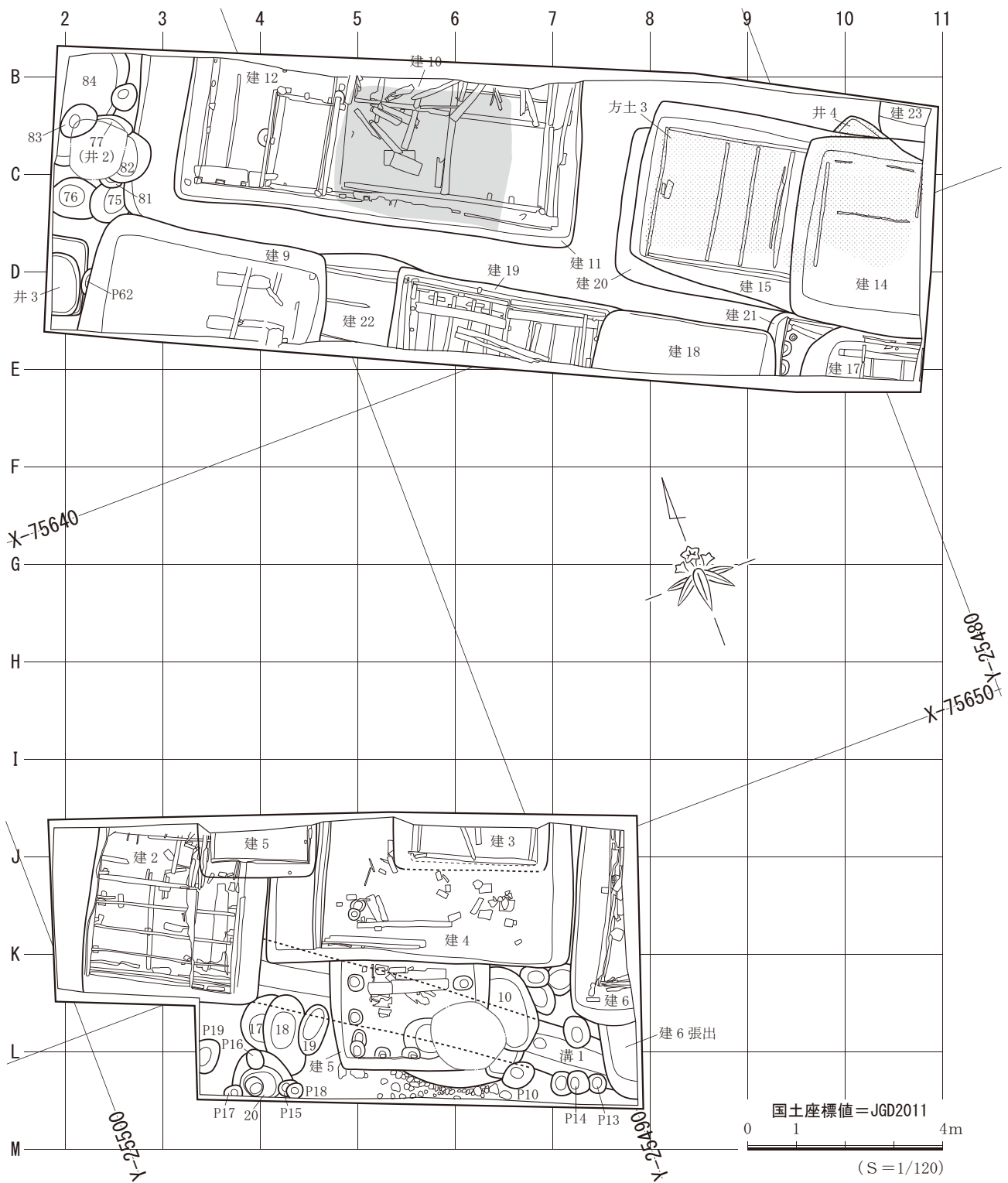
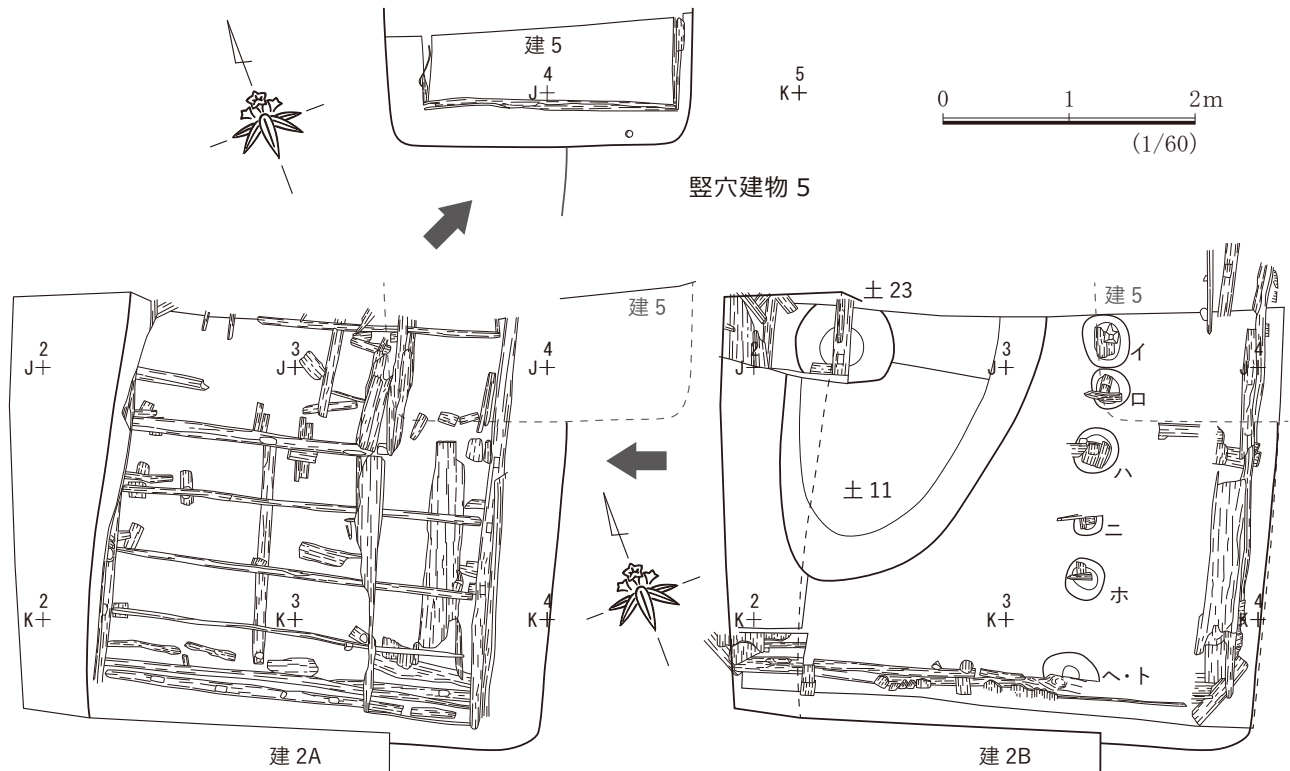


图7 下層遺構面 全体図

建物 2 (図 8)

I 区北西角付近で検出され、北側は調査区外に続く。造り替えによる、新旧 2 段階の建物が確認され、建物 2B → 2A の順で平面規模を縮小し、床面レベルを上げて構築し直している。ともに土台構造だが、掘方底面では東辺より西側に離れた位置で南北方向の柱穴列が確認され、柱材も立った状態で残存していた (図版 4)。2A 根太材より高いレベルまで立ち上がっていることから、2A 段階での補強や間仕切りなどに関連する痕跡と考えられ、2B 段階から存在していた可能性もある。なお、図 8 に示した土坑 11 については、底面標高などの現地記録の情報を欠いており、性格などの詳細は不明である。写真記録を参照すると、この以西はやや大きな落ち込みとなっている印象を受けた。

本遺構からの出土遺物は、図 39 に掲載した。

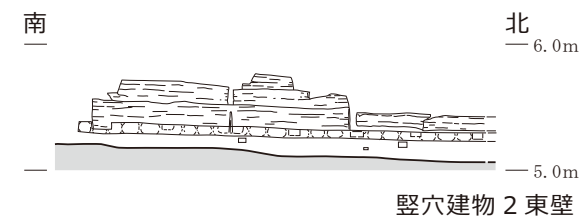


〔古〕土坑 23 → 建 2B → 建 2A → 建 5〔新〕

竪穴建物 2 掘方 柱穴一覽

区	遺構 No.	礎板上標高 (m)	底面標高 (m)
I	ピット-イ	5.12	5.02
I	ピット-ロ	5.22	5.02
I	ピット-ハ	5.21	5.02
I	ピット-ニ	5.20	—
I	ピット-ホ	5.21	5.12
I	ピット-へ・ト	—	5.05

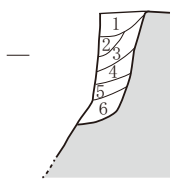
平面規模は図を参照のこと



竪穴建物 2 東壁

竪穴建物 2 土層断面

— 7.0m



建物 2

- 1. 黄褐色土 砂質土。締まり弱い。
- 2. 灰褐色土 砂質土。泥岩粒多量。締まり弱い。
- 3. 灰褐色土 砂質土。締まり弱い。
- 4. 褐色土 砂質土。凝灰岩片と安山岩礫多量。
- 5. 褐色土 粘質土。灰層と炭層の縞状堆積。締まり弱い。
- 6. 褐色土 砂質土。黄色砂ブロック多量。締まりややあり。

図 8 I 区下層遺構面 竪穴建物 2・5

### 建物 3 (図 9)

I 区の北壁際で検出され、大部分が調査区外に続くものと見られる。建物 4 が埋没した後、この上位に構築されている。南辺の壁板が北に倒れ込んだ状態で検出された (図版 5-1・2)。

本遺構からの出土遺物は、図 40 に掲載した。

### 建物 4 (図 9)

I 区の北壁際で検出され、北半分ほどは調査区外に続くと思われる。他の建物に比べ土台や根太材が残っておらず、建物廃絶に際して取り除かれ、再利用された可能性がある。掘方底面では、西辺より 70 cm ほど東で南北方向の小溝が検出され、土台材の据え方痕跡と考えられる。これを西側に拡張する形で建て替えが行われたことを示すものかもしれない。

本遺構からの出土遺物は、図 41 に掲載した。

### 建物 5 (図 8)

I 区北壁際で検出され、北側は調査区外に続く。建物 2・4 の上位に重複する。東に並ぶ建物 3 とは遺構間の新旧関係や規模、堅穴南辺が揃っている点など共通項が多く見られ、堅穴建物が展開する最終段階において、同時期に存在していた可能性が指摘できる。

本遺構の出土遺物は、図 42-499 ~ 515 に掲載した。

### 建物 6 (図 9)

I 区東壁際で検出された。部分的な検出にとどまり、大半が東側調査区外に続くものと見られる。他の堅穴建物とは重複しておらず直接の新旧関係は不明だが、配置状況や床面レベルなどの共通性から、建物 2 と同時期に存在していた可能性を指摘できる。堅穴南辺に落ち込みが接しており (土坑 16)、現地調査では建物の張り出し部であったとする所見も残されているが、土層断面からは別遺構となるか、張り出し部であったかは断定が難しい。

出土遺物は、図 42-516 ~ 525 に掲載した。

### 建物 7 (図 9)

I 区中央で検出され、北半部は堅物 4 に切られ底面の柱穴列しか残っていなかった。南北に長い矩形プランを呈し、掘方底面の四周に短いスパンで柱穴を巡らせている。鎌倉の堅穴建物としては初現期の型式とされ、他遺構との切り合い関係の上でも矛盾はない結果となっている。

本遺構からの出土遺物は少なく、図化できたものは、図 43 に掲載した。

### 建物 8 (欠番)

現地記録に一切の情報がないため、欠番とした。

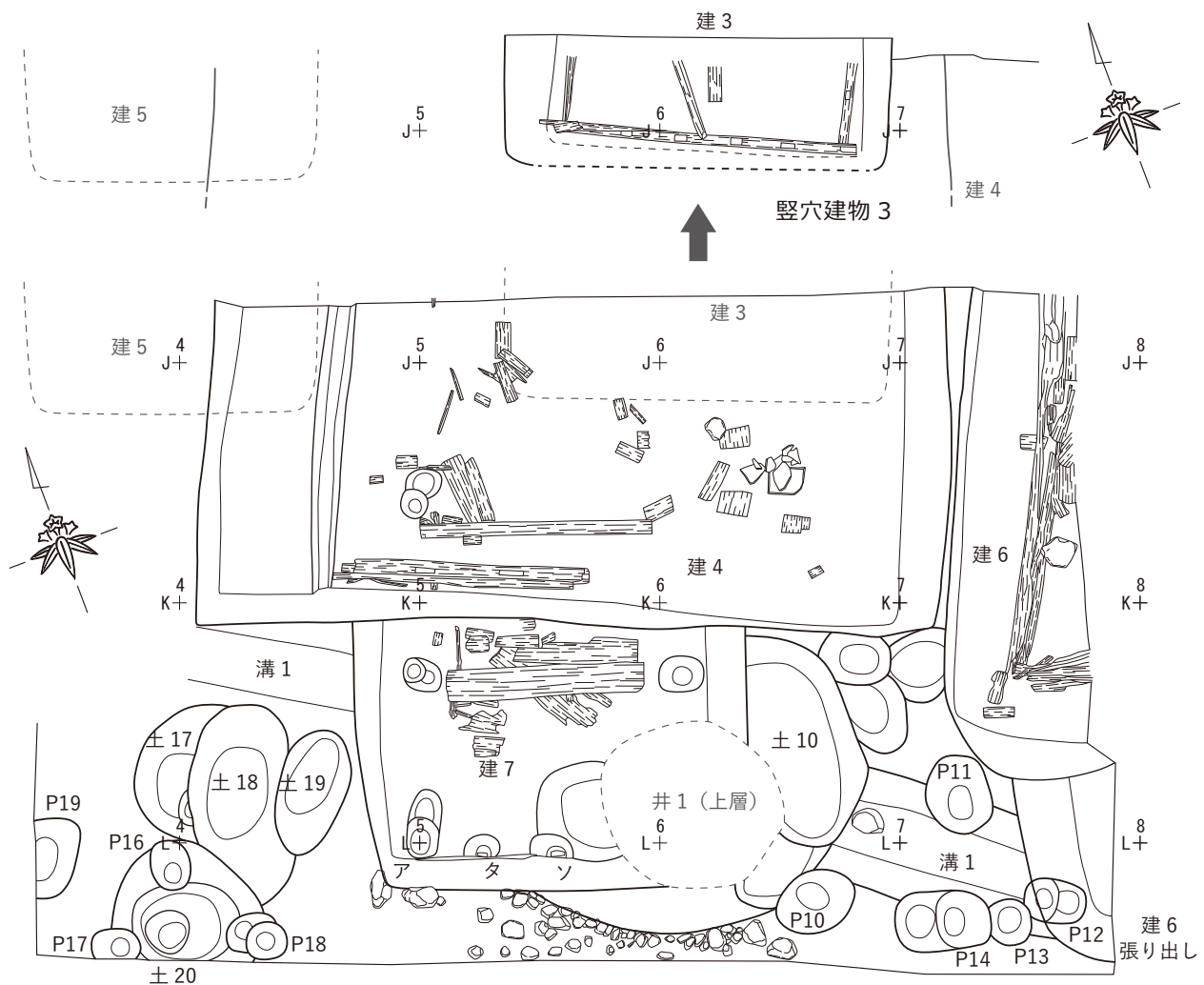
### 建物 9 (上層方形堅穴状土坑 2、個別遺構図なし)

II 区南西部で検出され、遺構の大半は調査区南外に続く。東側の建物 22 を切る (図 16 参照)。上層遺構面で確認した方形堅穴状土坑 2 の掘削を進めるうち、下層遺構面の堅穴建物となることが判明した。図 19 の断面図からも、下層を掘り込み面としていることが確認できる。図版 11-2 では上層遺構に混在して提示してしまっただが、底面上に南北方向の根太材痕跡が残っている様子を確認できる。

本遺構の出土遺物は、図 44 に掲載した。

### 建物 10 (図 12)

II 区中央部の北壁近くで検出された。北壁際には本遺構に切られる堅穴建物が 1 棟存在していたが、平面的には把握できず、土層断面のみでの確認となった (建物 A: 図 13 参照)。建物 11 の上位に重複して構築される。底面上では根太材などの痕跡は確認できなかったが、炭層の堆積が認められた (図版



建5  
 (古) 建7 → 建4 → 建3 (新)  
 建2B

建5  
 建3  
 建4  
 建6

井1 (上層)  
 6 L+

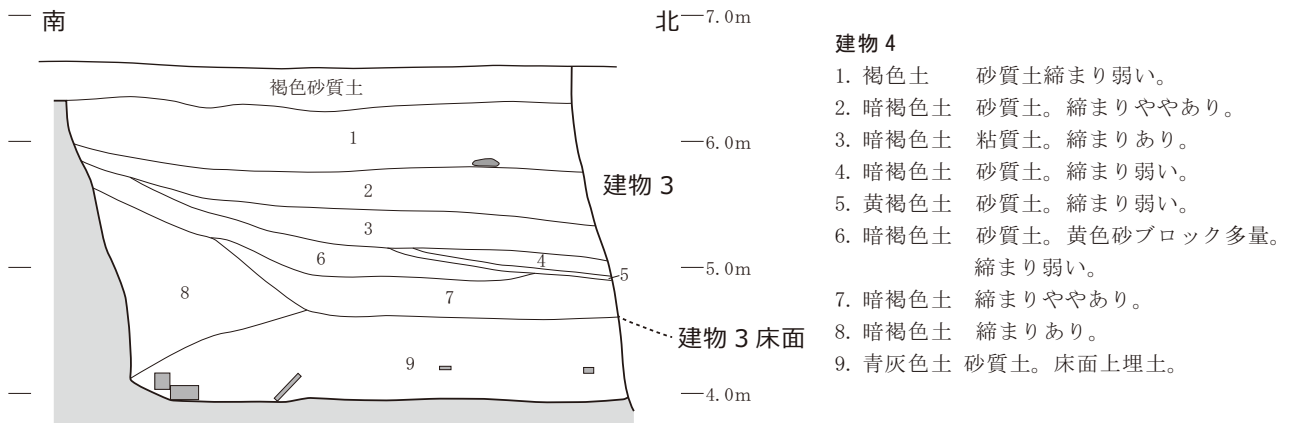
溝1  
 建7 掘方柱穴列

堅穴建物7柱穴一覧

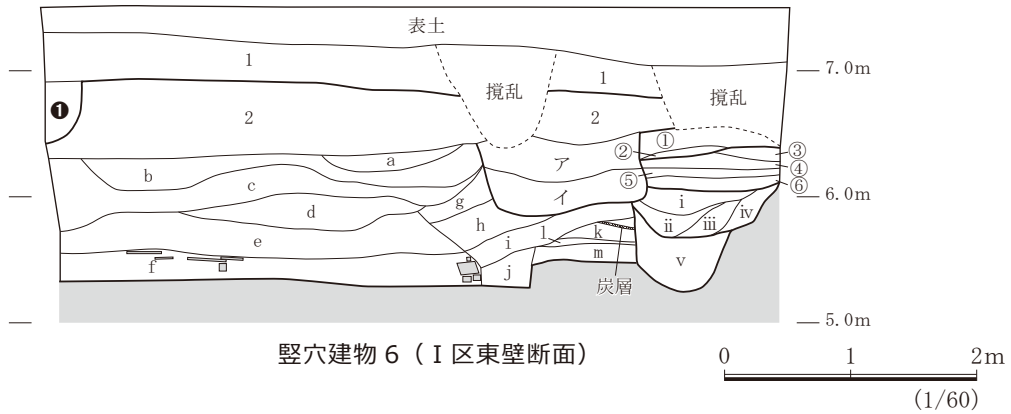
区	遺構No.	底面標高 (m)
I	ピット-ア	4.29
I	ピット-イ	4.44
I	ピット-ウ	4.43
I	ピット-エ	4.49
I	ピット-オ	4.51
I	ピット-カ	4.41
I	ピット-キ	4.29
I	ピット-ク	4.34
I	ピット-ケ	4.35
I	ピット-コ	4.03
I	ピット-サ	4.31
I	ピット-シ	4.30
I	ピット-ス	4.41
I	ピット-セ	4.40
I	ピット-ソ	4.60
I	ピット-タ	4.46
I	ピット-チ	4.46

平面規模は、図を参照のこと

図9 I区下層遺構面 堅穴建物3・4・6・7ほか



竖穴建物 4 (南北断面)



竖穴建物 6 (I 区東壁断面)

(1/60)

a ~ m : 建物 6

- a. 褐色土 砂質土。縮まりあり。
- b. 褐色土 砂質土。縮まりあり。
- c. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
- d. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
- e. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- f. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
- g. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
- h. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- i. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- j. 暗褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- k. 暗褐色土 砂質土。黄灰色砂多量。縮まり弱い。
- l. 黄灰色砂 粘質土ブロック混入。縮まり弱い。
- m. 暗褐色土 砂質土。黄灰色砂多量。縮まりややあり。

ア・イ : 土坑 15

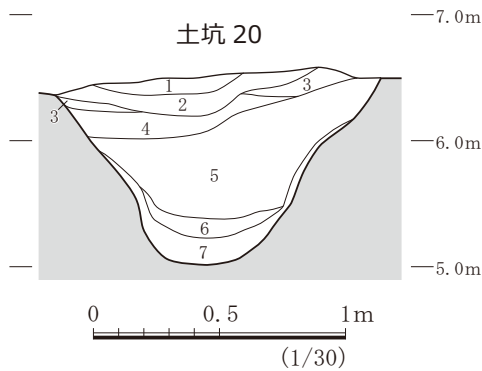
- ア. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
- イ. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。

① ~ ⑥ : 道路

- ①. 暗黄褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- ②. 暗褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- ③. 褐色土 砂質土。泥岩粒の整地土。
- ④. 黄褐色砂 縮まり弱い。
- ⑤. 暗褐色土 砂質土。縮まりあり。
- ⑥. 褐色土 砂質土。縮まりあり。

i ~ v : 溝 1

- i. 暗褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- ii. 暗褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- iii. 褐色土 弱粘質土。
- iv. 黒褐色土 粘質土。縮まり非常に強い。
- v. 暗褐色土 砂質土。粘性あり。縮まりややあり。



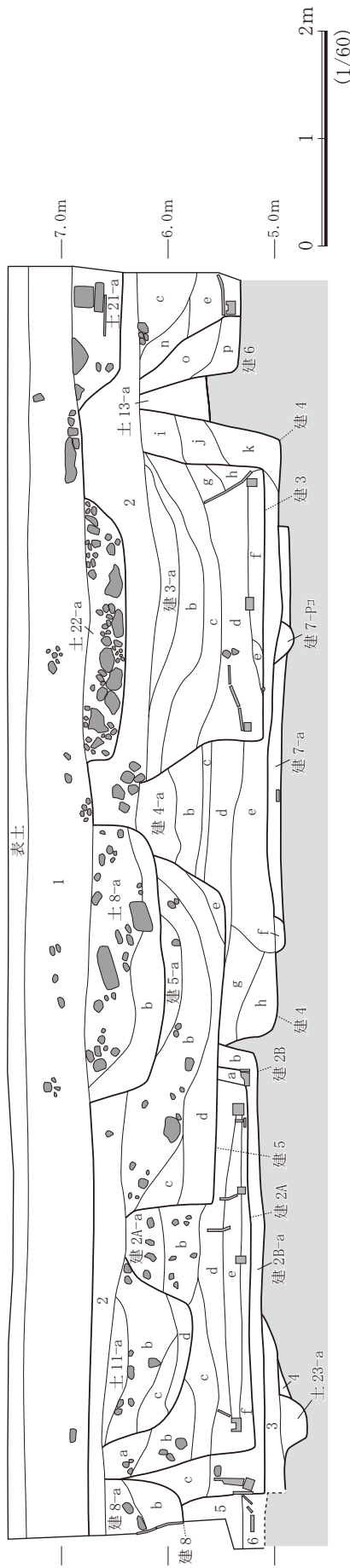
土坑 20

土坑 20

- 1. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- 2. 黄灰色土 砂質土。粘質土ブロック少量。
- 3. 褐色土 砂質土。縮まりあり。
- 4. 褐色土 弱粘質土。縮まりあり。
- 5. 褐色土 粘質土。縮まりややあり。
- 6. 灰褐色土 粘質土。
- 7. 暗灰褐色土 粘質土。

図 10 I 区下層遺構面 竖穴建物 4・6、土坑 20 土層断面図





- |          |                     |                               |                               |                          |         |         |                            |
|----------|---------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------|---------|---------|----------------------------|
| 1. 褐色土   | 砂質土。縮まり弱い。中世遺物包含層。  | 建物 2A                         | a. 褐色土                        | 砂質土。縮まり弱い。               | 建物 4    | a. 褐色土  | 砂質土。縮まり弱い。                 |
| 1' 褐色土   | 弱粘質土。縮まり弱い。         | b. 褐色土                        | b. 褐色土                        | 砂質土。縮まり弱い。               | b. 褐色土  | b. 褐色土  | 砂質土。炭化物多量。縮まりやややあり。        |
| 2. 褐色土   | 砂質土。縮まりあり。          | c. 暗褐色土                       | c. 暗褐色土                       | 砂質土。褐色砂ブロック・炭化物多量。縮まり弱い。 | c. 暗褐色土 | c. 暗褐色土 | 弱粘質土。縮まりあり。                |
| 4. 黄褐色土  | 弱粘質土。薄い炭層が入る。縮まり弱い。 | d. 暗褐色土                       | d. 暗褐色土                       | 砂質土。縮まり弱い。               | d. 暗褐色土 | d. 暗褐色土 | 砂質土。炭化物多量。縮まりやややあり。        |
| 5. 暗褐色土  | 弱粘質土。縮まりあり。         | e. 暗褐色土                       | e. 暗褐色土                       | 砂質土。縮まり弱い。               | e. 暗褐色土 | e. 暗褐色土 | 砂質土。縮まりやややあり。              |
| 6. 暗褐色土  | 弱粘質土。縮まり弱い。         | f. 暗褐色土                       | f. 暗褐色土                       | 砂質土 (弱粘質)。縮まり弱い。         | f. 暗褐色土 | f. 暗褐色土 | 砂質土。縮まり弱い。建物 4 掘方か。        |
| 7. 暗褐色土  | 弱粘質土。縮まりやややあり。      | 建物 2B                         | a. 暗灰色土                       | 砂質土 (弱粘質)。縮まりやややあり。掘方。   | 建物 4    | g. 暗褐色土 | 砂質土。黄色砂・炭化物多量。縮まりやややあり。    |
| 8. 暗黄褐色土 | 砂質土。縮まり弱い。          | a. 暗灰色土                       | a. 暗灰色土                       | 砂質土 (弱粘質)。縮まりやややあり。掘方。   | 建物 4    | h. 黄褐色砂 | 地山近似的粘質土ブロック混入。            |
| 9. 褐色土   | 粘質土。縮まりあり。          | b. 暗褐色土                       | b. 暗褐色土                       | 砂質土 (弱粘質)。縮まりやややあり。掘方。   | 建物 4    | i. 暗褐色土 | 縮まりやややあり。                  |
| 土坑 8     | 砂質土。炭化物多量。縮まり弱い。    | c. 褐色土                        | c. 褐色土                        | 砂質土。黄色砂ブロック多量。縮まりあり。     | 建物 4    | j. 暗褐色土 | 砂質土。縮まりやややあり。              |
| a. 褐色土   | 砂質土。炭化物多量。縮まり弱い。    | 建物 3                          | a. 褐色土                        | 砂質土。縮まり弱い。               | 建物 4    | j. 暗褐色土 | 砂質土。炭化物多量。縮まりやややあり。        |
| b. 褐色土   | 砂質土。炭化物多量。縮まり弱い。    | a. 褐色土                        | a. 褐色土                        | 砂質土。縮まり弱い。               | 建物 4    | k. 暗褐色土 | 砂質土 (弱粘質)。黄色砂ブロック多量。縮まりあり。 |
| 土坑 11    | 砂質土。縮まりやややあり。       | b. 褐色土                        | b. 褐色土                        | 砂質土。縮まり弱い。               | 建物 5    | a. 褐色土  | 砂質土。縮まりやややあり。              |
| a. 褐色土   | 砂質土。縮まりやややあり。       | c. 暗褐色土                       | c. 暗褐色土                       | 砂質土。黄色砂ブロック多量。縮まり弱い。     | 建物 5    | b. 褐色土  | 砂質土。縮まりやややあり。              |
| b. 褐色土   | 砂質土。縮まり弱い。          | d. 暗褐色土                       | d. 暗褐色土                       | 粘質土。炭化物多量。縮まりやややあり。      | 建物 5    | c. 褐色土  | 砂質土。縮まりやややあり。              |
| c. 褐色土   | 砂質土。縮まり弱い。          | e. 青灰色砂                       | e. 青灰色砂                       | 縮まり弱い。                   | 建物 5    | d. 褐色土  | 砂質土。縮まりやややあり。              |
| d. 暗灰色土  | 粘質土。縮まりあり。          | f. 暗褐色土                       | f. 暗褐色土                       | 砂質土 (弱粘質)。縮まり弱い。         | 建物 5    | 建物 7    | 砂質土。薄い粘質土層が入る。縮まり弱い。       |
| 土坑 21    | 砂質土。縮まり弱い。          | g. 暗褐色土                       | g. 暗褐色土                       | 砂質土。縮まり弱い。               | 建物 5    | a. 暗褐色土 | 砂質土。黄色砂ブロック多量。縮まり強い。       |
| a. 暗褐色土  | 砂質土。縮まり弱い。          | h. 暗褐色土                       | h. 暗褐色土                       | 砂質土。縮まり弱い。               | 建物 5    | p. 黄褐色土 | 砂質土。縮まり弱い。                 |
| 土坑 22    | 砂質土。縮まり弱い。          | 建物 6 : a ~ m は東壁断面 (図 10) を参照 | 建物 6 : a ~ m は東壁断面 (図 10) を参照 | 砂質土。縮まり弱い。               | 建物 8    | a. 褐色土  | 砂質土。縮まり弱い。                 |
| a. 褐色土   | 砂質土。縮まり弱い。          | n. 褐色土                        | n. 褐色土                        | 砂質土。縮まり弱い。               | 建物 8    | b. 褐色土  | 砂質土。縮まり弱い。                 |
| 土坑 13    | 砂質土。縮まり弱い。          | o. 褐色土                        | o. 褐色土                        | 砂質土。縮まり弱い。               | 建物 8    | 暗青灰色土   | 暗青灰色土 (弱粘質)。縮まりやややあり。      |
| a. 褐色土   | 砂質土。縮まり弱い。          | p. 暗褐色土                       | p. 暗褐色土                       | 砂質土。縮まりあり。               |         |         |                            |

図 11 I 区調査区北壁 土層断面図

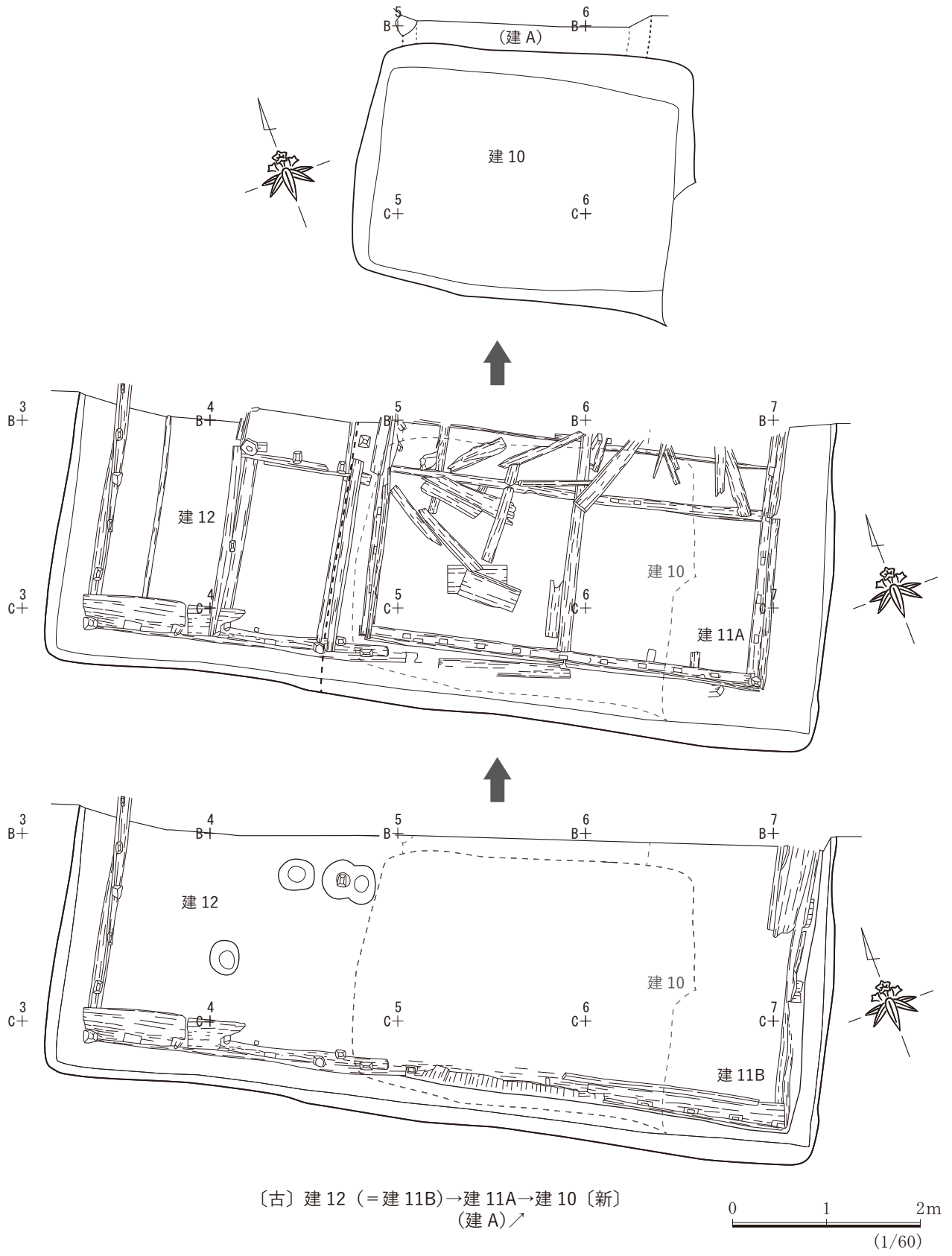


图 12 II 区下層遺構面 竖穴建物 A · 10 · 11 · 12

12-3)。炭層は断面図にも記載されているが（図 13）、これを見ると掘方底面上に整地を施し、その上面に壁材を立ち上げた様子が推察できる。

本遺構の出土遺物は、図 45 に掲載した。

#### 建物 11・12（図 12・13）

Ⅱ区中央部の北壁際で検出され、遺構の北半部は調査区外に続く。建物 11 では土台材の遺存状態が良好で、この配置状況から建物 11B → 11A という順で建て替えられたことを確認した。現地の所見では、建物 11 が西側に接する建物 12 を切っていると判断されていたが、両者は掘方底面のレベルが殆ど変わらず、また写真記録からは 11B と 12 の南辺壁板がひと続きとなっている様子が見て取れたため、両者を同一建物と判断し、これを東側に縮小する形で 11A に建て替えた、という経過が想定できる。

建物 11 の出土遺物は多く、現地では建物 A・B の区別なく取り上げたが、上記の想定が妥当であれば殆どが 11A の埋没に際して流入した遺物と見なせよう。図 46～48 に掲載した。

建物 12（＝建物 11B と想定）の出土遺物は、図 49-649～655 に示した。

#### 建物 13（図 16）

Ⅱ区中央部の南壁際で検出され、南半分ほどは調査区外へ続く。ここでは竪穴建物の重複が著しく、直接の切り合い関係では建物 19 より新しく、土層断面の観察でのみ確認した建物 B より古い（図 19）。現地調査時には建物 13 と 19 とを混同して記録していたようだが、本報告では上記の理解で整理し表記を統一した。東西辺と北辺に壁板など構造材が遺存していた。

本遺構の出土遺物は、図 49-656～665 に掲載した。

#### 建物 14（図 14）

Ⅱ区東壁際で検出され、東側は調査区外に続く。竪穴建物の重複が著しい中では、最新の遺構である。底面には北・西辺の土台材と、この内区で根太材の一部が残存していた。

本遺構からの出土遺物は、図 50 に掲載した。

#### 建物 15（図 14・15）

Ⅱ区東壁際で検出された。東側は調査区外に続くため全体の規模・形状は確認できなかったが、東西に細長い矩形プランを呈している。底面には南北辺と西辺とに土台材が残り、この内区で根太材が遺存していた。西辺の土台材付近では、かわらけを中心とする比較的多くの遺物が発見された。

本遺構の出土遺物は、図 51～53 に掲載した。

#### 建物 16（図 14）

Ⅱ区南東角で検出され、遺構の大部分は調査区外に続く。ここも竪穴建物の重複が著しく、ほぼ同じ位置に建物 21 → 17 → 16（本遺構）の順で構築され、本遺構の北辺を建物 14 が切っていた。底面上の西辺と北辺で、構造材がわずかに遺存していた。

本遺構の出土遺物は、図 54 に掲載した。

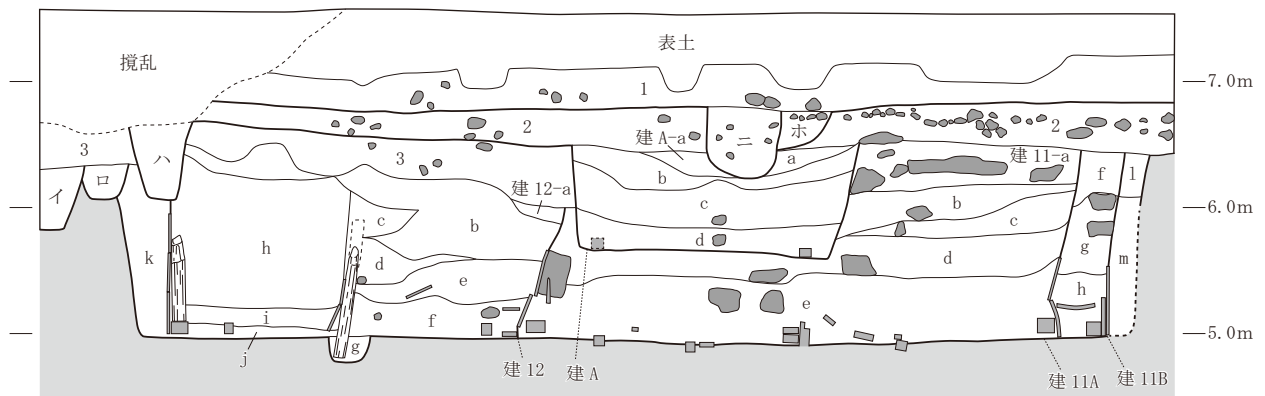
#### 建物 17（図 15）

Ⅱ区の南東角、建物 21・16 とほぼ同位置に重複して検出された。遺構の大部分は調査区外に続く。検出できたのはごく狭い範囲にとどまったが、北辺の土台材をはじめ、構造材が遺存していた。

本遺構の出土遺物は、図 55-793～804 に掲載した。

#### 建物 18（図 16）

Ⅱ区南東寄りの北壁際で検出され、南側半分ほどは調査区外に続く。この一画では、どの竪穴建物にも切られず最も新しい。北辺のごく一部で、壁板と思しき木材が遺存していた。



竪穴建物 A・11AB・12 (Ⅱ区北壁断面)

- 1. 褐色土 弱粘質土。
- 2. 褐色土 弱粘質土。
- 3. 灰褐色土 粘質土ブロックやや多い。締まりあり。
- イ. 灰褐色土 砂質土。粘質土ブロック多量。締まりあり。
- ロ. 灰褐色土 砂質土。粘質土ブロック少量。締まりあり。
- ハ. 褐色土 砂質土。黄色砂ブロックやや多い。
- ニ. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- ホ. 褐色土 砂質土。締まり弱い。

**建物 A**

- a. 褐色土 砂質土。締まりややあり。
- b. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- c. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- d. 褐色土 粘質土。炭化物多量。締まりややあり。

**建物 11A**

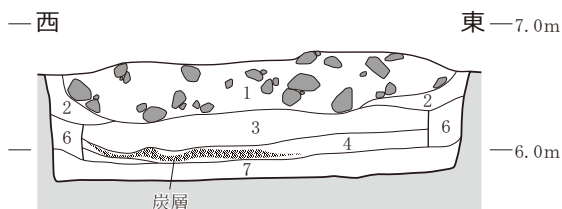
- a. 褐色土 弱粘質土。炭化物多量。締まりややあり。
- b. 褐色土 弱粘質土。炭化物多量。締まり弱い。
- c. 褐色土 砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まり弱い。
- d. 褐色土 砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まり弱い。
- e. 褐色土 砂質土。灰白色砂・炭化物多量。締まり弱い。

**建物 11B**

- f. 褐色土 砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まりややあり。
- g. 褐色土 砂質土。黄色砂多量。締まり弱い。
- h. 褐色土 砂質土。黄色砂多量。締まり弱い。
- l. 褐色土 砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まりややあり。
- m. 暗黄灰色土 砂質土。締まりややあり。

**建物 12**

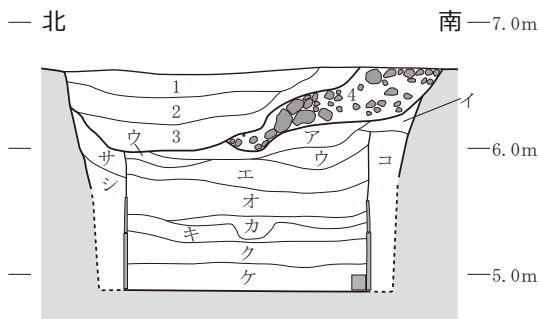
- a. 暗黄灰色土 黄色砂ブロック多量。締まり弱い。
- b. 黄灰色砂 粘質土ブロック少量。締まり弱い。
- c. 暗褐色土 粘質土。炭化物多量。締まり弱い。
- d. 褐色土 砂質土。炭化物多量。締まり弱い。
- e. 黄灰色砂 締まり弱い。
- f. 暗褐色土 砂質土。締まりややあり。
- g. 暗黄灰色土 砂質土。締まり弱い。
- h. 黄灰色土 砂質土。締まり弱い。
- i. 灰褐色土 砂質土。締まりややあり。
- j. 灰褐色土 砂質土。上部に黄灰色砂が薄く堆積。締まり強い。床下土。
- k. 黄灰色土 砂質土。締まりあり。裏込め。



竪穴建物 10 (東西断面)

**建物 10**

- 1. 褐色土 粘質土。締まり弱い。
- 2. 褐色土 粘質土。褐鉄やや多い。締まり弱い。
- 3. 暗褐色土 砂質土。黄色砂少量。締まり弱い。
- 4. 暗褐色土 粘質土。炭化物多量。締まり弱い。
- 5. 褐色土 粘質土。褐鉄やや多い。締まり弱い。
- 6. 褐色土 粘質土。締まりややあり。裏込め土。
- 7. 褐色土 粘質土。黄色砂混入。掘方。



竪穴建物 12 (南北断面)

**建物 12 (南北断面)**

- ア. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- イ. 黄褐色土 砂質土。締まり弱い。
- ウ. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- エ. 褐色土 砂質土。ウ層より炭多い。締まり弱い。
- オ. 褐色土 砂質土。締まり弱い。
- カ. 褐色土 粘質土。有機物腐植土・炭多量。締まり弱い。
- キ. 灰褐色土 砂質土。締まりあり。
- ク. 褐色土 砂質土。有機物腐植土やや多い。締まり弱い。
- ケ. 青灰色土 砂質土。粘質土ブロック少量。
- コ. 黄褐色土 砂質土。黒色土ブロック少量。
- サ. 黄褐色土 砂質土。灰白色砂と黄色砂が斑状に混入。
- シ. 褐色土 砂質土。黄色砂混入。掘方。
- ス. 黄白色砂 粘質土ブロック少量。

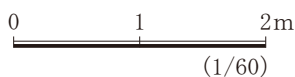
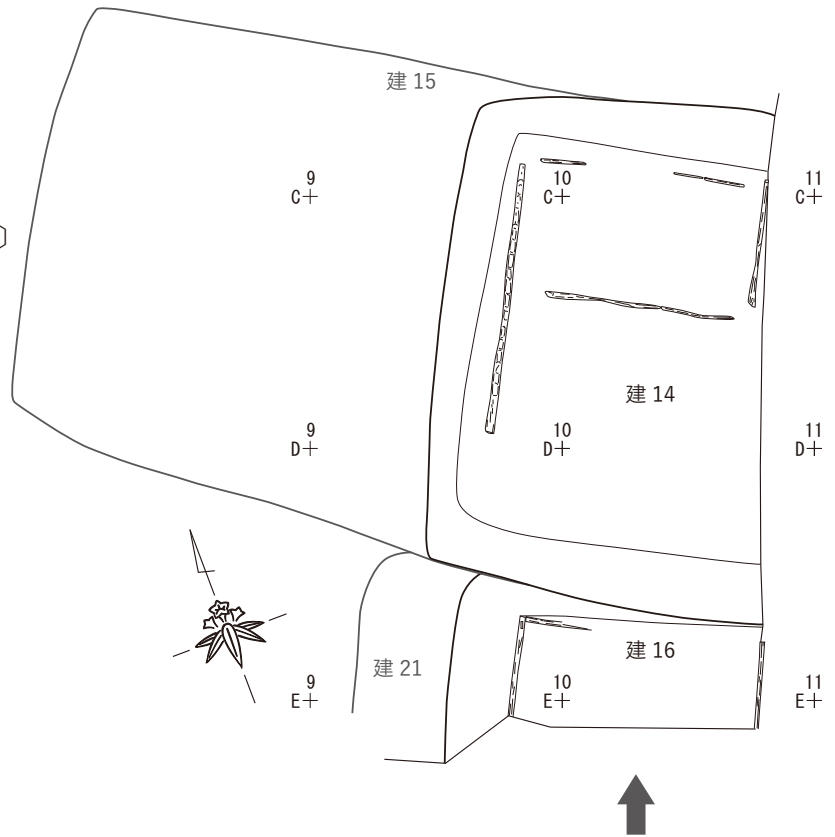


図 13 Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物 10・11・12 土層断面図

〔古〕建 15  
〔古〕建 21→建 17→建 16→建 14〔新〕  
 〳建 18〔新〕



建物 14 (南北断面)

1. 褐色土 弱粘質土。縮まりややあり。
2. 黄褐色土 弱粘質土。縮まりややあり。
3. 褐色土 弱粘質土。縮まり弱い。
4. 褐色土 弱粘質土。縮まりややあり。
5. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
6. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
7. 褐色土 粘質土。縮まり弱い。
8. 暗褐色土 砂質土。縮まりあり。
- \*. 注記なし
17. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。
18. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
19. 褐色土 弱粘質土。黄色砂ブロック多量。縮まりややあり。
20. 褐色土 弱粘質土。縮まり弱い。

建物 15 (南北断面)

9. 暗褐色土 粘質土。黄色砂多量。縮まりややあり。
10. 暗褐色土 粘質土。縮まり弱い。
11. 白黄色砂 縮まりややあり。
12. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。
13. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。
14. 褐色土 砂質土。黄色砂多量。縮まり弱い。
15. 灰褐色土 砂質土。縮まりややあり。
16. 暗褐色土 粘質土。縮まり弱い。

建物 23 ?

- ア. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。  
イ. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。

井戸 4 ?

- ウ. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。  
エ. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。  
オ. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。  
カ. 暗褐色土 粘質土。縮まりあり。

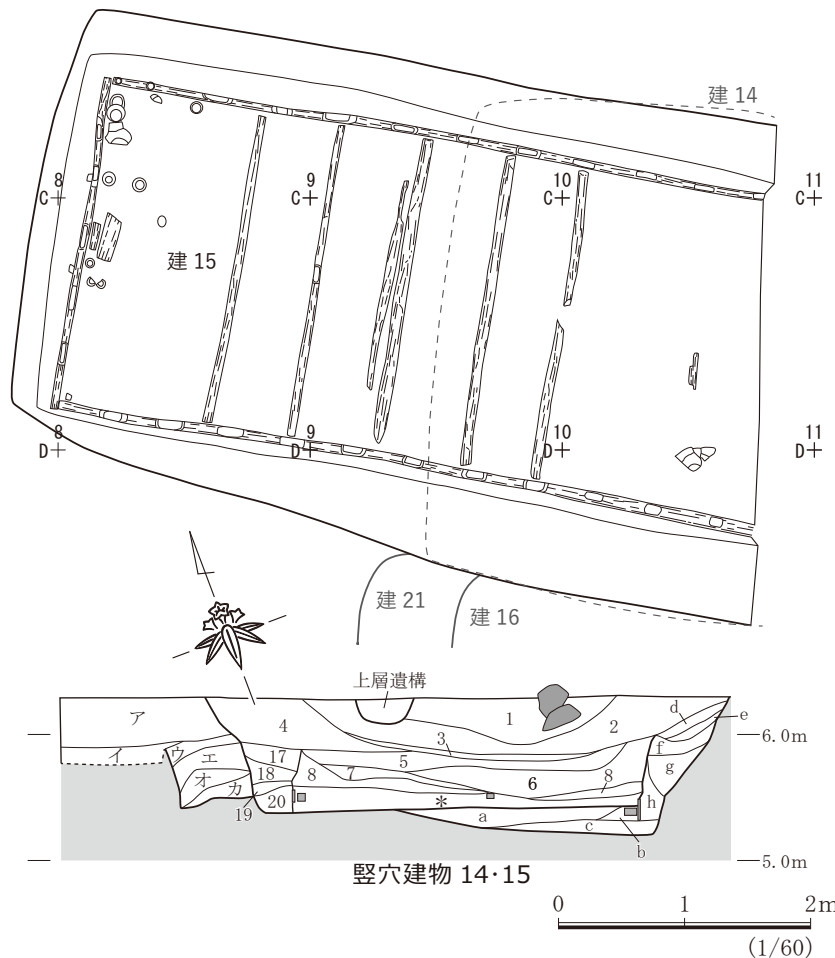


図 14 II 区下層遺構面 竪穴建物 14・15・16

本遺構の出土遺物は、図 55-805 ～ 827 に示した。

#### 建物 19 (図 16)

Ⅱ区中央部の南壁際で検出され、南側の多くの部分は調査区外に続く。建物 13 の下位に、ほぼ同じ位置で遺存していた。土台材や根太材の残りが良く、土台材の柄穴に立てられた柱も遺存していた。根太材も梯子のように一定間隔で配置されており、堅牢な床板張りであったことを窺わせる。

本遺構の出土遺物は、図 56 に掲載した。

**建物 20 (図 15)** Ⅱ区の東部で検出された。ほぼ重なる位置に、建物 15 が新規に構築されている。南東角で建物 21 と接するが、新旧関係は把握できなかった。概ね建物範囲の全体を検出することができ、底面の四周では土台材と壁板の一部が遺存していた。

本遺構の出土遺物は図 57 に掲載した。

#### 建物 21 (図 15)

Ⅱ区南東角で検出された。ほぼ同じ位置に建物 17 が重複して構築され、この場所では最も古い堅穴建物であった。遺構の大部分が調査区外に続くが、非常に特徴的な遺物の出土状況が確認できた。北辺の壁板が南側に倒れ込んで遺存し、その下から青磁碗や山茶碗がまとまって出土した。底面では壁際に沿って柱穴が巡り、次段階には土台構造の建物 17 へ移行する状況を把握できた。

本遺構の出土遺物は、図 58 ～ 61 に掲載した。

#### 建物 22 (図 16)

Ⅱ区中央部の西よりで検出され、調査区南壁外に続く。現地所見では 3 段階の変遷が追え、古い順に 22C → 22B → 22A へ移行するとしているが、土層断面図 (図 19) ではその痕跡を明確には読み取れない。以下、最古段階とされる建物 22C について記述する。

建物 9・19 に東西を挟まれる形で切られ、東側の建物 19 には掘方底面の下位まで削り取られていた。建物 9 の下位では西壁の立ち上がりを確認でき、ここから建物 19 までの狭間に床板が遺存していた。板材の腐朽が激しく撓んでしまっていたが、木目のラインから南北辺に小口を沿わせ敷かれていた状況が見て取れた。床板下では東西方向の根太材 2 本が残っていた。

本遺構の出土遺物は、図 62-933 ～ 942 に掲載した。

#### 建物 23 (図 17)

Ⅱ区北東角で検出され、大部分は調査区外に続く。建物 14・15 に切られる。図 14 の断面図からは、井戸 4 土層ウ・エ・オ・カを切っている可能性を指摘できる。検出できた範囲が狭小のため、堅穴建物と断定できる要素は少ない。

本遺構の出土遺物は少なく、図示できたのは図 62-943 ～ 945 の 3 点のみである。

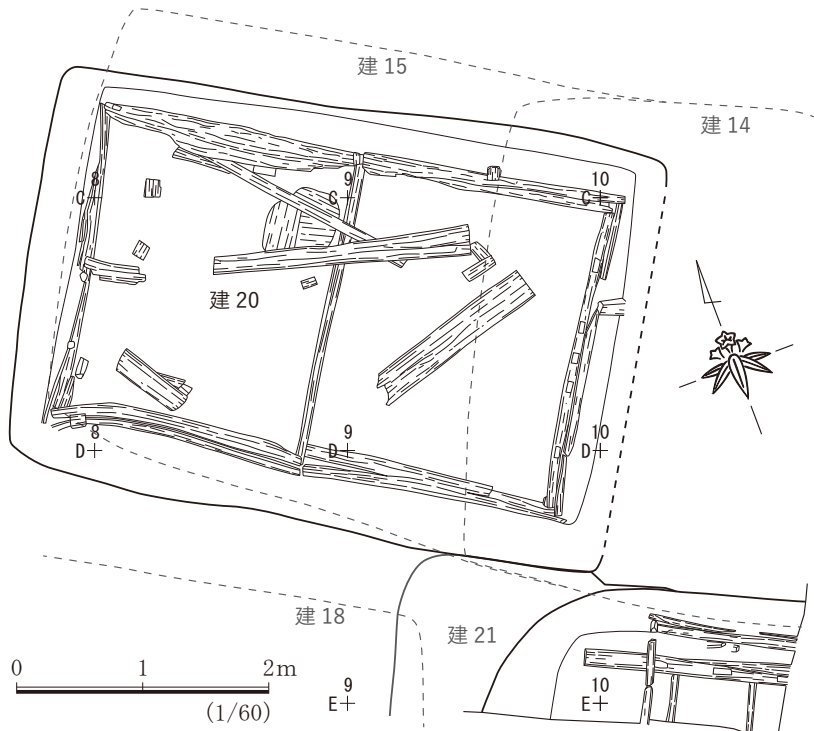
#### 建物 24 (図 16)

Ⅱ区中央部の南壁際で検出された。直接の切り合い関係では建物 18・19 よりも古く、この一画では最も古い建物である。遺構の大半は調査区外に続くため部分的な検出にとどまったが、底面上の土台・根太材と東辺の壁板が遺存していた。建物 19 の土台材は、これらの上に据えてある状況が確認されている (図版 17-2)。

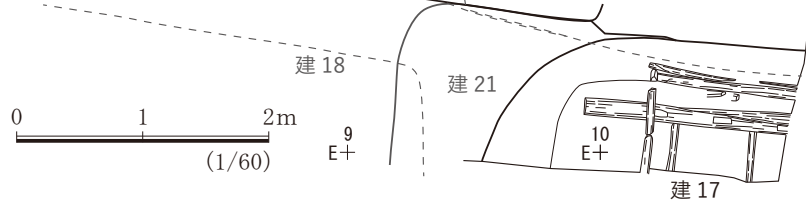
本遺構の出土遺物は、図 62-946 ～ 951 に掲載した。

#### 溝 1 (図 9)

I 区南部で検出された東西溝で、重複するいずれの堅穴建物にも切られるため、遺存範囲は限られていた。両端とも別遺構に切られ、7.4 m の長さまでを計測できた。走行軸は N75° W



〔古〕建 20→建 15→建 14〔新〕

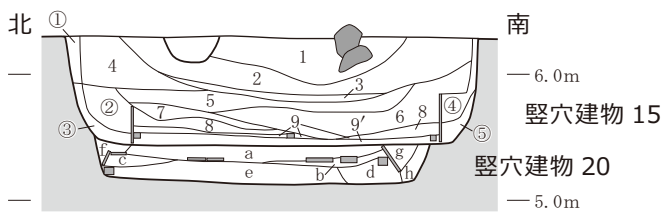
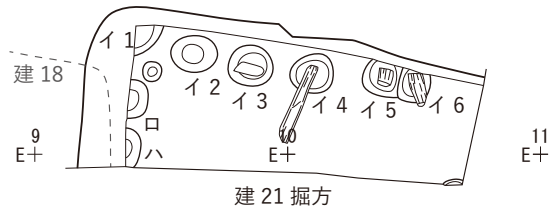
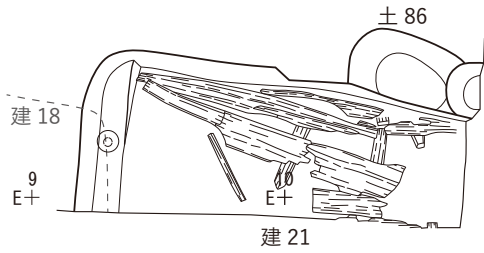


〔古〕建 21→建 17→建 16→建 14〔新〕  
 \ 建 18〔新〕

竪穴建物 21 柱穴一覽

区	遺構 No.	底面標高 (m)
I	ピット-イ-1	4.67
I	ピット-ロ	4.75
I	ピット-ハ	4.75
I	ピット-イ-2	4.74
I	ピット-イ-3	4.85
I	ピット-イ-4	4.82
I	ピット-イ-5	4.69
I	ピット-イ-6	4.82

平面規模は、図を参照のこと



建物 15 (南北断面)

- 1. 褐色土 弱粘質土。縮まりややあり。
- 2. 黄褐色土 弱粘質土。縮まりややあり。
- 3. 褐色土 弱粘質土。縮まり弱い。
- 4. 褐色土 弱粘質土。縮まりややあり。
- 5. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
- 6. 褐色土 砂質土。縮まりややあり。
- 7. 褐色土 粘質土。縮まり弱い。
- 8. 暗褐色土 砂質土。縮まりあり。
- 9.
- 9' 床下土。
- ①. 暗褐色土 弱粘質土。縮まりややあり。
- ②. 暗褐色土 弱粘質土。縮まりあり。
- ③. 暗褐色土 弱粘質土。縮まりあり。
- ④. 暗褐色土 弱粘質土。縮まりあり。
- ⑤. 暗褐色土 砂質土。縮まりややあり。

建物 20 (南北断面)

- a. 暗褐色土 砂質土。縮まりややあり。
- b. 暗褐色土 粘質土。縮まり弱い。
- c. 暗褐色土 粘質土。縮まり弱い。
- d. 黄色土 砂質土。縮まり弱い。
- e. 青灰色土 砂質土。縮まりややあり。
- f. 暗褐色土 弱粘質土。縮まりややあり。
- g. 暗褐色土 砂質土。黄白色砂ブロック少量。縮まりあり。
- h. 灰褐色土 砂質土。縮まりややあり。

図 15 II 区下層遺構面 竪穴建物 15・17・20・21

で、検出範囲では底面の傾斜具合（流下方向）は把握できなかった。

本遺構の出土遺物は、図 65-971 ~ 982 に掲載した。

### 土坑 18 (図 9)

I 区南西部で検出された。この一帯は土坑の重複が多く、本遺構は土坑 19 を切り、17・20 に切られる。埋土は有機質腐植土（マグソ）が主体で、試料を採取して花粉分析とプラント・オパール分析を行った。その結果、穎片も含めたイネのプラント・オパールが大量に検出され、土坑内に稲藁を廃棄した状況が

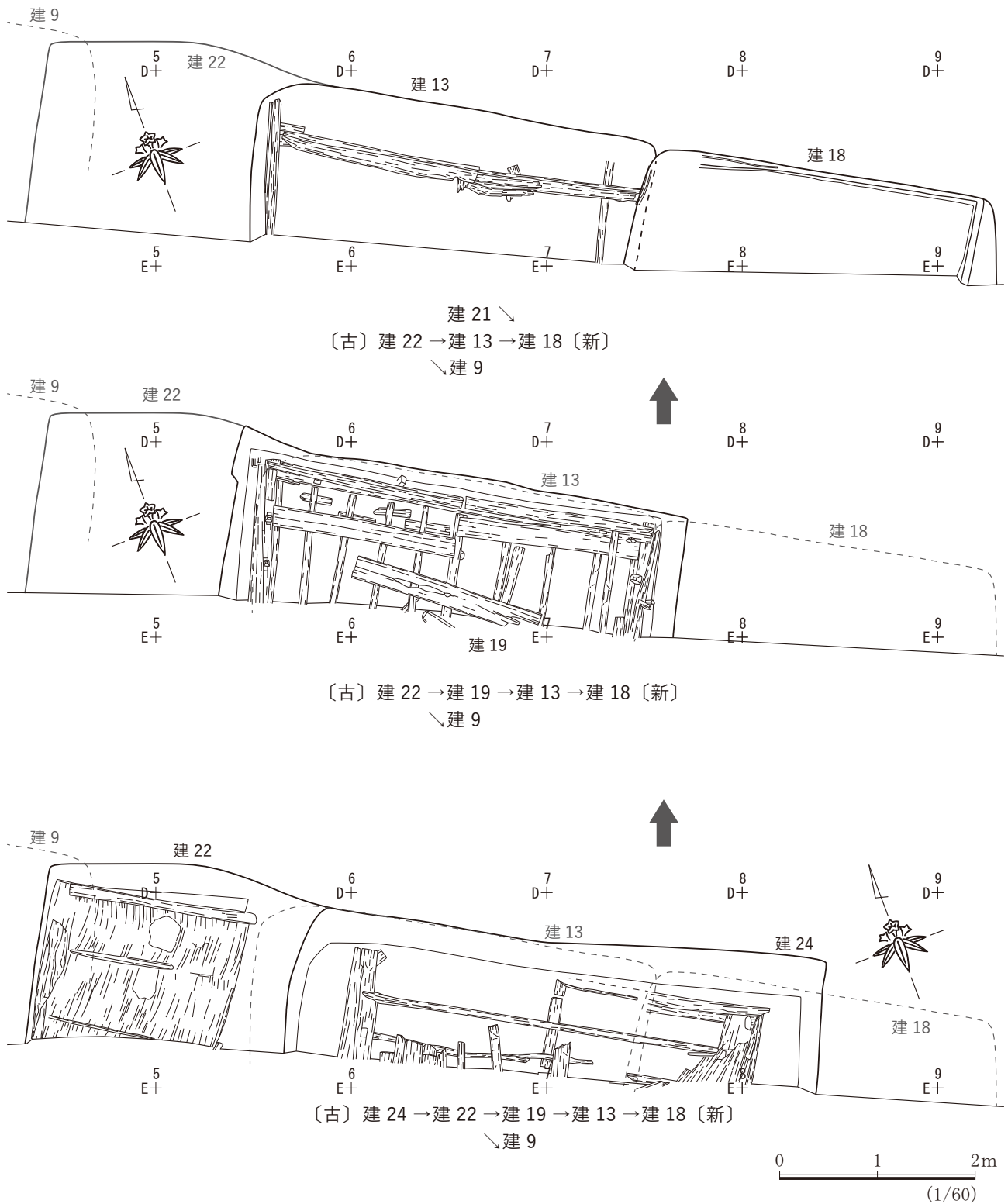


図 16 II 区下層遺構面 竪穴建物 13・18・19・22・24



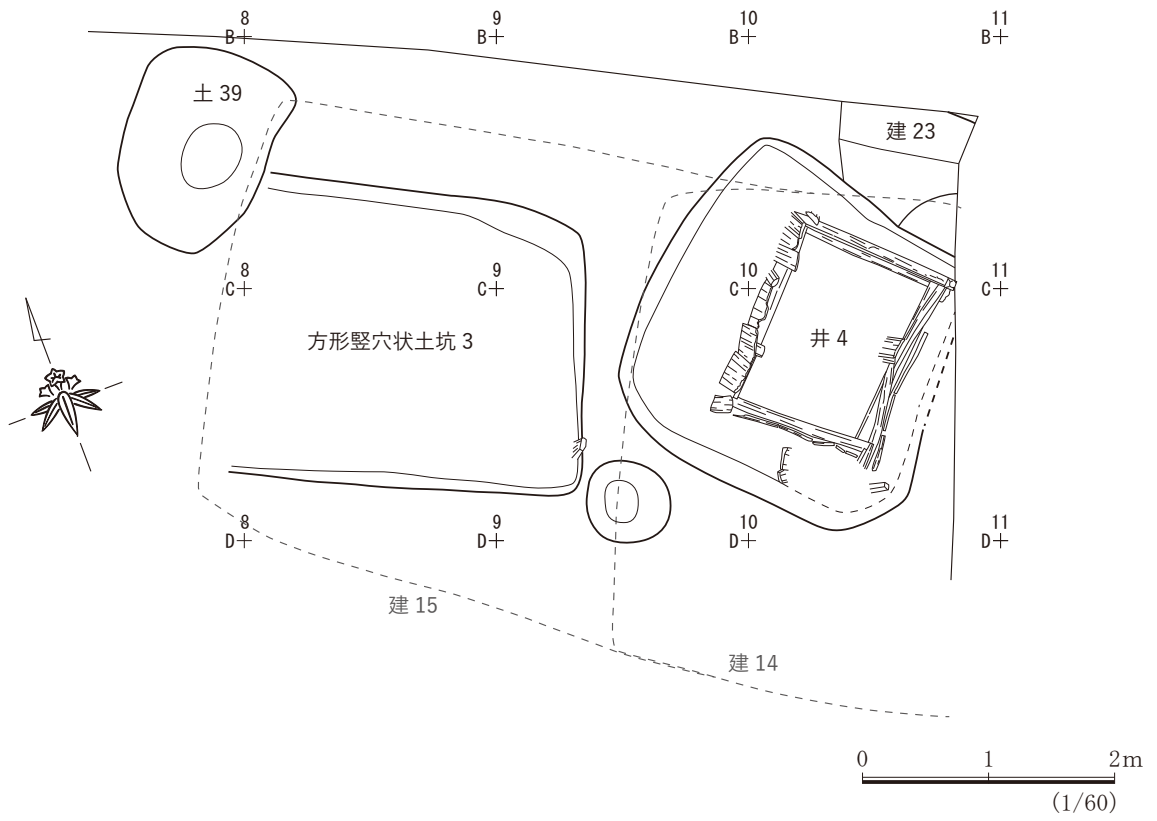
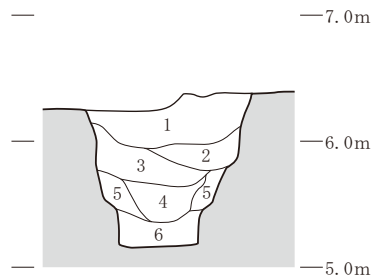
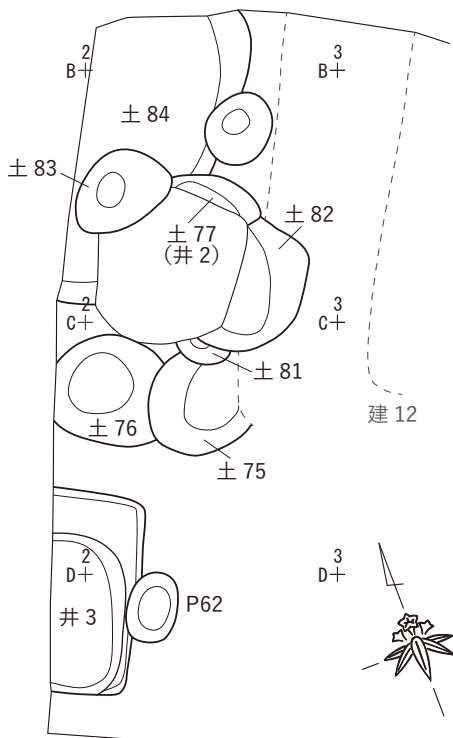


図 17 II区下層遺構面 竖穴建物 23・井戸 4 周辺



土坑 77 (井戸 2・上層で確認)

土坑 77

1. 灰褐色土 砂質土。黄色砂・粘質土ブロック多量。
2. 灰褐色土 砂質土。黄色砂多量、粘質土ブロック少量。
3. 灰褐色土 砂質土。黄色砂多量。
4. 灰褐色土 砂質土。黄色砂・粘質土ブロック多量。
5. 灰褐色土 砂質土。黄色砂非常に多い。
6. 灰褐色土 砂質土。黄色砂非常に多い。



土坑 79

土坑 79

1. 褐色土 粘質土。骨片やや多い。
2. 褐色土 粘質土。黄色砂ブロック多量。縮まり弱い。

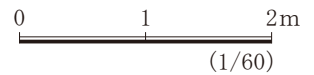
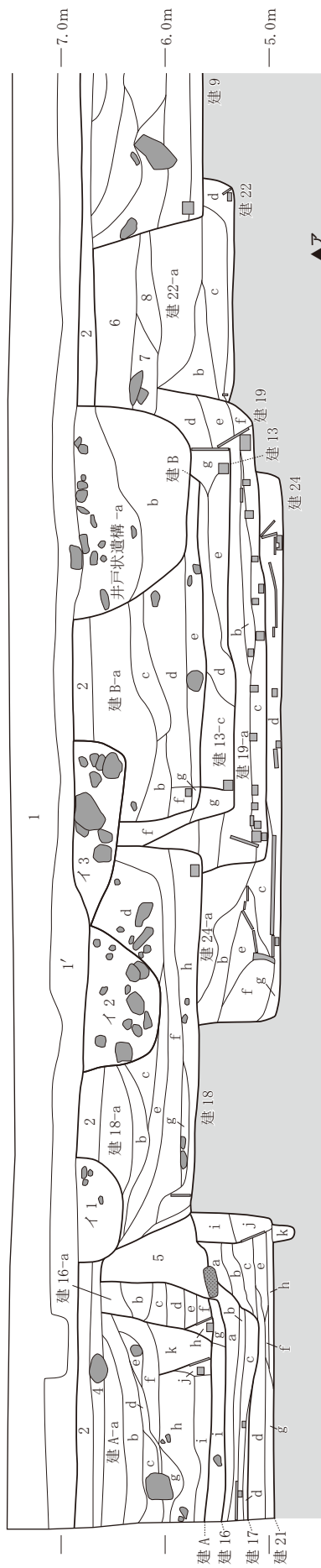
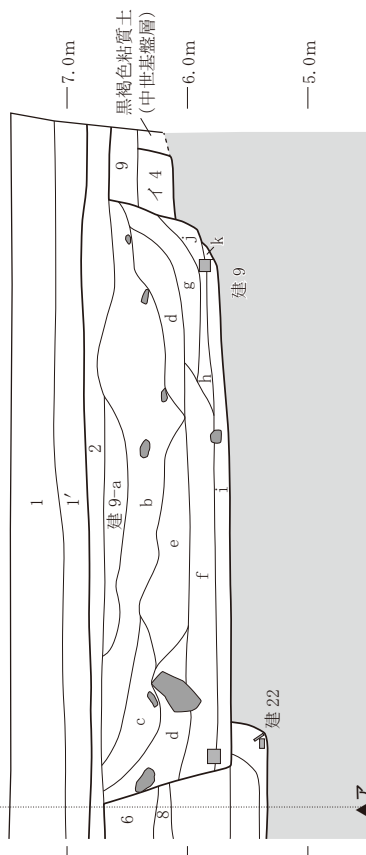


図 18 II区下層遺構面 遺構断面図



- 1. 褐色土
  - 1' 褐色土
  - 2. 褐色土
  - 4. 黄褐色土
  - 5. 暗褐色土
  - 6. 暗褐色土
  - 7. 暗褐色土
  - 8. 暗黄褐色土
  - 9. 褐色土
- 砂質土。縮まり弱い。中世遺物包含層。  
 弱粘質土。縮まり弱い。  
 砂質土。縮まりあり。  
 弱粘質土。薄い炭層が入る。縮まり弱い。  
 弱粘質土。縮まりあり。  
 弱粘質土。縮まり弱い。  
 弱粘質土。縮まりやややあり。  
 砂質土。縮まり弱い。  
 粘質土。縮まりあり。



- 建物 A**
- a. 褐色土
  - b. 灰褐色土
  - c. 灰褐色土
  - d. 灰褐色土
  - e. 褐色土
  - f. 褐色土
  - g. 褐色土
  - h. 褐色土
  - i. 褐色土
  - j. 褐色土
  - k. 褐色土
- 弱粘質土。縮まり弱い。  
 粘質土。黄色砂ブロック多量。縮まりやややあり。  
 粘質土。縮まりあり。  
 砂質土。黄色砂・炭化物多量。縮まりやややあり。  
 砂質土。炭化物多量。縮まりやややあり。  
 砂質土。黄色砂ブロック・炭化物多量。縮まりやややあり。  
 弱粘質土。縮まり弱い。  
 弱粘質土。炭化物多量。縮まりやややあり。  
 弱粘質土。縮まりあり。  
 粘質土。縮まり弱い。  
 弱粘質土。炭化物やや多い。縮まりやややあり。裏込め土。

- 建物 16**
- a. 褐色土
  - b. 褐色土
  - c. 褐色土
  - d. 褐色土
  - e. 灰褐色土
  - f. 褐色土
  - g. 褐色土
  - h. 褐色土
  - i. 褐色土
- 弱粘質土。縮まりやややあり。  
 弱粘質土。縮まりやややあり。  
 弱粘質土。黄色粘土ブロック多量。縮まり弱い。  
 砂質土。縮まりやややあり。  
 粘質土。縮まりあり。  
 弱粘質土。縮まり弱い。  
 弱粘質土。縮まり弱い。  
 弱粘質土。縮まり弱い。  
 弱粘質土。黄色砂ブロック多量。縮まりあり。
- 建物 17**
- a. 褐色土
  - b. 黄白色土
  - c. 暗褐色土
  - d. 青灰色土
- 弱粘質土。黄色砂ブロック多量。縮まりやややあり。  
 砂質土。黄色砂やや多い。縮まり弱い。床面上。  
 砂質土。縮まりやややあり。  
 砂質土。縮まり弱い。

図 19 II 区調査区南壁 土層断面図

**建物 9**

- a. 褐色土 弱粘質土。縮まりやややあり。
- b. 褐色土 弱粘質土。炭化物多量。縮まり弱い。
- c. 褐色土 砂質土。炭化物やや多い。縮まりあり。
- d. 褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- e. 暗灰褐色土 砂質土。黄色砂ブロック・炭化物多量。縮まり弱い。
- f. 暗褐色土 砂質土。褐鉄多量。縮まり弱い。
- g. 褐色土 弱粘質土。縮まりやややあり。
- h. 褐色土 砂質土。炭化物やや多い。縮まり弱い。
- i. 黄褐色土 砂質土。黄色砂ブロックやや多い。縮まりあり。床下土。
- j. 褐色土 砂質土。黄色砂ブロック多量。縮まりあり。
- k. 暗褐色土 粘質土。縮まりあり。

**建物 21**

- a. 暗褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- b. 暗褐色土 砂質土。炭化物多量。縮まりやややあり。
- c. 黄灰色土 砂質土。縮まりやややあり。
- d. 暗褐色土 砂質土。縮まり弱い。青磁碗の集中出土層。
- e. 黄灰色土 砂質土。縮まりやややあり。
- f. 青灰色土 砂質土。薄い炭層が入る。縮まり弱い。
- g. 黒褐色土 粘質土。縮まりあり。
- h. 黄褐色土 砂質土。縮まりあり。
- i. 暗褐色土 砂質土。黄色砂ブロック・炭化物多量。縮まりあり。
- j. 黄灰色土 砂質土。縮まりやややあり。
- k. 黄灰色土 砂質土。縮まり弱い。

**建物 18**

- a. 褐色土 弱粘質土。縮まりあり。
- b. 暗褐色土 粘質土。炭化物多量。縮まりあり。
- c. 褐色土 弱粘質土。縮まり弱い。
- d. 褐色土 弱粘質土。縮まり弱い。
- e. 褐色土 弱粘質土。炭化物やや多い。
- f. 褐色土 弱粘質土。縮まり弱い。
- g. 褐色土 弱粘質土。縮まりやややあり。
- h. 暗褐色土 弱粘質土。縮まりやややあり。
- i. 暗褐色土 弱粘質土。炭化物やや多い。縮まりやややあり。
- j. 褐色土 弱粘質土。黄色砂ブロック多量。縮まりあり。

**建物 B**

- a. 暗褐色土 弱粘質土。炭化物多量。縮まりあり。
- b. 褐色土 砂質土。黄色砂ブロック多量。縮まり弱い。
- c. 褐色土 粘質土。炭化物やや多い。縮まりやややあり。
- d. 褐色土 弱粘質土。炭化物・灰ブロック多量。縮まりやややあり。
- e. 褐色土 砂質土。黄色砂ブロックが斑状に混入。縮まり弱い。
- f. 暗灰褐色土 砂質土。縮まりやややあり。
- g. 暗灰褐色土 砂質土。縮まりあり。

**建物 13**

- c. 暗黄褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- d. 褐色土 粘質土。縮まり強い。
- e. 暗黄褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- f. 暗灰褐色土 弱粘質土。炭化物やや多い。縮まりあり。
- g. 黄褐色土 砂質土。縮まりやややあり。

**建物 19**

- a. 褐色土 砂質土。縮まりやややあり。
- b. 灰褐色土 砂質土。灰色砂多量。縮まりやややあり。
- c. 暗灰色砂 粘質土。縮まり強い。床下堆積土。
- d. 灰褐色土 砂質土。縮まりあり。
- e. 褐色土 砂質土。縮まり強い。
- f. 暗褐色土 粘質土。縮まり強い。

**建物 22**

- a. 暗褐色土 弱粘質土。縮まりやややあり。
- b. 灰褐色土 砂質土。黄色砂やや多い。炭化物多量。縮まり弱い。
- c. 褐色土 弱粘質土。炭化物多量。縮まりやややあり。

**建物 24**

- a. 灰褐色土 砂質土。炭化物やや多い。縮まり弱い。
- b. 黄褐色土 砂質土。縮まりやややあり。
- c. 暗褐色土 砂質土。縮まり弱い。
- d. 暗褐色土 粘質土。縮まり弱い。
- e. 暗黄灰色土 砂質土。炭化物多量。縮まりやややあり。
- f. 黄褐色土 砂質土。灰色砂ブロック多量。縮まりあり。
- g. 黄灰色土 砂質土。黄色砂多量。縮まりあり。
- h. 黄褐色土 砂質土。黄色砂多量。縮まりあり。

**井戸状遺構**

- a. 褐色土 弱粘質土。縮まりあり。
- b. 褐色土 弱粘質土。縮まりあり。
- イコウ1 褐色土 砂質土。最下部に10cm厚の炭層が堆積。縮まり弱い。
- イコウ2 暗褐色土 粘質土。最下部に15cm厚の炭・灰層が堆積。縮まり弱い。
- イコウ3 暗褐色土 粘質土。縮まり弱い。
- イコウ4 灰褐色土 砂質土。縮まり弱い。

想定されている。(付編参照)。「マグソ」の生成要因を考えるに当たり、重要な分析結果である。

本遺構の出土遺物は僅少で、図示すべき資料はなかった。

#### 土坑 20 (図 9・10)

I 区の南西部で検出され、南側は調査区外に続く。現地調査時に土坑 18 と混同されたようで、土層断面(図 10)の埋土について、有機質腐植土が下層に堆積し、トイレの可能性を含むことがメモ書きされている。今となつては実証に資する記録がないため、上述した土坑 18 の分析試料が土坑 20 に帰属する可能性が皆無ではないことだけ記しておく。

#### 井戸 3 (図 18)

II 区の南西角付近で検出され、西半部は調査区外に続く。安全面を考慮して埋土を完掘できておらず、杵材などの検出には及んでいない。

本遺構の出土遺物は僅少で、図示すべきものは皆無であった。

#### 井戸 4 (図 17)

II 区の東部に位置し、建物 15 の掘方底面で検出され重複するどの堅穴建物よりも古い。東西 140 cm × 南北 160 cm の井戸杵が設置されていた。安全面を考慮し、埋土は完掘できなかつた。

本遺構の出土遺物は、図 63 と図 65-983 に掲載した。

#### 方形堅穴状土坑 3 (図 17)

II 区東部、建物 20 の下位で検出され、重複するどの堅穴建物よりも古い。掘方底面は平らで、ほぼ垂直に立ち上がる壁は約 30cm の高さを計測できた。西辺の壁は、遺存していなかつた。

本遺構からの出土遺物は皆無であった。

#### II 区土坑群 (図 18)

II 区北西角付近では、堅穴建物が構築されない場所に土坑群が重複した状態で検出された。この近辺では上層遺構面でも土坑の重複が著しく、これらの掘り足りていない部分を下層で追加確認したケースもあり得る。各土坑の概要は、表 3 の一覧に掲げた。土坑 77 については現地調査時に井戸 2 の名称も付されていたが、坑底レベルが方形堅穴状土坑 3 の底面より高い位置にあることから、中世においても湧水層に達していなかつた可能性が指摘できる。井戸杵の痕跡も確認できなかつたので、井戸とは考えにくい。

各土坑の出土遺物は、図 64 に掲載した。

## 第 2 節 出土遺物

出土量に関する情報は表 5 のカウント・計量表にまとめた。遺物個々の特徴については、表 6 の遺物観察表を参照されたい。

以下、層位・遺構出土の遺物について、大まかな特徴や傾向を説明する。

#### (1) 上層遺構面検出までの出土遺物 (図 20 ~ 23)

近世以降の遺物は省略しているが、砥石で大型の資料は戦国~近世に属するかもしれない。かわらけには厚手・外反器形の資料も散見されるが、土坑 39 ほど量的なまとまりはない。概ね、13 世紀後半~14 世紀代を中心とする遺物である。

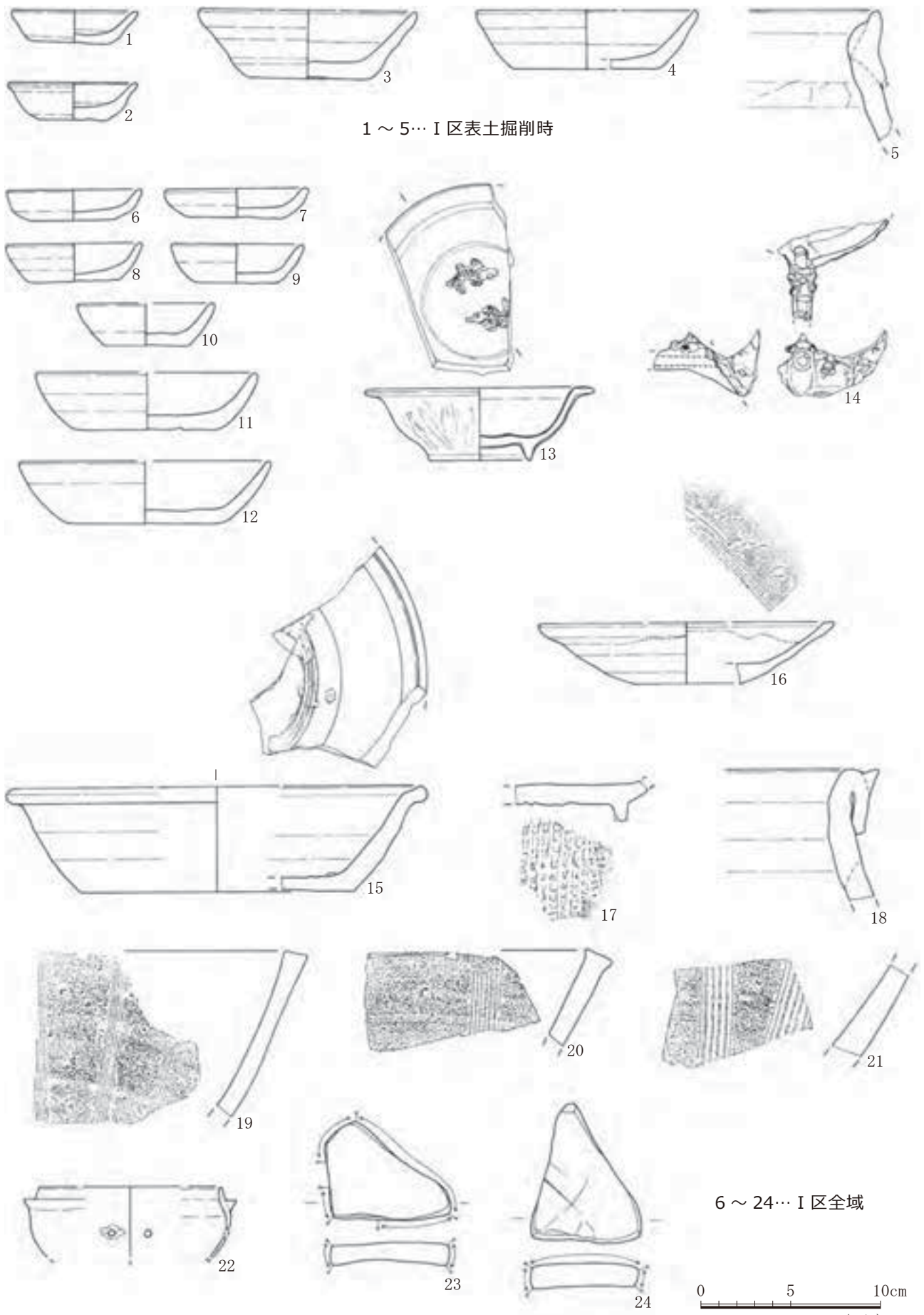
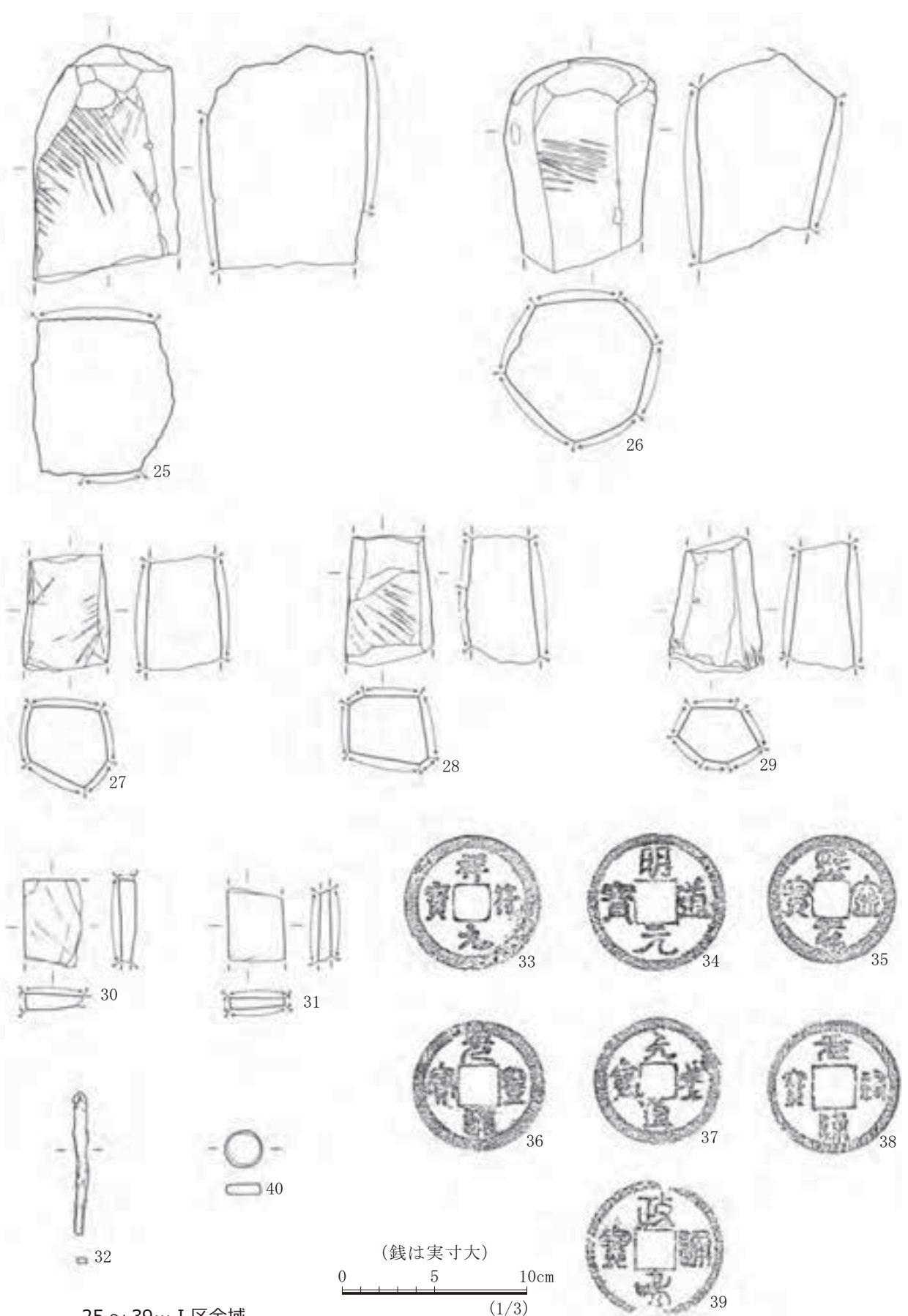


図20 I区 上層遺構面検出までの出土遺物 (1)



25 ~ 39... I区全域

図 21 I 区 上層遺構面検出までの出土遺物 (2)

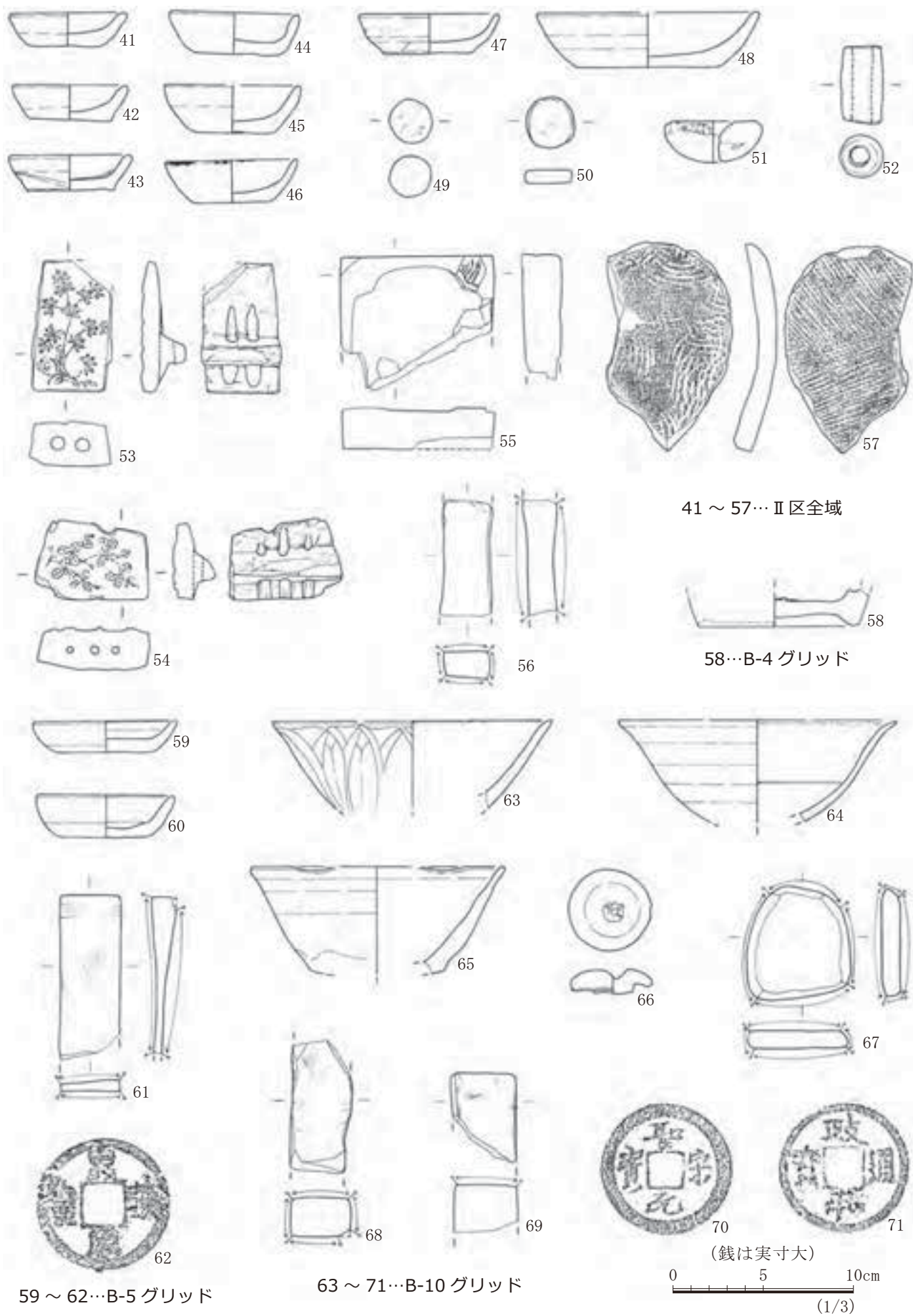


図 22 II区 上層遺構面検出までの出土遺物 (1)

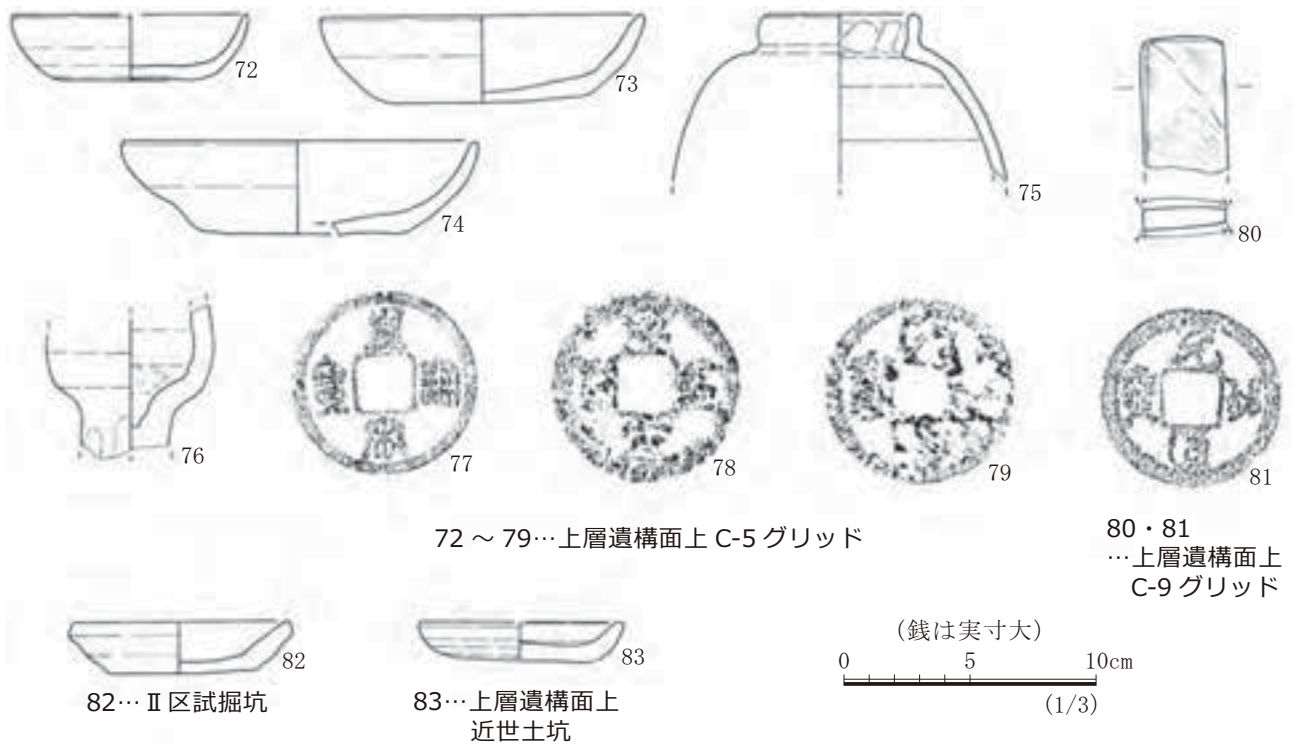


図 23 Ⅱ区 上層遺構面検出までの出土遺物 (2)・試掘坑・近世土坑

(2) 上層遺構面の遺構出土遺物

竪穴建物 1 の出土遺物 (図 24)

かわらけは埋土出土の 84～86の方が床面上の 100～102より深身で口径：底径比が大きく、後出的な様相を呈している。全体を通して他の上層遺構より古い遺物様相を呈していることから、下層遺構面における最新段階の竪穴建物という位置付けができるかもしれない。

井戸 1 の出土遺物 (図 25・26)

かわらけの器壁は厚く、直線的に開く器形が目立つ。極小～大型まで、法量は 4 段階に分けられそうである。114・123・156のように低くて丸みをもつものは相対的に古い様相を残している。瀬戸は後期様式の製品が混じり、常滑甕は 9 型式以降の製品を含むことから、全体としては 15 世紀前半～中頃という遺構の廃絶年代が導き出せようか。

据甕遺構の出土遺物 (図 27)

157 は据甕本体の復元図で、口縁の縁帯幅が 5cm 近くまで延びていることから常滑 7 型式頃に相当するであろう。他に、ロクロ成形のかわらけや備前すり鉢などを図示した。



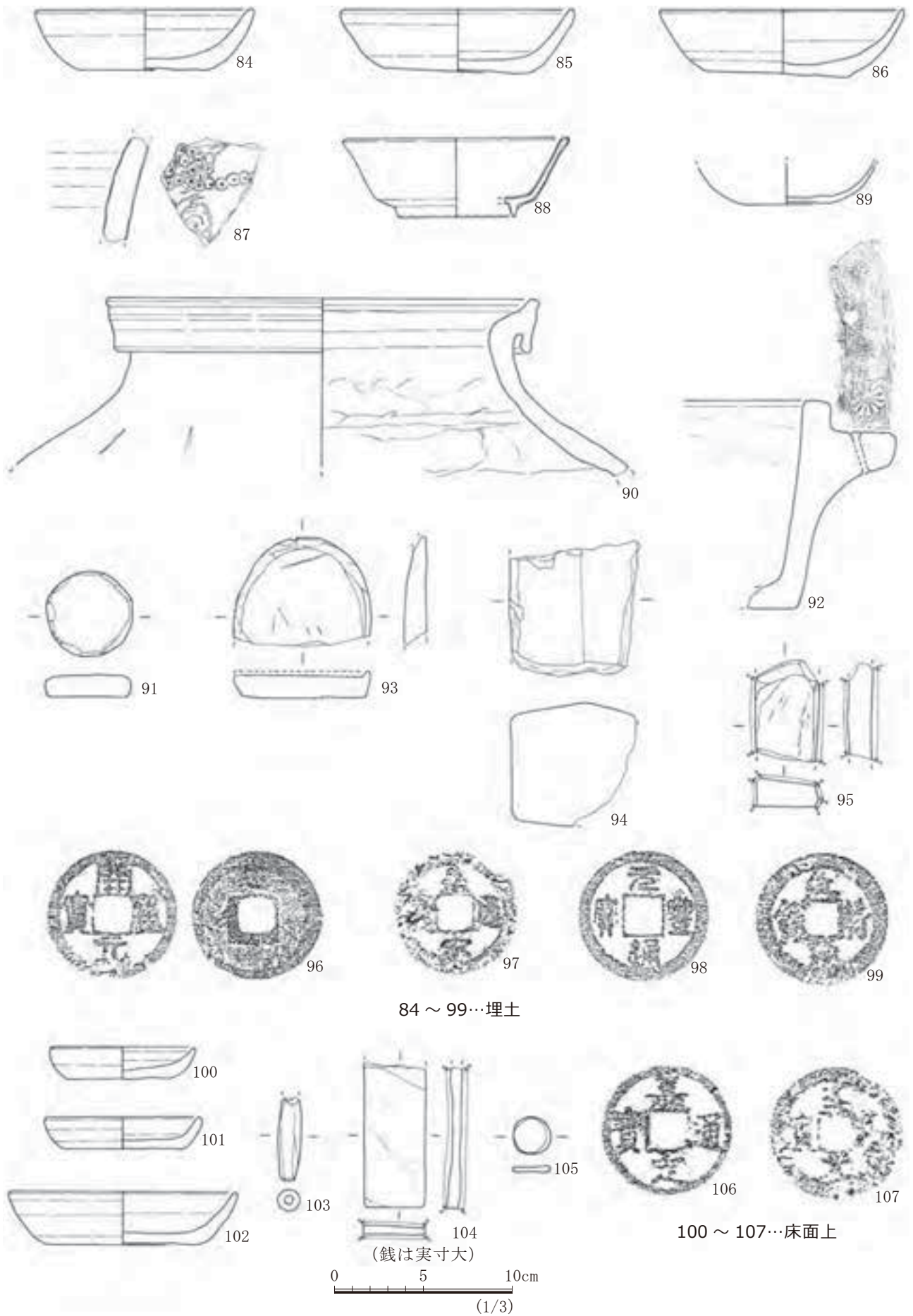


図 24 I 区上層遺構面 竪穴建物 1 出土遺物

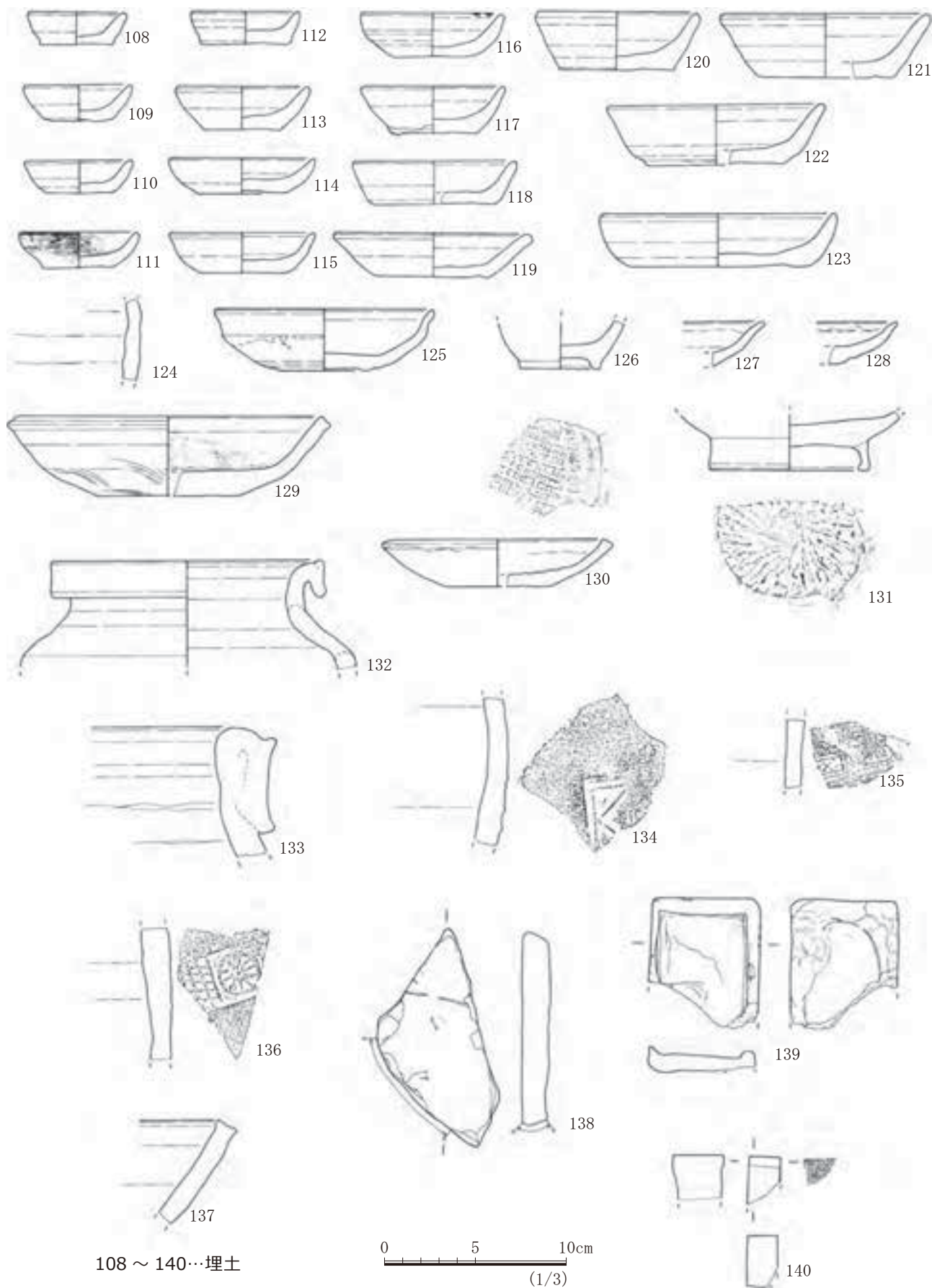
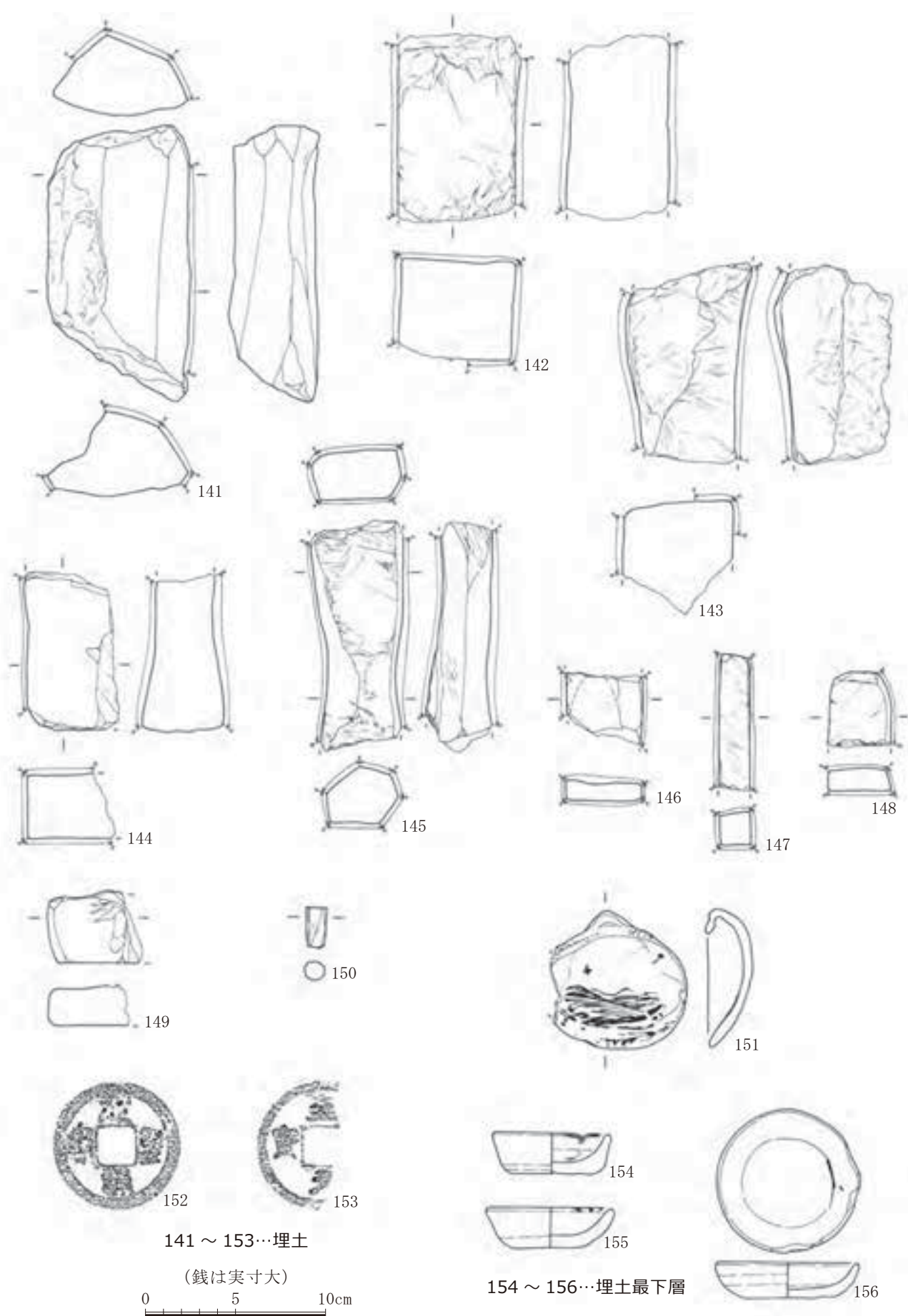


图 25 I 区上層遺構面 井戸 1 出土遺物 (1)



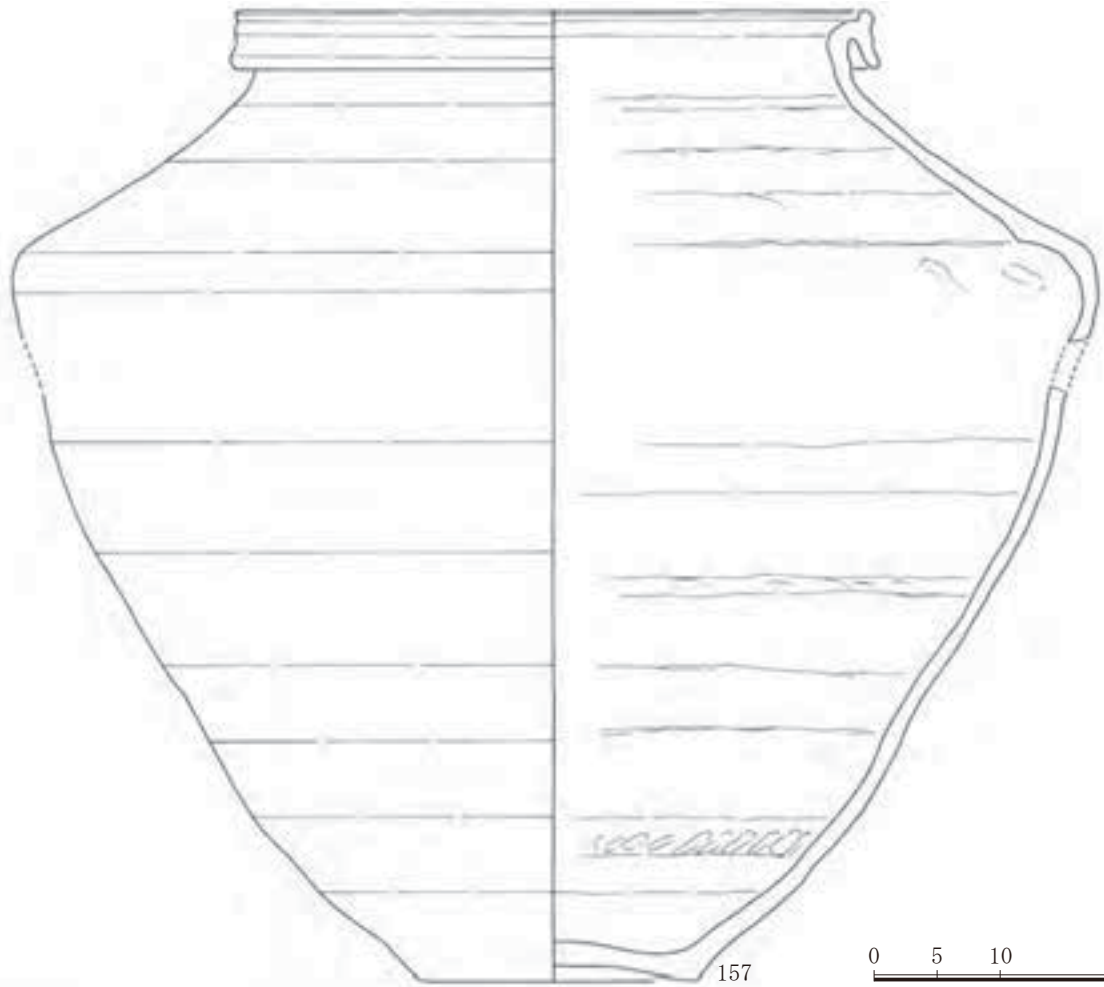
141 ~ 153...埋土

(錢は実寸大)

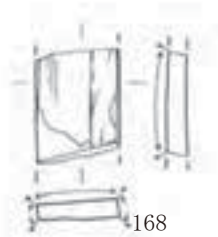
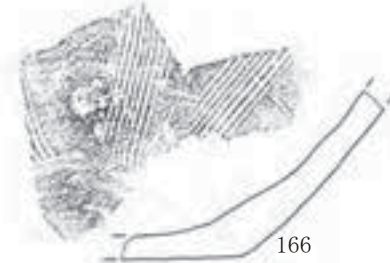
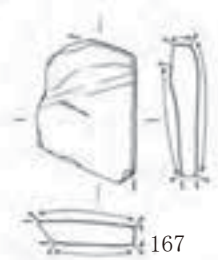
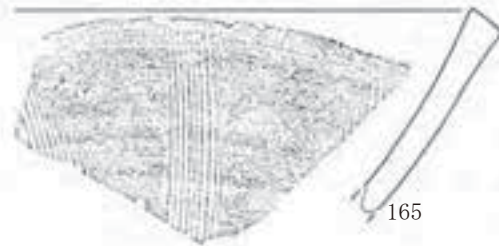
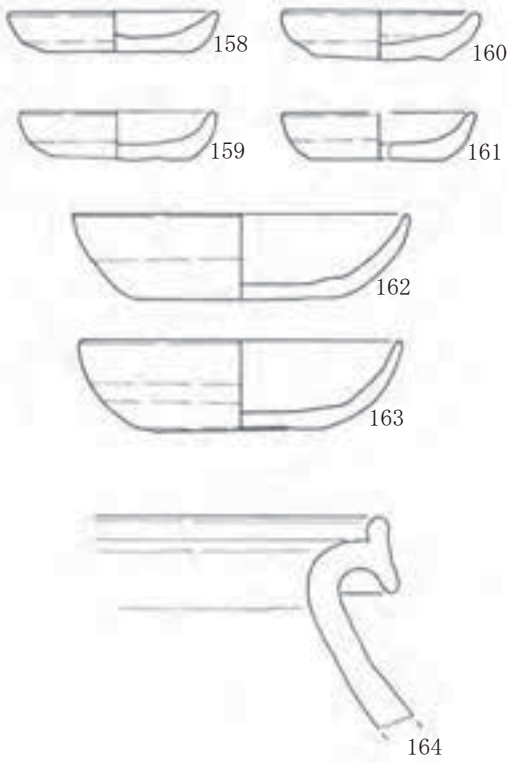
0 5 10cm  
(1/3)

154 ~ 156...埋土最下層

图 26 I 区上層遺構面 井戸 1 出土遺物 (2)



0 5 10 20cm  
(1/6)



0 5 10cm  
(1/3)

图 27 II 区上層遺構面 据甕遺構出土遺物

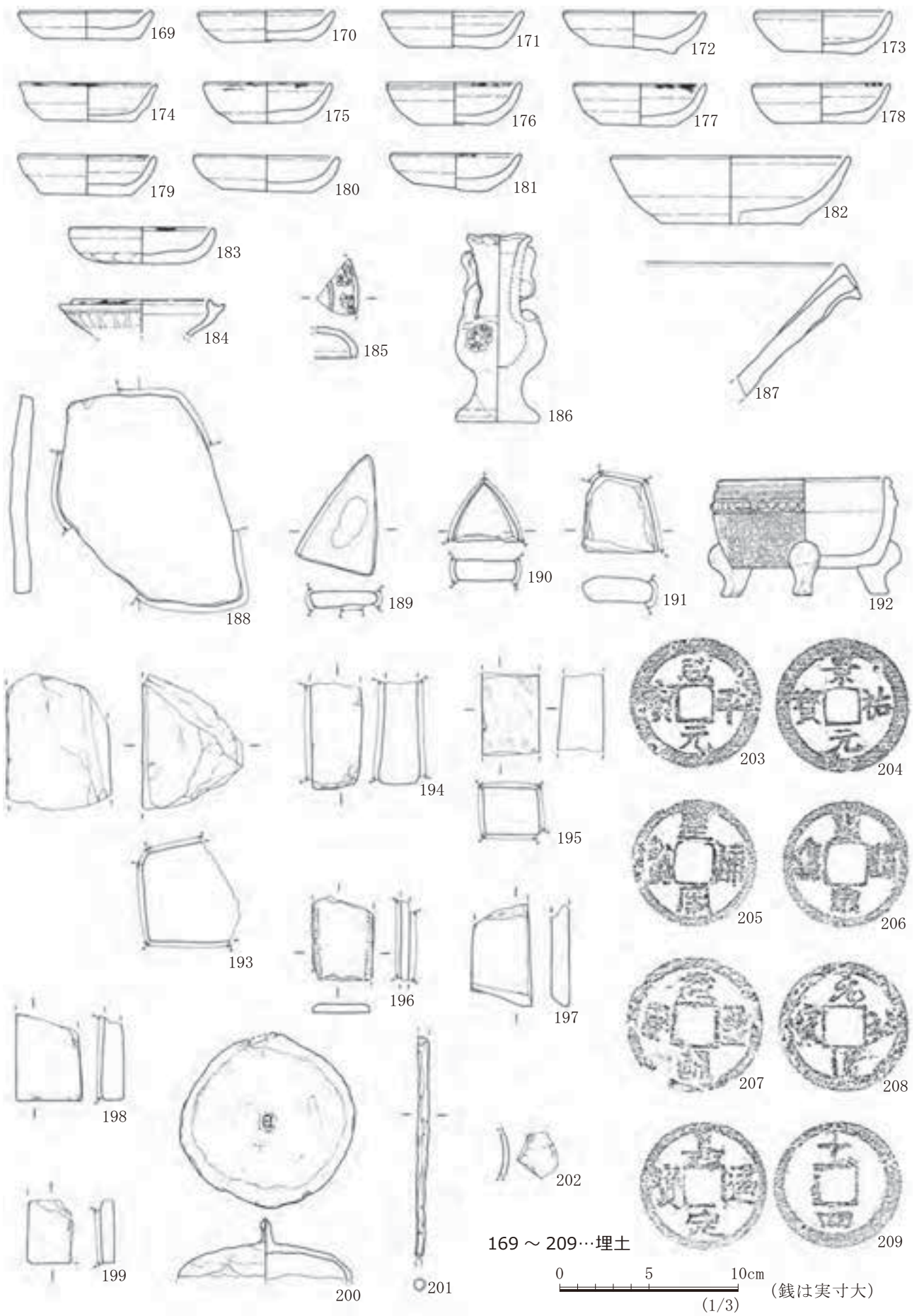


图 28 II 区上層遺構面 方形竖穴状土坑 1 出土遺物 (1)

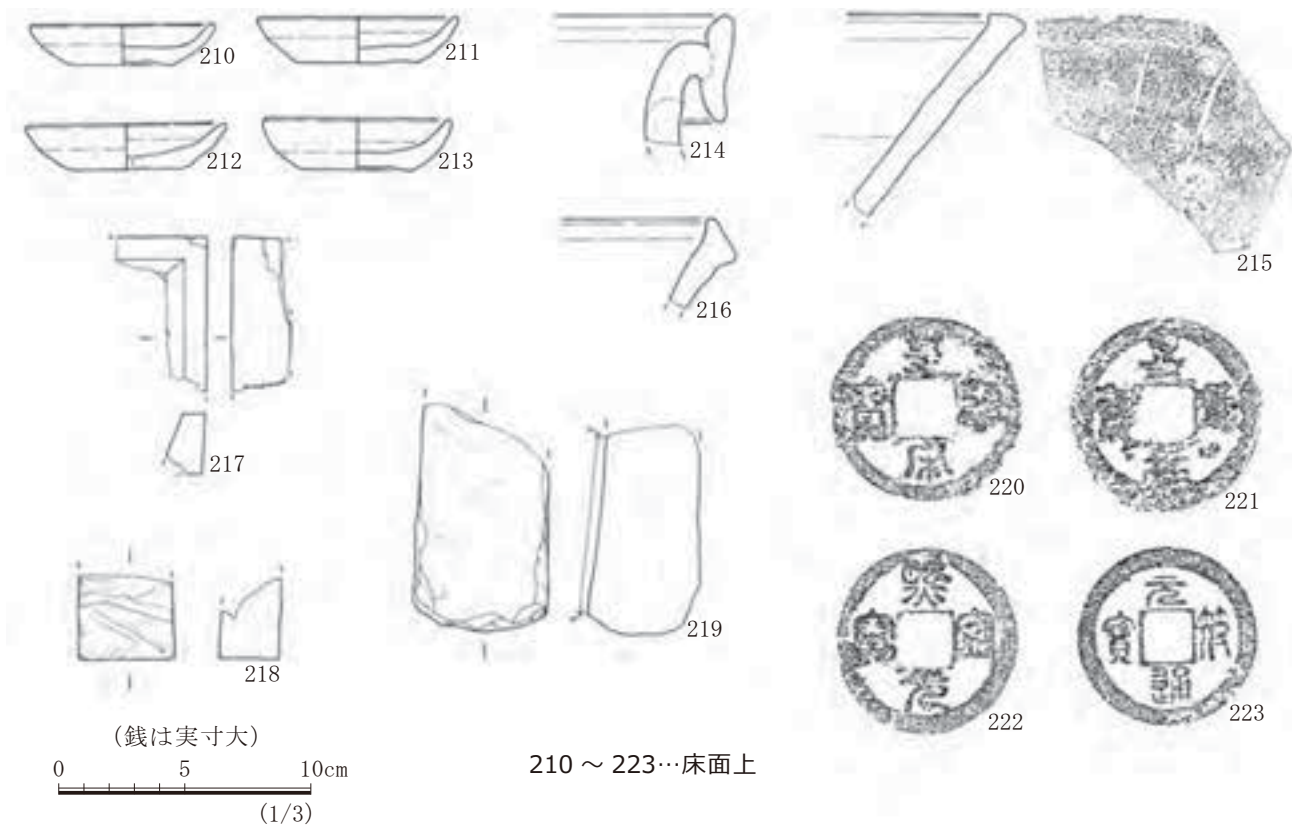


図 29 II 区上層遺構面 方形竪穴状土坑 1 出土遺物 (2)

方形竪穴状土坑 1 の出土遺物 (図 28・29、土坑 31 : 図 31)

かわらけはロクロ成形の小皿が主体で、体部に丸みを持つ個体が大部分を占める。低平な 169～171、210・211 と、やや深身器形の 175～179 という 2 種類の器形に大別できる。186 は瀬戸の小型花瓶で、中期様式前半の所産品である。総じて 14 世紀前半に年代的なまとまりを見出せ、上層遺構面の中では比較的古い遺物様相といえる。

なお、図 31-267～270 と図版 11・26 に土坑 31 の遺物および出土状況に関する情報を掲載しているが、本遺構は平面図がなく、方形竪穴状土坑 1 のほぼ中央上位に重なる位置にあることから、現地調査時に同一の遺構として判断されたようである。図 31-268・269 のロクロかわらけ大皿は、やや腰が張る体部から口縁がわずかに外方へ引き伸ばした器形であり、方形竪穴状土坑 1 出土の図 28-182 よりも後出の要素を有している。

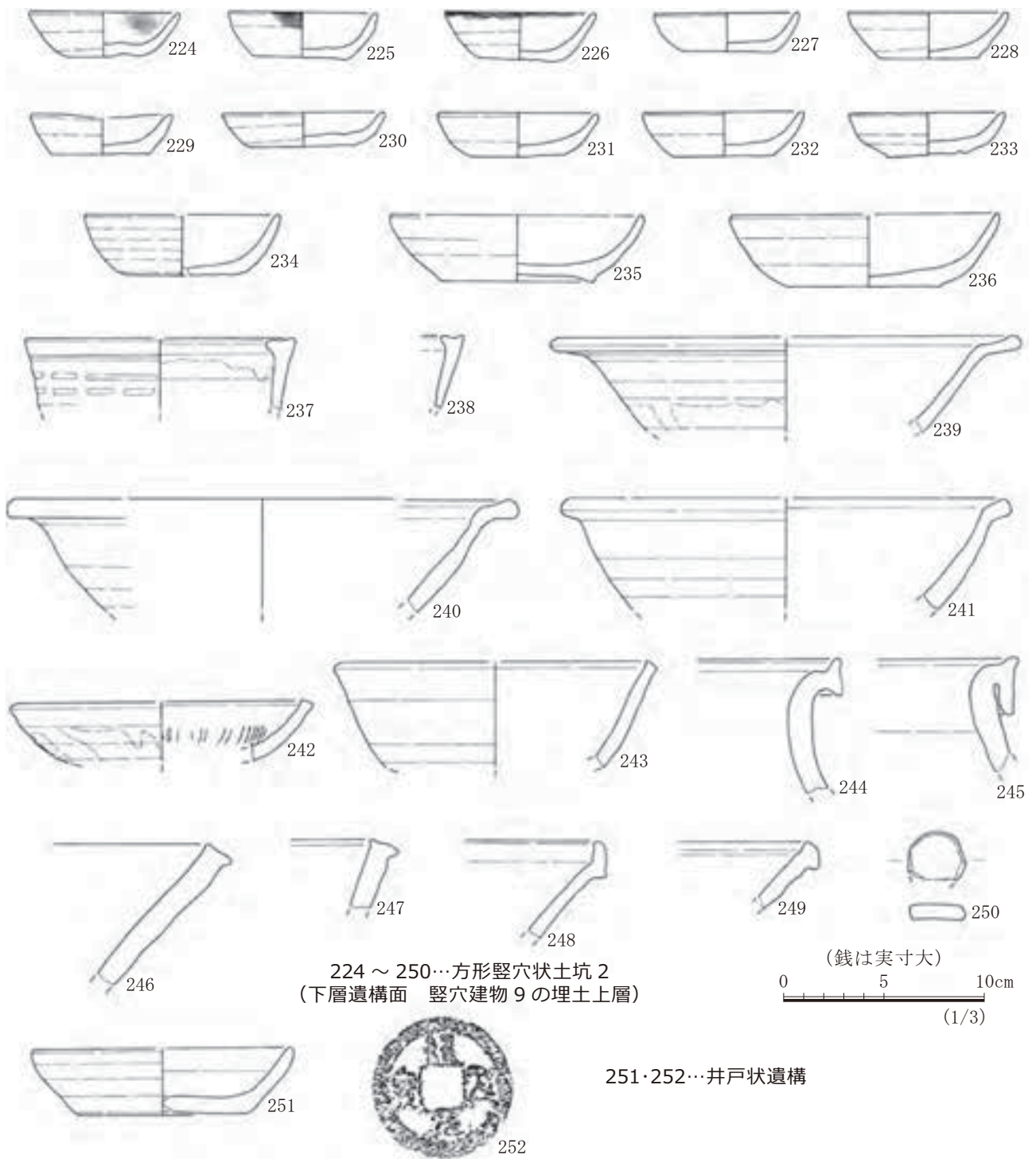


図 30 II 区上層遺構面 方形竪穴状土坑 2・井戸状遺構出土遺物

方形竪穴状土坑 2 の出土遺物 (= 下層竪穴建物 9、図 30)

かわらけ (224 ~ 236) はロクロ成形品のみで、大・小とも深身で内湾するものが主体をなしている。残存度は低いですが、中型品 (234) もわずかながら認められた。

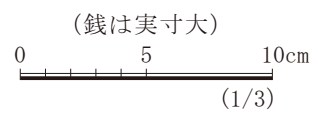
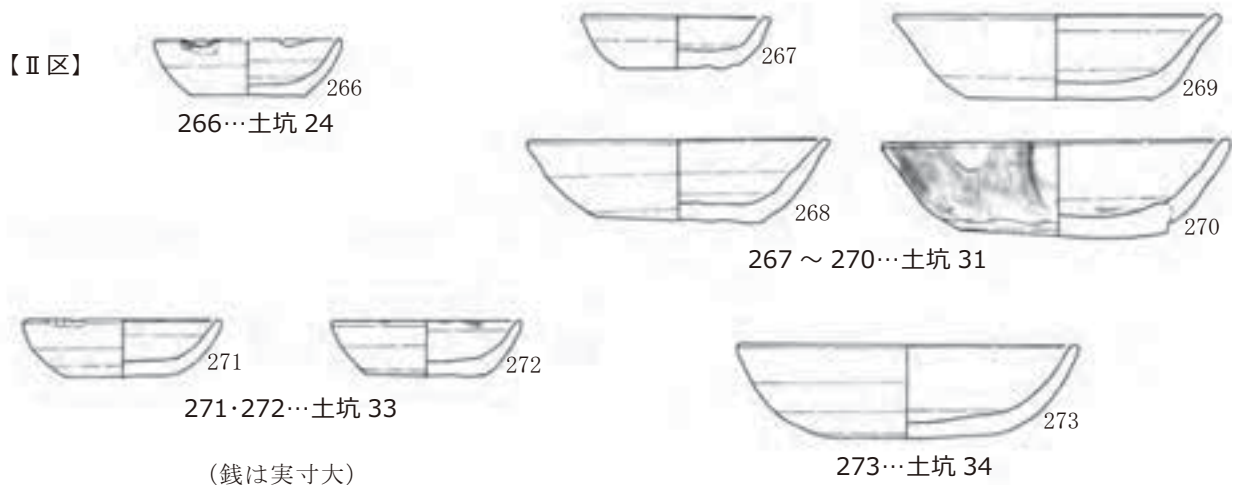
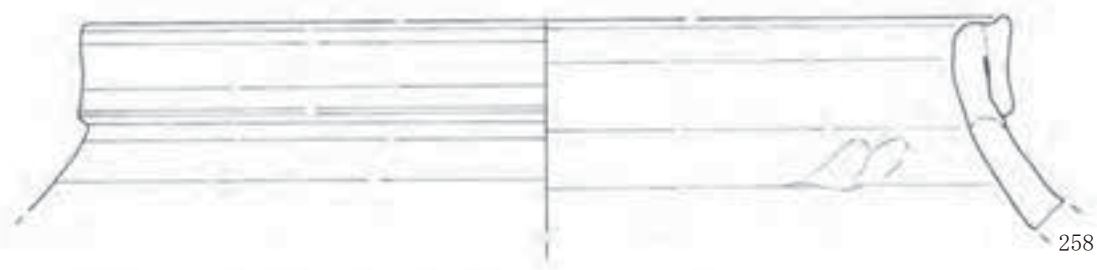
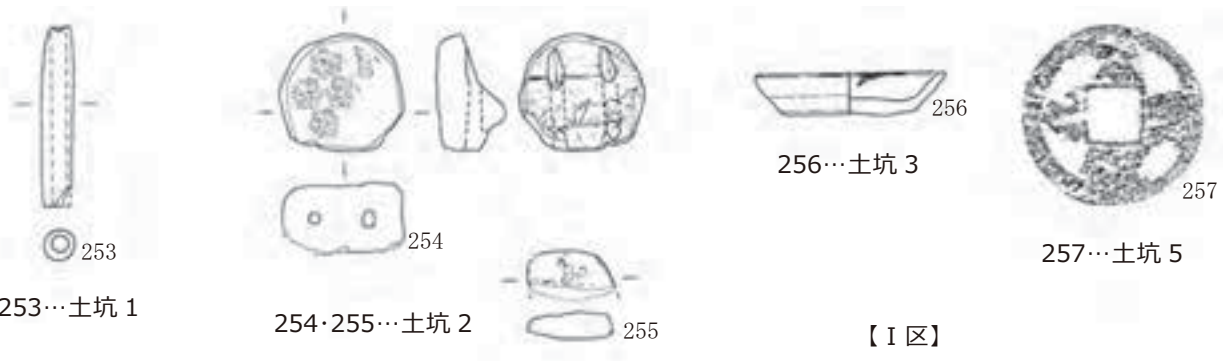
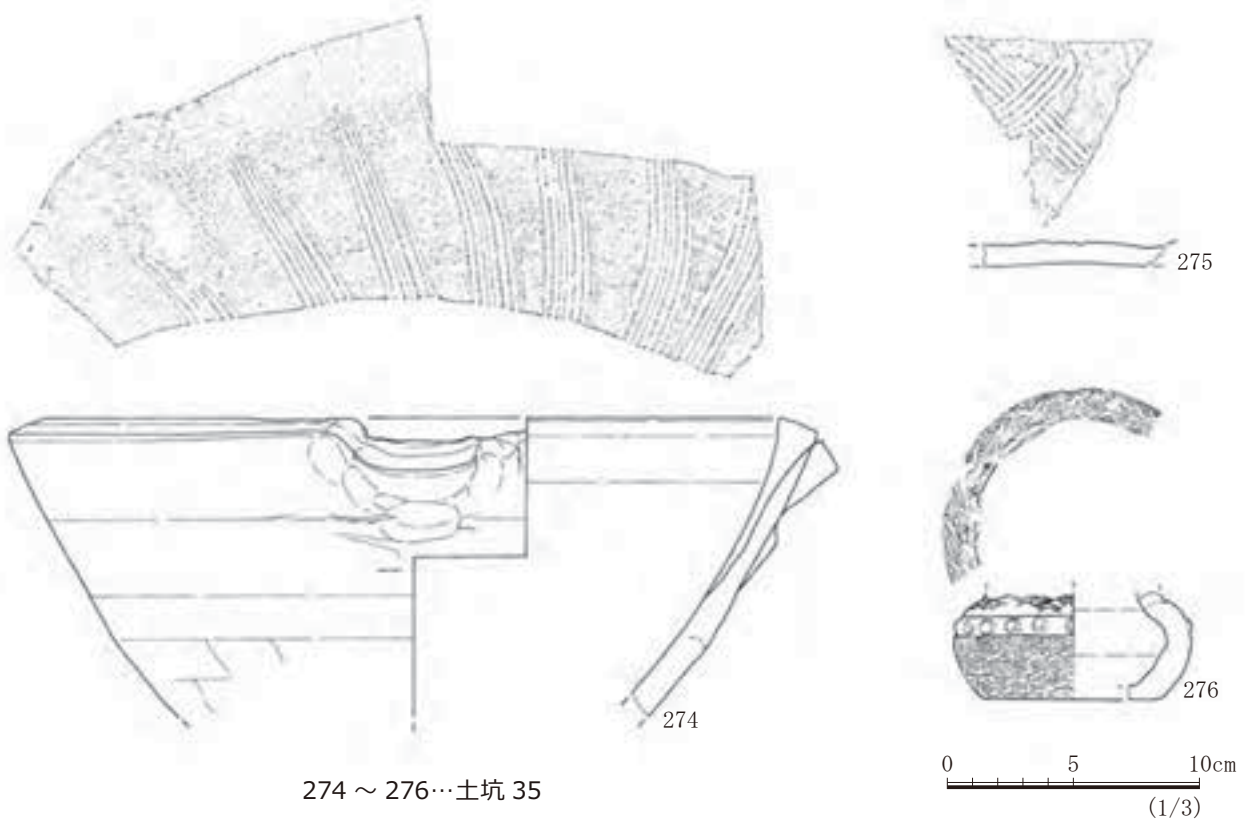


图 31 I · II 区上層遺構面 土坑出土遺物





274 ~ 276…土坑 35

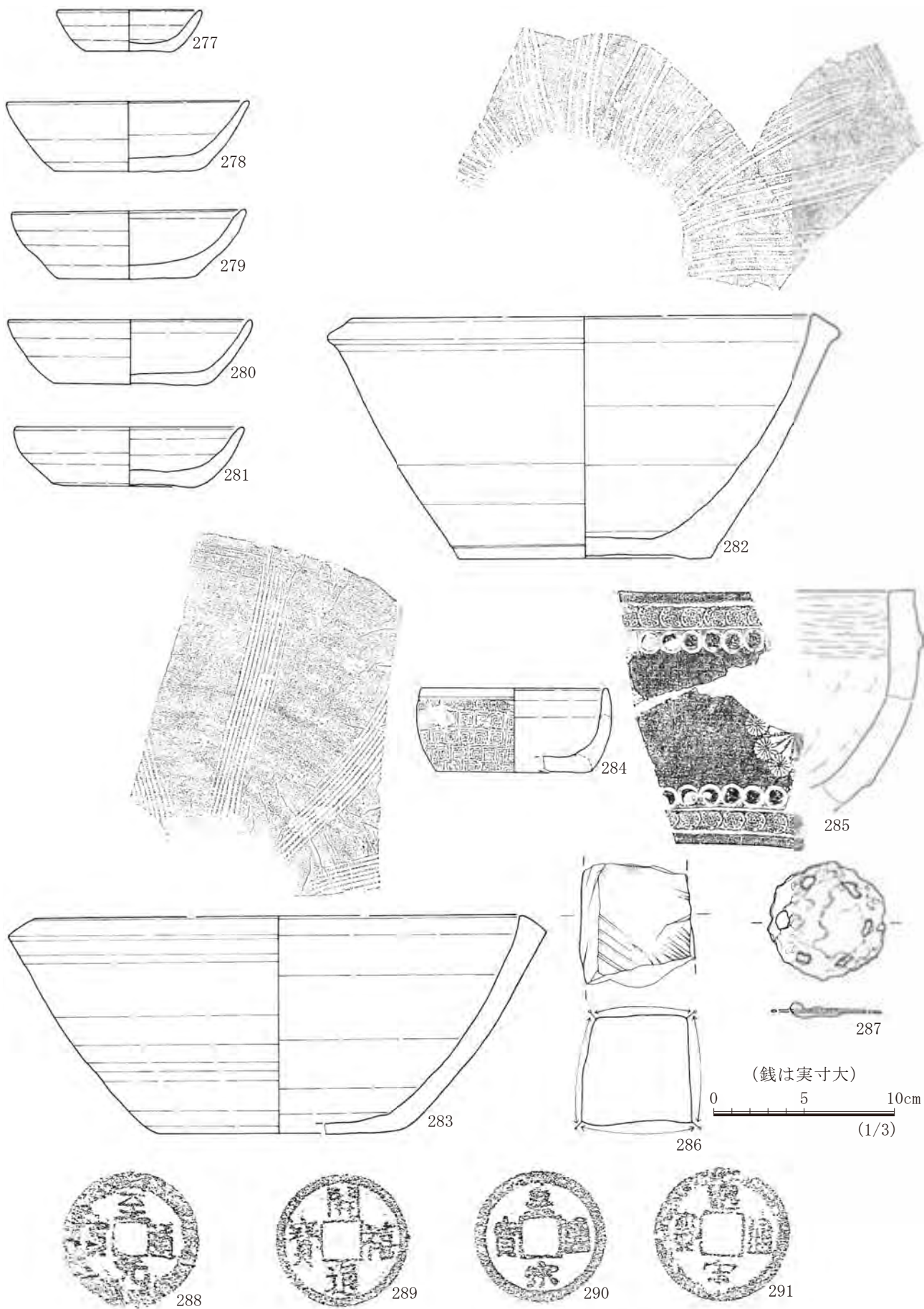
図 32 II 区上層遺構面 土坑出土遺物 (1)

#### 土坑 36 の出土遺物 (図 33)

かわらけは器壁が薄手だが体部～口縁部の湾曲は弱く直線的である。口縁部を回転ナデで薄く仕上げ、井戸 1 や土坑 39 の出土資料よりシャープで古い様相を呈している。ほかに、備前すり鉢や瓦質土器の火鉢・香炉などが出土しており、すり鉢は 282 が 283 に比べて体部が直線的で口縁端部が外方に引き伸ばされる特徴を持っており、より後出する様相と認識できる。

#### 土坑 39 の出土遺物 (図 34)

かわらけは厚手の資料が主体で直線的に開くか、口縁がやや外反する器形が目立つ。破片資料である 322 の瀬戸縁釉小皿は削り出し高台を有しており後IV期以降に位置付けられることから、完形のかかわらけは、これより後出の所産品と考えるべきであろう。とすると、15 世紀中頃が推定し得る年代の上限ということになる。この時期としては良好な土器の一括廃棄例であり、量的にまとまった事例としては、先述の井戸 1 に後続する土器様相と考えられる。299・303・307・317 は埋土最下層（坑底付近）で出土しているが、他のかわらけと様相は異ならない。



277 ~ 291...土坑 36

图 33 II 区上層遺構面 土坑出土遺物 (2)

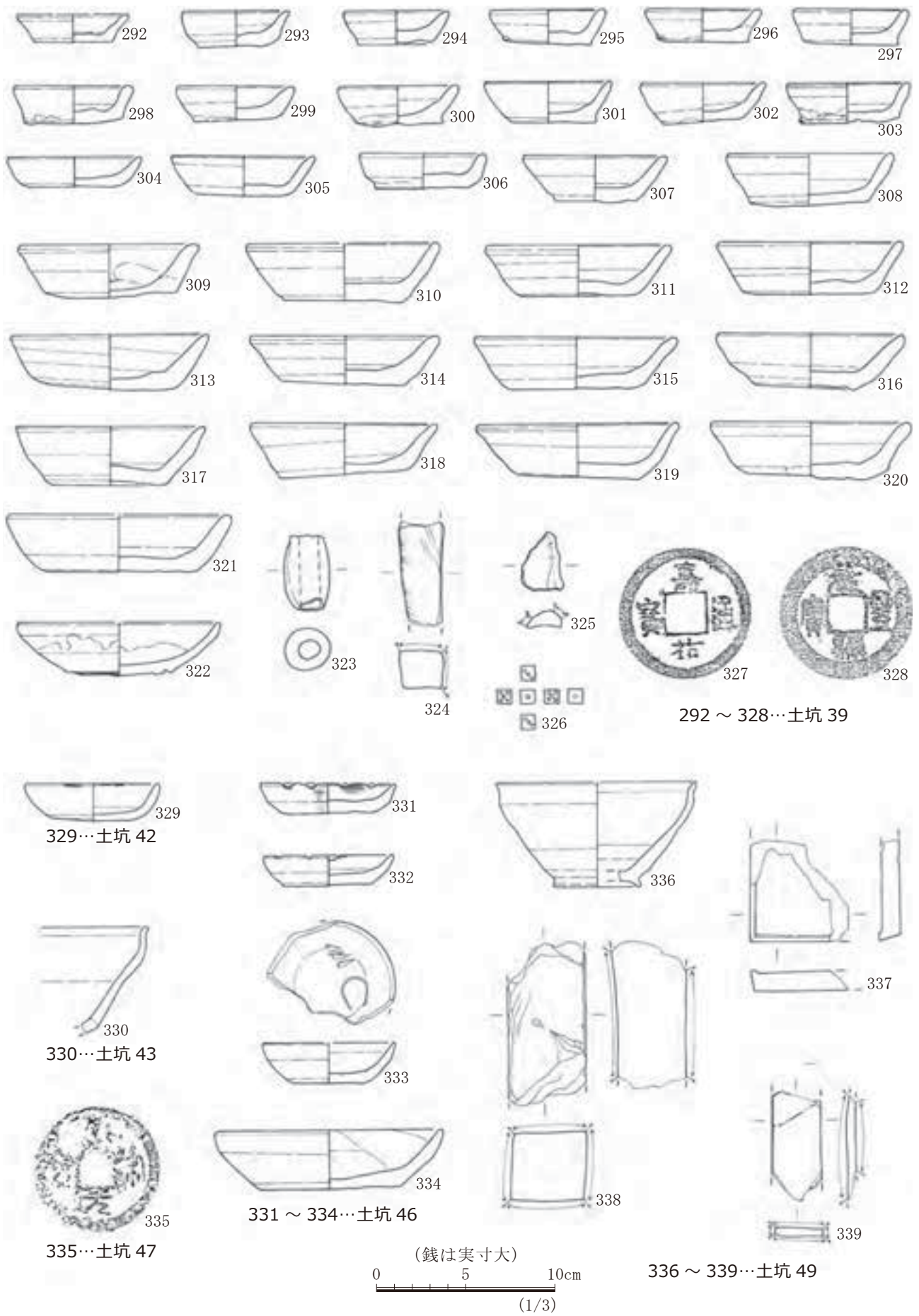


图 34 II区上層遺構面 土坑出土遺物 (3)

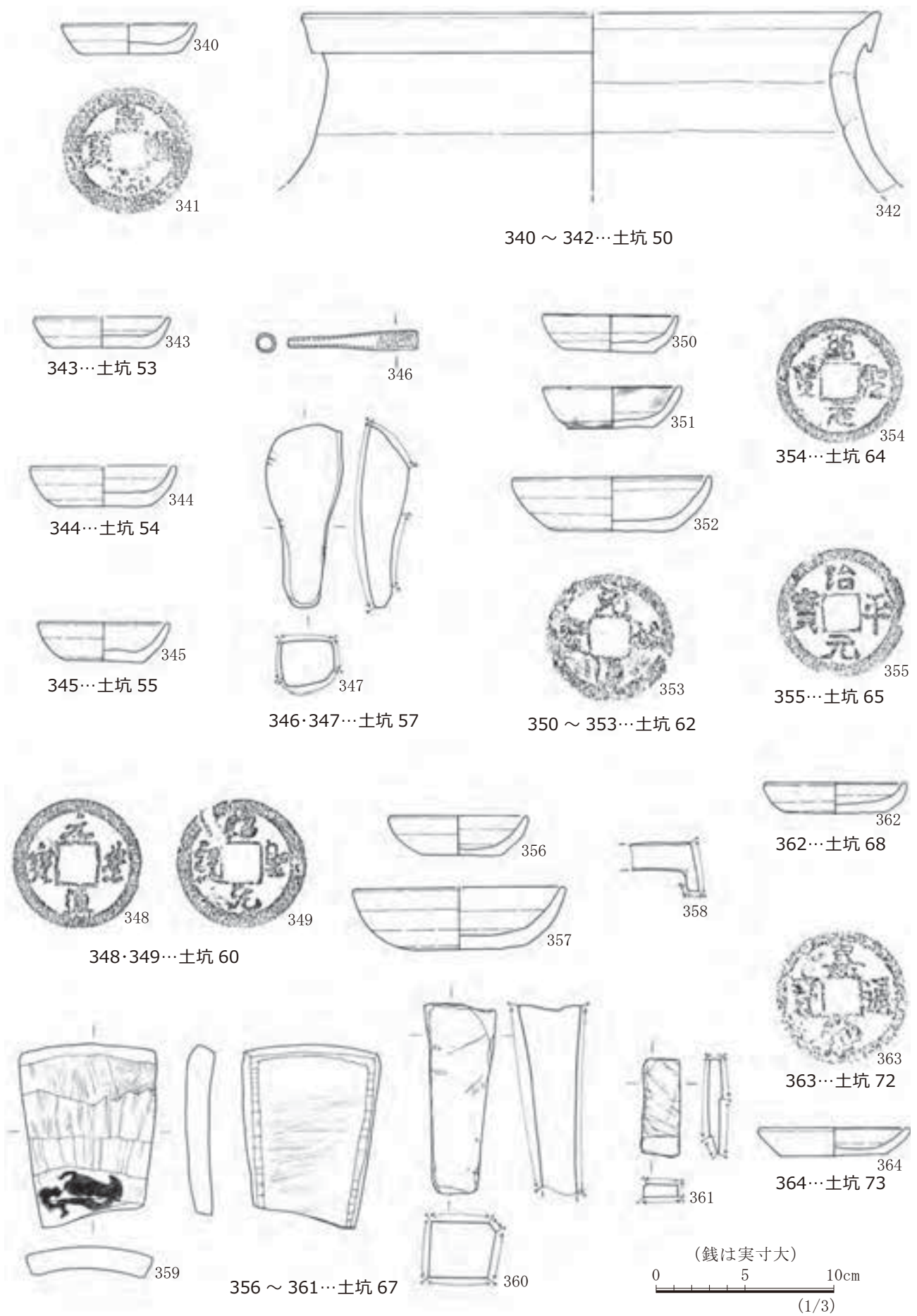


图 35 II区上層遺構面 土坑出土遺物(4)

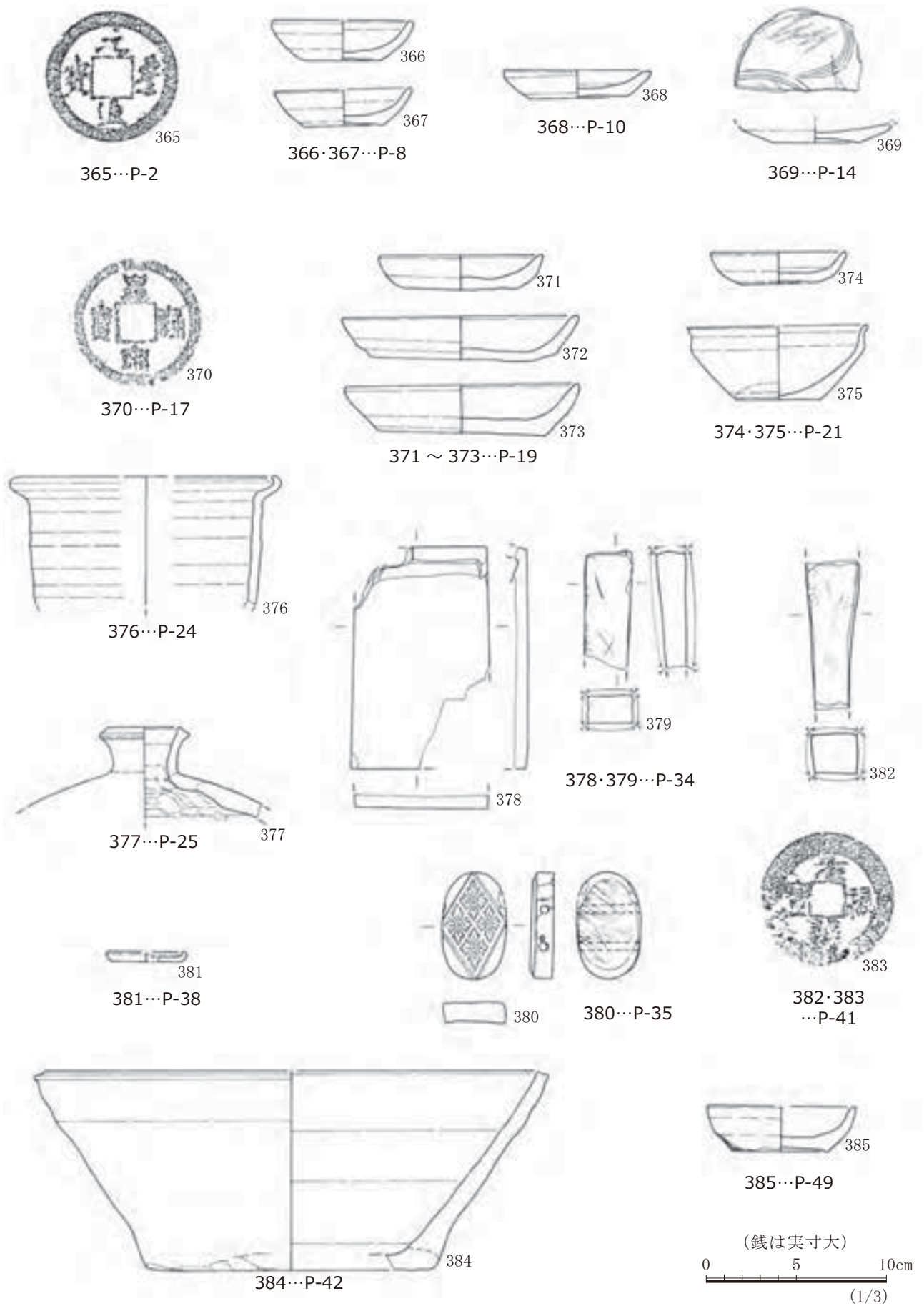
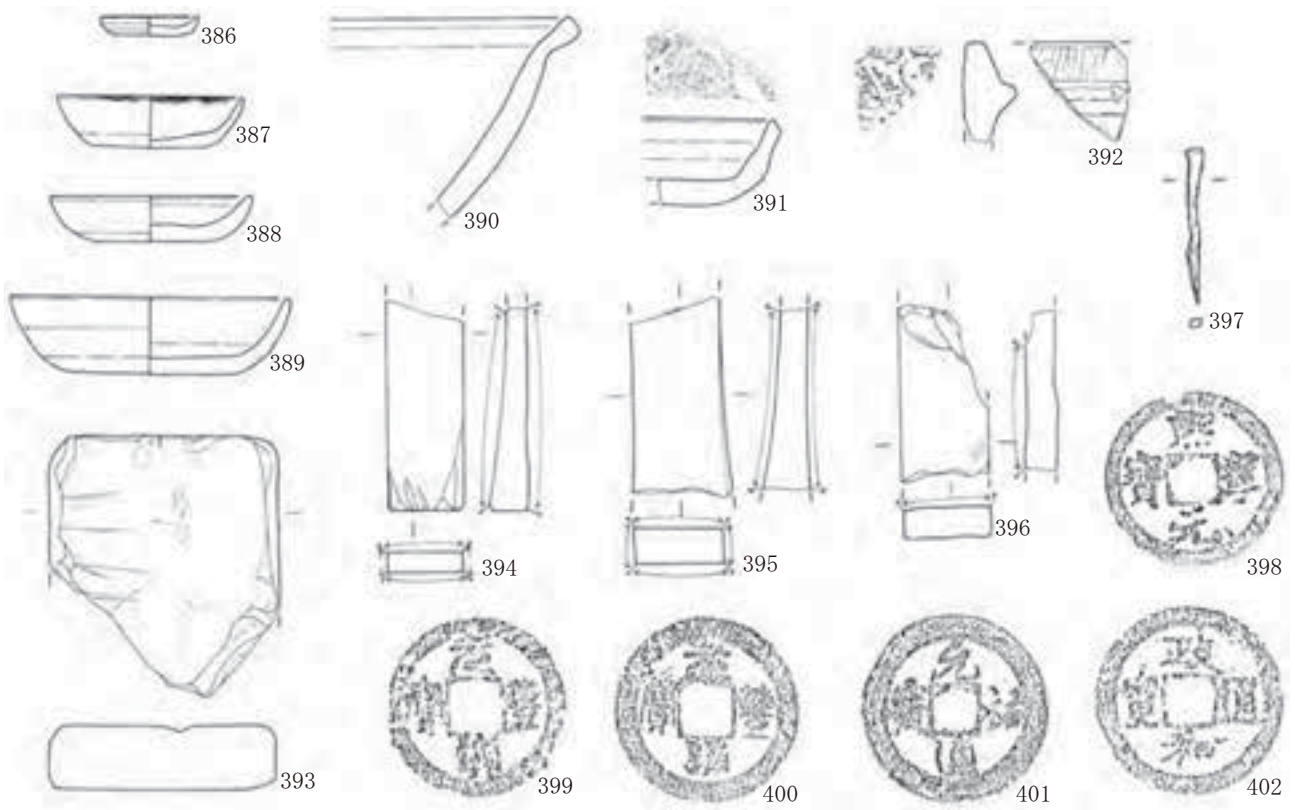
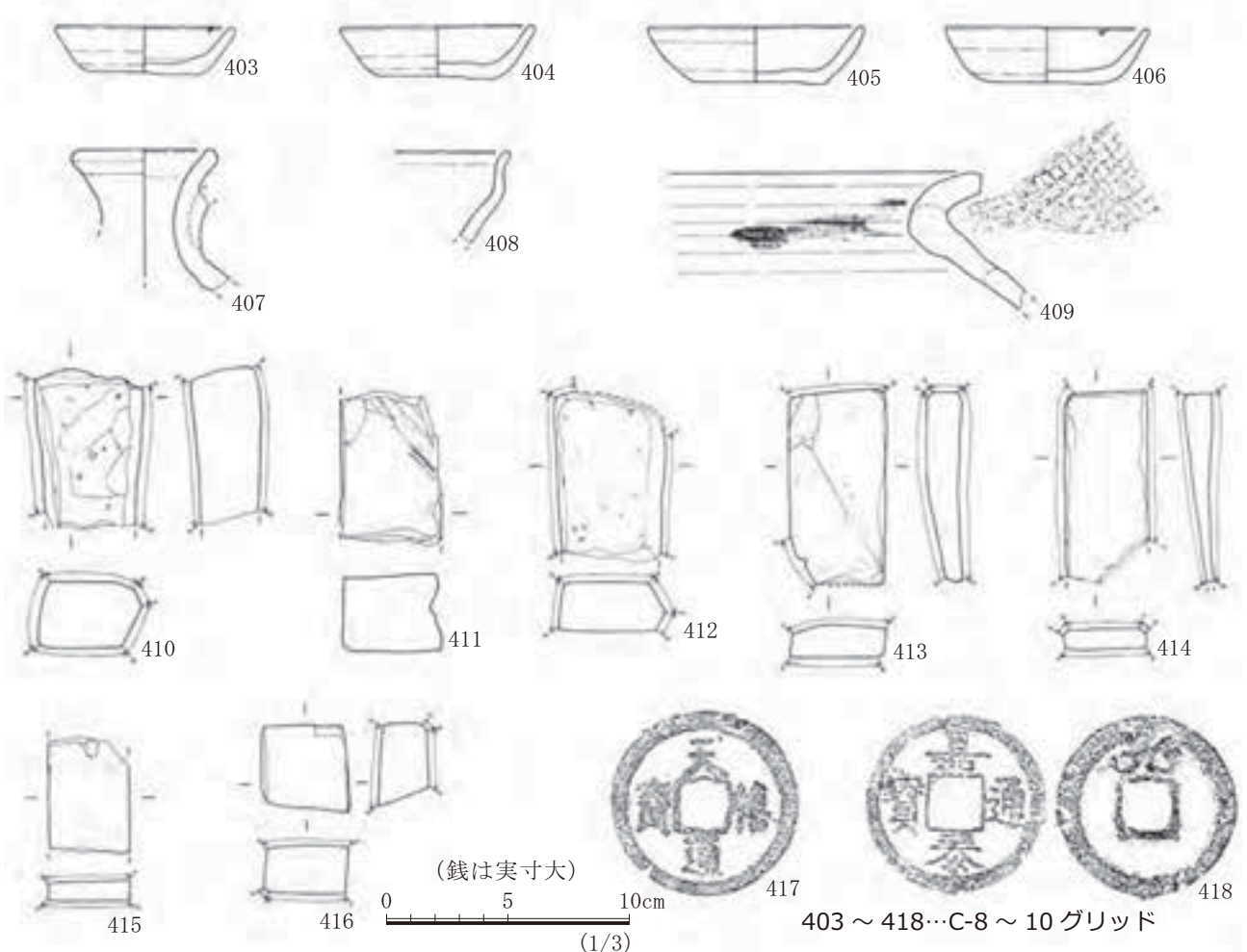


図 36 II 区上層遺構面 ピット出土遺物



386 ~ 402...B-8 ~ 10 グリッド



403 ~ 418...C-8 ~ 10 グリッド

図 37 II 区上層遺構面～下層遺構面 掘り下げ時出土遺物 (1)

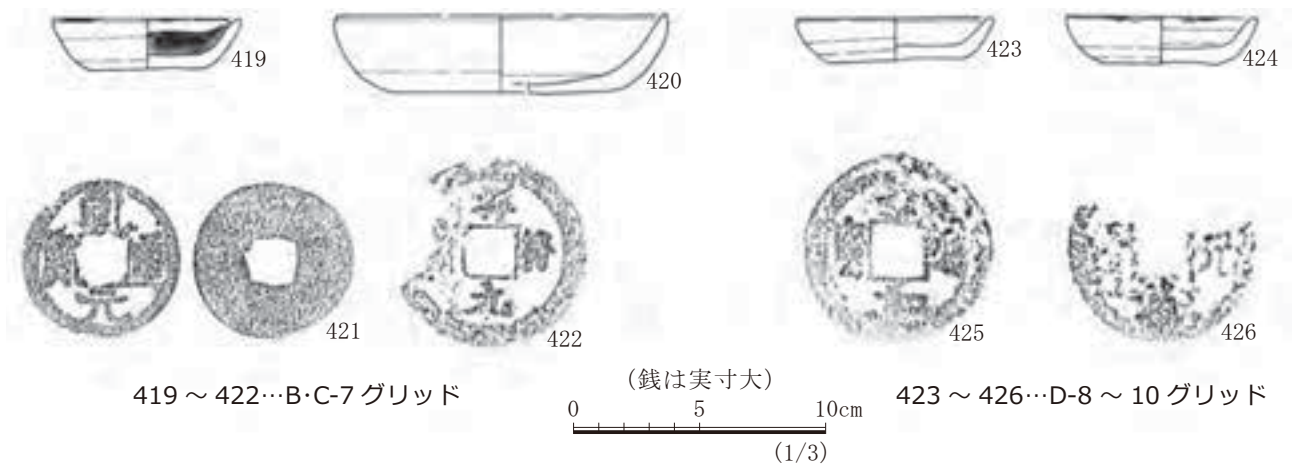
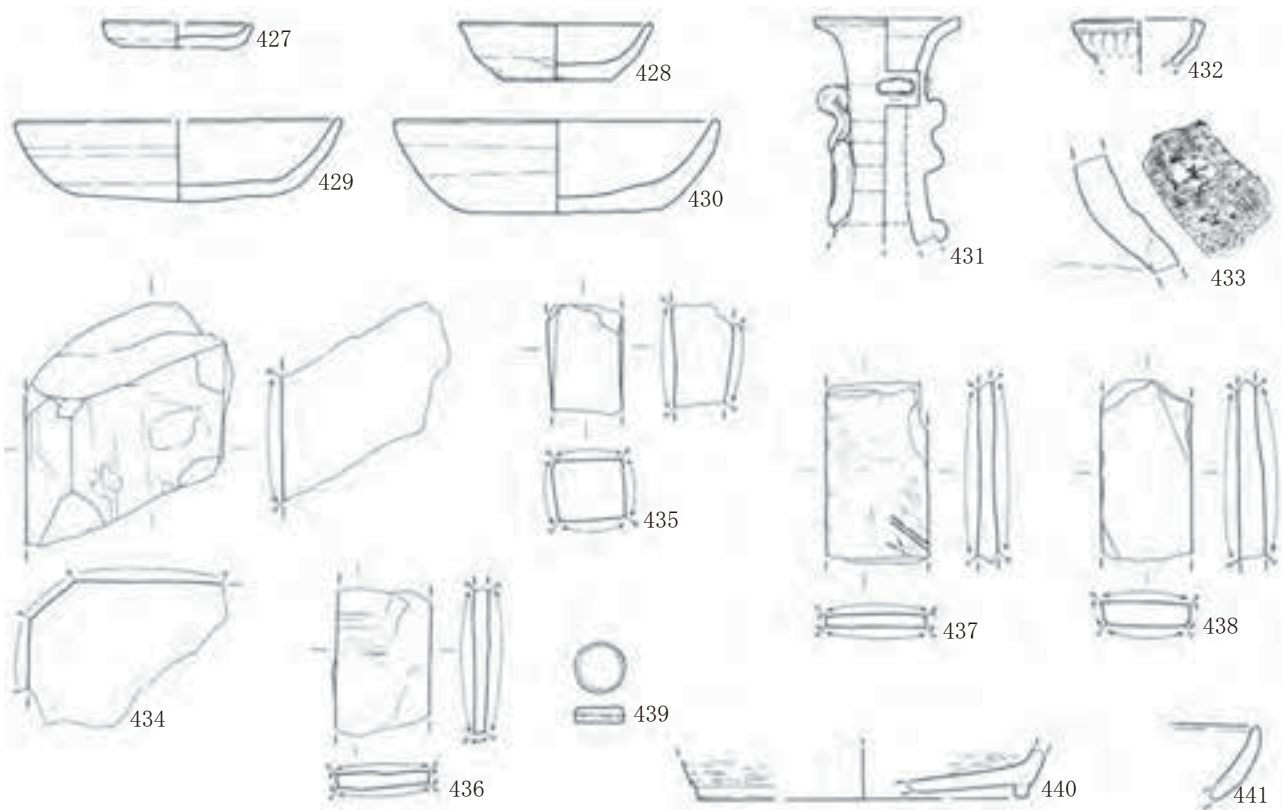


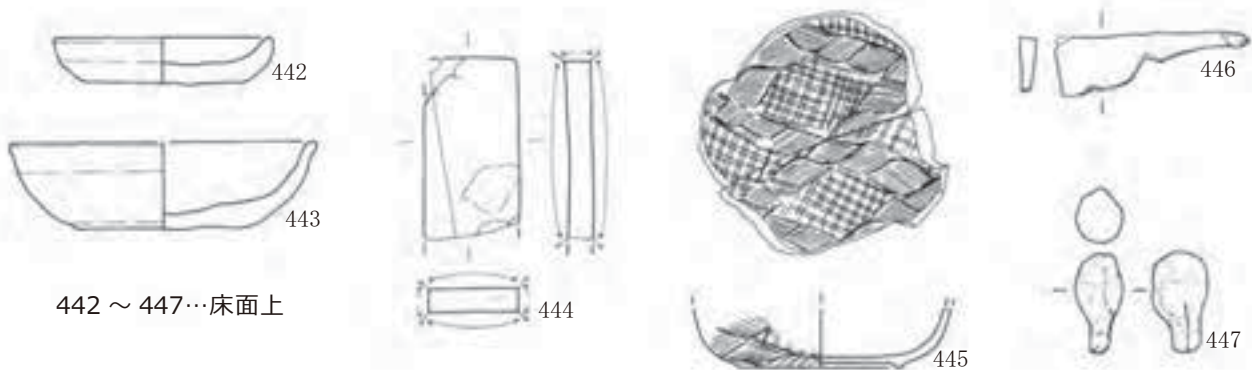
図 38 II 区上層遺構面～下層遺構面 掘り下げ時出土遺物 (2)

(3) 下層遺構面検出までの出土遺物 (図 37・38)

上層遺構面の調査終了後、下層遺構面を検出するまでに出土した遺物を開催した。I 区では図示すべきものがなく、II 区出土分のみグリッドごとに提示した。ロクロかわらけを中心に、概ね鎌倉時代の後期、13 世紀後半～14 世紀前半の遺物様相と捉えられる。



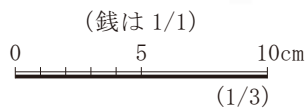
427 ~ 441...埋土



442 ~ 447...床面上



448・449...裏込め



450 ~ 452...拡張トレンチ  
(調査区北壁)

図 39 I 区下層遺構面 竪穴建物 2 出土遺物



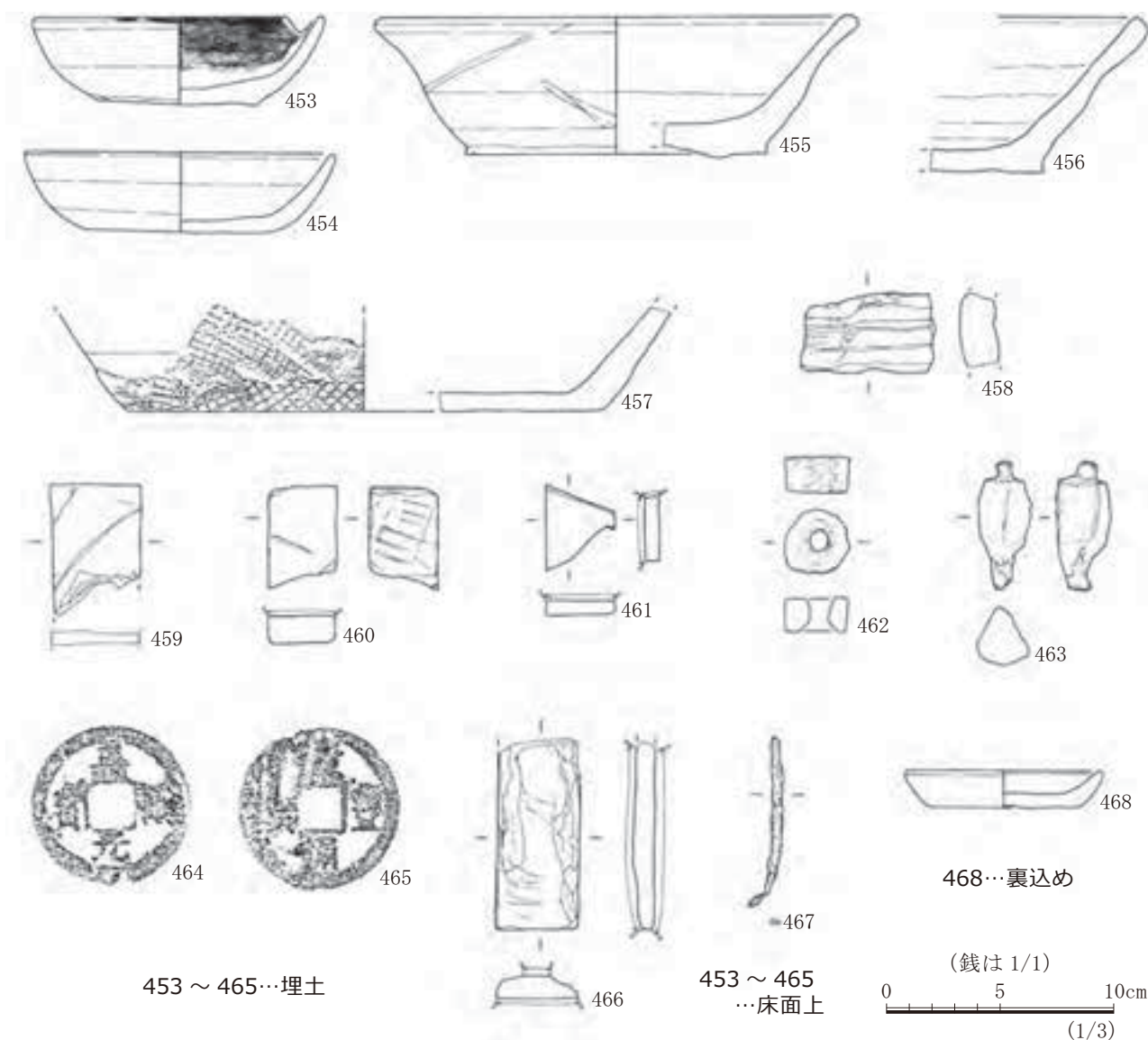


図 40 II 区下層遺構面 竪穴建物 3 出土遺物

(4) 下層遺構面の遺構出土遺物

建物 2 の出土遺物 (図 39)

建物 2B からの出土遺物は僅少で、448 の土器小壺のみが 2B 裏込めからの出土、その他は全て建物 2A から出土したものである。

建物 3 の出土遺物 (図 40)

455・456 の常滑片口鉢は高台を有さないが回転成形で口縁部を丸く肥厚させて仕上げていることから I 類とした。ただ、II 類が生産される過渡期段階の資料とはいえるかもしれない。

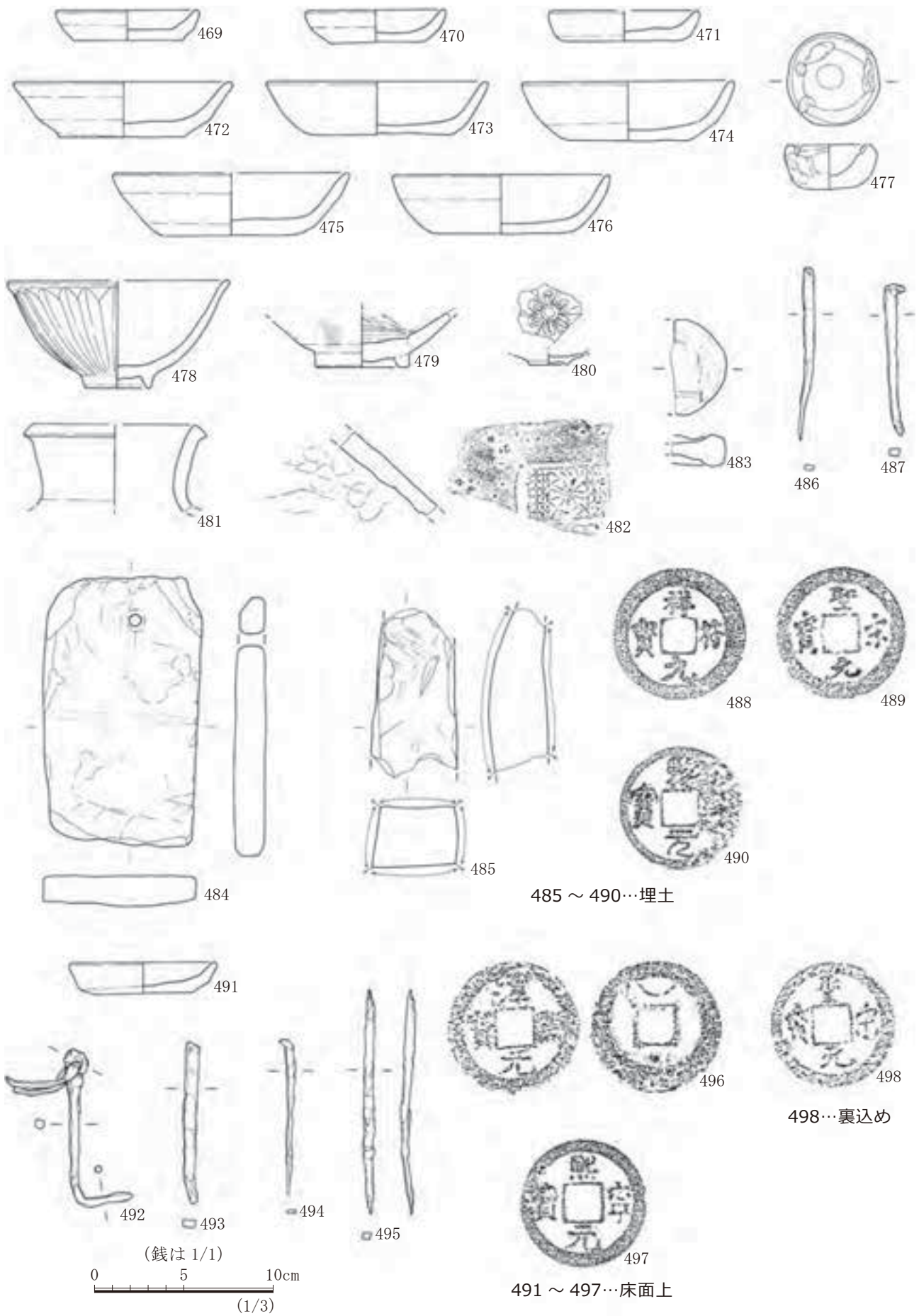


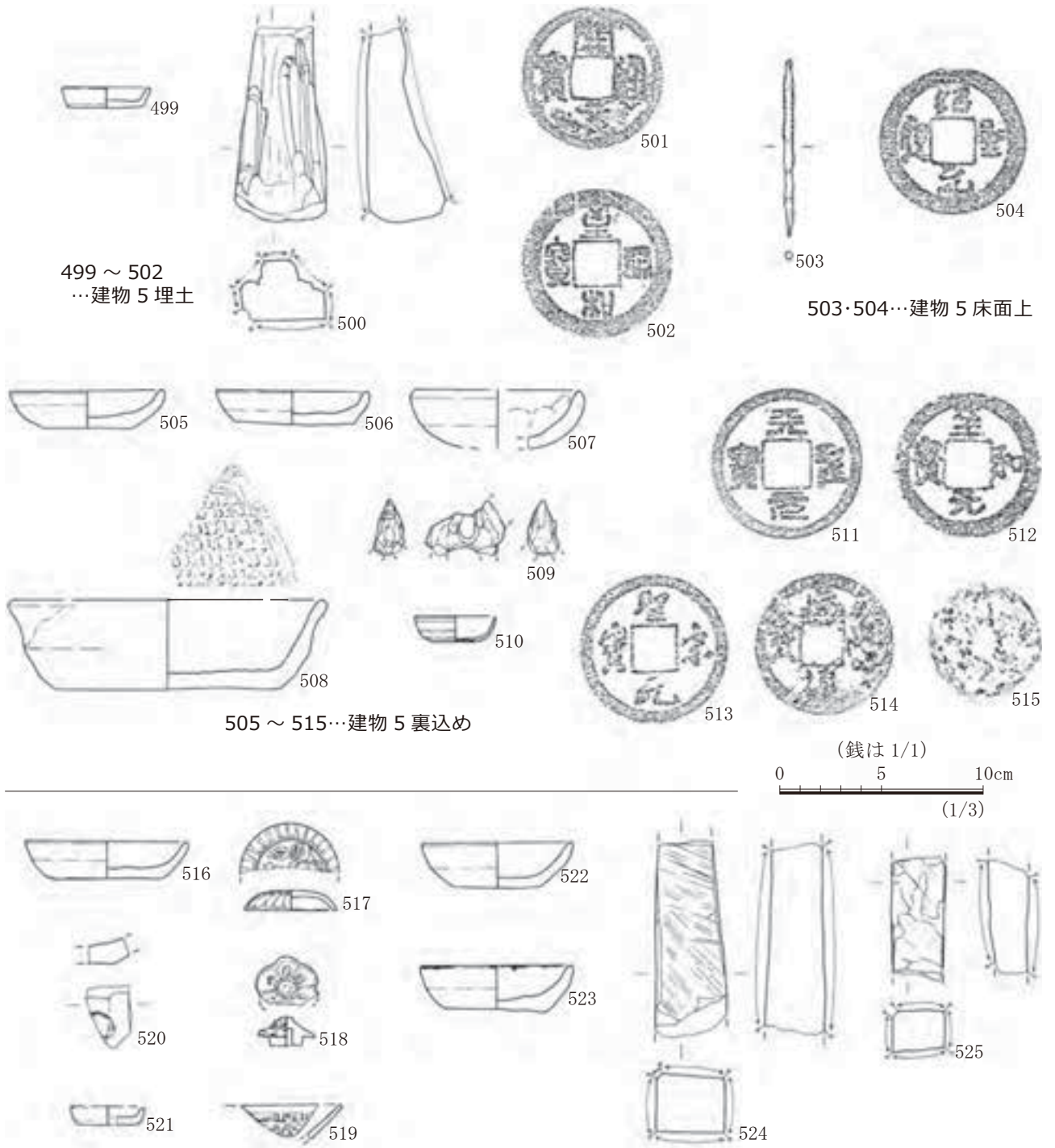
图 41 II 区下層遺構面 豎穴建物 4 出土遺物

建物4の出土遺物(図41)

ロクロかわらけは大・小とも口径：底径比が小さく浅いものが主体となる。体部～口縁は、あまり内湾しない。

建物5の出土遺物(図42)

図42-499～515が本遺構に帰属する。509の土製馬像や510の小型銅碗(六器か)は、類例の限られた資料である。



499～502  
…建物5埋土

503・504…建物5床面上

505～515…建物5裏込め

516～521…建物6埋土

522～525…建物6裏込め

図42 II区下層遺構面 竪穴建物5・6出土遺物

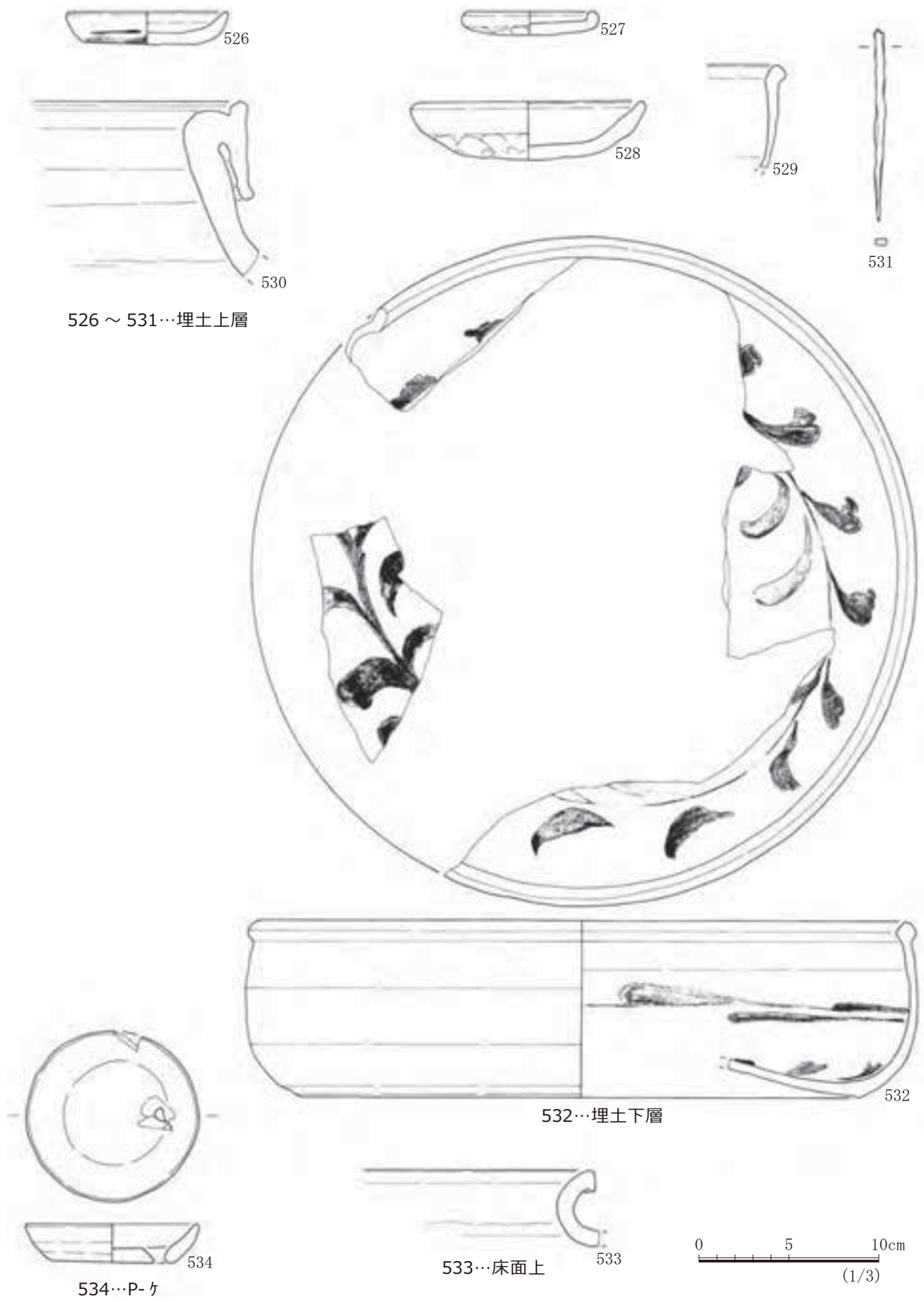


图 43 II 区下層遺構面 豎穴建物 7 出土遺物

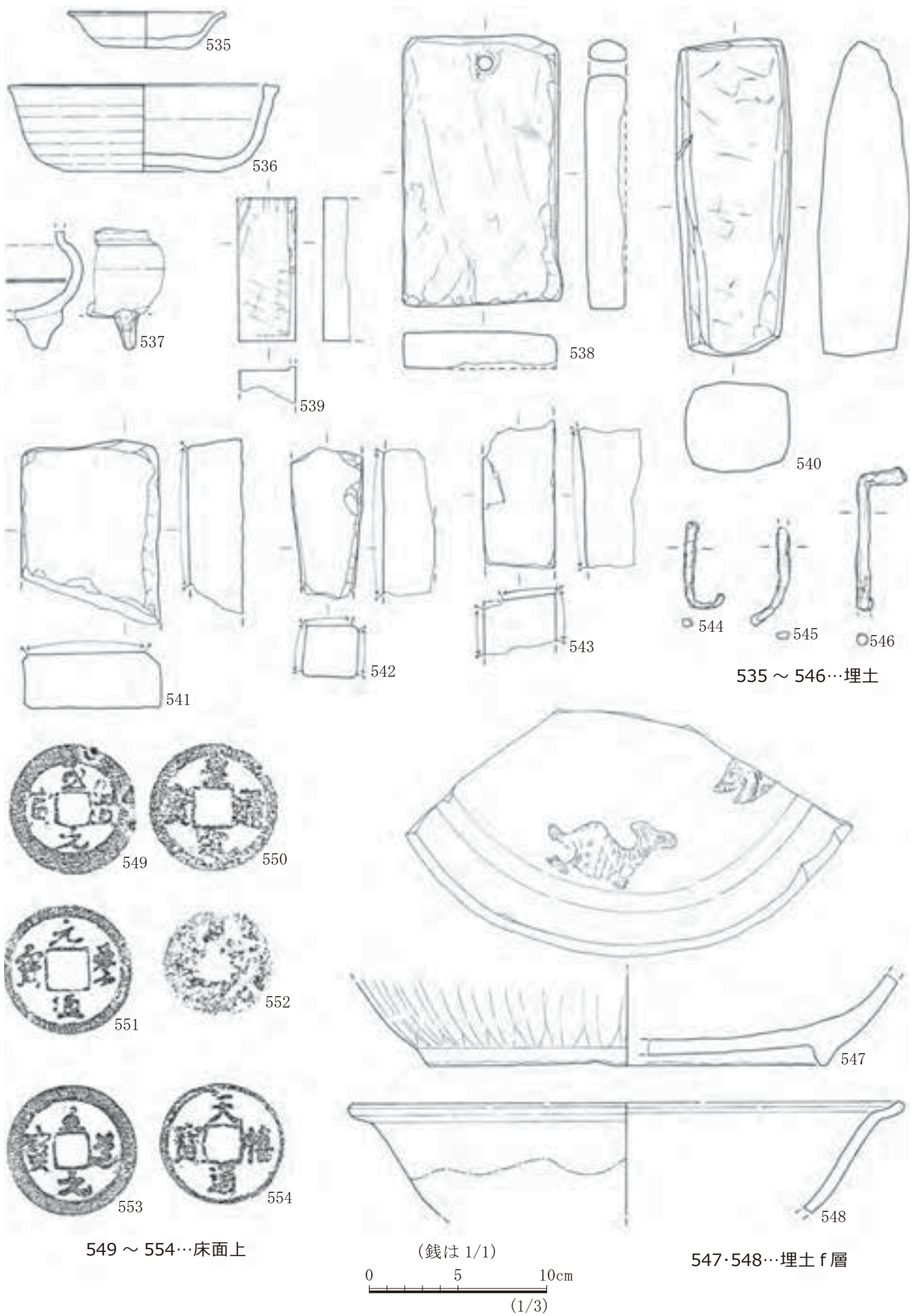


図 44 II 区下層遺構面 竪穴建物 9 出土遺物

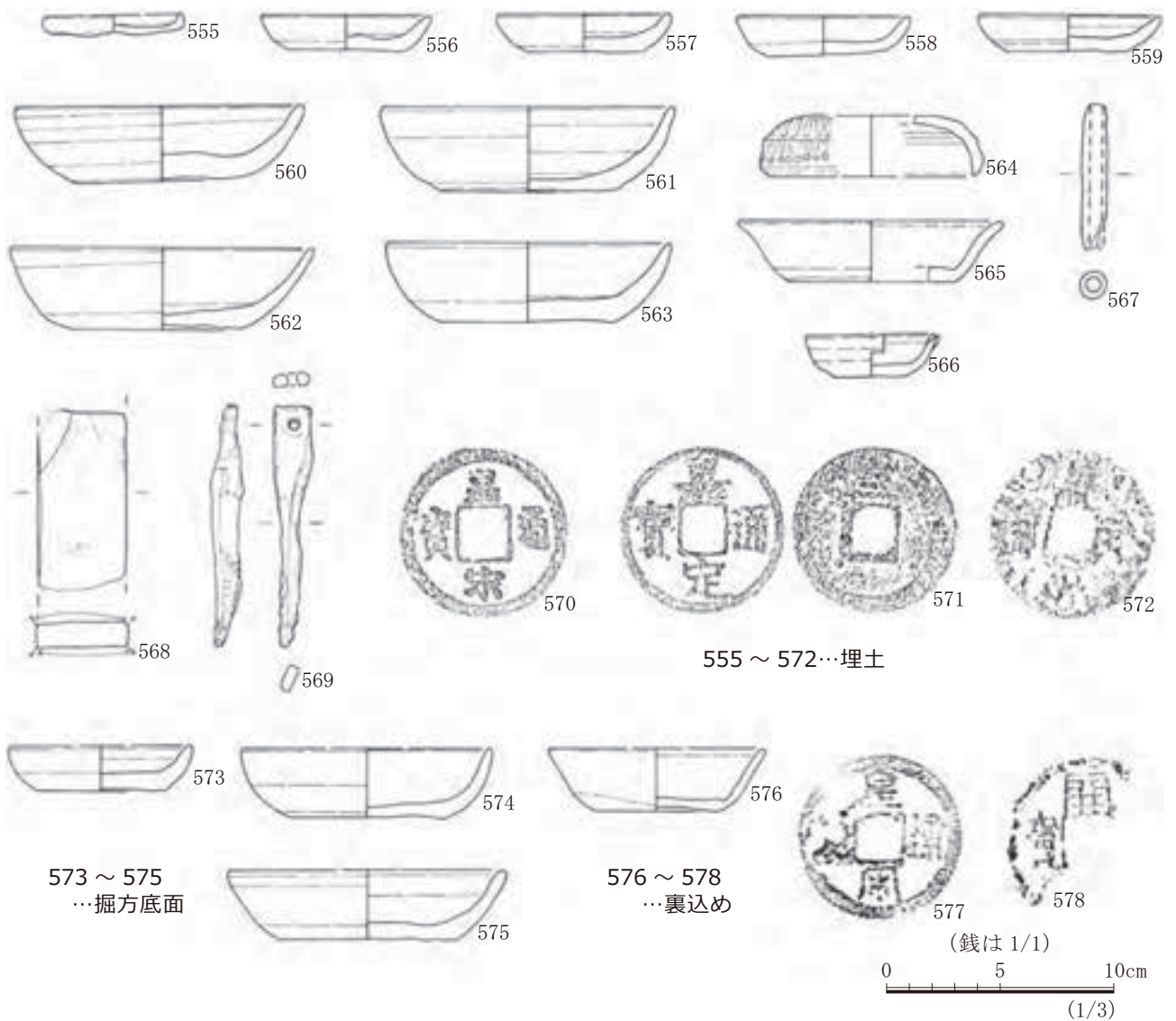


図 45 II 区下層遺構面 竪穴建物 10 出土遺物

建物 7 の出土遺物 (図 43)

かわらけはロクロ：手づくねの構成比に大きな差が見られなかった。常滑の甕 (530) は 8 型式まで下る要素を持ち、遺構間の新旧関係や他の遺物様相とを比較すると疑問符が付く。

建物 10 の出土遺物 (図 45)

手づくねかわらけは 555 の 1 点のみを図示し得た。ロクロかわらけは僅かに内湾するものが主体で、小皿は概して低い。

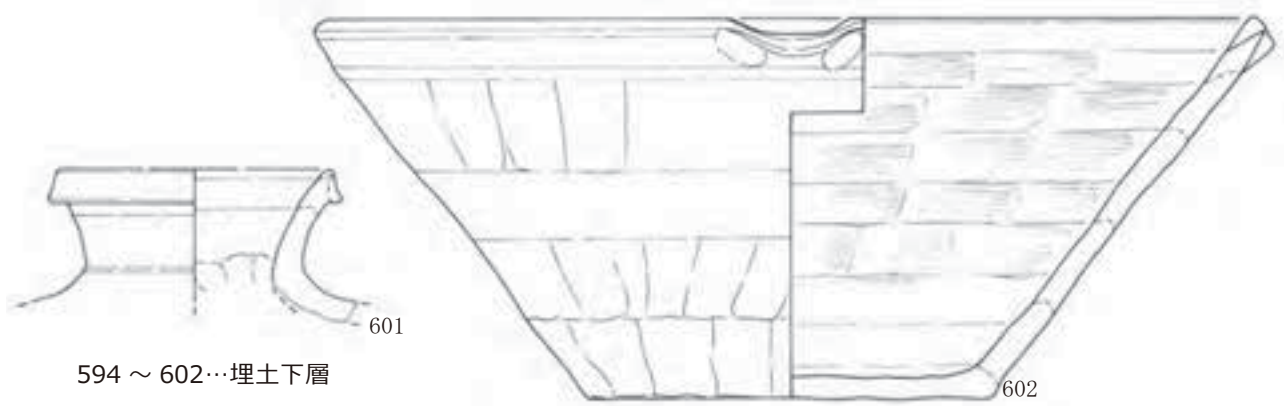
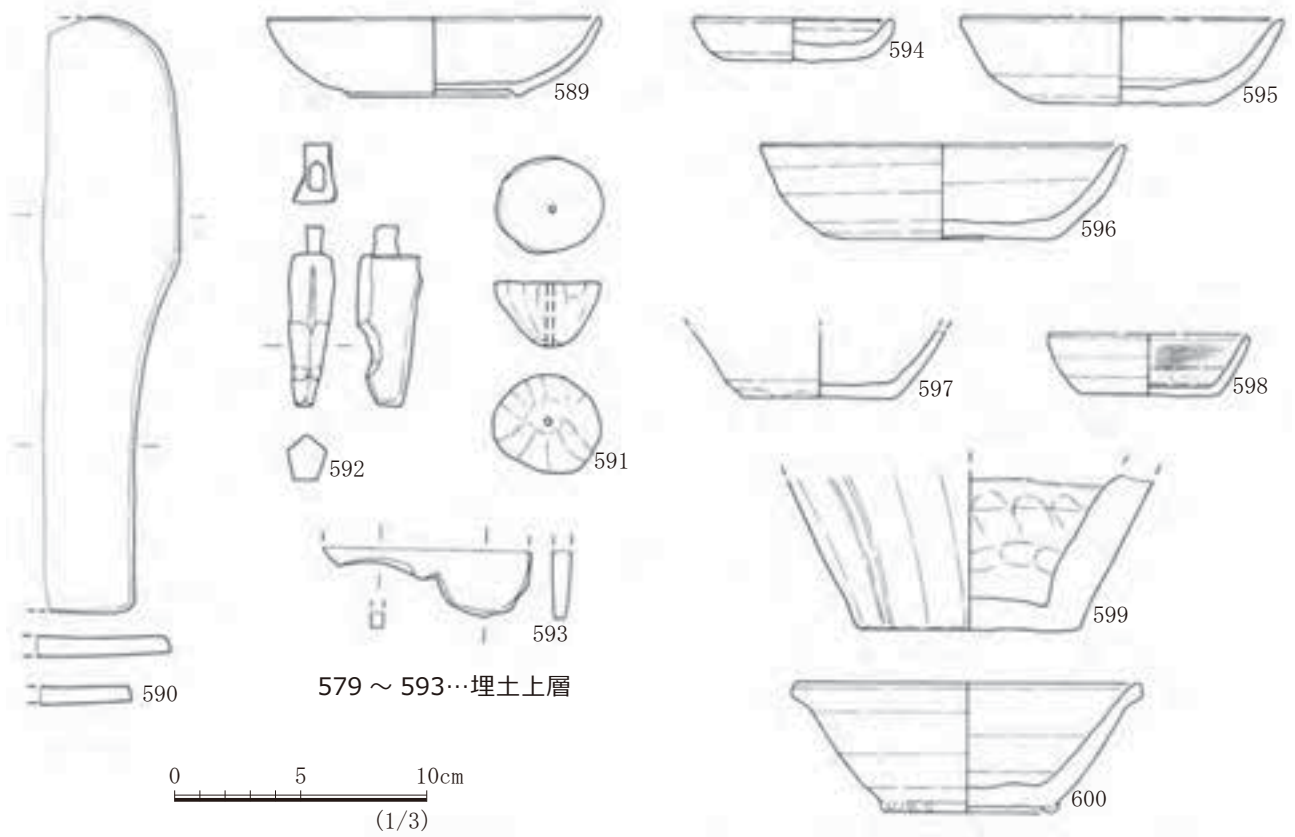
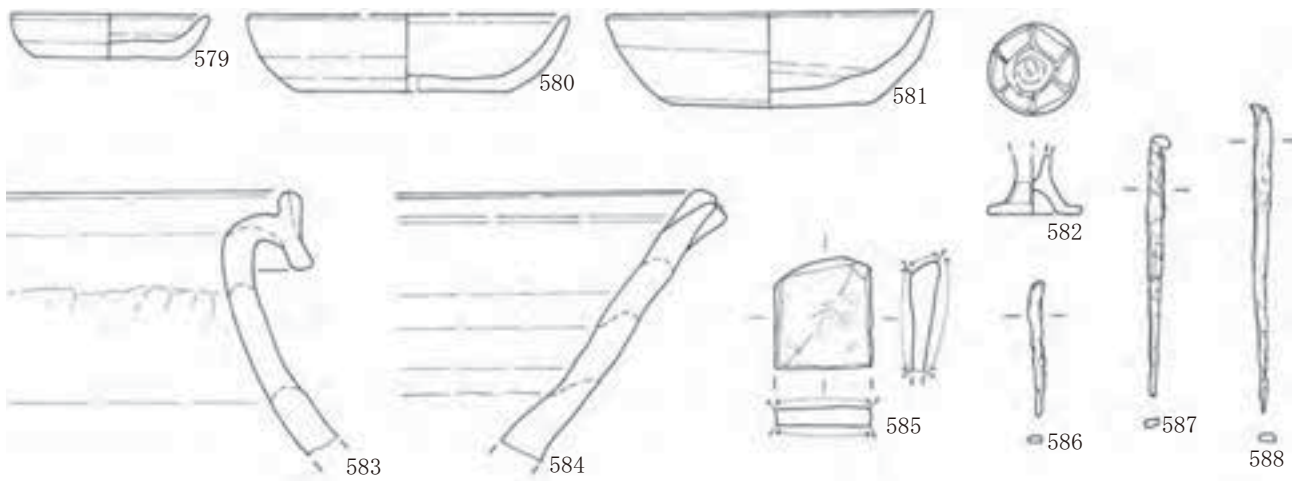


図 46 II区下層遺構面 竪穴建物 11 出土遺物 (1)

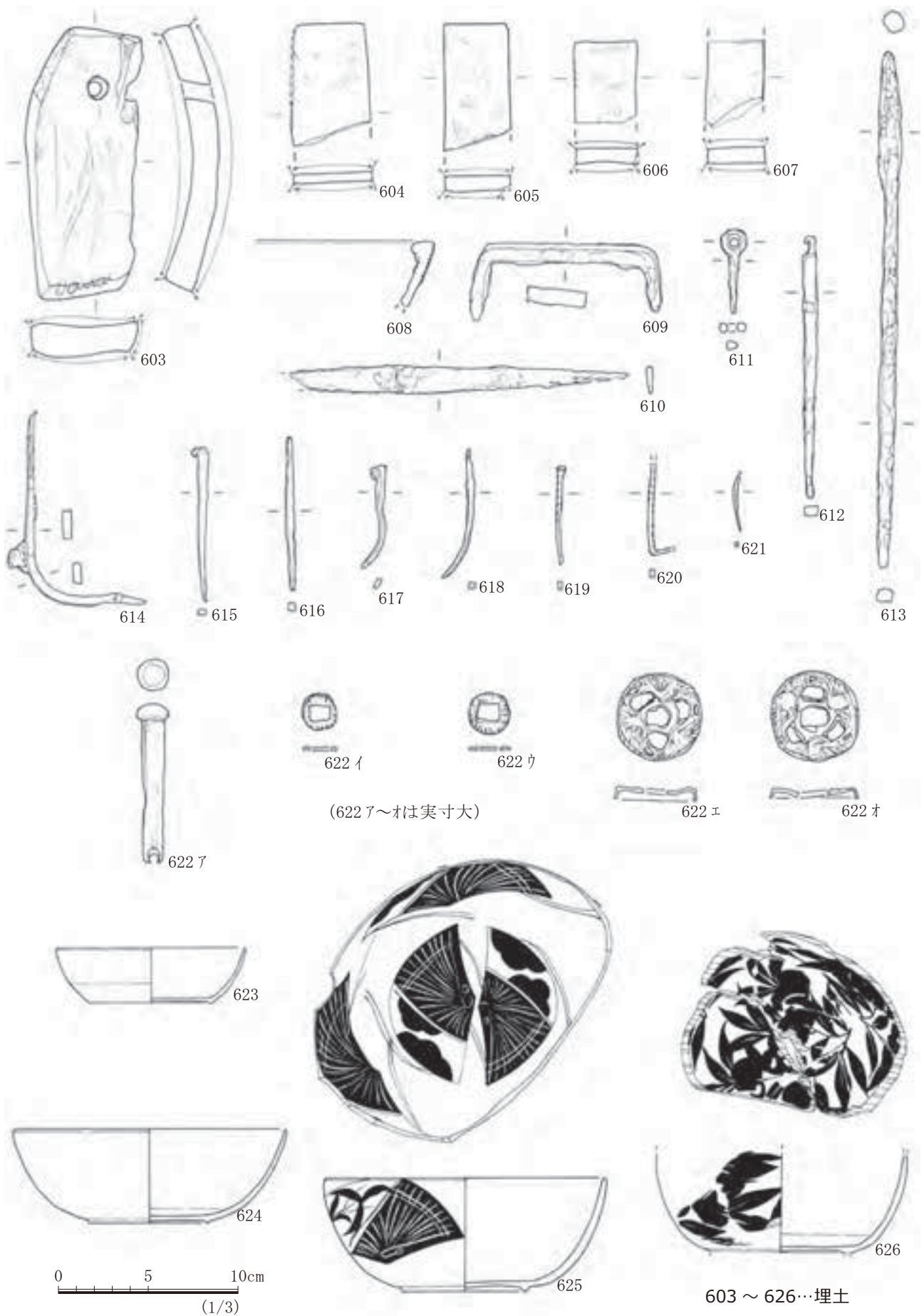
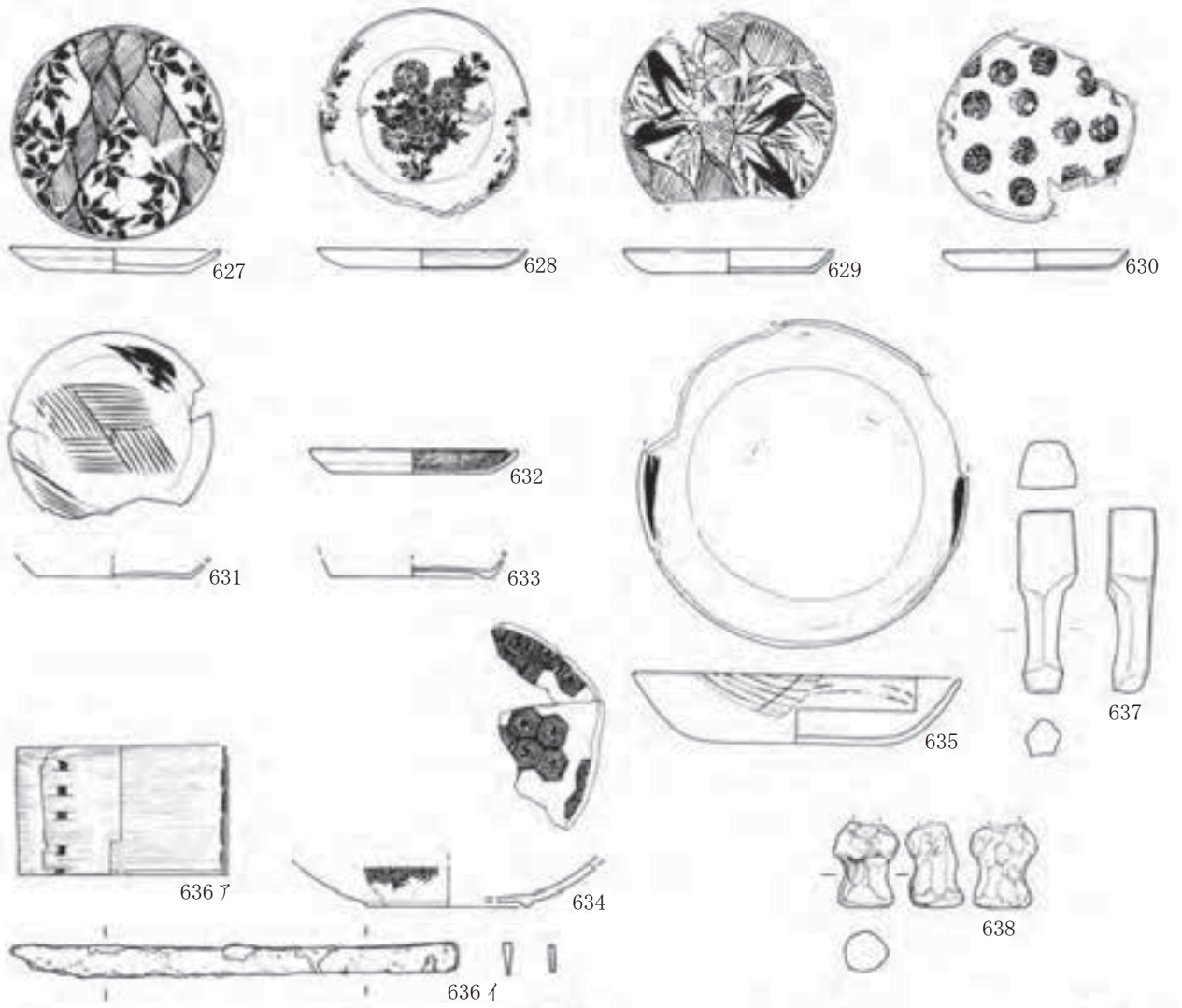
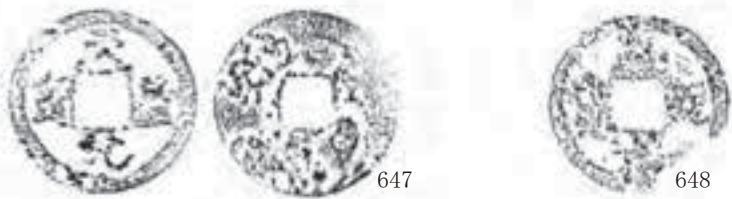


図 47 II区下層遺構面 竪穴建物 11 出土遺物 (2)





627 ~ 643…埋土下層



644 ~ 648…裏込め

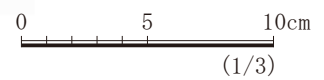


図 48 II区下層遺構面 竪穴建物 11 出土遺物 (3)

表4 建物11 出土筥の法量（長さ）分布

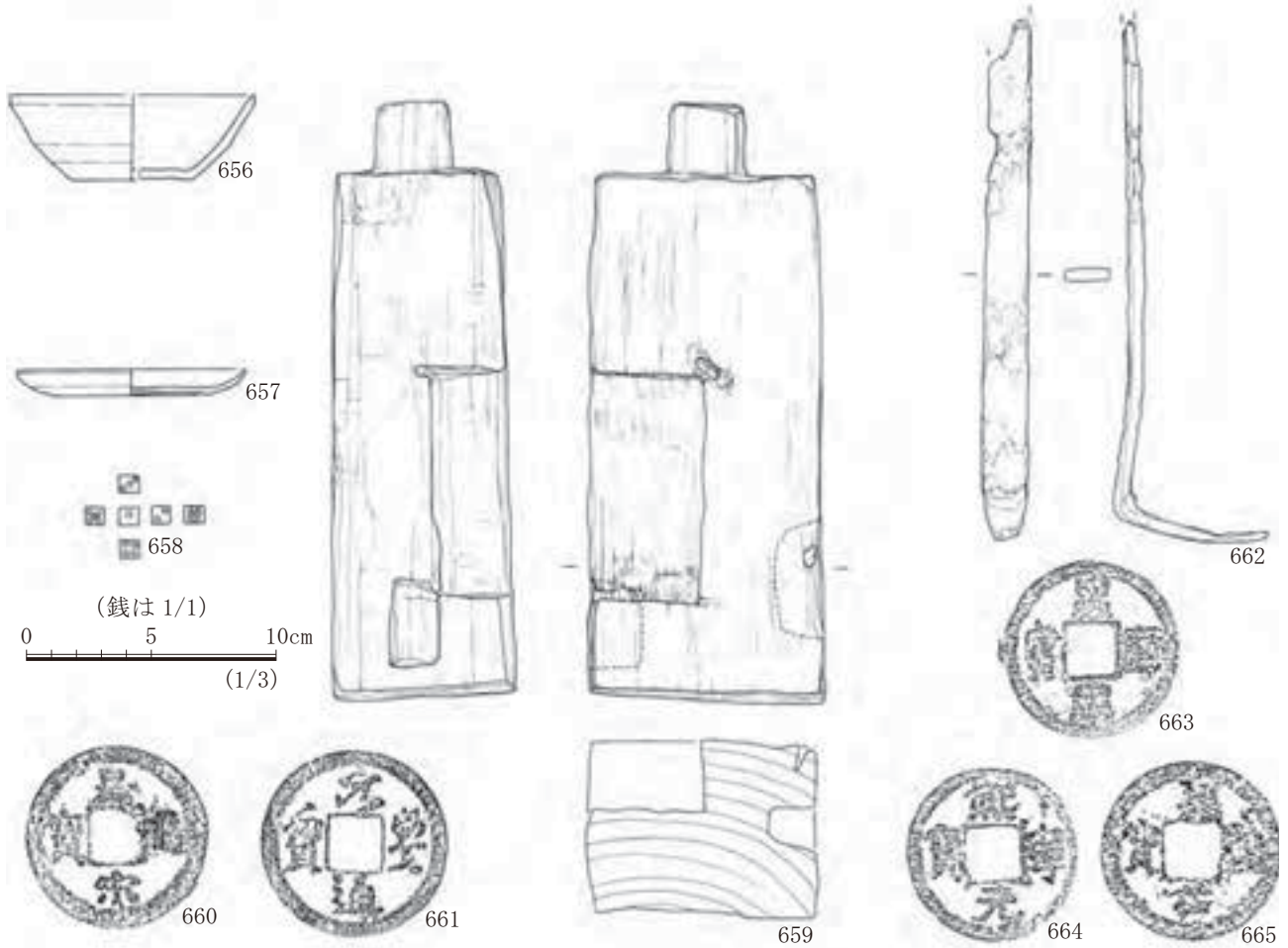
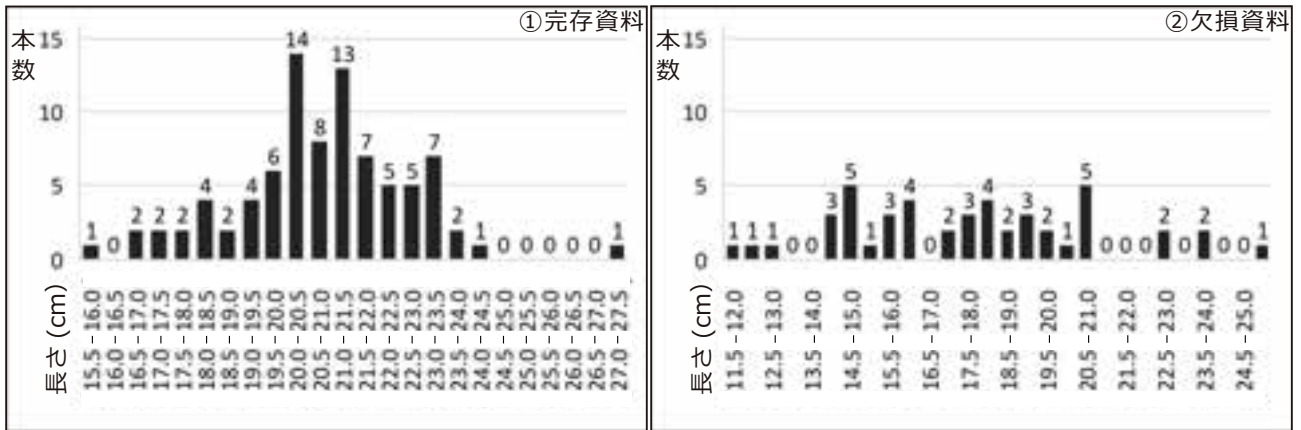


図49 II区下層遺構面 竪穴建物12・13出土遺物

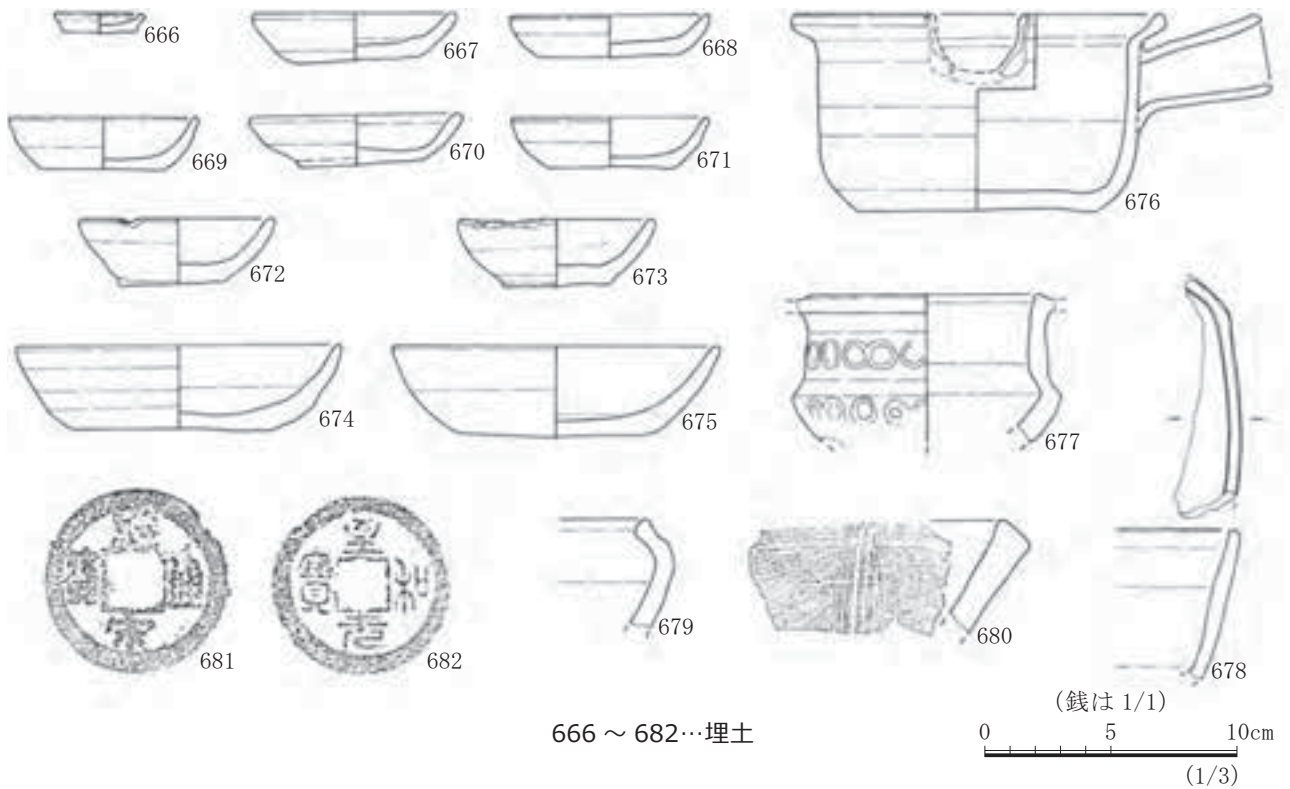


図 50 II 区下層遺構面 竪穴建物 14 出土遺物

建物 11 の出土遺物 (図 46 ~ 48)

出土層位ごとに区別して掲載したが、埋土下層からの出土分は、図 46-594 ~ 601 と図 48-627 ~ 643 とに分けて提示してしまっている。622 の金銅装目釘は 5 点の部品からなり、両端の釘隠し (エ・オ) に 3 羽の鶴? をあしらった優品である。7 の目釘本体は、幅 4mm × 厚さ 3mm の矩形断面を呈する。本遺構では漆器や木製品も多く出土したが、後者については整理作業の着手前、乾燥のため収縮してしまった資料が多い。このため箸も本来の長さを保ってはいないが、表 4 に 5mm 刻みの計測値分布を示した。636ア・イは同じ取り上げ袋に入れられていたが、出土位置が同じであったかは確実な記録がないため不明である。

建物 14 の出土遺物 (図 50)

ロクロかわらけの小皿には丸みを帯びて低平なもの (667・668) と小ぶりの底部から内湾気味に立ち上がる深身タイプ (672・673) の 2 種が見られ、後者の方が新相を呈していると思われる。676 の瀬戸窯柄付片口は、中期様式前半の製品であろう。

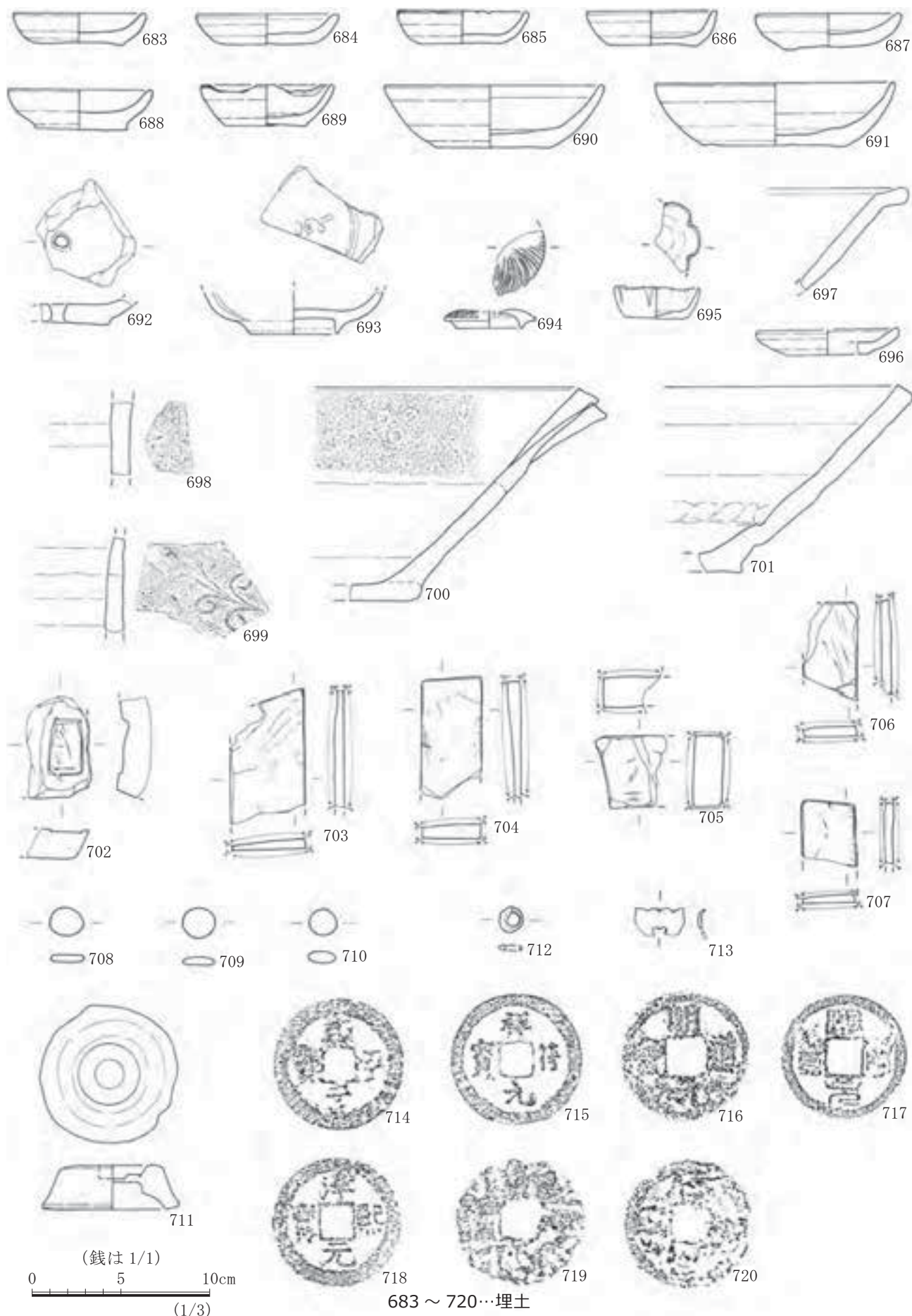
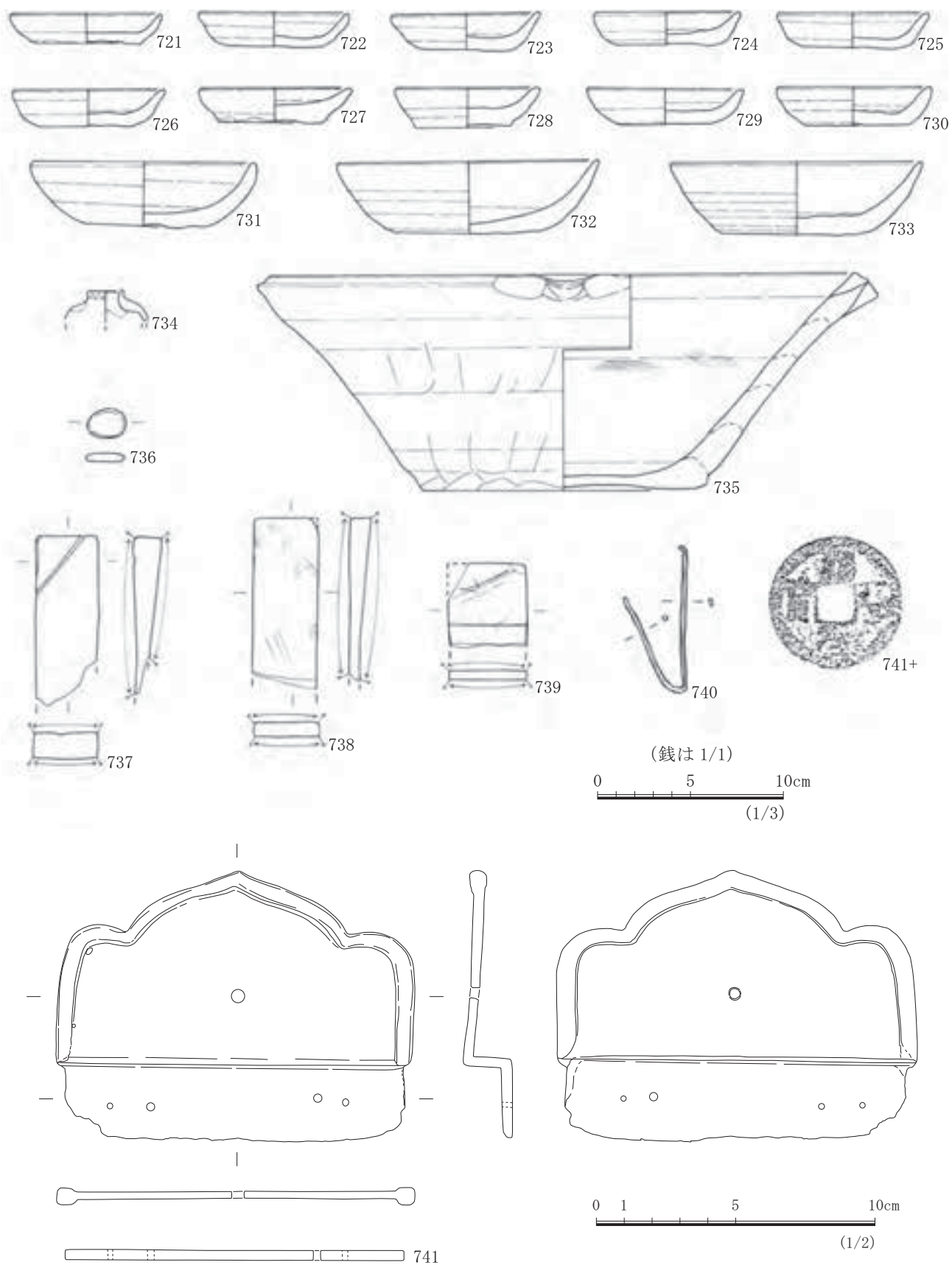


图 51 II 区下層遺構面 豎穴建物 15 出土遺物 (1)



721 ~ 741+...床面上

图 52 II 区下層遺構面 竖穴建物 15 出土遺物 (2)

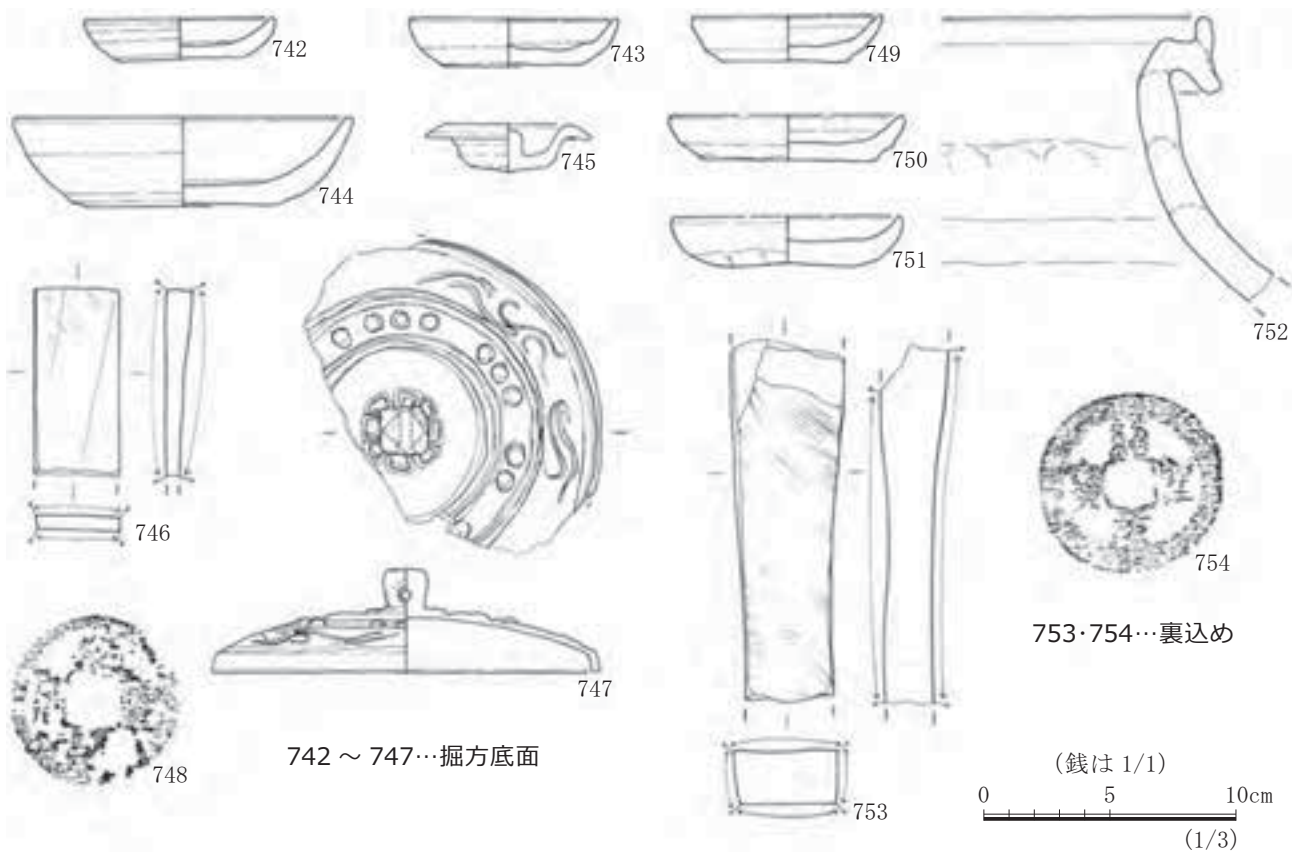
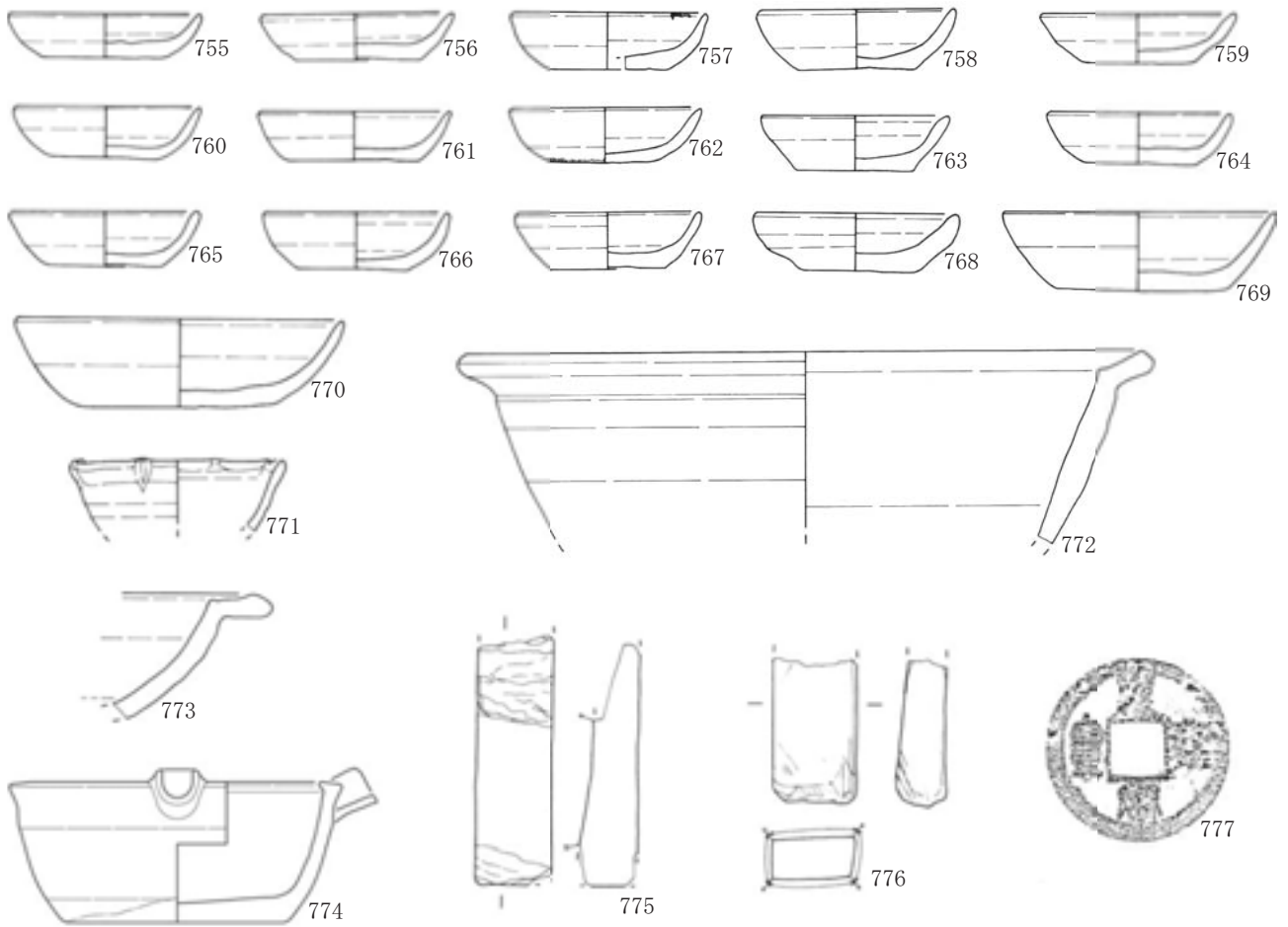


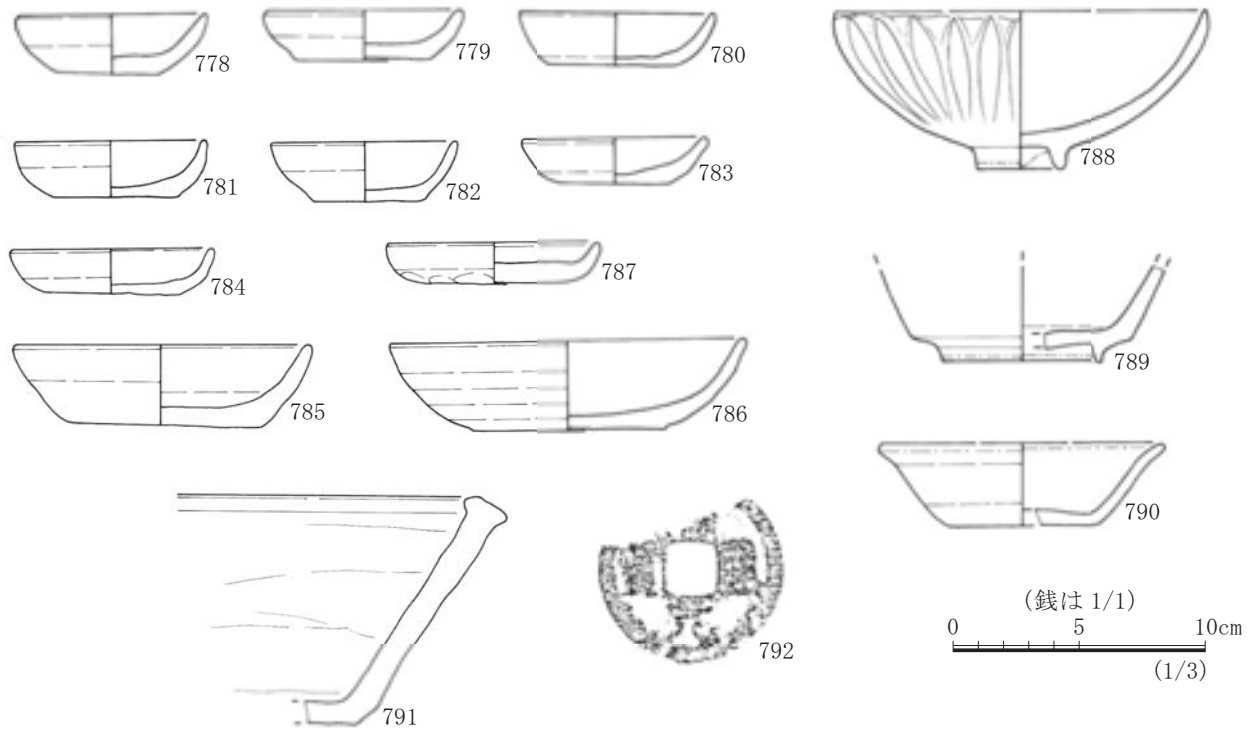
図 53 II 区下層遺構面 竪穴建物 15 出土遺物 (3)

#### 建物 15 の出土遺物 (図 51 ~ 53)

「床面上」出土としたものについて、正確には床板は遺存していなかったため、土台材の据え方と同一面と理解されたい。かわらけはロクロ成形品が大多数を占め、床面上出土の小皿は丸みを帯びた低平な資料 (721 ~ 730) が、大皿はやや深身を呈する資料が主体となる (731 ~ 733)。床面上では他に大鎧の部品である鉄製の梅檀板が出土し、鎌倉では唯一の事例となっている (741)。既に保存処理が施されており、その経緯や資料の属性については『かまくら考古』第 5 号で詳しく説明されている (福田 2010)。鎌倉時代初期の意匠を呈しているというが、かわらけを主体とする他の出土品は鎌倉後期の様相を示しているので、伝世品と理解すべきであろう。

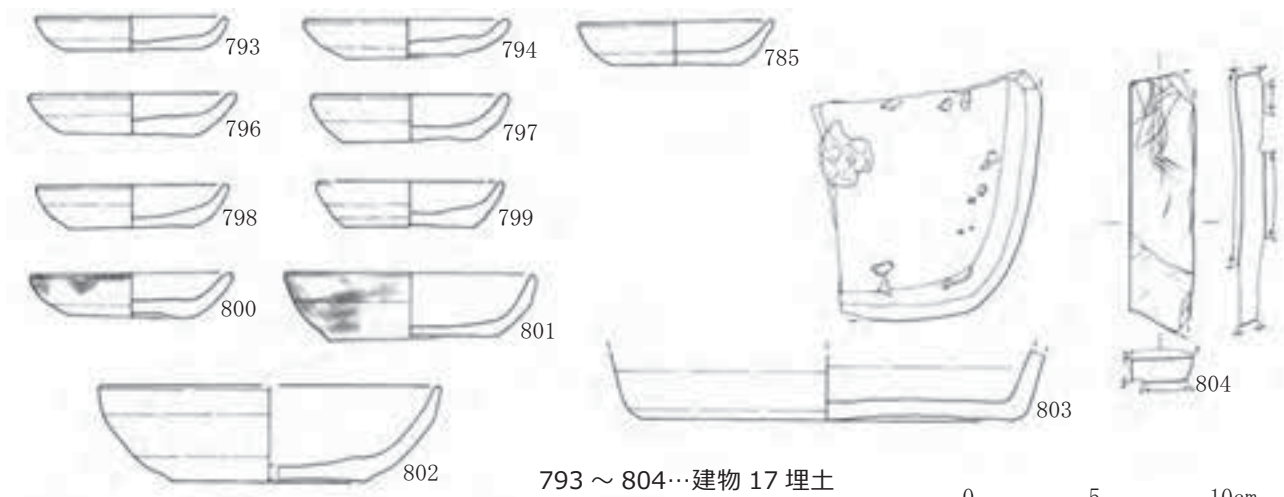


755 ~ 777…埋土



778 ~ 792…裏込め

图 54 II 区下層遺構面 竖穴建物 16 出土遺物



(1/3)

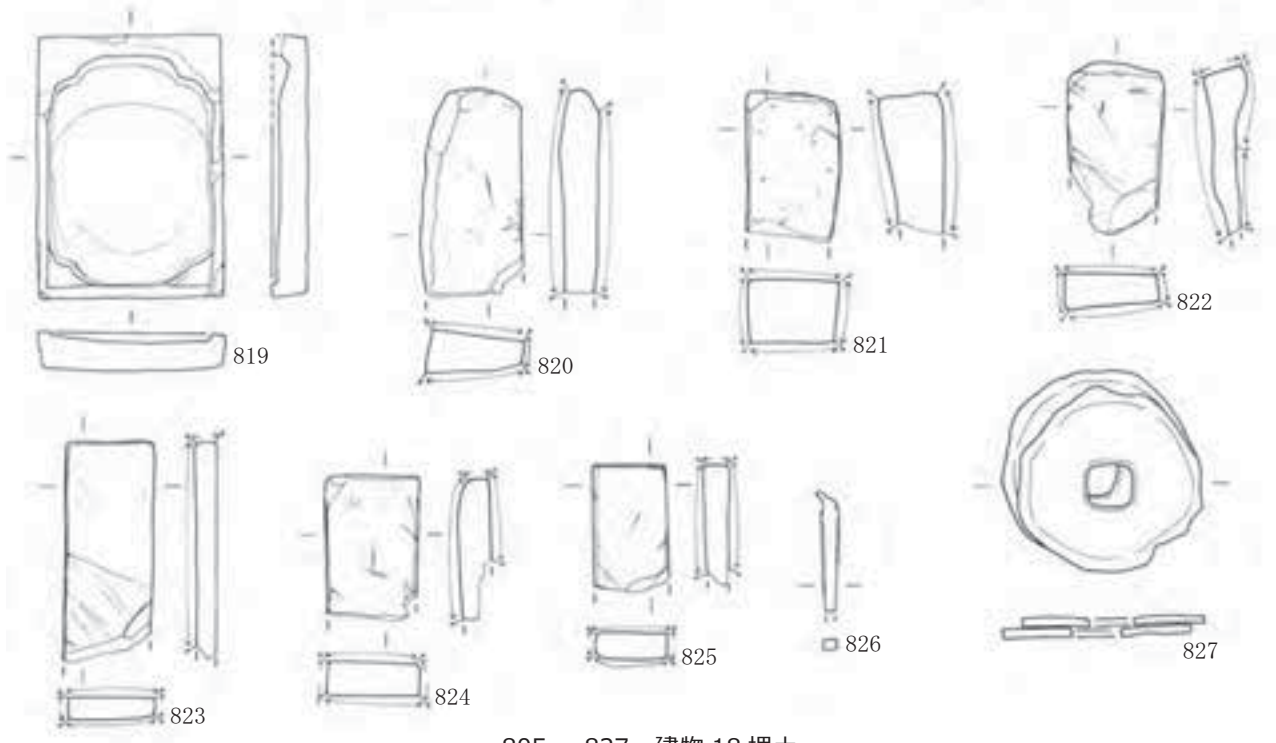
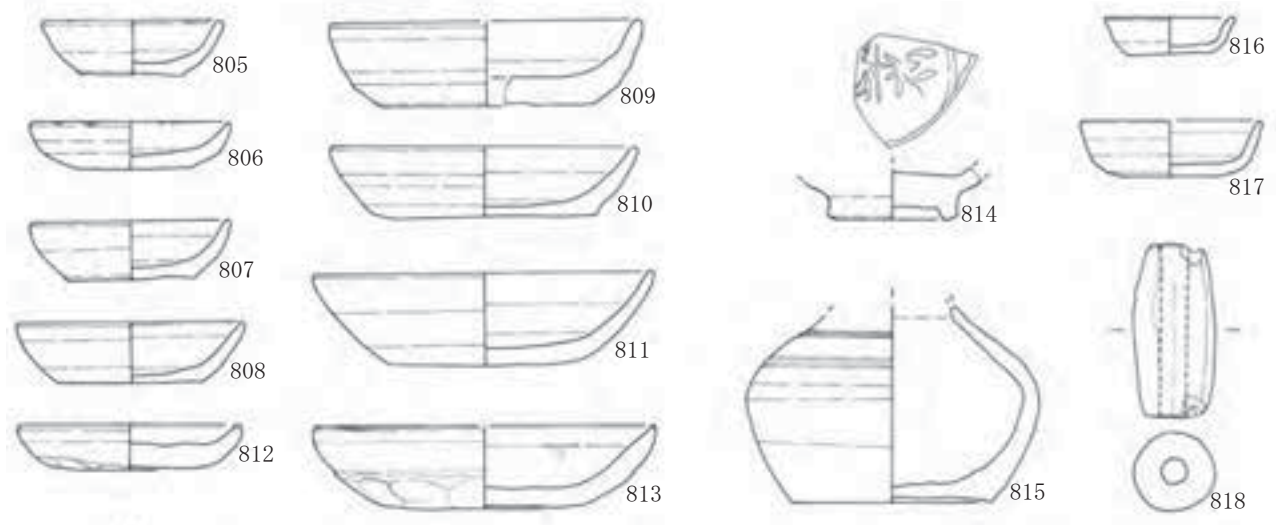


图 55 II 区下層遺構面 竪穴建物 17·18 出土遺物



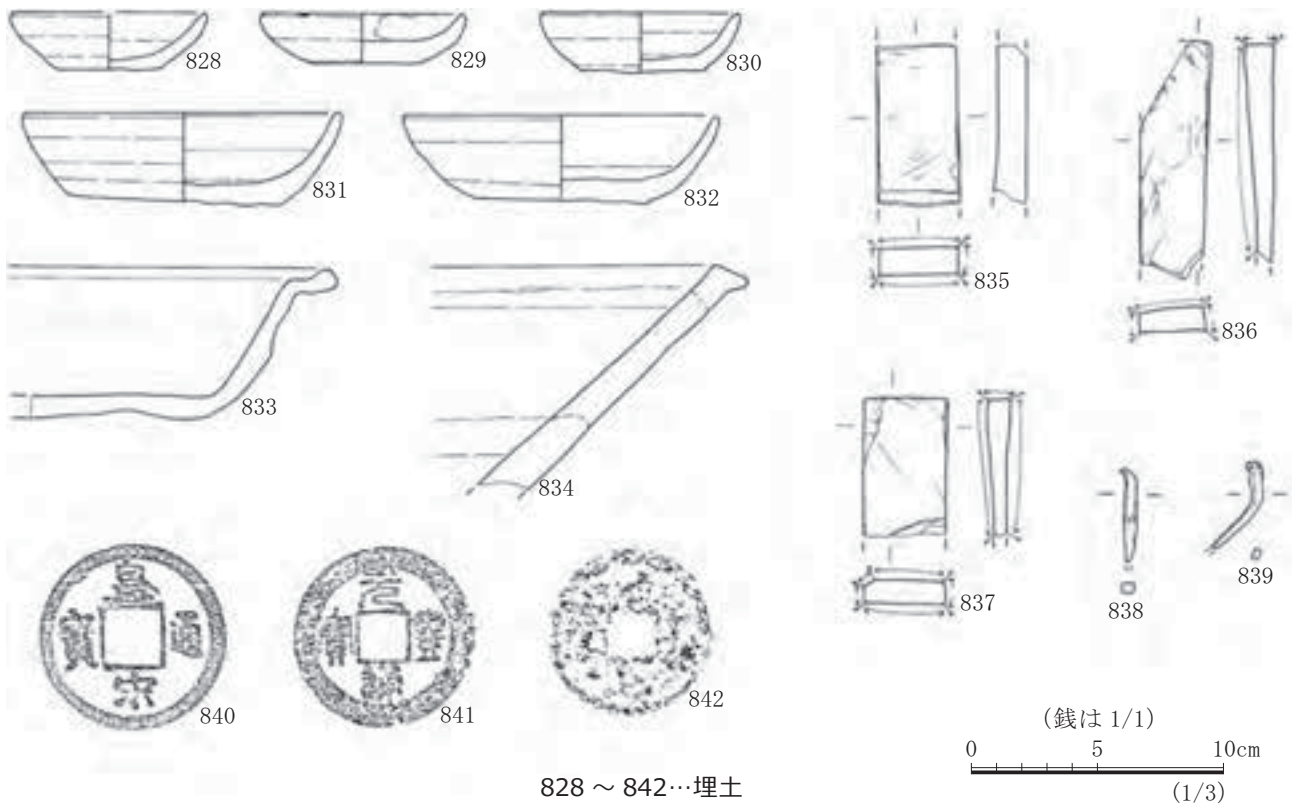


図 56 II 区下層遺構面 竪穴建物 19 出土遺物

建物 16 の出土遺物 (図 54)

ロクロかわらけは小皿を多く図示でき、埋土出土の資料は薄手で内湾・深身となる個体が目立つ (760・762 など)。先述した建物 14 出土の深身小皿 (図 50-672・673) より丸みが強く、一段階古い様相として捉えられようか。遺構間の切り合い関係とは矛盾しない。

建物 17 の出土遺物 (図 55)

ロクロかわらけの小皿を多く図示でき (793 ~ 800)、内湾しつつ低平な器形が主体となっている。803 は常滑窯の盤で、上面観が隅丸方形形状を呈すると見られる。

建物 18 の出土遺物 (図 55)

ロクロかわらけ (805 ~ 811) は大・小とも丸みを帯び、やや深身となる資料が主体となる。手づくねかわらけ (812・813) も図示できたが、かわらけ全体の中での構成比率は少ない。

建物 19 の出土遺物 (図 56)

ロクロかわらけ (828 ~ 832) は丸みを持ち、深身の資料が目立つ。

建物 20 の出土遺物 (図 57)

埋土出土のロクロかわらけのうち、小皿 (843 ~ 847) は丸みを持ち低平な器形の資料が主体となる。大皿 (848 ~ 850) は、やや深身の器形を呈する。

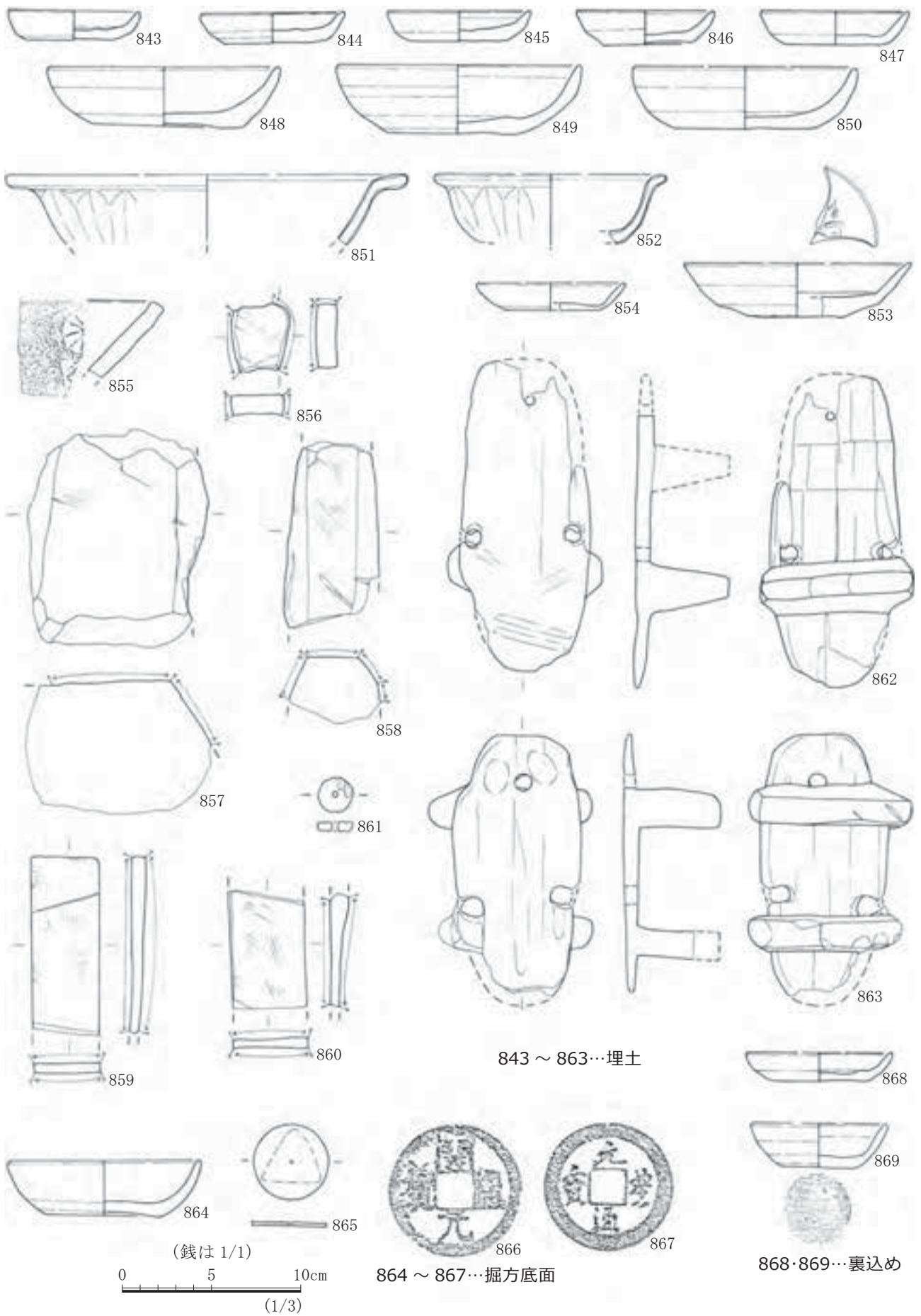


图 57 II 区下層遺構面 竖穴建物 20 出土遺物

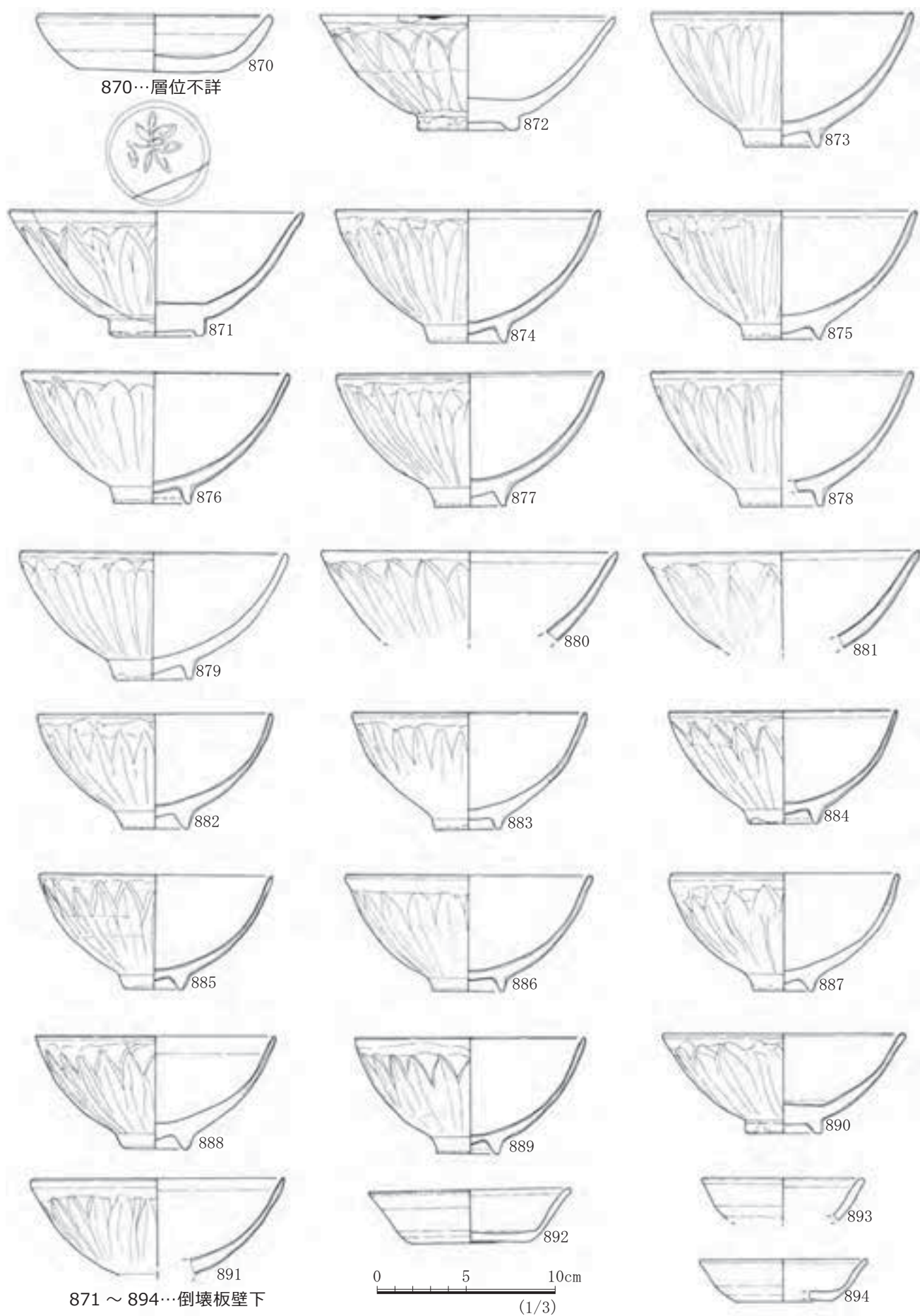


图 58 II区下層遺構面 竖穴建物 21 出土遺物 (1)

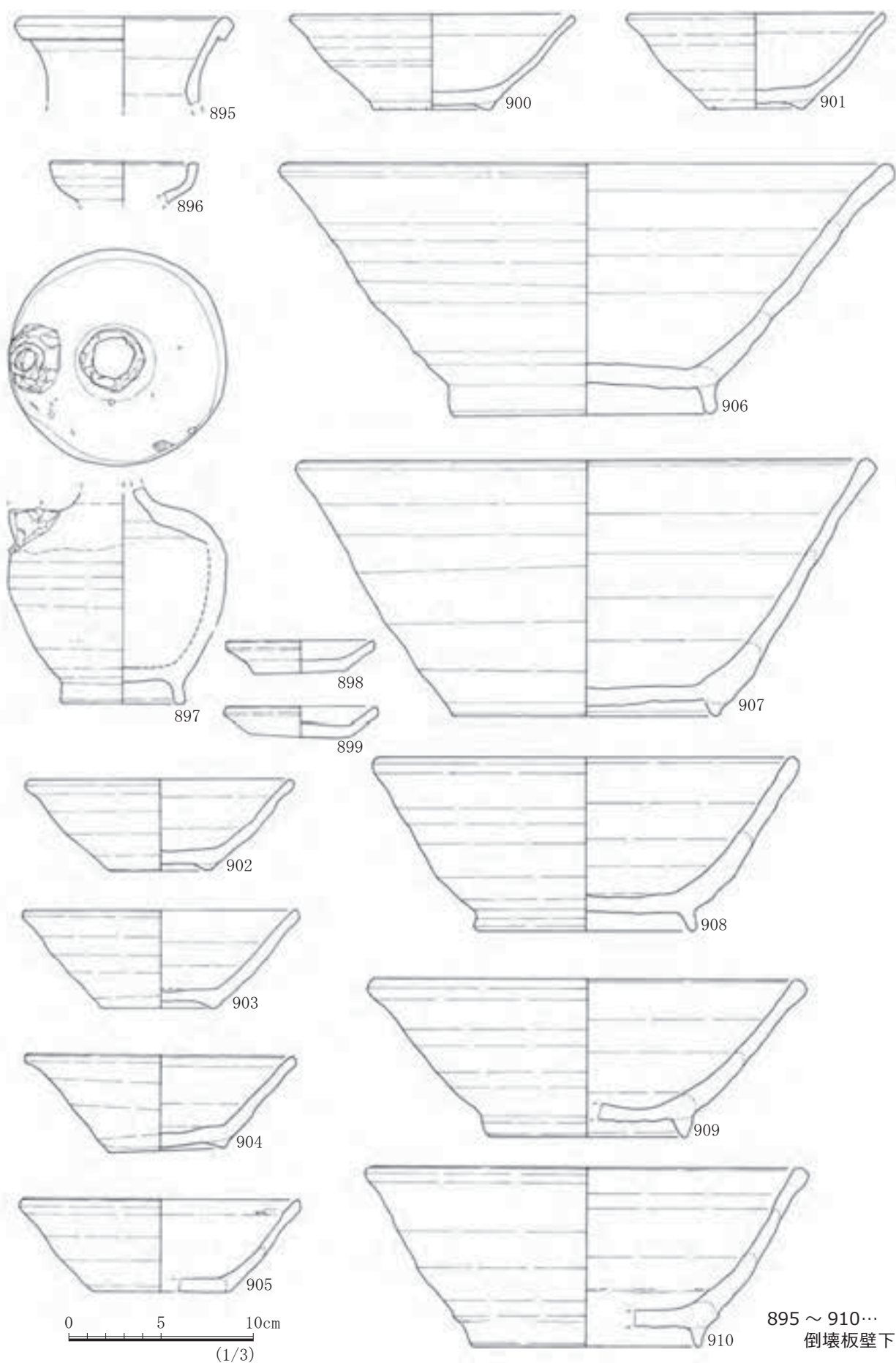


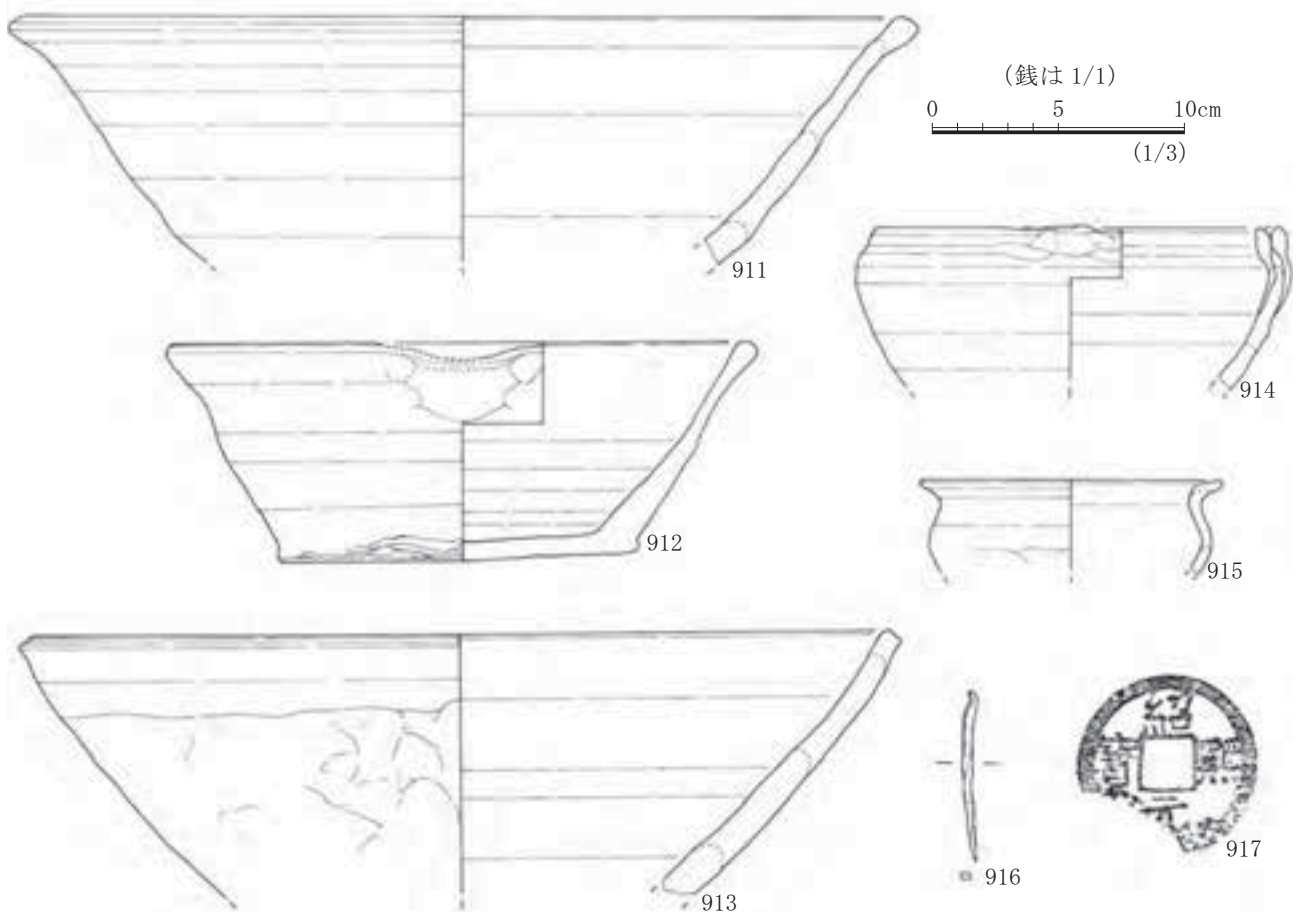
图 59 II区下層遺構面 豎穴建物 21 出土遺物 (2)

建物 21 の出土遺物 (図 58 ~ 61)

壁板下で出土した青磁碗は全て龍泉窯系の蓮弁文碗で、Ⅲ類が大多数を占め (14 点を図示)、Ⅱ類は僅少であった (871・872・890 の 3 点を図示)。871 は破損したものを漆で接着、修復している。欠損部位のない資料はこの 1 点のみで、他はほぼ完形品でもどこかしらの部位を欠いている。いずれの個体も内外面とも釉の光沢が鮮やかで、鎌倉の出土品に通常ある微細な傷も見て取れず、未使用品という印象を受ける。こうした青磁碗の一括廃棄事例は、今のところ鎌倉では唯一の例となっている。本遺構では、尾張型の山茶碗・山皿や同系統の片口鉢Ⅰ類も、完形やそれに近い資料が一定量出土している。これらも青磁碗と同様に使用感が殆どなく、内面はざらついた感触が残る。以上の資料群については『貿易陶磁研究 No. 28』で資料紹介がなされ、堅穴建物の廃絶に際し破損などで商品価値を失った製品が一括廃棄されたものと推測され、尾張型 7 型式の存在などから 13 世紀中頃の遺物組成という認識が示されている (原 2008)。

これら壁板下出土資料の組成にはかわらけが含まれず、他の陶磁器類と異なり本建物では収蔵・保管の対象となっていなかったことが推察できる。堅穴建物の出土遺物は概して埋土中からの出土が大部分を占め、廃棄時の埋め立てに伴って流入したケースが主体である。建物使用時の遺物としては床下の埋甕といった埋納物が散見されるものの、本例のような床上～壁下での一括廃棄例は極めて珍しく、堅穴建物の具体的な使用状況を考える上で参考となる発見となった。

本建物の構築年代については、壁板裏込め土からも龍泉窯系青磁の碗・坏Ⅲ類が出土しているので、廃絶年代をさほど遡らず、13 世紀中頃以降に位置付けることができよう。



911 ~ 917…倒壊板壁下

図 60 Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物 21 出土遺物 (3)

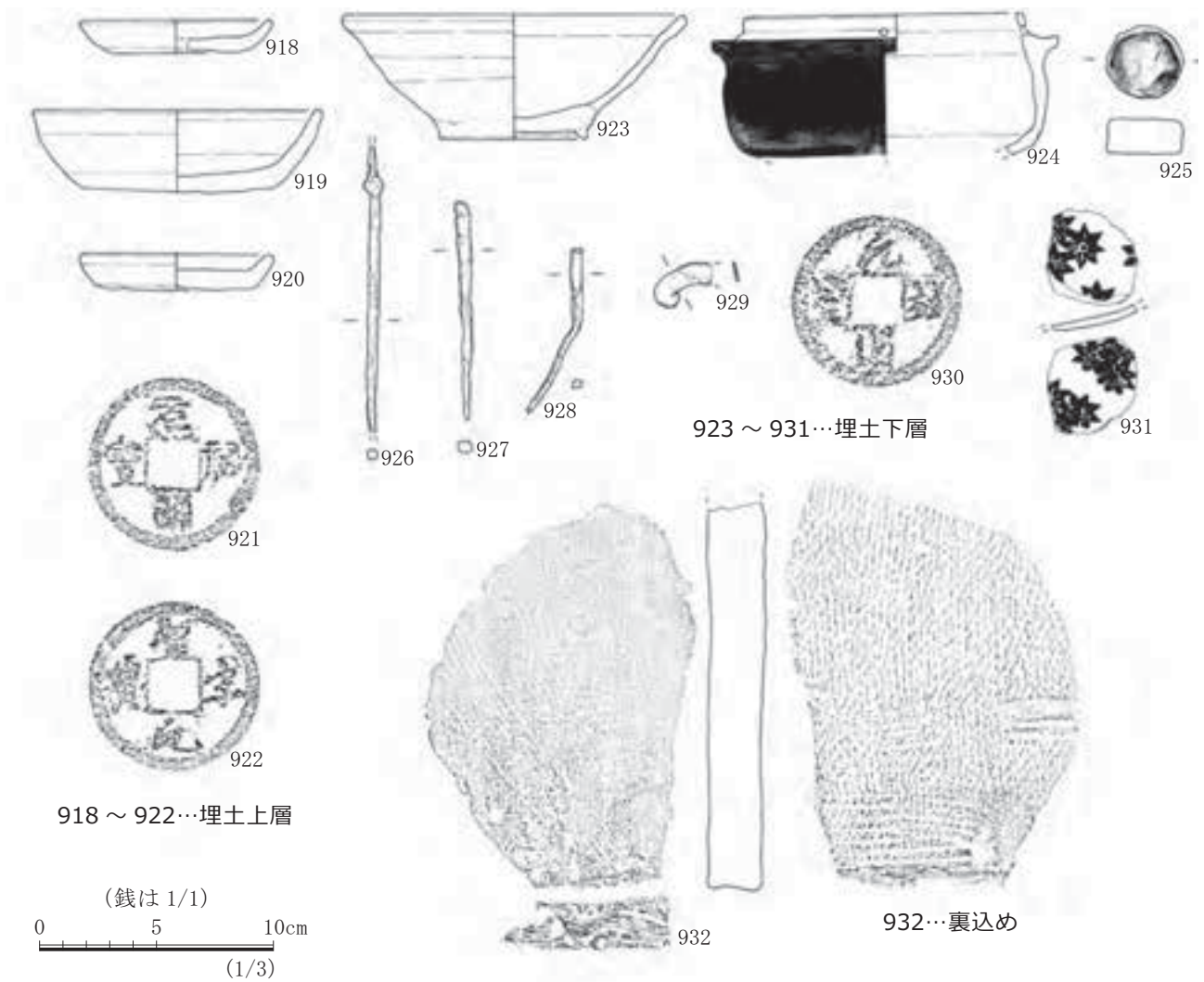


図 61 II 区下層遺構面 竪穴建物 21 出土遺物 (4)

建物 23 の出土遺物 (図 62)

945 は在地土器の盤で、体下部の外面に弱いミガキ調整が施されている。用途は明確でない。

建物 24 の出土遺物 (図 62)

946 は縄文土器で、深鉢の破片か。かわらけには図化できる資料がなかったが、出土量ではロクロ成形品と手づくねでと大きな差は見られなかった。

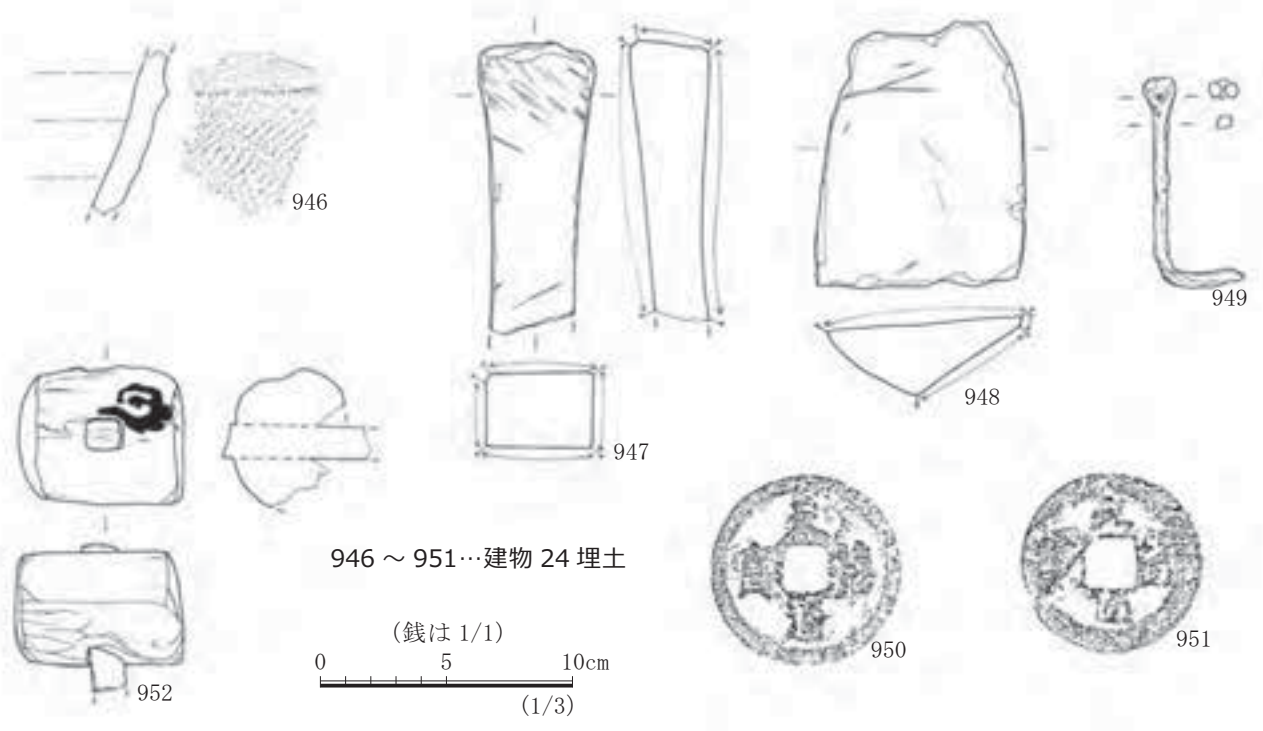
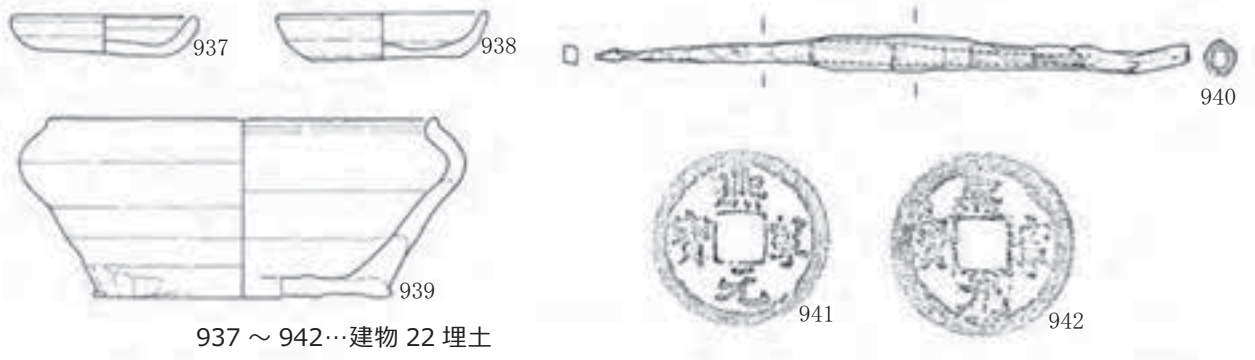
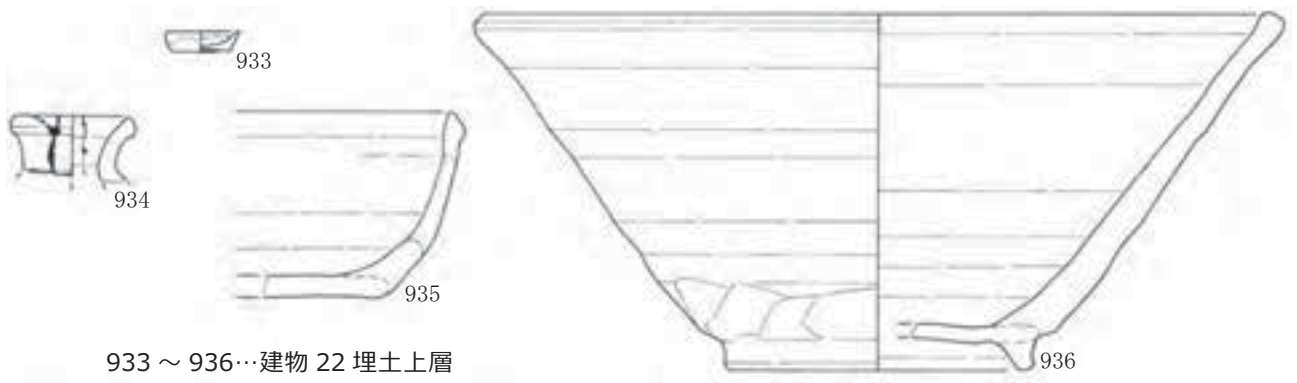
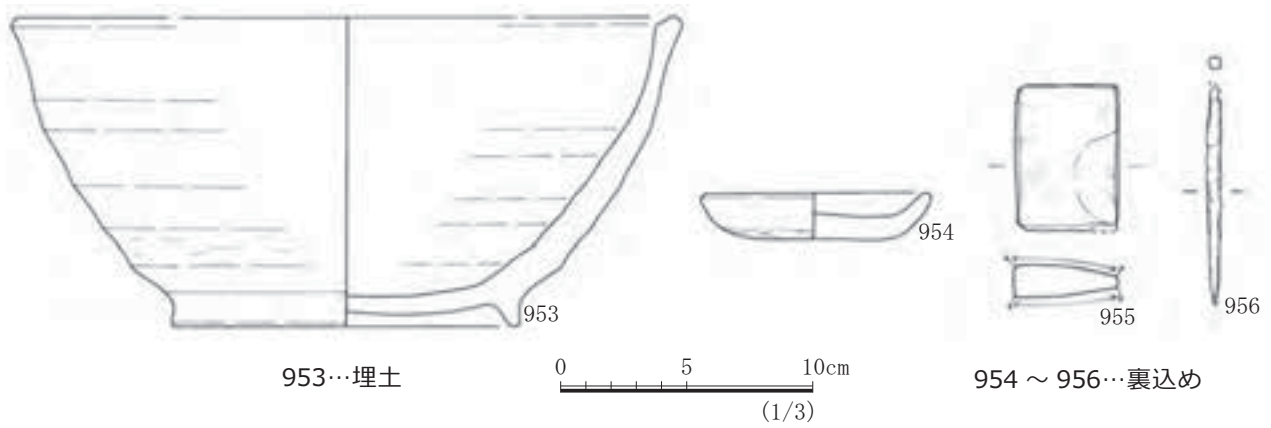


图 62 II 区下層遺構面 竖穴建物 22·23·24 出土遺物



953…埋土

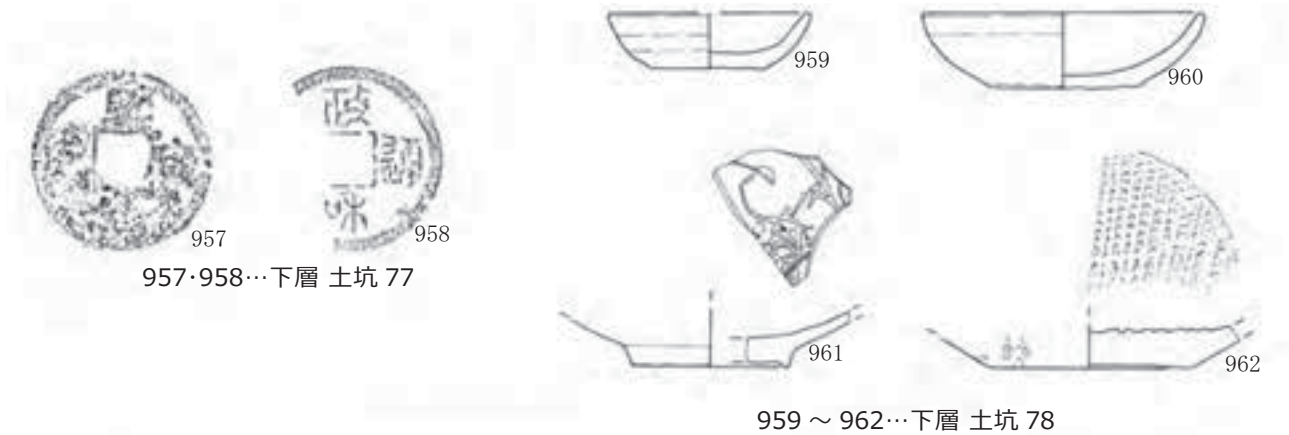
0 5 10cm  
(1/3)

954～956…裏込め

図 63 II区下層遺構面 井戸4出土遺物

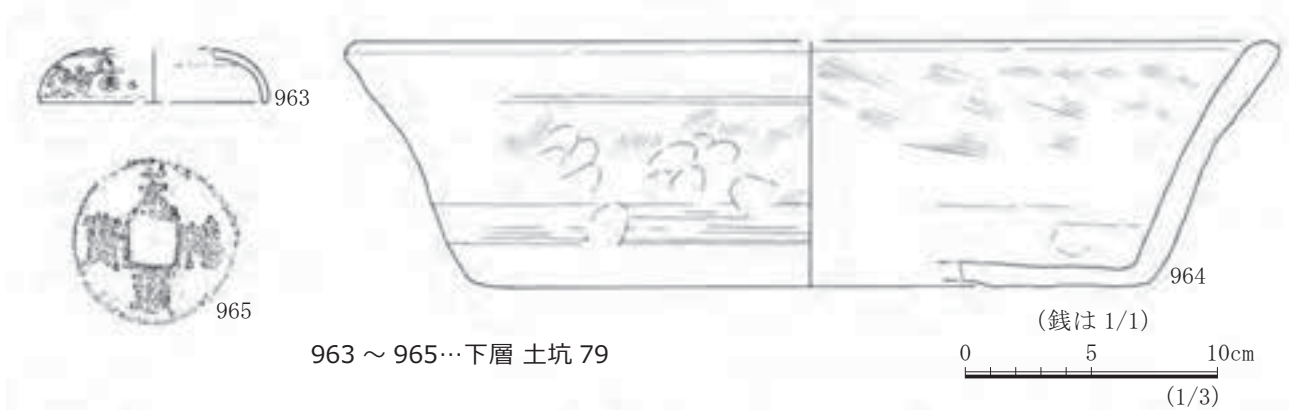
井戸4の出土遺物（図63・図65-983）

かわらけで図化できたのは954の手づくね小皿1点のみだが、出土数を見ると埋土・裏込め出土資料ともにロクロ成形品が大多数を占めている。この点、堅穴建物群に先行する遺構であっても先述の溝1とは遺物様相が異なり、井戸4の方が新相を示している。井戸としての使用・開放期間の長さを相対的に表しているのかもしれない。図65-983は整理時の過誤により、溝1と同じ挿図に配置してしまった。



957・958…下層 土坑 77

959～962…下層 土坑 78



963～965…下層 土坑 79

0 5 10cm  
(1/3)



966…下層 土坑 82

967・968…下層 土坑 84

969・970…上層  
溝状遺構東側

図 64 II区上層・下層遺構面 土坑・遺構外出土遺物



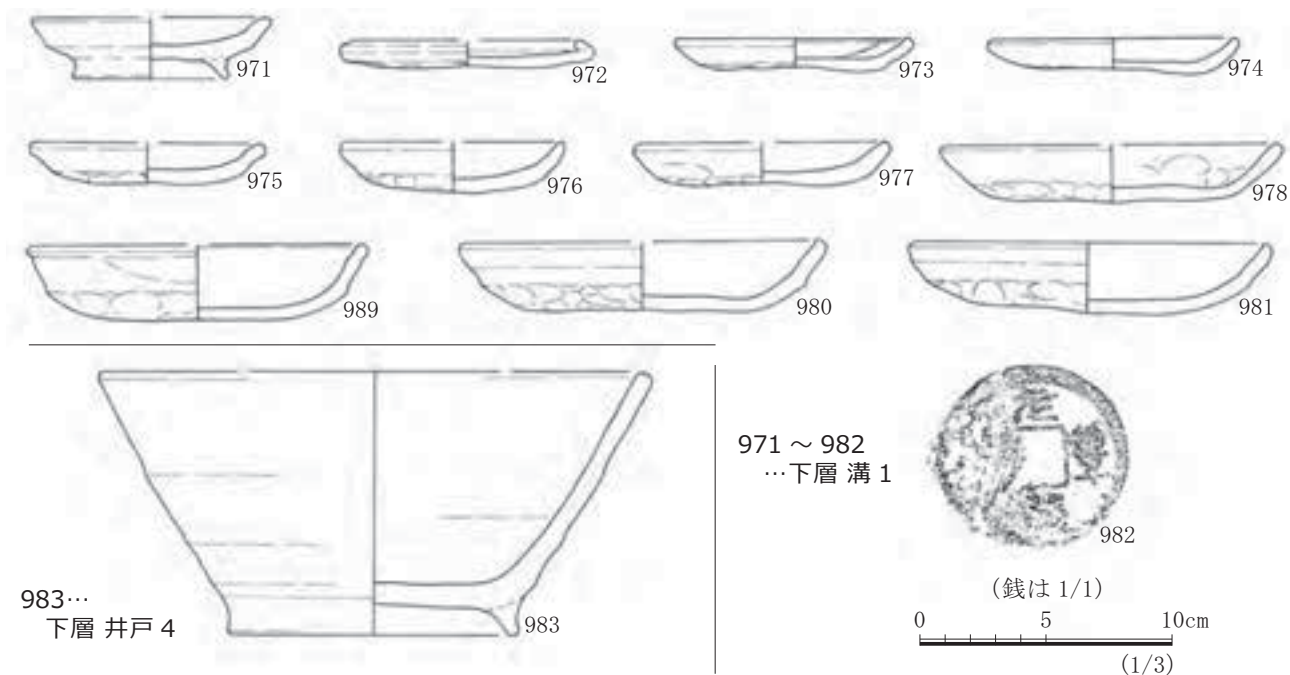


図 65 I 区下層遺構面 溝 1・井戸 4 出土遺物

#### 溝 1 の出土遺物 (図 65)

かわらけは手づくね成形品が出土数全体の大多数を占め、図示できた資料も、971 の高台付き小皿を除き全て手づくねとなった (971 ~ 981)。大・小ともに器壁が薄く扁平な資料が目立ち、手づくねでも比較的旧相の一群として評価できる。971 はロクロ成形と思われ、体下部の外表面は回転成形だが、高台貼り付け時の調整のためか、外底面の回転糸切り痕は残っていなかった。983 は、井戸 4 に帰属する。

#### 引用文献

福田 誠 2010 「出土遺物の保存「梅檀板」」『かまくら考古 第 5 号』

特定非営利活動法人鎌倉考古学研究所

原 廣志 2008 「若宮大路周辺遺跡群竪穴建物出土の陶磁器」『貿易陶磁研究 No. 28』

日本貿易陶磁研究会

表5 出土遺物カウント・計量表

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I区 表土				
ロクロかわらけ	小		3	89
	大		5	223
白磁	蓋?		1	7
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
		II or III	1	4
瀬戸	折縁深皿		6	269
常滑	片口鉢	I	2	169
		II	1	55
	甕		11	930
II区 表土				
手づくねかわらけ	小		1	5
龍泉窯系青磁	碗	I	1	3
瀬戸	瓶類		1	6
常滑	片口鉢	I	3	75
		II	1	78
瓦質土器	火鉢	I	2	163

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区 試掘坑				
尾張型	山皿		1	52
常滑	片口鉢	I	1	12
	片口鉢	II	1	89
	甕		10	715
渥美	甕		3	85
瓦質土器	火鉢		1	11
銅製品	銭		1	4
自然遺物	アカニシ		1	—
自然遺物	獣骨		5	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I区 上層遺構面上遺物包含層				
ロクロかわらけ	小		46	705
	大		150	2375
手づくねかわらけ	小		6	110
	大		6	92
かわらけ	小片		10	43
白かわらけ	手づくね		1	4
			3	13
土器	鍔付鍋		5	35
	皿	IX	13	73
	碗皿		1	3
白磁	蓋		1	6
白磁(新)			1	5
青白磁	梅瓶		3	14
	水注		1	18
	蓋		1	2
龍泉窯系青磁	碗	I	6	44
	碗	II or III	9	39
	碗	III	3	43
	碗皿		12	45
	坏	III	3	113
	小片		3	23
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	5
	褐釉壺		3	51
	入子		2	9
	緑釉小皿		1	28
	天目茶碗		2	22
	平碗		2	24
	碗		6	52
	洗?		1	101
	折縁皿		24	599
	卸皿		17	560
	柄付片口		4	138
	筒型香炉		1	54
	瓶子		1	11
	花瓶		1	74
	壺・瓶類		17	811
	蓋		1	1
	不明		2	15
尾張型	山茶碗		2	13
常滑	片口鉢	I	59	1808
	片口鉢	II	28	1999
	甕		219	11808
	壺		6	176
	転用研磨具		2	113
渥美	甕		4	81
備前	すり鉢		3	345
東播系須恵器	片口鉢		1	34
	甕		1	12
不明陶器			3	27
瓦質土器	火鉢	A	8	560
	火鉢	B	5	560
	火鉢		38	1760
石製品	滑石片	西彼杵	4	155
	荒砥	笹口砂岩	1	825
	荒砥		1	1265
	中砥	伊予	1	196
	中砥		1	137
	中砥or荒砥		1	180
	仕上げ砥	鳴滝	1	4
	仕上げ砥		7	99
銅製品	銭		8	28
鉄製品	釘		33	380
	板状製品		8	179
骨製品	双六駒		1	3
建築部材等	漆喰		1	10

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
自然遺物	獣骨		26	—	
Ⅱ区 上層遺構面上遺物包含層					
ロクロかわらけ	小		128	1708	
	中		1	53	
	大		526	7162	
手づくねかわらけ	小		2	30	
	大		6	121	
かわらけ	転用円盤		1	7	
	小片		40	136	
白かわらけ	手づくね		1	5	
土器	南伊勢系鍋		3	67	
	罫付鍋		7	72	
	鉢		1	40	
白磁	皿	IX	18	82	
	皿		1	3	
	碗	IX	2	38	
	碗		1	16	
	壺類		1	18	
青白磁	梅瓶		5	194	
	合子蓋		3	14	
	合子身		2	10	
	皿		3	3	
同安窯系青磁	碗		1	11	
龍泉窯系青磁	碗	I	7	203	
	碗	I or II	1	18	
	碗	II	1	45	
	碗	II or III	23	187	
	碗	III	3	47	
	碗皿		10	33	
	坏	III	6	22	
	酒会壺蓋		1	10	
舶載施釉陶器	褐釉壺		3	193	
瀬戸	縁釉小皿		1	6	
	小皿		1	16	
	平碗		2	26	
	碗?		2	141	
	卸皿		11	152	
	折縁皿		21	412	
	直縁大皿		1	32	
	すり鉢		6	214	
	皿盤		1	31	
	柄付片口		3	60	
	花瓶		1	123	
	壺類		11	221	
	不明		3	10	
	瀬戸?	陶丸		1	14
	尾張型	山茶碗		4	32
常滑	片口鉢	I	75	2756	
	片口鉢	II	53	3044	
	甕		462	22051	
	壺		10	443	
	転用研磨具		1	52	
渥美	甕		12	483	
備前	すり鉢		5	349	
東播系須恵器	片口鉢		5	140	
	甕		2	45	
土製品	土錘		1	17	
	不明		1	28	
瓦質土器	香炉	IV	1	6	
	香炉		2	20	
	火鉢	III	2	292	
	火鉢	IV	4	232	
	火鉢		40	1991	
	風炉?		1	25	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瓦	軒丸	I	1	64
	平瓦	A	1	86
	平瓦		1	266
	丸瓦	B	1	184
石製品	滑石製スタンブ		2	156
	滑石片	西彼杵	3	105
	硯	鳴滝	4	361
	硯		1	20
	硯石		3	26
	基石?		1	1
	石臼		1	720
	非製品	伊那	1	50
	軽石		3	77
	仕上げ砥	鳴滝	7	103
	仕上げ砥	出羽	1	65
	仕上げ砥	備水	1	27
	仕上げ砥		9	177
	中砥	上野	1	58
中砥	天草	1	152	
中砥	伊予	2	168	
中砥		3	225	
石材	石英		1	3
	雲母片		1	1
銅製品	銭		10	39
鉄製品	釘		95	647
	板状製品		4	53
	鍋?		1	66
	鉄滓		2	53
	鉄片		3	67
漆器	塗膜		1	—
建築部材等	漆喰		3	57
骨製品	筭		1	—
自然遺物	アカニシ		1	—
	獣骨		11	—
	獣骨		27	—
	獣骨		2	—
	獣骨		6	—
	獣骨		5	—
	獣骨		36	—
	人骨		1	—
土師器	甕?		1	13
須恵器	転用硯		1	130
磁器(新)	不明		1	3
	壺?		1	4
瀬戸(新)	蓋		1	16
	蓋付		1	5
不明陶器	蓋		1	36
近世陶器			1	4
不明	不明		1	27

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I区 上層～下層遺物包含層				
手づくねかわらけ	大		5	59
ロクロかわらけ	小		14	171
	大		41	540
かわらけ	小片			6
土器	南伊勢系鍋		1	3
白磁	皿	IX	3	6
青白磁	梅瓶		2	18
青白磁	皿		2	9
龍泉窯系青磁	碗	I	4	29
	碗	II or III	3	20
	碗	IV	1	35
	皿		1	1
	坏	III	1	3
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	9
瀬戸	入子		2	5
	折縁皿		1	46
	天目茶碗		1	36
尾張型	山茶碗		1	4
常滑	片口鉢	I	24	960
	片口鉢	II	10	675
	甕		68	3515
	壺		9	153
渥美	甕		1	38
不明陶器			1	21
瓦質土器	火鉢	A	1	30
	火鉢	B	4	334
	火鉢		14	596
瓦	平瓦	D	1	69
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	4
鉄製品	釘		2	11
自然遺物	獣骨		23	
II区 上層～下層遺物包含層				
手づくねかわらけ	小		1	6
ロクロかわらけ	極小内折れ		1	7
	小		102	1172
かわらけ	大		518	5875
	小片		259	878
白かわらけ	ロクロ		2	6
土器	南伊勢系鍋		10	35
白磁	皿	IX	13	45
	壺類		2	15
青白磁	梅瓶		3	10
	皿		4	3
	不明		1	1
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
	碗	II or III	12	70
	碗皿		10	18
	皿		1	3
	坏・盤	III	6	39
舶載施釉陶器?	褐釉壺		2	55
瀬戸	入子		6	32
	天目茶碗		2	24
	平碗		3	41
	小天目?		1	4
	碗皿		2	9
	卸皿		14	326
	折縁小皿		1	2
	折縁皿		26	802
	洗		2	33
	柄付片口		2	26
	香炉		5	44
	香炉?		1	14
	花瓶		1	80
	小壺(水滴)		3	28
	壺類		12	240

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸美濃	灯明皿		1	6
尾張型	山皿		1	4
	山茶碗		4	42
東濃型	山茶碗		1	10
常滑	片口鉢	I	93	2196
	片口鉢	II	38	2322
	甕		318	14403
	壺		23	743
	転用研磨具		1	55
渥美	片口鉢		2	31
	甕		8	236
備前	すり鉢		1	98
	転用研磨具		1	34
東播系須恵器	片口鉢		2	70
	甕		1	152
	甕転用硯		3	125
瓦質土器	火鉢	I	8	360
	火鉢	III	3	118
	火鉢	IV	7	447
	火鉢		22	767
石製品	仕上げ砥	鳴滝	18	318
	仕上げ砥	出羽?	1	42
	仕上げ砥	上野沼田?	1	45
	仕上げ砥	中砥材	1	79
	中砥	天草	2	233
	中砥	伊予	1	102
	硯	赤間ヶ関	1	12
	硯	鳴滝	2	74
	硯石	鳴滝	1	2
	滑石スタンプ		1	32
	滑石片	西彼杵	2	9
	滑石片	西彼杵	3	146
	基石(黒)		2	5
	基石?		1	2
石材	石英		2	7
	軽石		1	69
銅製品	銭		13	45
鉄製品	釘		131	820
	板状製品		9	140
	不明		3	35
	鉄片		2	549
	鉄滓		1	301
建築部材等	漆喰		4	758
骨製品	筭		1	—
	獣骨		93	—
自然遺物	人骨?		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区上層 近世土坑				
ロクロかわらけ	小		2	43
	大		10	83
かわらけ	小片		8	23
土器	南伊勢系鍋		1	2
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
			1	6
常滑	片口鉢		1	16
	甕		22	1135
瓦質土器	火鉢		2	130
鉄製品	釘		3	32
自然遺物	獣骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
I 区上層 竪穴建物1					I 区下層 竪穴建物2A					
手づくねかわらけ	大		6	73	手づくねかわらけ	小		2	18	
	小		9	72		大		13	235	
ロクロかわらけ	大		59	1190		極小		1	7	
	小片		—	53	ロクロかわらけ	小		70	1045	
白磁	碗	X	1	2		大		366	6415	
	皿	IX	5	20	かわらけ	小片		7	32	
	四耳壺		1	7	白かわらけ	小片		3	8	
	瓶類		1	5	瀝美	甕		3	136	
青白磁	梅瓶		1	20	白磁	皿	IX	19	103	
同安窯系青磁?	皿		1	3		盤or皿		10	25	
龍泉窯系青磁	碗	I	1	46	青白磁	合子蓋		1	1	
		II or III	7	39		合子身		1	6	
		IV?	1	7		皿		3	2	
	皿	I	1	4		梅瓶		11	81	
	坏	III	1	14	同安窯系青磁	碗		2	14	
		III-1	1	38	龍泉窯系青磁	碗	I	5	52	
高麗青磁	瓶子		1	52			II	3	35	
瀬戸	入子		2	34			II or III	16	122	
	天目茶碗		1	5			III	1	8	
	卸皿		1	4	碗皿	11	31			
	折縁皿		1	33	折縁鉢or皿	9	65			
常滑	瓶類		3	151	船載施釉陶器	黄釉盤		2	49	
	円盤状		1	39	瓦器	小片		1	2	
	片口鉢	I	14	640	瓦質土器	火鉢	I	4	175	
		II	24	1460			III	2	77	
	甕		93	6375			20	1050		
	壺		3	110	船載施釉陶器	褐釉壺		5	100	
	鷹口壺		1	15	瓦	軒丸瓦	陽刻下向 剣頭文		1	209
瀝美	甕		1	120				丸瓦		1
東播系	片口鉢		5	186			平瓦	A	2	100
瓦質土器	火鉢	I	1	222				D	2	457
		III	2	394			不明	3	204	
		IVC	1	399	骨製品	筭		3	6	
			7	329	石製品	滑石鍋	西彼杵	4	235	
瓦	平瓦	燻べ	1	79	瀬戸	入子		3	14	
石製品	硯	鳴滝	1	86		柄付片口鉢		1	203	
		天草	1	505		折縁皿		2	43	
		伊予	1	43		花瓶	II	1	108	
石材	石英		2	29	瓶子		1	27		
	片岩		1	730	瓶類		3	50		
	不明		1	258	尾張型	山茶碗		5	161	
銅製品	銭		4	17	常滑	片口鉢	I	64	2713	
鉄製品	釘		24	165			II	25	1552	
	自然遺物	鉄滓		5		116	甕	6bまで	206	17873
	獣骨		28	—	壺		6	115		
I 区上層 建物1床面上					備前	転用研磨具		2	95	
手づくねかわらけ	小		2	47	不明陶器	壺?		1	22	
	大		5	53		鉢		1	310	
ロクロかわらけ	小		12	245	土師器	坏		2	39	
	大		110	1385	不明土器	小片		3	29	
白磁	皿	IX	2	6						
			1	1						
同安窯系青磁	碗	II	1	25						
		II or III	2	15						
		IV?	1	7						
		碗(櫛描)		1	4					
土器	碗皿		6	11						
	不明		1	3						
	南伊勢系鍋		2	31						
瀬戸	卸皿		1	5						
	瓶類		1	3						
尾張型	山茶碗		2	15						
常滑	片口鉢	I	24	660						
		II	8	395						
	甕		71	3340						

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
石製品	硯		1	13	かわらけ	小片		3	10
	仕上げ砥	鳴滝	9	228	白磁	皿	IX	3	24
	中砥	伊予	1	49	青白磁	合子蓋		2	3
	荒砥		1	512	龍泉窯系青磁	碗	II	6	54
	双六駒		1	4		碗		1	4
石材	石英		2	29	折縁鉢		1	19	
銅製品	錢		2	8	尾張型	山茶碗		1	15
鉄製品	板状製品		1	88	常滑	片口鉢	I	4	141
	釘		38	274	甕			25	1955
	鉄滓		1	17	渥美	甕		2	58
漆製品	烏帽子		1		瓦質土器	火鉢		1	29
木製品	曲物底板		1		石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	3
自然遺物	獣骨		101		骨製品	双六駒		1	2
	キサゴ		2		自然遺物	獣骨		11	—
I 区下層 竪穴建物2A床面上					I 区下層 竪穴建物2A拡張部				
手づくねかわらけ	小		1	9	手づくねかわらけ	大		4	54
	大		12	130	ロクロかわらけ	大		9	153
ロクロかわらけ	小		23	305	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	22
	大		59	905	常滑	片口鉢	I	1	20
かわらけ	小片		12	47	甕			4	368
白かわらけ	小片		1	5	銅製品	錢		3	11
土器	南伊勢系鍋		1	7	I 区下層 竪穴建物2B掘方				
白磁	皿	IX	3	27	ロクロかわらけ	小		1	8
	瓶類		2	14	大			1	27
青白磁	梅瓶蓋		3	7	舶載施釉陶器	天目碗		1	13
同安窯系青磁	碗		1	1	常滑	片口鉢	II	1	48
	皿		1	3	甕			2	85
龍泉窯系青磁	碗	II or III	8	48	瓦質土器	火鉢		1	68
			1	6	I 区下層 竪穴建物2B裏込め				
舶載施釉陶器	盤		1	2	ロクロかわらけ	大		5	138
瀬戸	瓶子		2	31	土師器	甕		1	14
尾張型	山茶碗		4	56	常滑	甕		2	38
常滑	片口鉢	I	19	715	石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	3
		II	6	273	I 区下層 竪穴建物3				
	甕		104	4990	手づくねかわらけ	小		2	10
	壺		2	86	大			5	40
渥美	甕		1	24	ロクロかわらけ	小		5	65
瓦質土器	火鉢	I	1	113	大			36	985
	その他火鉢		4	340	白磁	皿	IX	1	10
瓦	平瓦		2	119	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	7
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	50		碗皿	III	2	59
	滑石鍋	西彼杵	2	143	瀬戸	卸皿		1	83
	滑石片		1	3	瀬戸?	小片		1	2
鉄製品	釘		6	31	常滑	片口鉢	(I)	24	1180
漆器	碗		3	—		甕	II	5	315
	膳		1	—	38	175			
木製品	鳥形		1	—	東濃型	山茶碗		1	18
自然遺物	胡桃核		—	—	東播	亀山甕		2	177
	獣骨		10	—	瓦器(楠葉)	坏		1	3
	アカニシ		1	—	瓦質土器	火鉢		6	195
	アワビ		1	—	石製品	滑石鍋		3	241
	イボキサゴ		17	—		硯	鳴滝	1	2
	キサゴ		1	—	仕上げ砥	鳴滝	5	81	
	チョウセンハマグリ		2	—	石材	軽石		1	13
ハマグリ		20	—	石片	鳴滝	1	42		
I 区下層 竪穴建物2A内ピット					銅製品	錢		3	12
ロクロかわらけ	小		1	1	鉄製品	釘		8	51
	大		1	13	鉄滓	鉄滓		1	13
自然遺物	獣骨		1	—	漆器	膳		1	—
	キサゴ		1	—	骨角製品	鹿角加工品		1	—
	ハマグリ		2	—	自然遺物	桜皮		1	—
I 区下層 竪穴建物2A裏込め					獣骨		40	—	
手づくねかわらけ	小		2	17	I 区下層 建物3床面上				
	大		6	93	手づくねかわらけ	小		2	17
ロクロかわらけ	小		6	74	大			5	79
	大		12	150					

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
ロクロかわらけ	小		16	216
かわらけ	小片		1	1
白磁	皿	IX	1	16
龍泉窯系青磁	碗	I	2	9
		II	1	15
瀬戸	入子		1	2
	卸皿		1	11
尾張型	山茶碗		1	4
常滑	片口鉢	II	2	102
		I	6	266
自然遺物	甕		29	1345
	獣骨		11	
	キサゴ		1	
石製品	滑石鍋		1	196
	仕上げ砥	鳴滝	1	46
石材	石英		2	44
鉄製品	釘		6	17
I 区下層 建物3裏込め				
ロクロかわらけ	小		4	70
	大		4	66
龍泉窯系青磁	碗		1	4
常滑	片口鉢	I	2	45
		II	1	197
	甕		18	935
渥美	甕		1	28
瓦質土器	火鉢	I	1	55
瓦	平瓦	A	1	147
自然遺物	獣骨		3	—
I 区下層 建物4				
手づくねかわらけ	小		19	447
	大		16	287
ロクロかわらけ	小		46	800
	大		136	3425
かわらけ	小片		1	3
手づくね土器	碗		1	47
白磁	碗	IX	1	22
			1	10
	皿	IX	7	43
			2	17
瓶類		3	37	
青白磁	皿		1	5
同安窯系青磁	碗		3	70
龍泉窯系青磁	碗	I	4	40
		II or III	12	83
		III	2	161
舶載施釉陶器	盤		1	9
	褐釉壺		1	18
	褐釉?		2	76
瀬戸	卸皿		1	48
	花瓶?		1	10
	瓶類		2	74
常滑	片口鉢	I	55	2630
		II	7	595
			278	22320
	壺		11	860
尾張型	山茶碗		4	128
渥美	甕		8	409
瓦質土器	火鉢	I	3	458
	その他火鉢		8	401
石製品	滑石鍋		4	483
	滑石製温石	西彼杵	1	462
	硯	鳴滝砥石材	2	39
	仕上げ砥	鳴滝	1	25
泥岩	中砥	伊予	1	212
	加工品		1	19

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
銅製品	銭		3	11
鉄製品	釘		20	94
自然遺物	獣骨		109	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		10	—
	サザエ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		10	—
I 区下層 建物4床面上				
手づくねかわらけ	小		13	250
	大		12	184
ロクロかわらけ	内折れ極小		1	12
ロクロかわらけ	小		31	474
	大		57	895
かわらけ	小片		1	1
白磁	皿		1	2
白磁	碗		1	4
青白磁	合子or水注		3	4
	皿		1	2
同安窯系青磁	皿		1	9
	碗		2	5
	碗	II or III	1	4
龍泉窯系青磁	碗皿		2	14
瀬戸	瓶類		1	11
尾張型	山茶碗		1	3
常滑	片口鉢	I	5	122
		II	2	53
	甕		52	4180
	壺		2	30
渥美	甕		2	77
猿投	瓶類		1	134
瓦器	碗		1	3
瓦質土器	火鉢		5	101
銅製品	銭		2	8
鉄製品	掛金具		1	17
	釘		15	55
自然遺物	桃or梅核		1	3
	獣骨		10	—
	アカニシ		2	—
	イボキサゴ		19	—
	ダンベイキサゴ		22	—
	二ナ		2	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		16	—
I 区下層 建物4掘方				
手づくねかわらけ	小		1	10
	大		1	36
ロクロかわらけ	大		2	15
常滑	甕		3	3845
漆器	皿		1	—
木製品	箸		6	—
自然遺物	ダンベイキサゴ		1	—
	ツメタ		1	—
I 区下層 建物4裏込め				
手づくねかわらけ	大		3	54
ロクロかわらけ	小		1	21
	大		8	219
土器	鍔付鍋		1	31
白磁	皿	IX	2	5
青白磁	碗皿		2	2
龍泉窯系青磁	碗	III	1	5
	皿		1	23
瀬戸	碗皿		1	17
	折縁皿or鉢		1	21
	瓶類		1	47

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	4	124
	甕		24	1765
	壺		1	17
渥美	甕		9	595
瓦	平瓦	C・D	1	190
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		1	15
自然遺物	獣骨		9	
	ダンバイキサゴ		1	
I 区下層 竪穴竪物5				
手づくねかわらけ	小		2	42
	大		1	19
ロクロかわらけ	小		1	13
	大		10	237
白磁	瓶類		2	13
龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	6
常滑	片口鉢	I	6	143
	甕	II	7	437
瀬戸	入子	5~6	32	1570
瓦質土器	火鉢	I	1	61
	火鉢		8	360
石製品	中砥	上野	1	178
銅製品	六器碗		1	14
	銭		2	7
鉄製品	釘		2	26
	鉄滓		2	30
I 区下層 竪穴竪物5床面上				
ロクロかわらけ	大		5	146
白磁	皿	IX	1	12
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	6
瀬戸	入子		1	9
尾張型	山茶碗		1	21
石製品	中砥	伊予	1	115
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		5	38
I 区下層 竪穴竪物5裏込め				
手づくねかわらけ	小		4	70
	大		1	19
ロクロかわらけ	小		13	236
	大		10	176
かわらけ	小片		1	6
土器	南伊勢系鍋		1	13
白磁	碗		1	4
	皿	IX	1	34
			1	10
白磁or青白磁	小片		1	1
青白磁	合子蓋		1	2
	梅瓶蓋		1	6
龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	9
			1	3
		III	4	24
瀬戸	卸皿		1	92
	折縁皿		8	39
	瓶類		2	30
尾張型	山茶碗			14
常滑	片口鉢	I	14	296
		II	3	127
	甕	6a・bまで	28	1605
土製品	馬形		1	10
瓦質土器	火鉢	B	1	70
	その他火鉢		4	101
瓦	平瓦		1	81
石製品	仕上げ砥	鳴滝	2	27
	基石		1	3
	滑石片		1	1

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
石材	石英		1	10
銅製品	銭		4	14
鉄製品	板状製品		2	44
	飾り金具		1	1
	釘		12	77
スラグ			1	26
自然遺物	獣骨		21	—
	焼骨		1	—
I 区下層 竪穴竪物6				
手づくねかわらけ	大		19	461
ロクロかわらけ	小		3	57
	大		19	323
かわらけ	小片		4	10
	碗		3	18
白磁	皿	IX	13	84
		X	1	2
			1	6
青白磁	合子蓋		1	6
	水注蓋		1	6
	梅瓶		1	7
龍泉窯系青磁	碗	I	1	3
		II or III	7	31
		III	3	24
		III?	1	11
	碗or皿		1	5
瀬戸	坏or鉢	III	1	2
	入子		1	1
	卸皿		1	8
常滑	片口鉢	I	9	640
		II	1	32
	甕		40	2141
	壺		1	14
	転用研磨具		1	18
尾張型	山茶碗		2	110
渥美	甕		6	350
瓦質土器	火鉢		1	46
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	10
	基石		1	3
石材	石英		4	123
鉄製品	釘		1	27
自然遺物	獣骨		9	—
I 区下層 竪穴竪物6床面上				
瓦質土器	火鉢小片		2	30
手づくねかわらけ	小		1	6
	大		2	42
ロクロかわらけ	大		5	47
	白磁	口元皿	1	3
龍泉窯系青磁	碗	I-6	1	9
		II or III	1	13
常滑	片口鉢	I	1	10
	甕		3	47
鉄製品	釘		1	5
自然遺物	獣骨		1	—
	バイ		1	—
I 区下層 竪穴竪物6裏込め				
手づくねかわらけ	大		7	125
ロクロかわらけ	小		15	270
	大		48	750
土器	南伊勢系鍋		1	5
白磁	皿	IX	7	34
白磁	四耳壺		1	62
同安窯系青磁	碗		1	7
龍泉窯系青磁	碗	I	2	20
		III	3	30
		碗or皿	6	27



種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
青白磁	皿		2	1
	梅瓶		1	20
瀬戸	卸皿		3	84
	香炉		2	96
常滑	片口鉢	I	17	506
		II	15	1200
	甕 壺		103 1	5785 58
東濃型	山茶碗		1	3
備前	播鉢		6	531
東播	甕		2	45
不明	碗		1	4
瓦質土器	火鉢	I	1	288
		II	1	20
		III	5	610
			14	790
瓦	平瓦	A	3	285
	丸瓦		2	378
石製品	仕上げ砥	鳴滝	3	30
	中砥	上野	2	239
	滑石片		1	24
石材	石英		1	64
鉄製品	釘		11	74
スラグ			1	100
骨製品	筭		1	—
自然遺物	獣骨		33	—
I 区下層 竪穴壜物7上層				
手づくねかわらけ	小		3	34
	大		8	149
ロクロかわらけ	小		3	96
	大		8	195
かわらけ	小片		2	5
白磁	皿	IX	2	9
青白磁	合子蓋		1	3
龍泉窯系青磁	坏・鉢	III	1	11
瀬戸	瓶類		1	11
常滑	片口鉢	I	16	324
		II	1	55
	甕 壺		47 2	3180 37
渥美	甕		2	225
猿投	甕		1	61
瓦質土器	火鉢	I	1	78
瓦	平瓦	A	1	135
骨製品	筭片		1	—
建築部材	漆喰片		1	30
自然遺物	獣骨		11	—
I 区下層 竪穴壜物7下層				
手づくねかわらけ	内折れ		1	24
	小		3	60
	大		13	445
ロクロかわらけ	小		2	20
	大		3	75
かわらけ	小片		2	11
同安窯系青磁	皿		1	4
龍泉窯系青磁	碗	I	2	24
高麗青磁	皿or碗		1	3
高麗青磁	小片		1	3
舶載施釉陶器	黄釉鉄絵盤		1	1100
	緑釉盤		1	28
常滑	片口鉢	I	3	85
	甕		21	2087
渥美	甕		3	305
不明陶器	不明		1	2
東播	甕		2	2629

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瓦質土器	火鉢	I	2	119
	瓶類?		1	12
瓦	平瓦	A	1	135
	丸瓦	A	2	146
鉄製品	棒状鉄製品		1	8
建築部材	漆喰片		1	30
自然遺物	アカニシ		1	—
	ハマグリ		10	—
I 区下層 竪穴壜物7床面上				
手づくねかわらけ	大		5	55
常滑	甕		1	28
東播	甕		1	103
自然遺物	ダンバイキサゴ			
	ハマグリ			
I 区下層 竪穴壜物7内ピット19				
手づくねかわらけ	大		1	7
ロクロかわらけ	小		1	66
	大		2	298
かわらけ	小片		2	6
瓦	平瓦	A	1	21
I 区下層 竪穴壜物7内ピットエ				
自然遺物	獣骨		6	
I 区下層 竪穴壜物7内ピットク				
手づくねかわらけ	小		1	10
I 区下層 竪穴壜物7内ピットケ				
ロクロかわらけ	小		1	85
I 区下層 竪穴壜物7内ピットタ				
自然遺物	チョウセンハマグリ		2	
I 区下層 竪穴壜物7内ピットチ				
龍泉窯系青磁	皿	I	1	9
II 区下層 竪穴壜物9				
手づくねかわらけ	小		6	45
	大		8	100
ロクロかわらけ	小		120	1215
	中		1	31
	大		358	3975
かわらけ	小片		236	915
	転用円盤		1	6
白かわらけ	手づくね小		2	8
土器	南伊勢系鍋		7	43
	鍔付鍋		1	14
白磁	皿	IX	16	80
	皿		2	2
青白磁	梅瓶		8	52
	合子身		1	4
	皿		2	3
龍泉窯系青磁	碗	I	2	31
		II	3	23
		III	8	101
	碗皿		8	24
	坏	III	5	66
舶載施釉陶器	盤		1	610
	香炉		2	54
	緑釉盤		1	7
	褐釉壺		11	220

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
瀬戸	縁釉小皿		1	16	II区下層 竪穴壺物9床面上					
	卸皿		23	572	手づくねかわらけ	小		5	17	
	折縁皿		79	2549		大		9	100	
	直縁大皿		2	44	ロクロかわらけ	小		14	150	
	柄付片口		2	105		大		51	815	
	底卸目皿		1	11	かわらけ	小片		4	12	
	香炉		2	54	土器	南伊勢系鍋		1	5	
	花瓶		1	31	白磁	碗	IX	1	2	
	水注		7	203	青白磁	梅瓶		1	20	
	瓶子		4	169	同安窯系青磁	碗	I	1	3	
	四耳壺		2	34	龍泉窯系青磁	碗	I	1	1	
	片口小瓶		2	47			II	1	10	
	瓶類		5	65			II or III	2	5	
	瀬戸美濃?	碗		2		19	小碗	III	1	4
尾張型	山茶碗		7	66	坏	III	1	2		
	山皿		2	10	瀬戸	入子		1	4	
常滑	片口鉢	I	80	2245		卸皿		4	37	
		II	45	2365		折縁皿		3	76	
	甕		354	17942		水注		1	14	
	鶯口壺		2	62		瓶子		4	80	
壺		4	204	不明			2	13		
転用研磨具		1	142	尾張型	山茶碗		3	40		
渥美	甕		5	202	常滑	片口鉢	I	11	285	
	壺		1	22			II	12	445	
備前	すり鉢		7	650		甕		65	2350	
	片口鉢		4	106	転用研磨具		1	27		
東播	火鉢		4	106	渥美	甕		1	21	
			4	106	東濃型	山茶碗		1	4	
	瓦質土器	火鉢		4	106	備前	すり鉢		1	75
				4	106	東播	片口鉢		1	15
瓦	火鉢	I	2	115	瓦質土器	火鉢	I	1	68	
		II	1	19			III	1	111	
		III	14	1369			IV	1	24	
		IV	13	770			7	182		
瓦質土器	火鉢		27	665	瓦	火鉢	D	1	149	
		風炉		1			13	丸瓦	D	1
瓦	平瓦		5	324			平瓦	A	3	226
			5	88	平瓦	D	3	122		
石製品	滑石鍋		5	88	石製品	滑石鍋		1	33	
	滑石製温石		1	660			硯	赤間	1	21
	滑石鍋再加工品		1	80			硯石	鳴滝	9	245
	硯	赤間	1	5			中砥	天草	1	180
	硯	鳴滝	3	133	出羽	伊予	1	74		
	硯石片	鳴滝	11	111	仕上げ砥	出羽	1	3		
	荒砥	上野	1	905		鳴滝	19	195		
	中砥	天草	2	555		鳴滝奥殿	1	55		
		伊予	1	148		石材	石英	6	80	
	仕上げ砥	鳴滝	45	490	石材	片岩	1	114		
			40	278	銅製品	銭	3	12		
	砥石		2	73	鉄製品	板状製品	1	71		
	緑泥片岩		1	454		釘	48	470		
	石材	石英		3	24	建築部材	漆喰片	4	150	
雲母			5	7	骨製品	加工骨	1	—		
銅製品	銭		4	17	骨製品	不明	1	—		
	鉄製品	板状製品	3	136	自然遺物	獣骨	23	—		
釘		74	815	II区下層 竪穴壺物10						
鉄滓		8	753	手づくねかわらけ	小		2	10		
骨製品	筭	4	—		大		2	21		
	用途不明	用途不明	2	—	ロクロかわらけ	小		106	1465	
加工骨		2	—	大			194	3925		
加工骨	加工骨	2	—	白かわらけ	手づくね		1	4		
	骨片		100	—	土器	南伊勢系鍋		2	12	
自然遺物	焼骨		1	—	不明土器			1	49	
	巻貝		2	—	白磁	皿	IX	5	33	
			2	—				3	5	
	青白磁		2	18	青白磁	梅瓶		2	18	
	青白磁		1	9	青白磁	合子身		1	9	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)		
龍泉窯系青磁	碗	II	2	115	龍泉窯系青磁	碗	II	1	7		
		III	3	30				2	4		
青磁	碗皿		4	10	瀬戸	坏・盤	III	1	11		
			1	4			碗		1	11	
瀬戸	入子		1	25	四耳壺				2	10	
			5	54		片口鉢	I	7	155		
			2	205	II		4	124			
			6	284	甕		26	1410			
尾張型	山茶碗		2	58	瓦質土器	火鉢		4	109		
			43	1185	石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	5		
常滑	片口鉢	I	12	755		硯	対馬若田硯?	1	18		
		II	101	3785	銅製品	銭		2	7		
			1	8	鉄製品	板状製品		3	25		
渥美	甕		2	51		釘		4	21		
			1	74	建築部材	漆喰片		2	52		
瓦質土器	火鉢	I	1	127	自然遺物	獣骨		5	—		
			5	127			チョウセンハマグリ		1	—	
土製品	土錘		1	7	II区下層 竪穴堅物11上層						
			1	80	手づくねかわらけ	小		1	12		
石製品	滑石片		2	10		大		1	18		
		筐口	1	113	ロクロかわらけ	小		24	293		
		天草	1	144		大		66	1385		
		鳴滝	5	120		かわらけ	小片		2	7	
		産地不明	1	61	白磁		皿	IX	6	89	
石材	石英		3	28				1	2		
			3	11		四耳壺		1	18		
銅製品	銭		3	11	青白磁	瓶類		1	11		
			4	103			台付瓶?		1	14	
鉄製品	板状製品		1	31	龍泉窯系青磁	碗	I	1	6		
			51	365			II	2	22		
		不明鉄滓	10	495				3	8		
			1	10			皿		2	12	
スラグ	漆喰片		1	159	坏	III	1	8			
建築部材	獣骨		36	—	瀬戸	入子		1	5		
自然遺物	II区下層 竪穴堅物10掘方						卸皿		1	13	
ロクロかわらけ	小		8	155			四耳壺		1	63	
			54	1015			瓶類		2	62	
白かわらけ			1	3	常滑	片口鉢	I	106	5140		
白磁	皿	IX	1	4			II	15	1280		
		龍泉窯系青磁	碗	II or III	3	16	甕		167	11239	
					1	2	壺		4	81	
瀬戸	坏	III	1	1	渥美	甕		6	199		
			1	11	瓦質土器	火鉢	I	10	500		
瀬戸	水注		1	5					3	161	
		瓶類		2	47	瓦	平瓦	D	1	47	
				24	950	石製品	滑石鍋		1	67	
常滑	片口鉢	I	3	47	仕上げ砥		出羽	1	26		
		II	41	2190	鳴滝			5	32		
		6bまで	1	78	石材	石英		1	60		
壺		1	98	礫			1	365			
渥美	不明		1	24	鉄製品	刀子		1	175		
			1	95			鍋		1	200	
瓦質土器	火鉢	I	1	66	漆器	碗		9	—		
			1	14			皿		3	—	
石製品	仕上げ砥	鳴滝		37	雲形		1	—			
石材	石英		1	4	膳脚		1	—			
銅製品	銭		1	36	灯明台		1	—			
鉄製品	釘		2	735	塗膜		6	—			
建築部材	漆喰片		2	—	横櫓		2	—			
自然遺物	獣骨		22	—	下駄		2	—			
II区下層 竪穴堅物10裏込め					木製品	杓子		2	—		
手づくねかわらけ	小		2	17			栓		1	—	
		大		2	20	紡輪?		1	—		
ロクロかわらけ	小		9	125	円板		3	—			
		大		32	380	曲物底板		1	—		
かわらけ	小片		8	23							
		碗	V or VIII	1	4						
白磁	皿	IX	1	31							

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
	部材? (墨書?)		1	—
	樺表皮		大量	—
建築部材	漆喰片		15	1342
自然遺物	桃核		6	—
	魚エラ		1	—
	獣骨		10	—
	チョウセンハマグリ		2	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		3	—
II区下層 竪穴壱物11下層				
手づくねかわらけ	大		7	98
ロクロかわらけ	小		57	550
	大		319	3095
かわらけ	小片		27	72
白かわらけ			1	4
土器	南伊勢系鍋		5	29
白磁	碗	IX	1	18
	皿	IX	5	84
	瓶類		2	8
青白磁	梅瓶		1	5
	梅瓶蓋		1	5
龍泉窯系青磁	碗	I	3	20
		II	3	41
		III	8	48
			5	16
	坏	III	1	5
	蓋		1	7
舶載施釉陶器	褐釉壺		2	19
	緑釉盤		1	7
瀬戸	入子		1	15
	卸皿		3	91
	瓶子		7	870
尾張型	山茶碗		5	230
	山皿		1	15
常滑	片口鉢	I	240	4367
		II	34	2485
	片口(無頸壺)		1	12
	甕		254	12770
	壺		5	300
	転用研磨具		1	36
渥美	甕		14	517
瓦器	坏	楠葉	1	3
瓦質土器	火鉢		28	1125
瓦	平瓦	A	1	104
土製品	人形		1	15
	滑石鍋		3	475
石製品	硯	鳴滝	1	8
	仕上げ砥	鳴滝	6	141
	不明		5	36
石材	石英		4	400
銅製品	銭		5	19
鉄製品	板状製品		4	139
	銚		2	258
	掛け金具		1	7
	釘・針		17	106
	装飾金具		1	—
	火箸		1	99
漆器	椀		13	—
	皿		13	—
	烏帽子		2	—
	膳脚		1	—
	棒状		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
木製品	曲物側板		4	—	
	曲物底板		9	—	
	折敷		30	—	
	杓文字		1	—	
	栓?		1	—	
	草履芯		10	—	
	刀子鞘		2	—	
	箸		132	—	
	傘		1	—	
	斎串		1	—	
	円板		2	—	
	工具柄		1	—	
	へら状		3	—	
	棒状		17	—	
	漆喰塗布材		2	—	
	板		多数	—	
	不明		4	—	
	建築部材	漆喰片		多量	6625
	自然遺物	桃核		1	—
		獣骨		36	—
アカニシ			5	—	
キサゴ			66	—	
サザエ			2	—	
チョウセンハマグリ			52	—	
ツメタ			1	—	
	バイ		9	—	
II区下層 竪穴壱物11裏込め					
手づくねかわらけ	小		1	18	
	大		3	38	
ロクロかわらけ	小		10	132	
	大		49	830	
かわらけ	小片		2	2	
白かわらけ			1	4	
土器	南伊勢系鍋		1	19	
白磁	碗	IX	1	53	
			1	4	
	皿	IX	1	5	
青白磁	器種不明		1	3	
龍泉窯系青磁	碗	I	1	49	
		II	1	51	
		III	2	17	
	碗皿		4	13	
	坏	III	2	14	
舶載施釉陶器	壺		1	39	
尾張型	山茶碗		3	162	
	山皿		1	6	
常滑	片口鉢	I	37	2220	
		II	8	715	
	甕		144	9305	
渥美	甕		3	130	
瓦器	坏	楠葉	1	5	
瓦質土器	火鉢	I	6	248	
瓦	平瓦	A	1	32	
銅製品	銭		2	7	
鉄製品	釘		3	21	
石製品	滑石片		2	45	
石材	石英		1	45	
木製品	箸		13	—	
	漆喰塗布材		1	—	
建築部材	漆喰片		13	395	
自然遺物	獣骨		3	—	
	バテイラ		1	—	
II区下層 竪穴壱物12					
手づくねかわらけ	小		6	82	
	大		8	121	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
ロクロかわらけ	小		7	95	渥美	甕		3	122
	大		71	977		瓦質土器	火鉢		3
かわらけ	小片		6	22	瓦	平瓦		1	117
白かわらけ	手づくね大		2	18	石製品	滑石鍋		1	60
		土器	南伊勢系鍋	2	68	石材	軽石		1
白磁	皿	IX	2	3	石材	片岩		1	27
青白磁	合子身		1	2	銅製品	銭		3	10
	皿		1	6	鉄製品	釘		1	8
	瓶類		2	4	木製品	折敷		2	—
碗	I	3	62	草履芯			1	—	
碗	II or III	4	34	箸			50	—	
碗皿		4	34	角材			1	—	
舶載施釉陶器	天目茶碗		1	5		板		2	—
瀬戸	卸皿		1	7	骨製品	サイコロ		1	1
常滑	片口鉢	I	30	950	自然遺物	獣骨		7	—
		II	9	517		サザエ		1	—
	甕		134	6785		パイ		3	—
渥美	片口(無頸壺)		1	16	II区下層 竪穴堅物13裏込め				
	甕		6	213	手づくねかわらけ	小		1	13
	壺		1	35	ロクロかわらけ	小		9	150
瓦質土器	火鉢	I or III	6	187		大		30	462
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	28	かわらけ	小片		2	4
銅製品	銭		1	3	土器	南伊勢系鍋		2	22
鉄製品	板状製品		2	24	白磁	皿		1	6
	釘		5	24	青白磁	瓶類		1	4
スラグ			1	20	同安窯系青磁	碗	I	1	5
木製品	木片		1	—		皿	I	1	4
建築部材	漆喰片		23	1210	龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	8
自然遺物	獣骨		8	—	坏	III	1	8	
	貝殻		1	—	尾張型	山茶碗		1	6
	サルボウ		1	—	瀬戸	瓶類		4	183
	シオフキ		2	—	常滑	片口鉢	I	15	530
	ダンベイキサゴ		1	—			II	11	700
	チョウセンハマグリ		3	—	常滑	甕		45	2675
	パイ		1	—	常滑	壺		4	128
	ハマグリ		1	—	渥美	甕		3	199
II区下層 竪穴堅物12裏込め					瓦質土器	火鉢	I	2	247
ロクロかわらけ	小		3	68		火鉢		3	203
かわらけ	小片		1	2	舶載施釉陶器	褐釉壺		1	20
白かわらけ	手づくね大		1	10	瓦	平瓦	A	1	54
同安窯系青磁	碗	I	1	6	石製品	滑石鍋	西彼杵	2	87
常滑	片口鉢	I	4	203	硯	鳴滝		1	3
		II	1	55	銅製品	銭		3	11
不明陶器	不明		3	14	鉄製品	板状製品		1	9
自然遺物	アカニシ		1	—		鏝		1	88
	ダンベイキサゴ		1	—		釘		11	56
II区下層 竪穴堅物13					建築部材	漆喰片		1	349
手づくねかわらけ	小		3	20	自然遺物	桃核		1	—
	大		5	72		獣骨		2	—
ロクロかわらけ	小		4	60		アカニシ		1	—
	大		27	426		アワビ		1	—
かわらけ	小片		8	28		キサゴ		1	—
土器	南伊勢系鍋		4	31		ハマグリ		2	—
白磁	皿	IX	3	14	レイシ		1	—	
	碗皿		1	1	II区下層 竪穴堅物13第6層				
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	57	龍泉窯系青磁	折縁碗or皿		1	12
瀬戸	入子		1	31	木製品	杵状製品		1	—
	卸皿		1	7	II区下層 竪穴堅物14				
	碗皿		2	30	手づくねかわらけ	小		1	11
	水注		1	33		大		3	27
	常滑	片口鉢	I	24	700	ロクロかわらけ	内折れ極小		1
II			1	27	小			71	1030
甕		36	1529	大			67	1235	
壺		2	31	小片		6	5		
白かわらけ	土器		36	1529	白かわらけ		3	13	
			2	31	土器	南伊勢系鍋		1	6

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
白磁	皿	IX	11	58	常滑	片口鉢	I	117	3445	
	四耳壺		2	36			II	51	4220	
龍泉窯系青磁	碗	I or III	I	1	7	甕		395	15881	
			II	2	13			壺	15	555
			II or III	10	47	瀝美	甕		17	675
			III	1	13				不明陶器	不明
		2	3	瓦質土器	火鉢	I	1	29		
坏	III	1	17				III	8	467	
舶載施釉陶器	褐釉壺		2	61				19	466	
瀬戸	入子		1	2	燭台脚			1	182	
	碗		1	8				滑石片	西彼杵	6
	卸皿		3	55	中砥	天草	2			21
	折縁皿		4	88	仕上げ砥	鳴滝	8	127		
	柄付片口		1	270	基石	黒	3	6		
	袴腰形香炉		1	48	石材	石英		3	16	
	瓶類		3	52				銅製品	環状製品	
尾張型	山茶碗		6	66	銭	7	27			
常滑	片口鉢	I	49	1560	不明	1	3			
			II	22	940	板状製品	2	29		
	片口(無頸壺)		1	49	釘	34	134			
瀝美	甕		5	231	細片	11	124			
常滑	壺		4	381	漆器	塗膜	1	—		
備前	すり鉢		3	176	建築部材	漆喰片	10	605		
瓦質土器	火鉢	I	4	332	自然遺物	不明種子	2	—		
			III	1		62	獣骨	120	—	
			IV	1		80	アカニシ	12	—	
				3		106	サザエフタ	1	—	
石製品	滑石		3	53		ツメタ	1	—		
	硯石	鳴滝	2	17		パイ	1	—		
石材	石英		1	8	バテイラ	1	—			
	雲母片		1	7	II 区下層 竪穴壜物15床面上					
銅製品	銭		2	6	手づくねかわらけ	大		2	19	
鉄製品	板状製品		3	16	ロクロかわらけ	小		64	1010	
			釘	32	147		大	153	2484	
自然遺物	鉄滓		2	55	かわらけ	小片		35	137	
	獣骨		36	—	土器	南伊勢系鍋		2	10	
	パイ		1	—	白磁	皿	IX	1	15	
II 区下層 竪穴壜物15						瓶類		1	8	
手づくねかわらけ	小		38	58	瀬戸	入子		1	4	
	大		15	176		卸皿		1	28	
ロクロかわらけ	小		146	1590		水滴?		1	4	
	大		718	8995		水注		1	23	
かわらけ	小片		507	2100	尾張型	山茶碗		1	6	
白かわらけ	手づくね		4	17	同安窯系青磁	碗(櫛)		1	7	
土器	南伊勢系鍋		9	35	龍泉窯系青磁	碗	II	1	15	
土師器	甕		1	6		碗皿		3	6	
白磁	皿	IX	19	92		坏	III	1	5	
			3	6	瀬戸	卸皿		2	28	
青白磁	四耳壺		3	50	折縁皿		1	42		
	合子身		3	6	常滑	片口鉢	I	20	443	
	蓋		1	6	II	16	3540			
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4	常滑	甕		72	2695	
	碗	II	2	12	瓦質土器	火鉢	IV	7	488	
	碗	II or III	21	120					11	318
	碗皿		3	8	瓦	軒丸瓦		1	345	
	坏	III	1	30				平瓦	A	2
舶載施釉陶器	褐釉壺	9	190	D					1	62
瀬戸	入子		5	20				1	8	
	卸皿		13	186	石製品	滑石片	西彼杵	2	115	
	折縁皿		10	464				中砥	天草	2
	柄付片口		1	4	仕上げ砥	鳴滝	8	201		
	瓶類			10	223	砥石	備水	1	3	
				1	4	基石		4	10	
尾張型	山茶碗		8	65	銅製品	銭		2	8	
	山皿		1	16						

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
鉄製品	板状製品		2	18
	刀子		4	40
	釘		27	221
	鉄滓		15	4915
骨製品	筭		1	—
木製品	箸		1	—
建築部材	漆喰片		7	380
自然遺物	桃核		1	—
	獣骨		14	—
	アカニシ		1	—
	ウミニナ		2	—
	キサゴ		1	—
	サザエフタ		2	—
	ツメタ		2	—
ハマグリ		2	—	
II区下層 竪穴壱物15裏込め				
手づくねかわらけ	小		1	42
	大		6	88
ロクロかわらけ	小		79	650
	大		179	2100
かわらけ 土器	小片		59	199
	南伊勢系鍋		5	45
白磁	碗	IX	1	5
		X	1	2
	皿	IX	6	26
	碗皿		6	8
青白磁	合子蓋		3	6
	梅瓶		3	15
龍泉窯系青磁	碗	I	3	11
		II	1	8
		II or III	5	31
		III	1	144
	碗皿		3	8
	坏	III	1	4
	坏・盤	III	1	15
酒会壺?		1	29	
舶載施釉陶器	褐釉壺		3	68
瀬戸	卸皿		3	75
	折縁皿		3	197
	瓶類		3	85
常滑	片口鉢	I	89	2153
		II	24	1151
	片口(無頸壺)		3	107
	甕		199	7335
	壺		7	370
不明		1	4	
渥美	甕		7	290
不明陶器	壺?		1	12
瓦質土器	火鉢	I	3	117
		III	7	431
			8	263
			8	263
瓦	平瓦?		1	113
石製品	中砥	天草	2	90
	砥石	砥沢	1	236
石材	石英		2	14
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		11	60
	棒状製品		1	25
	鉄滓		2	263
木製品	箸		1	—
建築部材	漆喰片		16	190
自然遺物	獣骨		33	—
	アカニシ		4	—
	ハマグリ		1	—
II区下層 竪穴壱物15掘方				
手づくねかわらけ	大		4	44
ロクロかわらけ	小		37	460
	大		205	2520

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
かわらけ	小片		17	29
土器	南伊勢系鍋		3	23
白磁	皿	IX	1	2
		X	1	1
	瓶類		1	7
青白磁	瓶類		1	4
龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	13
	皿	I	1	7
	碗皿		3	3
	坏	III	5	28
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	14
	褐釉壺		5	77
瀬戸	卸皿		3	78
	花瓶		1	56
	瓶類		2	52
尾張型	山茶碗		4	32
常滑	片口鉢	I	44	1215
		II	14	995
	片口(無頸壺)		1	22
	甕		58	2570
	壺		1	27
渥美	甕		5	89
不明陶器	不明		1	5
瓦質土器	火鉢	I	4	99
			1	25
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	37
	弾?		1	8
銅製品	銭		2	6
	銅塊		1	8
鉄製品	蓋		1	161
	釘		5	35
	鉄滓		3	862
建築部材	漆喰片		9	960
自然遺物	獣骨		14	
	アカニシ		1	
	キサゴ		3	
	サザエ		2	
	サルボウ		1	
	バイ		4	
	ハマグリ		6	
	フジツボ?		1	
レイシ		1		
II区下層 竪穴壱物15・20				
石材	石英流紋岩質凝灰岩		1	23800
II区下層 竪穴壱物16				
手づくねかわらけ	小		1	8
	小		50	1033
ロクロかわらけ	中		1	110
	大		229	3095
かわらけ	小片		7	24
土器	南伊勢系鍋		1	14
	鏝付鍋		1	9
白磁	碗	IX	2	22
	皿	IX	5	23
	四耳壺		1	67
	瓶類		2	4
青白磁	梅瓶		2	13
龍泉窯系青磁	碗	I	3	49
		II	2	20
		III	3	35
			3	4
	坏	III	2	18

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	入子		2	30
	碗皿		2	12
	卸皿		9	139
	折縁皿		22	793
	柄付片口		1	129
	水注		1	31
	瓶類		4	136
不明		3	37	
尾張型	山茶碗		2	50
常滑	片口鉢	I	47	1185
		II	19	1850
	甕		131	6110
壺		1	253	
備前	すり鉢		1	89
東播	片口鉢		1	31
不明陶器	碗?		1	3
瓦質土器	火鉢	I	3	183
		III	7	410
		IV	2	171
			12	233
瓦	丸瓦		1	61
	平瓦	D	1	82
建築部材	漆喰片		1	26
石製品	滑石鍋	福岡南部	4	110
	硯	赤間紫石	1	96
	硯石	鳴滝	3	120
	荒砥	伊予	1	538
	中砥	天草	1	50
		上野	1	68
仕上げ砥	鳴滝	4	126	
石材	石英		4	43
	雲母片?		1	62
銅製品	銭		2	6
	不明銅塊		2	12
鉄製品	板状製品		1	20
	錠?		1	56
	釘		17	173
木製品	不明		1	—
自然遺物	獣骨		53	—
	アカニシ		1	—
II区下層 竪穴竪物16裏込め				
手づくねかわらけ	大		1	8
	小		17	360
ロクロかわらけ	大		30	595
	南伊勢系鍋		1	7
土器	不明		1	5
尾張型	山茶碗		3	29
常滑	片口鉢	I	9	645
		II	3	153
	甕		14	590
	蔦口壺		1	10
瓦質土器	火鉢	I	1	89
			1	175
瓦	不明		1	23
石材	石英		1	10
鉄製品	釘		3	27
自然遺物	骨片		1	—
II区下層 竪穴竪物16・21裏込め				
手づくねかわらけ	小		7	97
	小		14	150
ロクロかわらけ	大		47	588
	白かわらけ		2	12
土器	南伊勢系鍋		3	30
白磁	皿	IX	2	40
	四耳壺		1	27
龍泉窯系青磁	碗	II	1	11
		III	7	145
	碗皿		1	1
	坏	III	1	37

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
舶載施釉陶器	黄釉盤		1	15
瀬戸	四耳壺		1	20
尾張型	山茶碗		7	119
常滑	片口鉢	I	27	1892
		II	8	470
	片口(無頸壺)		2	162
渥美	甕		31	1337
	壺		2	412
	甕		2	71
不明陶器	不明		2	40
瓦質土器	火鉢	I	1	2
銅製品	銭		4	367
			4	185
鉄製品	釘		1	3
自然遺物	獣骨		5	36
II区下層 竪穴竪物17				
手づくねかわらけ	小		1	24
	大		3	38
ロクロかわらけ	小		19	474
	中		3	117
	大		50	650
かわらけ	小片		15	68
白かわらけ	手づくね大		2	12
土器	南伊勢系鍋		2	13
白磁	碗皿		1	2
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
		II	1	26
		IV	1	7
	坏	III	1	6
高麗青磁	碗皿		1	5
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	32
瀬戸	卸皿		1	9
	香炉		1	32
尾張型	山茶碗		3	25
常滑	片口鉢	I	9	205
		II	9	360
	甕	5まで	18	848
	壺		1	240
渥美	盤		2	135
	片口(無頸壺)		1	105
	甕		1	14
石製品	中砥		1	143
銅製品	銭		1	3
木製品	折敷		1	—
建築部材	漆喰片		3	53
自然遺物	桃核		1	—
	魚骨		1	—
	獣骨		5	—
	アカニシ		1	—
	ホソウミニナ?		1	—
II区下層 竪穴竪物18				
手づくねかわらけ	小		11	132
	大		3	143
ロクロかわらけ	小		69	754
	大		227	2710
かわらけ	小片		95	316
土器	南伊勢系鍋		8	52
	鑄付鍋		2	17
白磁	碗	IX	1	4
	皿	IX	3	11
	その他		3	3
青白磁	合子蓋		1	1



種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	I	2	15
		II	6	80
		III	6	29
	坏	III-1a	1	11
	瓶類?		1	5
瀬戸	入子		3	49
	天目碗		1	5
	平碗		1	7
	卸皿		15	323
	折縁皿		7	133
	片口小瓶		1	26
	瓶類		9	313
尾張型	山茶碗		2	25
常滑	片口鉢	I	74	2285
		II	28	1520
	甕		172	8340
	壺		3	76
不明		4	320	
渥美	甕		5	171
東濃型	山茶碗		1	7
東播	片口鉢		1	51
備前	すり鉢		3	117
不明陶器	不明		3	15
瓦質土器	火鉢	I	3	212
		III	4	419
	不明		18	637
土製品	管状土錘		1	63
銅製品	銭		3	16
鉄製品	板状製品		9	96
	釘		15	154
	鉄滓		19	1224
	不明		7	36
石製品	滑石鍋	西彼杵	1	23
	滑石片	福岡南部	1	62
			1	245
	硯	鳴滝	1	205
	硯石	鳴滝	3	105
	中砥	天草	1	207
		伊予	2	169
仕上げ砥	鳴滝	6	173	
石材	石英		3	21
骨製品	筭		1	—
	加工骨		1	—
自然遺物	桃核		1	—
	獣骨		20	—
	ダンバイキサゴ		1	—
II区下層 竪穴竪物19				
手づくねかわらけ	大		6	111
ロクロかわらけ	小		33	561
	大		78	1488
かわらけ	小片		3	13
白かわらけ	ロクロ小		1	9
	ロクロ大		1	11
土器	南伊勢系鍋		2	15
	不明		1	14
白磁	碗		2	10
	皿	IX	6	39
	器種不明		1	1
青白磁	梅瓶		7	25
	合子蓋		1	5
龍泉窯系青磁	碗	II	2	7
		II or III	5	10
		III	1	13
	坏	III	2	22

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	入子		1	2
	卸皿		8	79
	折縁皿		7	202
	片口小瓶		1	23
	瓶類		1	6
尾張型	山茶碗		2	22
常滑	片口鉢	I	53	1340
		II	18	1400
	甕		151	5520
壺		5	116	
渥美	甕		4	192
東播	壺?		1	68
東播	甕		1	40
不明磁器			1	12
不明陶器			2	21
瓦質土器	火鉢	I	1	66
		III	6	485
	不明		6	184
瓦	丸瓦	A	1	59
	平瓦	A	1	189
石製品	滑石鍋		1	9
	硯?		2	104
	中砥	天草	1	36
	仕上げ砥	出羽?	1	12
銅製品	仕上げ砥	鳴滝	13	274
	銭		5	18
鉄製品	飾り金具		1	3
	釘		127	473
	鉄滓		2	93
漆器	皿		2	—
自然遺物	獣骨		37	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		3	—
	サザエ		2	—
	シオフキ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		3	—
II区下層 竪穴竪物20				
手づくねかわらけ	小		6	36
	大		8	67
ロクロかわらけ	小		101	1004
	大		327	4165
かわらけ	小片		50	195
土器	南伊勢系鍋		8	42
	鏝付鍋		1	16
白かわらけ	手づくね大		1	5
			1	2
白磁	碗	IX	1	11
	皿	IX	9	74
			1	4
青白磁	碗皿		2	2
同安窯系青磁	碗		1	2
龍泉窯系青磁	碗	II	2	35
		II or III	3	14
		III	1	13
			1	6
	皿	I	1	26
	碗皿		3	9
	坏	III	3	81
酒会壺?		1	30	
舶載施釉陶器	褐釉壺		2	9

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	入子		2	3
	御皿		4	55
	瓶子		1	86
	四耳壺		1	16
	水注?		1	4
常滑	不明		1	13
	片口(無頸壺)		1	48
	片口鉢	I	70	2030
		II	31	1704
	甕	5まで	160	6565
壺		6	123	
尾張型	山茶碗		3	77
渥美	片口鉢		1	59
	甕		10	342
	転用研磨具		1	21
猿投?	壺?		1	78
不明陶器	不明		2	52
瓦質土器	火鉢	I	1	91
			13	260
瓦	平瓦		1	—
石製品	荒砥	天草	1	1255
	仕上げ砥	鳴滝	10	316
	中砥	天草	2	238
鉄製品	釘		6	37
	鉄滓		2	75
	鉄片		2	8
骨製品	不明(リング状)		1	2
石製品	滑石鍋		1	22
	滑石片		1	66
	硯石	天草	1	6
鳴滝		1	23	
石材	石英		1	122
木製品	曲物底板		13	—
	下駄		3	—
	箸		1	—
建築部材	円板		1	—
自然遺物	漆喰片		21	275
	桃核		4	—
	炭化米		1	—
	獣骨		36	—
	アカニシ		4	—
	アワビ		1	—
	イタヤ		1	—
	ウミノナ		1	—
	キサゴ		14	—
	サザエ		1	—
	ツメタ		7	—
	パイ		3	—
ハマグリ		18	—	
II区下層 竪穴壱物20掘方				
ロクロかわらけ	大		1	89
銅製品	銭		2	8
鉄製品	釘		3	23
漆器	椀		1	—
	皿		1	—
木製品	曲物底板		6	—
	円板		3	—
	箸		4	—
	部材		1	—
自然遺物	アカニシ		1	—
	チョウセンハマグリ		4	—
	ツメタ		2	—
II区下層 竪穴壱物20裏込め				
手づくねかわらけ	小		1	6
	大		2	29

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
ロクロかわらけ	小		10	120
	大		66	695
かわらけ	小片		2	5
土器	南伊勢系鍋		2	25
白磁	碗	IX	1	14
	皿		1	1
龍泉窯系青磁	碗	I	1	3
	碗皿		4	13
同安窯系青磁	碗(櫛)		1	9
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	10
常滑	片口鉢	I	10	440
		II	6	270
	甕	6bまで	26	1480
	壺		3	53
	転用研磨具		1	60
渥美	甕		2	37
瓦質土器	火鉢	I	1	127
			2	33
建築部材			1	16
瀬戸	四耳壺		2	40
	瓶類		1	37
鉄製品	板状製品		1	63
	釘		1	2
自然遺物	獣骨		2	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		1	—
	ハマグリ		1	—
II区下層 竪穴壱物21				
手づくねかわらけ	小		8	88
	大		13	144
ロクロかわらけ	小		9	105
	大		25	444
かわらけ	小片		12	43
白かわらけ	手づくね大		27	257
	手づくね		13	27
土器	南伊勢系鍋		42	86
	鍔付鍋		2	103
	鍋?		12	13
白磁	碗	VII-b?	1	19
	皿	IX	9	69
同安窯系青磁	碗皿		1	2
龍泉窯系青磁	碗	I	1	2
		II	1	359
		II or III	5	26
		III	6	762
	小碗	III	1	18
	碗皿		4	6
瀬戸	水注	I	1	10
			1	670
	四耳壺		3	58
尾張型	山茶碗		41	1019
	山皿		3	140
常滑	片口鉢	I	87	7405
		II	9	1115
	片口(無頸壺)		4	60
	甕	6bまで	25	1107
	薦口壺		1	8
	壺		1	20
渥美	甕		3	105
瓦器	坏		1	1
瓦質土器	火鉢		4	90
土製品	円盤		1	13
石製品	仕上げ砥		1	13
	小片		1	1
銅製品	銭		5	17
鉄製品	釘		8	44

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
骨製品	筭		1	4
漆器	碗		1	—
木製品	木材			
その他	炭		22	—
自然遺物	桃・梅核		12	—
	獣骨		7	—
II区下層 竪穴壺物21壁板下				
土器	南伊勢系鍋		1	15
白磁	皿	IX	3	128
			1	5
龍泉窯系青磁	碗	II	2	656
		II or III	5	260
		III	8	1630
尾張型	山茶碗		5	571
常滑	片口鉢	I	18	3450
	片口(無頸壺)		1	65
	壺		1	16
石製品	滑石鍋		1	50
自然遺物	人骨?		4	—
	アワビ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		4	—
II区下層 竪穴壺物21裏込め				
手づくねかわらけ	小		2	42
	大		6	62
ロクロかわらけ	大		4	73
白かわらけ	手づくね		13	50
	手づくね大		1	6
土器	南伊勢系鍋		17	70
	鏝付鍋		3	25
龍泉窯系青磁	碗	II	2	20
		III	3	706
	坏・盤	III	1	6
瓦器質	黒縁碗		1	6
瓦	平瓦(古代?)		1	700
自然遺物	チョウセンハマグリ		2	—
II区下層 竪穴壺物21掘方				
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
		IV?	1	7
II区下層 竪穴壺物21ピットイ-4				
木製品	棒状製品		1	—
II区下層 竪穴壺物21ピットロ				
漆器	皿		1	—
II区下層 竪穴壺物22				
手づくねかわらけ	小		3	31
	大		4	48
ロクロかわらけ	小		15	244
	大		63	869
かわらけ	小片		8	18
土器	南伊勢系鍋		2	13
土師器	壺?		1	40
白磁	碗	IX	1	7
	皿	IX	2	4
	瓶類		2	29
青白磁	合子蓋		1	7
	梅瓶		1	11
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2
			1	5
			3	15
	坏・盤	III	1	33
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	33

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	入子		2	15
	卸皿		2	13
	洗		1	220
	四耳壺		2	55
	瓶子		1	34
	瓶類		2	30
尾張型	山茶碗		2	23
常滑	片口鉢	I	48	2633
		II	8	644
	片口(無頸壺)		1	151
	甕		49	2643
	壺		2	76
渥美	甕		2	128
瓦質土器	火鉢	I	4	311
			1	38
瓦	平瓦		1	30
鉄製品	釘		6	96
	刺突具		1	—
	不明		1	64
銅製品	銭		2	8
石製品	滑石鍋	西彼杵	1	83
	滑石製温石		1	144
		滑石片	福岡南部	2
石材	軽石		1	9
自然遺物	獣骨		1	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		1	—
	ツメタ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		2	—
	ハマグリ		3	—
II区下層 竪穴壺物23				
手づくねかわらけ	小		1	18
	大		2	42
ロクロかわらけ	小		10	170
	大		37	472
	特大(鉢?)		1	148
かわらけ	小片		11	17
白磁	碗	V	1	5
青白磁	梅瓶		1	1
龍泉窯系青磁	碗	III	1	3
	坏	III	2	19
尾張型or灰釉陶器	山茶碗?		1	42
常滑	片口鉢	I	12	525
		II	2	105
	甕		36	2940
渥美	片口鉢		1	122
	甕		4	305
瓦質土器	火鉢		2	29
瓦	平瓦	A	1	39
建築部材			2	53
自然遺物	人骨?		1	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		3	—
	バイ		2	—
	ハマグリ		8	—
II区下層 竪穴壺物24				
手づくねかわらけ	小		3	50
	大		11	212
ロクロかわらけ	小		5	76
	大		17	233
土器	南伊勢系鍋		1	5
縄文土器	深鉢		1	60
白磁	皿	IX	1	7
	四耳壺		1	8
	瓶類		3	14

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	I	1	9
		II	2	17
		II or III	2	7
			1	2
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	46
瀬戸	瓶類		3	111
尾張型	山茶碗		4	29
常滑	片口鉢	I	11	290
		II	4	405
	甕		28	1450
渥美	甕		1	64
			3	83
瓦質土器	火鉢	I	3	477
			3	124
瓦	平瓦		1	9
建築部材			1	13
石製品	中砥	伊予	2	492
	仕上げ砥	鳴滝	1	1
銅製品	銭		2	8
鉄製品	釘		6	34
スラグ			1	222
木製品	木槌?		1	—
自然遺物	獣骨		6	—
	ウミニナ		1	—
	キサゴ		5	—
	サザエ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		10	—
II区下層 竪穴堅物24裏込め				
手づくねかわらけ	小		2	13
	大		3	41
ロクロかわらけ	小		2	26
	大		8	106
土器	南伊勢系鍋		6	34
	鍔付鍋		1	17
龍泉窯系青磁	碗	II	1	7
		II or III	1	6
瀬戸	瓶類		1	44
常滑	片口鉢	I	3	39
	甕	5まで	8	420
渥美	甕		1	14
瓦質土器	火鉢		1	23
鉄製品	釘		1	2
自然遺物	アカニシ		4	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		5	—
II区下層 竪穴堅物A (土層断面でのみ確認)				
尾張型	山茶碗		1	14
常滑	片口鉢	I	3	78
	甕		2	431
自然遺物	獣骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
I区上層 井戸1					
手づくねかわらけ	小		5	65	
	大		14	310	
ロクロかわらけ	小		75	1095	
	大		373	6180	
かわらけ	小片		8	36	
土器	南伊勢系鍋		1	7	
	鍔付鍋		5	62	
白磁	皿	IX	3	37	
			1	5	
青白磁	小片		6	8	
	皿		1	3	
同安窯系青磁	梅瓶		2	11	
	碗		1	3	
龍泉窯系青磁	碗	I	3	32	
		II	3	31	
		II or III	13	52	
	碗皿		3	11	
	坏	III	4	38	
	大型花瓶?		1	38	
舶載施釉陶器	小片		3	5	
	瀬青釉花盆?		3	59	
瀬戸	碗		24	476	
	縁釉小皿		4	48	
	卸皿		8	258	
	底卸目皿		2	197	
	すり鉢		2	366	
	皿鉢		34	1015	
	柄付片口		2	95	
	香炉		3	86	
	瓶類		25	1129	
	常滑	片口鉢	I	38	1901
		II	76	5376	
すり鉢?			3	157	
甕			619	43340	
壺			7	760	
転用研磨具			1	181	
渥美	片口鉢		1	3	
東播系	甕		19	875	
			2	149	
瓦質土器	火鉢	I	1	76	
		II	1	265	
		III	11	835	
		IV	7	494	
		V	1	44	
	風炉		1	20	
	湯釜		1	16	
	不明		36	2265	
	瓦	平瓦	A	8	980
			D	3	493
燻べ			9	625	
			4	705	
丸瓦		A	2	459	
	D	3	473		
石製品	滑石スタンプ		1	10	
	硯	赤間	1	23	
	滑石鍋	西彼杵	1	269	
	硯石	赤間紫石	1	755	
		赤間	1	50	
	荒砥	天草	3	1850	
		伊予	1	542	
		砂岩	1	71	
	中砥	天草	3	554	
		仕上げ砥	上野	1	48
	鳴滝		1	1	
	鳴滝菖蒲		1	36	
	湯沢?		1	34	
	石臼		2	3090	
	茶臼		1	105	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
銅製品	銭		4	12
鉄製品	釘		19	95
	鉄滓		7	73
骨製品	筭		1	—
	栓?		1	—
自然遺物	獣骨		111	—
	アカニシ		4	—
	アワビ		3	—
	サザエ		1	—
	ツメタ		1	—
	パイ		1	—
	ハマグリ		10	—
	ハマグリ (漆パレット)		1	—
	二枚貝		1	—
I区上層 井戸1埋土最下層				
手づくねかわらけ	大		1	19
ロクロかわらけ	小		3	162
	大		1	17
龍泉窯系青磁	碗	I	1	10
瀬戸	壺類		1	21
常滑	甕		5	366
	壺		1	82
東播系	甕		1	49
I区下層 井戸3				
手づくねかわらけ	小		4	15
	大		16	128
ロクロかわらけ	小片		1	6
	大		4	63
常滑	甕		4	157
鉄製品	釘		3	17
自然遺物	獣骨		2	—
	アカニシ		1	—
	ハマグリ		1	—
I区下層 井戸4 井戸枠内				
ロクロかわらけ	小		5	57
	大		18	233
かわらけ	小片		3	8
青白磁	印花文碗		1	17
龍泉窯系青磁	碗	II	2	20
舶載施釉陶器	天目茶碗		1	26
瀬戸	瓶類		1	48
常滑	片口鉢	I	13	1390
		II	5	528
不明陶器	壺		1	35
			1	85
瓦質土器	火鉢	I	1	25
建築部材	漆喰		4	—
木製品	曲物底板		1	—
	箸		3	—
	木片		6	—
自然遺物	獣骨		8	—
	アワビ		3	—
	イボキサゴ		1	—
	サザエ		1	—
	チョウセンハマグリ		3	—
	パイ		1	—
ハマグリ		2	—	

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I区下層 井戸4 井戸枠裏込め				
手づくねかわらけ	小		3	105
	大		10	105
ロクロかわらけ	小		43	185
	大		78	905
土器	南伊勢系鍋		4	18
白磁	皿	IX	6	28
		I	2	15
龍泉窯系青磁	碗	II or III	5	40
			1	4
		III	1	24
瀬戸	坏・盤		1	22
	水注		1	156
常滑	瓶類	I	32	1450
		II	19	1070
			117	7787
渥美	甕		2	58
	壺		4	270
瓦質土器	火鉢	I	4	226
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	52
石材	石英		1	12
龜山	甕		1	42
鉄製品	釘		3	24
	鉄滓		1	165
	不明		1	169
建築部材	漆喰		6	194
木製品	箸		12	—
	木片		1	—
自然遺物	梅or桃核		2	—
	獣骨		11	—
	アカニシ		3	—
	アワビ		1	—
	キサゴ		3	—
	サザエ		3	—
	チョウセンハマグリ		3	—
	ツメタ		2	—
	パイ		4	—
ハマグリ		13	—	
II区上層 井戸状土坑				
手づくねかわらけ	小		1	13
ロクロかわらけ	大		8	205
	小		2	43
土器	南伊勢系鍋		1	16
白磁	皿	IX	2	19
			2	16
青白磁	合子蓋		1	4
	皿		1	1
	梅瓶		3	9
龍泉窯系青磁	碗	I	1	8
	碗皿		2	3
	坏	III	1	12
瀬戸	碗		1	11
	卸皿		3	15
	瓶類		2	76
常滑	片口鉢	I	19	695
		II	3	385
			20	1010
渥美	甕		1	30
	壺		3	138
瓦	平瓦		1	81
			1	42
瓦質土器	火鉢		2	89
石製品	滑石片		1	4
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		6	47
自然遺物	獣骨		1	—
	アカニシ		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区上層 方形竪穴状土坑1				
手づくねかわらけ	小		4	84
	大		5	37
ロクロかわらけ	小		69	1133
	大		306	3714
かわらけ	小片		15	37
白かわらけ			2	7
土器	鍔付鍋		6	114
	不明品		1	11
白磁	皿	IX	4	29
		X	1	4
青白磁	合子身		1	4
	皿		2	4
	梅瓶		2	20
同安窯系青磁	碗	I	1	7
龍泉窯系青磁	碗	I	1	18
		II	2	10
		II or III	7	47
		III	2	21
	坏	III	1	8
青磁	皿		2	15
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	22
青白磁	合子蓋		7	47
瀬戸	入子		1	1
	天目茶碗		3	27
	平碗		1	12
	碗		1	10
	卸皿		30	520
	折縁皿		25	465
	直縁大皿		1	8
	柄付片口		4	129
	花瓶		2	163
	四耳壺		13	330
常滑	片口鉢	I	34	855
		II	28	1965
	甕		250	11412
	壺		3	227
転用研磨具		4	237	
渥美	甕		5	162
東濃型	山茶碗		1	4
備前	すり鉢		4	283
東播	片口鉢		2	101
	甕		1	29
瓦質土器	火鉢	I	2	128
		III	19	1195
			2	78
	香炉		1	135
瓦	平瓦	A	2	90
ガラス	不明		1	4
石製品	滑石鍋	西彼杵	7	508
		滑石片	1	6
	硯	赤間	2	162
		鳴滝	4	245
			1	16
	硯石	鳴滝	4	96
		天草	3	372
	中砥	伊予	1	32
		上野	1	73
		仕上げ砥	2	44
	鳴滝	9	360	
石材	石英		5	28
銅製品	銭		9	32
鉄製品	蓋		1	59
	釘		60	624
骨製品	筭		2	—
	加工骨		1	—
	不明		1	—
建築部材	漆喰		3	55

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獣骨		63	—
	イルカ骨		21	—
	サメ骨		1	—
	マグロ骨		3	—
II区上層 方形竪穴状土坑1床面上				
手づくねかわらけ	大		1	18
ロクロかわらけ	小		16	190
	大		71	725
土器	南伊勢系鍋		1	3
白磁	皿	IX	1	4
青白磁	合子身		2	4
龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	16
	碗		4	23
瀬戸	平碗		2	12
	卸皿		7	77
	折縁皿		1	83
常滑	片口鉢	I	5	137
		II	10	420
			1	17
	甕	7まで	38	1875
	鷹口壺		1	22
	壺		1	27
渥美	甕		1	97
東播	片口鉢		1	47
堺	すり鉢		1	24
瓦質土器	火鉢	IV	4	125
瓦	平瓦	A	1	16
		D	2	209
銅製品	銭		4	14
鉄製品	釘		10	41
	鉄滓		5	113
石製品	滑石鍋		1	22
	中砥	伊予	3	399
	仕上げ砥	鳴滝	2	34
鳴滝奥殿		2	110	
骨製品	筭		1	—
建築部材	漆喰		5	69
自然遺物	獣骨		12	—
II区上層 方形竪穴状土坑2				
瀬戸	小皿		1	63
瀬戸	洗or折縁皿		1	108
自然遺物	魚の脊椎		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区下層 方形土坑1				
手づくねかわらけ	小		6	77
	大		17	287
ロクロかわらけ	小		3	31
	大		34	573
土器	不明		1	11
同安窯系青磁	皿		2	7
常滑	甕		9	401
渥美	甕		2	86
鉄製品	釘		2	14
自然遺物	獣骨		6	—
II区下層 方形土坑3				
手づくねかわらけ	小		2	8
	大		12	153
ロクロかわらけ	小		2	17
	大		3	23
かわらけ	小片		3	12
龍泉窯系青磁	碗	II	1	19
常滑	片口鉢	II	2	63
	甕		11	35
建築部材	漆喰		1	9
自然遺物	アカニシ		1	—
	アワビ		1	—
	サルボウ?		1	—
	ハマグリ		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区上層 据甕遺構				
手づくねかわらけ	大		3	31
ロクロかわらけ	小		35	398
	大		161	1943
かわらけ	小片		16	36
白かわらけ	手づくね内折れ		1	2
青白磁	小片		1	1
龍泉窯系青磁	坏	III	1	9
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	6
	褐釉壺?		1	115
瀬戸	卸皿		1	5
尾張型	山茶碗		1	3
常滑	片口鉢	I	30	1198
		II	17	928
	甕		141	30309
	壺		1	44
渥美	甕		5	168
東播	片口鉢		1	24
備前	すり鉢		4	417
瓦質土器	火鉢	I	2	126
			8	375
石製品	中砥	伊予	1	24
	仕上げ砥		2	52
鉄製品	板状製品		1	34
	釘		9	78
自然遺物	獣骨		6	—
	不明貝殻		1	—
II区上層 据甕遺構掘方				
常滑	片口鉢	I	1	12
	甕		3	5091
鉄製品	釘		1	5
	鉄鍋		1	121

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区上層 溝状遺構西側				
手づくねかわらけ	大		1	10
ロクロかわらけ	小		1	5
	大		6	46
白磁	皿	IX	1	2
瀬戸	壺類		2	22
尾張型	山茶碗		1	4
常滑	片口鉢	I	3	33
		II	1	26
	甕		7	133
	壺		2	41
瓦質土器	火鉢		1	23
石製品	滑石片		1	17
	硯石	鳴滝	1	2
鉄製品	釘		1	1
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 溝状遺構東側				
手づくねかわらけ	大		4	41
ロクロかわらけ	小		4	36
	大		26	361
かわらけ	小片		17	73
土器	南伊勢系鍋		1	2
白磁	皿	IX	1	3
龍泉窯系青磁	碗	I	1	33
石製品	滑石片		1	2
瓦質土器	火鉢		4	73
自然遺物	獣骨		3	—
瀬戸	卸皿		1	7
	折縁皿		2	34
	瓶類		1	6
常滑	片口鉢	I	10	245
		II	3	91
	甕		25	945
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	2
銅製品	銭		2	—
鉄製品	釘		8	46
	鉄片		2	16
I区最下層 溝1				
手づくねかわらけ	小		58	644
	大		100	1302
ロクロかわらけ	小		5	72
	大		6	73
かわらけ	小片		11	19
白磁	瓶類		1	10
青白磁	合子		1	2
龍泉窯系青磁	碗	I	1	4
	碗	II or III	3	14
瀬戸	瓶類		2	30
常滑	甕		6	116
渥美	甕		1	63
瓦質土器	火鉢		1	190
不明陶器	皿		1	2
鉄製品	釘		3	11
	獣骨		7	—
	アカニシ		1	—
	ハマグリ		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
I 区上層 土坑1					I 区上層 土坑7					
手づくねかわらけ	小		3	12	手づくねかわらけ	小		2	19	
	大		3	29		大		3	27	
ロクロかわらけ	小		1	90	ロクロかわらけ	小		2	11	
	大		6	73		大		1	20	
瀬戸	折縁皿or鉢		1	45	かわらけ	小片		4	17	
常滑	片口鉢	I	3	55	常滑	片口鉢	I	2	21	
		II	4	118			II	2	115	
	甕		9	455		甕		22	518	
	壺		2	72		壺		1	17	
銅製品	銭		1	5	自然遺物	獣骨		2	—	
土製品	管状土錘		1	9	I 区上層 土坑8					
鉄製品	釘		1	7	ロクロかわらけ	小		10	124	
自然遺物	獣骨		4	—	ロクロかわらけ	大		23	252	
I 区上層 土坑2					かわらけ	小片		2	9	
手づくねかわらけ	小		1	4	龍泉窯系青磁	坏	III	1	14	
	大		3	27	瓦質土器	火鉢	III	2	185	
ロクロかわらけ	小		8	74			IV	1	87	
	大		22	206				5	247	
かわらけ	小片		10	31	瀬戸	卸皿		1	23	
瀬戸	瓶類		1	15		折縁深皿		4	100	
常滑	片口鉢	II	3	153	常滑	片口鉢	I	4	112	
			8	212			II	1	68	
瓦質土器	火鉢	III	1	136		甕		13	113	
			4	63	備前	すり鉢		1	43	
石製品	滑石製スタンプ		1	76	東播	鉢		1	56	
	仕上げ砥	鳴滝	1	12	近世遺物	不明		1	26	
鉄製品	釘		7	43	鉄製品	釘		7	61	
自然遺物	獣骨		2	—	骨製品	筆軸		1	—	
I 区上層 土坑3					自然遺物	人骨		1	—	
ロクロかわらけ	小		2	55	自然遺物	獣骨		11	—	
	大		11	107	I 区上層 土坑9					
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	12	手づくねかわらけ	大		1	10	
常滑	片口鉢	I	3	82	ロクロかわらけ	大		4	77	
		II	1	50	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	4	
	甕		2	89	瀬戸	折縁皿		1	12	
瓦質土器	火鉢	III	1	35	常滑	片口鉢	I	2	26	
自然遺物	獣骨		6	—			II	1	26	
I 区上層 土坑4						甕		6	208	
手づくねかわらけ	大		1	5	瓦質土器	火鉢		1	18	
ロクロかわらけ	大		2	22	鉄製品	釘		2	51	
瀬戸	入子		1	10	自然遺物	獣骨		3	—	
瓦質土器	火鉢		1	23	I 区上層 土坑10					
常滑	甕		3	128	手づくねかわらけ	小		3	49	
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	2	手づくねかわらけ	大		5	73	
銅製品	銭		1	4	ロクロかわらけ	小		3	26	
鉄製品	釘		2	19	ロクロかわらけ	大		16	322	
自然遺物	獣骨		2	—	常滑	片口鉢	I	2	28	
I 区上層 土坑5							甕		9	438
ロクロかわらけ	小		5	38			壺		1	28
	大		28	299	鉄製品	釘		1	7	
かわらけ	小片		12	38		鉄片			33	
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	3	木製品	板(釘付き)		1	—	
常滑	片口鉢	I	1	39	自然遺物	魚骨		1	—	
		II	1	38		獣骨		9	—	
	甕		7	220		I 区上層 土坑11				
自然遺物	獣骨		2	—	手づくねかわらけ	小		2	13	
I 区上層 土坑6					手づくねかわらけ	大		6	89	
ロクロかわらけ	小		4	55	ロクロかわらけ	小		5	127	
	大		2	51	ロクロかわらけ	大		11	377	
尾張型	山皿		1	8	かわらけ	小片		2	4	
常滑	片口鉢	I	2	35	白磁	碗	IX	1	9	
			3	84		碗	I or II	1	7	
瓦質土器	火鉢		1	21	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	7	
自然遺物	獣骨		1	—		酒会壺		1	24	



種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	平碗		1	11
	卸皿		1	22
常滑	片口鉢	I	6	380
	甕		7	534
銅製品	煙管吸口		1	9
鉄製品	釘		4	43
	鉄片		1	2
自然遺物	獣骨		11	
I 区下層 土坑13				
手づくねかわらけ	大		4	40
ロクロかわらけ	大		1	10
常滑	片口鉢	I	1	32
		II	3	203
	甕		5	177
	壺		1	20
東播	鉢		1	28
瓦質土器	火鉢	III	1	142
			1	55
I 区下層 土坑14				
手づくねかわらけ	大		6	208
I 区上層 土坑15				
ロクロかわらけ	小		2	26
	大		2	47
常滑	甕		2	142
銅製品	銭		2	4
自然遺物	獣骨		3	
I 区下層 土坑17				
手づくねかわらけ	大		4	81
	小		2	33
ロクロかわらけ	小		2	16
	大		4	100
白磁	皿	IX	1	65
龍泉窯系青磁	碗	I	3	10
瀬戸	瓶類		3	76
常滑	片口鉢	I	2	61
	甕		3	264
	蔀口壺		1	31
渥美	甕		2	78
自然遺物	獣骨		2	
I 区下層 土坑18				
手づくねかわらけ	大		2	23
	小		1	20
ロクロかわらけ	大		1	12
常滑	甕		2	158
東播	甕		1	174
不明			1	168
I 区下層 土坑19				
手づくねかわらけ	大		6	82
ロクロかわらけ	大		8	142
	小		1	8
瀬戸	四耳壺		1	23
常滑	片口鉢	I	2	67
	甕		3	166
	壺		1	18
渥美	甕		1	73
東濃	山茶碗		1	21
I 区下層 土坑20				
手づくねかわらけ	小		2	23
	大		2	20
ロクロかわらけ	大		8	98
白磁	皿	IX	1	10
青白磁	碗皿		1	1
龍泉窯系青磁	碗	III	6	68
	坏・盤	III	1	34

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	18	715
		II	1	17
	甕		10	790
渥美	甕		2	145
瓦質土器	火鉢	I	1	51
東濃	山茶碗		1	17
自然遺物	獣骨		10	
II 区上層 土坑24				
ロクロかわらけ	大		25	281
	小		11	76
龍泉窯系青磁	碗皿		1	8
	坏	III	1	8
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	12
瀬戸	天目茶碗		1	11
	卸皿		3	66
	折縁皿		1	18
	瓶類		1	30
常滑	片口鉢	I	3	33
		II	4	168
	甕		14	680
	壺		2	59
瓦質土器	火鉢	III	2	182
鉄製品	釘		1	44
自然遺物	獣骨		5	
II 区上層 土坑26				
鉄製品	釘		2	25
II 区上層 土坑27				
鉄製品	釘		1	8
II 区上層 土坑28				
ロクロかわらけ	大		18	156
	小		7	28
かわらけ	小片		46	157
土器	南伊勢系鍋		2	6
白磁	皿	IX	1	3
常滑	片口鉢	I	1	16
	甕		13	385
	壺		1	19
渥美	甕		2	67
瓦質土器	火鉢	I	1	104
石製品	基石?		2	3
鉄製品	釘		6	42
建築部材	漆喰片		1	31
自然遺物	獣骨		7	
	アカニシ		1	
II 区上層 土坑29				
ロクロかわらけ	小		8	34
	大		12	123
かわらけ	小片		6	16
	小壺		1	19
土器	南伊勢系鍋		1	8
白磁	小片		1	0
龍泉窯系青磁	坏	III	1	3
瀬戸	瓶類		1	9
常滑	片口鉢	I	1	13
	甕		9	238
渥美	甕		1	42
銅製品	不明品		1	5
鉄製品	釘		3	23
自然遺物	獣骨		2	
II 区上層 土坑30				
手づくねかわらけ	小壺		1	6
ロクロかわらけ	小		3	24
	大		6	45
かわらけ	小片		4	11
土器	南伊勢系鍋		1	28
同安窯系青磁	皿		1	8
尾張型	山茶碗		1	4

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	3	65	かわらけ	小片		24	106
		II	1	11	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	7
	甕		6	261	土器	南伊勢系鍋		2	24
瓦質土器	火鉢		2	43	瀬戸	折縁皿		1	26
II区上層 土坑31						柄付片口		1	40
ロクロかわらけ	小		13	153	尾張型	山茶碗		1	3
	大		84	1463	常滑	片口鉢	I	6	59
かわらけ	小片		4	9			II	6	307
白かわらけ	手づくね		1	4		甕		11	434
青白磁	瓶類		1	6	瓦質土器	火鉢	IV	1	74
龍泉窯系青磁	碗	II	1	3		火鉢		2	35
			2	6	石製品	硯石	鳴滝	1	4
瀬戸	入子		1	6		仕上げ砥	鳴滝	4	18
	天目茶碗		1	4	鉄製品	釘		4	22
	緑釉小皿		1	4	自然遺物	獣骨		18	
	卸皿		2	27		アカニシ		1	
	折縁皿		4	88	II区上層 土坑34				
	直縁大皿		1	20	ロクロかわらけ	大		42	516
	柄付片口		2	79		小		12	76
瓶類		3	28	かわらけ	小片		8	25	
常滑	片口鉢	I	3	112	青白磁	合子		2	3
		II	2	142	瀬戸	卸皿		2	26
	甕		12	815		折縁皿		2	63
壺		1	11	鉢			1	76	
東濃型	山茶碗		1	27		瓶類		1	49
備前	すり鉢		1	33	常滑	片口鉢	I	2	33
瓦質土器	火鉢	III	1	443			II	2	55
		IV	1	36	甕		6	419	
			3	151	瓦質土器	火鉢		4	93
瓦	平瓦	D	2	518	瓦	軒丸瓦		1	53
近世遺物			2	12	石製品	滑石片	西彼杵	1	3
石製品	滑石片	西彼杵	1	13		硯石	鳴滝	1	114
	中砥	天草	1	407		中砥	伊予	1	44
鉄製品	釘		15	73		仕上げ砥	鳴滝	1	3
自然遺物	獣骨		6		自然遺物	獣骨		5	
II区上層 土坑32					II区上層 土坑35				
ロクロかわらけ	小		10	56	ロクロかわらけ	大		55	526
	大		78	670		小		11	84
かわらけ	小片		3	2	かわらけ	小片		47	177
土器	南伊勢系鍋		1	7	青白磁	皿		1	1
	罌付鍋		1	9	龍泉窯系青磁	碗	I	2	15
白磁	皿	IX	1	5			III	1	4
龍泉窯系青磁	碗		1	4		折縁皿		1	3
瀬戸	瓶子		1	54	瓦質土器	香炉		1	101
	瓶類		1	8		火鉢		4	105
尾張型	山茶碗		1	14	瀬戸	入子		1	8
常滑	片口鉢	II	9	590		緑釉小皿		1	8
	甕		27	1225		卸皿		1	56
	壺		5	80		折縁皿		6	200
渥美	甕		2	46		洗		1	32
備前	すり鉢		1	57		柄付片口		1	15
瓦質土器	火鉢		1	31		水注		1	24
瓦	丸瓦		1	164	瓶類		2	17	
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	8	常滑	片口鉢		3	107
	不明?		1	1		甕		15	1875
銅製品	銭		2	7	備前	すり鉢		3	670
鉄製品	板状		2	161	石製品	仕上げ砥	鳴滝	4	7
骨製品	筭		1	3	石材	粘板岩		4	41
建築部材	漆喰		7	131	II区上層 土坑36				
自然遺物	獣骨		11		ロクロかわらけ	大		82	1875
	アカニシ		1			小		24	295
II区上層 土坑33					白磁	碗	V?	1	7
手づくねかわらけ	小		1	6					1
	大		1	12		四耳壺?		1	6
ロクロかわらけ	小		11	152	青白磁	水注		1	4
	大		55	495					

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	I	3	85
		II or III	2	12
		III	2	7
			2	4
瀬戸	入子		1	15
	平碗		1	2
	卸皿		8	273
	折縁皿		10	267
	柄付片口		1	39
	花瓶		2	61
	瓶子		2	38
	瓶類		3	64
尾張型	山茶碗		1	26
渥美	甕		3	140
近世磁器	不明		1	2
常滑	片口鉢	I	29	819
		II	12	740
	甕		105	7205
	壺		1	38
備前	すり鉢		3	1465
瓦質土器	火鉢	III	3	296
		IV	2	191
			7	195
	香炉		1	57
石製品	滑石片	西彼杵	2	132
	硯石	粘板岩	1	88
	中砥	天草	1	367
	仕上げ砥	鳴滝	1	20
	仕上げ砥?	凝灰岩	1	51
銅製品	銭		5	19
鉄製品	刀鏢		1	37
	釘		53	378
建築部材	漆喰		8	302
骨製品	筭		1	—
自然遺物	獣骨		3	—
II区上層 土坑38				
ロクロかわらけ	小		1	6
	大		23	172
かわらけ	小片		5	15
白かわらけ	手づくね		1	2
龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	8
	坏	III	1	7
瀬戸	入子		1	2
	折縁皿		2	18
常滑	片口鉢	I	12	506
		II	8	311
	甕		19	630
	壺		2	59
備前	すり鉢		1	57
瓦質土器	火鉢	B	1	142
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	22
石製品	石英製火打石		1	8
鉄製品	釘		1	10
建築部材	漆喰		3	46
貝	不明		2	—
II区上層 土坑39				
ロクロかわらけ	大		237	5015
	小		72	1122
かわらけ	小片		26	47
白磁	皿	IX	3	10
青白磁	皿		1	0
	梅瓶		1	4
龍泉窯系青磁	碗	II or III	4	12

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	天目茶碗		2	11
	平碗		2	21
	卸皿		3	17
	縁釉小皿		2	49
	折縁皿		4	141
	瓶類		2	46
尾張型	山茶碗		1	13
常滑	片口鉢	I	22	495
		II	2	22
	甕		60	2650
	壺		1	33
渥美	甕		3	232
瓦質土器	火鉢	I	1	85
			8	522
瓦	平瓦	C	1	226
土製品	管状土錘		1	18
	滑石片	西彼杵		—
石製品	中砥	伊予	1	554
	仕上げ砥	鳴滝	2	20
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		12	767
骨製品	サイコロ		1	1
自然遺物	獣骨		12	—
II区上層 土坑39最下層				
ロクロかわらけ	大		90	1040
	小		23	398
かわらけ	小片		7	14
白磁	皿	IX	2	13
龍泉窯系青磁	碗	I	1	37
	碗or皿		2	2
瀬戸	天目茶碗		1	22
	折縁皿		1	29
	碗皿		1	2
	柄付片口		1	20
常滑	片口鉢	I	9	440
		II	1	20
	甕		31	1815
渥美	甕		1	19
瓦質土器	火鉢		9	312
瓦	平瓦	A	1	54
銅製品	銭		1	4
建築部材	漆喰		1	4
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 土坑40				
手づくねかわらけ	大		1	15
ロクロかわらけ	大		4	38
土器	南伊勢系鍋		1	31
常滑	片口鉢	I	1	7
	甕		7	364
自然遺物	獣骨		4	—
II区上層 土坑41				
ロクロかわらけ	小		1	18
ロクロかわらけ	大		18	90
土器	伊勢系鍋		1	2
常滑	片口鉢	II	1	65
	甕		5	199
瓦質土器	火鉢		1	32
自然遺物	獣骨		1	—
II区上層 土坑42				
手づくねかわらけ	大		3	26
ロクロかわらけ	小		1	35
	大		28	362
かわらけ	小片		18	62
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	26

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	
常滑	片口鉢	I	2	68	鉄製品	釘		9	103	
		II	2	148			II区上層 土坑47			
	甕		9	414	手づくねかわらけ	大		5	42	
鉄製品	釘		1	21	ロクロかわらけ	小		6	95	
自然遺物	獣骨		5	—		大		35	309	
	アカニシ		2	—	土器	南伊勢系鍋		1	5	
II区上層 土坑43						不明		1	8	
ロクロかわらけ	小		3	41	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	25	
	大		8	139		不明		1	3	
青白磁	合子蓋		1	7	瀬戸	折縁皿		1	70	
	梅瓶		1	4		瓶類		1	20	
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2	常滑	片口鉢	I	12	186	
瀬戸	天目茶碗		1	30			II	1	19	
	折縁皿		3	210			甕		12	476
	瓶類		1	11		壺		1	12	
常滑	片口鉢		2	62	備前	すり鉢		1	53	
	甕		3	173	瓦質土器	火鉢		3	100	
渥美	甕		1	16	銅製品	銭		1	4	
瓦質土器	火鉢	III	1	86	鉄製品	釘		4	20	
			1	120	骨製品	筭		1	—	
石製品	硯	鳴滝	1	39	建築部材	漆喰?		1	3	
	硯石		2	61	自然遺物	獣骨		2	—	
	中砥	伊予	1	39	II区上層 土坑48					
鉄製品	板状製品		1	49	ロクロかわらけ	大		3	26	
	釘		3	15	かわらけ	小片		2	7	
II区上層 土坑44					瀬戸	卸皿		2	41	
ロクロかわらけ	大		3	27		瓶類		2	146	
舶載施釉陶器	黄釉盤		1	8	土器	不明		1	17	
瀬戸	卸皿		3	47	常滑	片口鉢	I	1	68	
	柄付片口		1	57			II	2	110	
常滑	片口鉢	I	1	158		甕		11	547	
	甕	II	1	117	鉄製品	鉄滓		1	72	
	甕		4	163	瓦質土器	火鉢		1	48	
瓦質土器	火鉢		1	35	自然遺物	獣骨		1	—	
鉄製品	板状製品		3	51	II区上層 土坑49					
	釘		9	94	ロクロかわらけ	小		2	16	
II区上層 土坑45						大		18	140	
ロクロかわらけ	大		6	82	かわらけ	小片		7	24	
瀬戸	卸皿		2	32	白磁	碗	V?	1	4	
	小片		1	2	青白磁	皿		1	8	
常滑	片口鉢	I	1	16	龍泉窯系青磁	瓶類		1	27	
	甕	II	1	30	瀬戸	天目茶碗		1	52	
	甕		5	280	瀬戸	卸皿		1	12	
石製品	硯	鳴滝	1	30			折縁皿		4	81
	硯石	鳴滝	2	24			水滴?		1	10
	仕上げ砥	鳴滝	1	15	尾張型	山茶碗		1	30	
	中砥	天草	1	223	常滑	片口鉢	I	2	32	
鉄製品	釘	5	33			II	2	207		
II区上層 土坑46						甕		14	1000	
手づくねかわらけ	大		2	24	渥美	甕		1	60	
ロクロかわらけ	小		39	438	石製品	硯	鳴滝	1	60	
	大		174	1540	鉄製品	釘		2	12	
かわらけ	小片		18	80	自然遺物	獣骨		2	—	
白かわらけ	ロクロ		1	3	II区上層 土坑50					
土器	南伊勢系鍋		2	5	手づくねかわらけ	大		4	55	
白磁	皿	IX	1	2	ロクロかわらけ	小		21	232	
龍泉窯系青磁	碗	II or III	2	17		大		54	610	
	碗皿		2	3	かわらけ	小片		16	55	
瀬戸	入子		1	5	白かわらけ	手づくねかわらけ		1	3	
	卸皿		1	7	土器	南伊勢系鍋		1	5	
常滑	片口鉢	I	7	271	白磁	皿	IX	2	10	
	甕		36	940	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2	
	壺		2	123	舶載施釉陶器	緑釉盤		1	10	
渥美	甕		1	55	瀬戸	卸皿		1	8	
瓦質土器	火鉢		1	9	尾張型	山茶碗		2	7	
瓦	平瓦		1	63						

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	26	569	鉄製品	釘		9	103
		II	5	244					
瓦質土器	甕		27	1220	II区上層 土坑47				
	壺		4	95	手づくねかわらけ	大		5	42
瓦	平瓦		1	98	ロクロかわらけ	小		6	95
石製品	仕上げ砥	鳴滝	6	59		大		35	309
銅製品	銭		1	3	土器	南伊勢系鍋		1	5
鉄製品	板状製品		1	50			不明		1
	釘		9	76	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	25
II区上層 土坑51							不明		1
ロクロかわらけ	大		1	21	瀬戸	折縁皿		1	70
土器	南伊勢系鍋		1	1			瓶類		1
白磁	皿	IX	1	2	常滑	片口鉢	I	12	186
龍泉窯系青磁	碗	II or III	4	26			II	1	19
瀬戸	入子		1	3			甕		12
常滑	片口鉢	II	2	413		壺		1	12
	甕		2	63	備前	すり鉢		1	53
近世瓦			1	19	瓦質土器	火鉢		3	100
自然遺物	獣骨		1	—	銅製品	銭		1	4
II区上層 土坑52					鉄製品	釘		4	20
ロクロかわらけ	小		1	6	骨製品	筭		1	—
	大		5	89	建築部材	漆喰?		1	3
常滑	甕		11	615	自然遺物	獣骨		2	—
鉄製品	釘		3	45	II区上層 土坑48				
自然遺物	サザエ		1	—	ロクロかわらけ	大		3	26
建築部材	漆喰		1	89	かわらけ	小片		2	7
II区上層 土坑53					瀬戸	卸皿		2	41
ロクロかわらけ	小		1	39			瓶類		2
	大		1	41	土器	不明		1	17
常滑	片口鉢	I	1	71	常滑	片口鉢	I	1	68
		II	1	34				II	2
渥美	甕		6	393		甕		11	547
			1	95	鉄製品	鉄滓		1	72
II区上層 土坑54					瓦質土器	火鉢		1	48
ロクロかわらけ	小		16	150	自然遺物	獣骨		1	—
	大		25	245	II区上層 土坑49				
かわらけ	小片		80	231	ロクロかわらけ	小		2	16
白磁	皿	X?	1	1		大		18	140
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	3	かわらけ	小片		7	24
瀬戸	卸皿		1	8	白磁	碗	V?	1	4
常滑	片口鉢	I	10	117	青白磁	皿		1	8
		II	6	212	龍泉窯系青磁	瓶類		1	27
渥美	甕		24	785	瀬戸	天目茶碗		1	52
	鉢		1	28	瀬戸	卸皿		1	12
瓦質土器	火鉢	2	47			折縁皿		4	81
鉄製品	板状製品		2	66			水滴?		1
	釘		7	67	尾張型	山茶碗		1	30
自然遺物	獣骨		23	—	常滑	片口鉢	I	2	32
	貝片		1	—				II	2
II区上層 土坑55					渥美	甕		14	1000
ロクロかわらけ	小		4	61	石製品	硯	鳴滝	1	60
	大		15	221	鉄製品	釘		2	12
かわらけ	小片		4	13	自然遺物	獣骨		2	—
白磁	皿	IX	1	1	II区上層 土坑50				
龍泉窯系青磁	碗皿		1	1	手づくねかわらけ	大		4	55
瀬戸	卸皿		2	21	ロクロかわらけ	小		21	232
	碗		1	7		大		54	610
	瓶類		1	9	かわらけ	小片		16	55
常滑	片口鉢	I	2	23	白かわらけ	手づくねかわらけ		1	3
		II	2	82	土器	南伊勢系鍋		1	5
渥美	甕		6	117	白磁	皿	IX	2	10
			1	22	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2
備前	すり鉢		1	42	舶載施釉陶器	緑釉盤		1	10
不明陶器	碗		1	6	瀬戸	卸皿		1	8
			1	6	尾張型	山茶碗		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)	種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	26	569	瓦質土器	火鉢		2	59
		II	5	244	鉄製品	釘		4	27
	甕		27	1220	自然遺物	獣骨		1	—
	壺		4	95	II 区上層 土坑57				
瓦質土器	火鉢		5	251	ロクロかわらけ	小		2	23
瓦	平瓦		1	98		大		3	79
石製品	仕上げ砥	鳴滝	6	59	瀬戸	柄付片口		1	25
銅製品	銭		1	3	常滑	片口鉢	I	3	83
鉄製品	板状製品		1	50			II	2	237
		釘	9	76		甕		3	127
II 区上層 土坑51					備前	すり鉢		1	65
ロクロかわらけ	大		1	21	瓦質土器	火鉢		3	86
土器	南伊勢系鍋		1	1	瓦	平瓦		1	164
白磁	皿	IX	1	2	肥前系磁器	染付 蕎麦猪口		1	14
龍泉窯系青磁	碗	II or III	4	26	近世陶器	不明		1	49
瀬戸	入子		1	3	石製品	硯石	鳴滝	2	67
常滑	片口鉢	II	2	413	石製品	中砥	上野	1	124
	甕		2	63	自然遺物	貝片		1	—
近世瓦			1	19	II 区上層 土坑58				
自然遺物	獣骨		1	—	手づくねかわらけ	小		2	9
II 区上層 土坑52					ロクロかわらけ	小		5	53
ロクロかわらけ	小		1	6	大			26	382
	大		5	89	かわらけ	小片		3	5
常滑	甕		11	615	白磁	皿	IX	2	7
鉄製品	釘		3	45	龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	8
自然遺物	サザエ		1	—	舶載施釉陶器	壺?		1	26
建築部材	漆喰		1	89	常滑	片口鉢	I	7	228
II 区上層 土坑53							II	1	26
ロクロかわらけ	小		1	39		甕			16
	大		1	41	壺			1	38
常滑	片口鉢	I	1	71	建築部材	漆喰		4	109
		II	1	34	瀬戸	皿		1	11
	甕		6	393	石製品	滑石片		1	8
渥美	甕		1	95	鉄製品	釘		5	50
II 区上層 土坑54					自然遺物	貝片		1	—
ロクロかわらけ	小		16	150	II 区上層 土坑60				
	大		25	245	手づくねかわらけ	大		2	18
かわらけ	小片		80	231	ロクロかわらけ	小		14	112
白磁	皿	X?	1	1	大			41	381
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	3	かわらけ	小片		41	157
瀬戸	卸皿		1	8	青白磁	梅瓶		1	5
常滑	片口鉢	I	10	117	龍泉窯系青磁	碗皿		1	1
		II	6	212	常滑	片口鉢	I	6	130
	甕		24	785			II	4	147
渥美	甕		3	159				13	484
		鉢		1	28	瀬戸	折縁皿		4
瓦質土器	火鉢		2	47	瓶類			1	21
鉄製品	板状製品		2	66	渥美	甕		1	36
		釘	7	67	不明陶器	不明		1	9
自然遺物	獣骨		23	—	石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	1
		貝片	1	—	石材	雲母片		1	—
II 区上層 土坑55					銅製品	銭		2	7
ロクロかわらけ	小		4	61	鉄製品	釘		5	24
	大		15	221	自然遺物	獣骨		10	—
かわらけ	小片		4	13	II 区上層 土坑61				
白磁	皿	IX	1	1	ロクロかわらけ	小		23	140
龍泉窯系青磁	碗皿		1	1	大			72	645
瀬戸	卸皿		2	21	かわらけ	小片		10	31
	碗		1	7	白かわらけ			1	1
	瓶類		1	9	瀬戸	卸皿		2	23
常滑	片口鉢	I	2	23		折縁皿		9	248
		II	2	82		瓶類		1	28
	甕		6	117	常滑	片口鉢	I	2	57
渥美	甕		1	22			II	4	207
備前	すり鉢		1	42	甕			15	399
不明陶器	碗		1	6					

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
渥美	甕		2	27
瓦質土器	火鉢	IV	1	118
			3	79
石製品	滑石鍋		1	33
	仕上げ砥	鳴滝	2	31
鉄製品	鉄釘片		38	196
自然遺物	獣骨		11	—
II区上層 土坑62				
ロクロかわらけ	小		16	203
	大		47	635
かわらけ	小片		32	114
龍泉窯系青磁	小片		1	2
瀬戸	入子		2	4
	卸皿		1	15
	折縁皿		2	31
	花瓶		1	73
常滑	片口鉢	I	5	39
		II	1	21
	甕		12	523
銅製品	銭		2	8
鉄製品	釘		13	127
	鉄滓		6	181
自然遺物	獣骨		5	—
II区上層 土坑64				
ロクロかわらけ	大		3	56
土器	南伊勢系鍋		1	6
白磁	皿	IX	1	6
常滑	片口鉢	I	3	56
		II	2	250
	甕		5	277
瓦質土器	火鉢		1	61
銅製品	銭		1	4
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 土坑65				
ロクロかわらけ	小		4	76
	大		21	299
かわらけ	小片		4	13
白磁	合子身		1	8
	皿	IX	4	21
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	3
		III	1	6
青磁?	碗		1	13
瀬戸	卸皿		1	24
	折縁皿		2	41
	碗		1	2
	柄付片口		1	29
尾張型	瓶類		1	41
常滑	山茶碗		1	4
	片口鉢	I	3	69
	甕		24	1454
	壺		1	9
	転用研磨具		1	130
瓦質土器	火鉢	I	1	61
銅製品	銭		1	3
鉄製品	板状製品		1	7
	釘		8	40
II区上層 土坑66				
ロクロかわらけ	小		5	24
	大		59	367
かわらけ	小片		14	52
白かわらけ	小片		1	1
土器	鑿付鍋		1	2
白磁	合子蓋		1	1
	瓶類		1	14
種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	卸皿		1	54
	碗		1	6
	水滴		1	4
常滑	片口鉢	I	6	197
		II	1	21
		甕		20
瓦質土器	火鉢	III	1	83
			2	62
石製品	硯石	鳴滝	1	14
	仕上げ砥		2	59
石材	石英		1	4
鉄製品	釘		3	17
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 土坑67				
ロクロかわらけ	小		4	82
	大		10	248
白磁	皿	IX	1	3
青白磁	合子身		1	2
	碗		1	1
龍泉窯系青磁	碗	I	1	6
	坏・盤	III	1	6
瀬戸	卸皿		1	9
	折縁皿		1	68
常滑	片口鉢	I	8	452
		II	1	16
		甕		34
	壺		2	33
瓦質土器	火鉢		1	183
石製品	滑石製温石	西彼杵	1	18
	滑石片		2	223
	硯石		2	34
	中砥	伊予	1	182
	仕上げ砥		2	22
石材	石英		1	7
鉄製品	釘		3	65
自然遺物	獣骨		4	—
II区上層 土坑68				
ロクロかわらけ	大		8	66
瀬戸	縁釉小皿		1	4
常滑	片口鉢	II	1	87
常滑	甕		5	232
瓦器	小片		1	55
鉄製品	釘		2	1
自然遺物	獣骨		1	—
II区上層 土坑69				
ロクロかわらけ	小		1	6
	大		10	107
かわらけ	小片		6	22
瀬戸	小片		1	3
常滑	片口鉢	I	3	169
瓦質土器	火鉢		1	10
鉄製品	釘		1	7
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 土坑70				
ロクロかわらけ	大		9	75
かわらけ	小片		2	6
白磁	皿	IX	2	3
瀬戸	碗皿		1	4
	片口鉢		1	32
	甕		4	295
	壺		1	5
鉄製品	釘		8	52
自然遺物	獣骨		1	—
II区上層 土坑71				
ロクロかわらけ	小		2	12
	大		20	227
かわらけ	小片		14	43
龍泉窯系青磁	碗皿		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	I	2	44
	甕		9	393
建築部材	漆喰		2	55
自然遺物	アカニシ		1	—
II区上層 土坑72				
ロクロかわらけ	小		1	22
	大		1	30
青白磁	皿		1	1
常滑	片口鉢	I	1	97
	甕		14	825
銅製品	銭		1	5
鉄製品	釘		3	23
	鉄滓		1	47
II区上層 土坑73				
ロクロかわらけ	小		1	49
常滑	片口鉢	II	1	58
	甕		1	23
II区上層 土坑74				
手づくねかわらけ	小		1	13
ロクロかわらけ	大		4	93
龍泉窯系青磁	碗	I	1	5
常滑	片口鉢	I	1	10
	甕		5	226
渥美	甕		1	131
建築部材	漆喰		1	11
II区下層 土坑75				
常滑	甕		1	22
渥美	甕		2	112
自然遺物	貝殻片		1	—
II区下層 土坑76				
手づくねかわらけ	大		7	87
II区下層 土坑77				
手づくねかわらけ	大		1	30
	小		3	45
ロクロかわらけ	大		5	101
かわらけ	小片		3	17
白磁	碗	V?	1	14
龍泉窯系青磁	碗	I	1	16
		II or III	1	2
尾張型	山皿		1	10
常滑	片口鉢	I	5	70
		II	1	49
	甕		42	2260
	壺		1	11
渥美	甕		7	199
銅製品	銭		2	8
鉄製品	釘		4	34
自然遺物	獣骨		2	—
II区下層 土坑78				
手づくねかわらけ	大		2	20
ロクロかわらけ	小		1	44
	大		9	218
かわらけ	小片		4	14
白磁	皿	X	1	28
常滑	片口鉢	I	1	13
	甕		7	397
瓦質土器	火鉢	I	1	44
			1	32
鉄製品	釘		1	4
II区下層 土坑79				
手づくねかわらけ	小		2	10
	大		1	19
ロクロかわらけ	小		3	23
	大		22	209
かわらけ	小片		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
青白磁	合子蓋		1	7
	梅瓶		1	9
龍泉窯系青磁	碗	I	1	5
常滑	片口鉢	I	3	95
	甕		9	372
瓦質土器	火鉢		1	75
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	33
銅製品	銭		1	3
鉄製品	釘		1	7
自然遺物	獣骨		7	—
II区下層 土坑80				
常滑	甕		1	45
II区下層 土坑81				
手づくねかわらけ	小		1	3
かわらけ	小片		4	12
鉄製品	釘		1	8
II区下層 土坑82				
手づくねかわらけ	小		1	5
かわらけ	小片		4	27
石製品	滑石片		1	19
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		1	4
自然遺物	ハマグリ		1	—
II区下層 土坑84				
手づくねかわらけ	小		1	3
	大		5	54
ロクロかわらけ	小		3	67
	大		16	156
かわらけ	小片		6	25
白磁	皿	IX	1	8
常滑	片口鉢	I	1	10
		II	2	90
	甕		24	825
	壺		2	19
渥美	甕		4	97
自然遺物	獣骨		8	—
石製品	滑石鍋		1	12
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		7	47
鉄製品	鉄片		1	15
鉄製品	鉄滓		2	170
建築部材	漆喰		1	26
II区下層 土坑85				
手づくねかわらけ	大		2	18
渥美	甕		1	40
漆器	椀		1	—
自然遺物	獣骨		1	—
II区下層 土坑86				
手づくねかわらけ	大		1	15
渥美	甕		1	35
自然遺物	獣骨		1	—



種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
I 区上層 ピット1				
ロクロかわらけ	大		10	75
龍泉窯系青磁	碗	I	1	9
瀬戸	袋物		1	30
常滑	甕		2	44
瓦質土器	火鉢		2	120
鉄製品	釘		2	12
自然遺物	獣骨		1	—
I 区上層 ピット2				
手づくねかわらけ	小		1	8
	大		1	7
ロクロかわらけ	小		2	29
	大		17	181
かわらけ	小片		9	30
白かわらけ	小片		1	1
瀬戸	折縁皿		2	91
常滑	片口鉢	I	3	153
		II	3	108
	甕		11	359
瓦質土器	火鉢		3	42
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	8
石材	石英		1	27
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		3	25
I 区上層 ピット3				
ロクロかわらけ	大		7	53
常滑	片口鉢	I	1	19
		II	2	90
	甕		2	28
	壺		1	17
瓦質土器	火鉢		1	26
鉄製品	釘		1	11
自然遺物	獣骨		1	—
I 区上層 ピット4				
常滑	片口鉢	I	1	12
	甕		1	191
鉄製品	釘		1	18
自然遺物	獣骨		3	—
I 区上層 ピット5				
ロクロかわらけ	小		1	4
	大		6	60
常滑	片口鉢	I	1	18
	甕		1	17
自然遺物	獣骨		2	—
I 区上層 ピット6				
ロクロかわらけ	小		1	7
	大		3	29
龍泉窯系青磁	折縁皿		1	4
常滑	甕		1	39
自然遺物	獣骨		1	—
I 区上層 ピット7				
手づくねかわらけ	小		1	5
	大		2	13
ロクロかわらけ	大		1	9
白磁	皿	IX	1	4
常滑	片口鉢	I	1	160
自然遺物	獣骨		2	—
I 区上層 ピット8				
ロクロかわらけ	小		3	48
	大		6	58
かわらけ	小片		4	11
常滑	片口鉢	I	1	31
	甕		9	398
瓦質土器	火鉢		2	217
自然遺物	獣骨		1	—
I 区上層 ピット9				
ロクロかわらけ	小		1	11
	大		3	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	皿		1	17
	碗	II or III	1	16
常滑	片口鉢	I	3	66
	甕		1	35
備前	すり鉢		1	181
瓦質土器	火鉢		1	38
銅製品	銭		1	4
石材	石英		1	3
自然遺物	獣骨		4	—
I 区下層 ピット10				
ロクロかわらけ	小		1	52
常滑	甕		1	36
自然遺物	獣骨		3	—
I 区下層 ピット11				
ロクロかわらけ	大		1	34
手づくねかわらけ	小		1	3
	大		5	181
常滑	片口鉢	I	2	179
	甕		3	416
I 区下層 ピット12				
常滑	甕		1	25
I 区下層 ピット13				
ロクロかわらけ	大		1	10
I 区下層 ピット14				
手づくねかわらけ	小		1	11
	大		2	14
ロクロかわらけ	小		1	13
	大		1	7
同安窯系青磁	皿		1	28
常滑	甕		1	50
I 区下層 ピット15				
常滑	甕		1	57
自然遺物	獣骨		3	—
I 区下層 ピット16				
常滑	片口鉢	I	1	11
		II	1	14
	甕		3	58
渥美	鉢		1	19
I 区下層 ピット17				
ロクロかわらけ	大		4	35
東濃	山茶碗		1	18
I 区下層 ピット19				
鉄製品	釘		3	39
II 区上層 ピット20				
ロクロかわらけ	小		1	5
	大		18	115
白磁	皿	IX	2	13
常滑	片口鉢	I	4	70
	甕		4	98
	壺		1	23
自然遺物	獣骨		1	—
II 区上層 ピット21				
手づくねかわらけ	小		5	16
	大		6	29
ロクロかわらけ	小		4	48
	大		31	242
かわらけ	小片		15	42
同安窯系青磁	碗		1	2
	皿		1	21
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2
瀬戸	瓶類		2	32
常滑	片口鉢	I	2	57
		II	2	39
	甕		28	805
尾張型	山茶碗		1	5
渥美	甕		2	48
銅製品	銭		1	7
鉄製品	釘		16	109
建築部材	漆喰		1	548

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獣骨		3	—
II区上層 ピット22				
常滑	片口鉢	I	1	39
		II	1	21
	甕	2	128	
II区上層 ピット23				
ロクロかわらけ	小		2	9
	大		16	124
瀬戸	瓶類		1	13
	碗		1	35
瓦質土器	火鉢	D	1	107
石製品	仕上げ砥		1	6
自然遺物	獣骨		3	—
II区上層 ピット24				
手づくねかわらけ	小		1	4
ロクロかわらけ	小		9	49
	大		16	118
かわらけ	小片		10	33
瀬戸	折縁皿		1	12
	柄付片口		2	108
	皿鉢		1	20
常滑	片口鉢	II	1	23
	甕		9	236
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	1
鉄製品	板状製品		1	20
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 ピット25				
瀬戸	瓶子		1	266
II区上層 ピット26				
ロクロかわらけ	大		12	82
常滑	片口鉢	I	3	62
		I	1	39
	甕		12	451
不明陶器	不明		1	5
瓦質土器	火鉢		1	17
石製品	仕上げ砥		1	2
鉄製品	釘		1	2
自然遺物	獣骨		1	—
II区上層 ピット27				
手づくねかわらけ	大		3	32
ロクロかわらけ	小		3	13
	大		14	126
龍泉窯系青磁	碗	II or III	1	2
常滑	片口鉢	I	5	116
		II	1	7
	甕		16	850
瓦質土器	火鉢	I	1	31
		III or IV	1	133
鉄製品	釘		1	12
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 ピット28				
ロクロかわらけ	小		3	25
	大		72	600
かわらけ	小片		14	57
土器	南伊勢系鍋		2	52
龍泉窯系青磁	碗	I	1	9
	碗皿		2	3
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	26
瀬戸	卸皿		1	8
常滑	片口鉢	I	9	128
		II	2	125
	甕		23	910
渥美	甕		2	80
瓦質土器	火鉢	I	1	37
			2	41
石製品	荒砥	天草	1	26
	仕上げ砥	鳴滝	1	40
鉄製品	釘		8	72
建築部材	漆喰		1	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獣骨		3	—
II区上層 ピット29				
ロクロかわらけ	大		6	37
白磁	水注		1	7
自然遺物	獣骨		1	—
II区上層 ピット30				
白磁	皿	IX	1	19
II区上層 ピット31				
ロクロかわらけ	大		1	13
鉄製品	釘		2	26
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 ピット32				
ロクロかわらけ	大		7	61
常滑	片口鉢	I	1	13
		II	1	70
鉄製品	釘		3	14
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 ピット33				
ロクロかわらけ	小		2	8
	大		5	60
瀬戸	卸皿		1	31
	瓶類		1	4
鉄製品	釘		1	1
II区上層 ピット34				
手づくねかわらけ	小		2	14
	大		3	40
ロクロかわらけ	小		7	46
	大		11	108
白磁	皿	IX	1	4
瀬戸	卸皿		1	22
	折縁皿		1	24
	瓶類		1	17
常滑	片口鉢	I	3	27
	甕		7	537
渥美	甕		1	23
瓦質土器	火鉢		1	23
鉄製品	釘		11	92
	鉄片		1	36
自然遺物	獣骨		1	—
II区上層 ピット35				
ロクロかわらけ	小		9	93
	大		39	465
かわらけ	小片		19	83
土器	南伊勢系鍋		2	13
瀬戸	折縁皿		3	38
	柄付片口		1	39
尾張型	山茶碗		5	9
常滑	片口鉢	I	16	445
		II	13	676
	甕		30	1630
壺		6	158	
瓦質土器	火鉢	I	5	122
石製品	滑石スタンプ		1	46
鉄製品	釘		5	20
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 ピット36				
ロクロかわらけ	大		10	94
かわらけ	小片		2	7
尾張型	山茶碗		1	6
常滑	片口鉢	II	1	30
	甕		1	60
渥美	壺		1	8
II区上層 ピット37				
かわらけ	小片		3	14
常滑	片口鉢	I	3	91
鉄製品	釘		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区上層 ピット38				
ロクロかわらけ	内折れ極小		1	3
	小		3	18
	大		5	32
かわらけ	小片		1	14
土器	南伊勢系鍋		1	1
瀬戸	折縁皿		1	7
常滑	片口鉢	I	3	128
		II	1	99
	甕		4	64
瓦質土器	火鉢		1	27
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	3
鉄製品	釘		5	41
自然遺物	獣骨		1	—
II区上層 ピット39				
鉄製品	釘		2	7
II区上層 ピット40				
手づくねかわらけ	小		1	4
ロクロかわらけ	小		5	20
	大		19	110
かわらけ	小片		2	3
常滑	片口鉢	I	1	13
			3	55
鉄製品	釘		1	410
自然遺物	獣骨		2	—
II区上層 ピット41				
ロクロかわらけ	小		9	42
	大		8	95
常滑	片口鉢	I	1	16
		II	2	265
備前	すり鉢		1	58
石製品	滑石片		1	10
	中砥	天草	1	80
鉄製品	鉄片		2	4
II区上層 ピット42				
龍泉窯系青磁	坏	III	1	2
常滑	片口鉢	II	1	735
		甕	3	53
II区上層 ピット43				
ロクロかわらけ	小		1	3
	大		3	30
かわらけ	小片		2	7
瀬戸	卸皿		1	5
	折縁皿		1	9
常滑	片口鉢	II	2	65
		甕	1	98
		壺	1	13
渥美	甕	壺	1	71
		壺	1	68
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	10
II区上層 ピット45				
ロクロかわらけ	大		2	25
白磁	皿		1	1
常滑	片口鉢	I	1	15
		II	2	65
鉄製品	釘		2	56
		鉄滓	1	44
II区上層 ピット46				
ロクロかわらけ	小		1	8
	大		5	69
かわらけ	小片		2	4
瀬戸	卸皿		1	12
常滑	片口鉢	I	1	16
		甕	4	284
瓦質土器	火鉢		1	14
鉄製品	釘		1	3
自然遺物	獣骨		9	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
II区上層 ピット47				
ロクロかわらけ	小		8	61
	大		19	162
かわらけ	小片		4	10
白かわらけ	手づくね		1	6
舶載施釉陶器	褐釉壺		2	36
瀬戸	卸皿		1	67
常滑	片口鉢	I	1	5
		II	1	44
		甕	10	635
瓦質土器	火鉢		1	11
銅製品	銭		1	3
鉄製品	刀子		2	165
	釘		10	62
II区上層 ピット49				
ロクロかわらけ	小		6	66
	大		19	186
かわらけ	小片		5	12
常滑	片口鉢	I	3	68
		II	1	14
		甕	3	175
渥美	甕		1	37
石製品	硯石		1	72
鉄製品	釘		1	4
自然遺物	獣骨		1	—
II区上層 ピット50				
ロクロかわらけ	大		2	42
常滑	片口鉢	I	1	11
		甕	1	32
不明陶器	不明		1	11
II区上層 ピット51				
手づくねかわらけ	大		1	14
ロクロかわらけ	小		1	14
	大		12	179
土器	南伊勢系鍋		1	8
常滑	甕		5	106
瓦質土器	火鉢		1	11
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	9
鉄製品	釘		3	12
II区下層 ピット52				
ロクロかわらけ	小		2	31
	大		1	6
常滑	甕		1	15

表6 出土遺物観察表

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤラ	板状	ス/コ状		
図20 1	在地位器	ロクロ かわらけ・小	6.8	4.3	1.8	3/4		○		○		黄灰	I区表土 白針
図20 2	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.0	3.8	2.1	ほぼ完形	43.4	○		○		明黄灰	I区表土 白針
図20 3	在地位器	ロクロ かわらけ・大	(12.0)	(6.4)	3.7	1/6		○		○		橙	I区表土 白針
図20 4	在地位器	ロクロ かわらけ・大	(12.0)	(8.0)	3.3	1/4		○		○		黄橙	I区表土 白針
図20 5	陶器	常滑 甕	—	—	[7.3]	口小片						暗赤褐	I区表土 9型式か
図20 6	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.8	1.8	完形	40.2	○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20 7	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.4	1.6	2/3		○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20 8	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.2	2.1	ほぼ完形	44.3	○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20 9	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.1	4.7	2.1	ほぼ完形	40.1	○		○		赤橙	I区上層遺構面上 白針
図20 10	在地位器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.7)	2.4	1/2		○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20 11	在地位器	ロクロ かわらけ・大	12.0	7.0	3.2	2/3		○		○		橙	I区上層遺構面上 白針
図20 12	在地位器	ロクロ かわらけ・大	(13.8)	(8.6)	3.5	1/3		○				黄橙	I区上層遺構面上 白針
図20 13	舶載磁器	龍泉窯系青磁 坏Ⅲ-4b類	(11.6)	(5.5)	4.0	1/3 (口1/6~ 底3/4)						灰緑 不透明	I区上層遺構面上
図20 14	舶載磁器	白磁 水注	—	—	—	注口部 小片						水 透明	I区上層遺構面上
図20 15	陶器	瀬戸 折縁深皿	(22.5)	(15.1)	5.8	1/6						淡灰緑	I区上層遺構面上 中期様式前半
図20 16	陶器	瀬戸 卸皿	(16.2)	(5.9)	3.4	1/4						淡黄灰	I区上層遺構面上 後I期
図20 17	陶器	瀬戸 底卸皿	—	—	[2.2]	底片						灰緑	I区上層遺構面上
図20 18	陶器	常滑 甕	—	—	[7.2]	口小片						褐	I区上層遺構面上 9型式
図20 19	陶器	備前 すり鉢	—	—	[9.2]	口~胴片						暗茶褐	I区上層遺構面上
図20 20	陶器	備前 すり鉢	—	—	[5.3]	口小片						赤褐	I区上層遺構面上
図20 21	陶器	備前 すり鉢	—	—	—	胴片						茶褐	I区上層遺構面上
図20 22	在地位器	鍔付鍋	(10.0)	—	[3.9]	口1/6						淡灰黄	I区上層遺構面上
図20 23	陶器	常滑片 転用研磨具	長さ 5.4	幅 6.7	厚さ 1.1	甕胴部片	48.3					褐	I区上層遺構面上
図20 24	陶器	常滑片 転用研磨具	長さ 7.6	幅 6.1	厚さ 1.2	甕胴部片	64.7					褐	I区上層遺構面上
図21 25	石製品	砥石	長さ [12.0]	幅 [7.8]	厚さ 8.5	一部欠損	[1265]	○		○		黒灰	I区上層遺構面上 荒砥(天草)
図21 26	石製品	砥石	長さ [11.2]	幅 7.9	厚さ 7.5	一部欠損	[546.5]					灰黒	I区上層遺構面上 荒砥(笹口)
図21 27	石製品	砥石	長さ [6.2]	幅 4.6	厚さ 4.1	一部欠損	[180]					灰	I区上層遺構面上 中砥
図21 28	石製品	砥石	長さ [7.0]	幅 4.7	厚さ 3.6	一部欠損	[196]						I区上層遺構面上 中砥(伊予)
図21 29	石製品	砥石	長さ [7.3]	幅 4.7	厚さ 3.5	一部欠損	[137.2]					白	I区上層遺構面上 中砥
図21 30	石製品	砥石	長さ [4.7]	幅 [3.0]	厚さ 0.9	一部欠損	[21.5]					淡黄灰	I区上層遺構面上 仕上げ砥(鳴滝)
図21 31	石製品	砥石	長さ [3.9]	幅 3.0	厚さ 0.7	一部欠損	[13.5]					淡黄灰	I区上層遺構面上 仕上げ砥(鳴滝)
図21 32	鉄製品	釘	長さ 7.7	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	5					—	I区上層遺構面上
図21 33	銅製品	銭 祥符元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面上 中国北宋代 1009年
図21 34	銅製品	銭 明道元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面上 中国北宋代 1032年

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ツラリ状	板状	スノコ状		
図21 35	銅製品	銭 熙寧元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I 区上層遺構面上 中国北宋代 1068年
図21 36	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I 区上層遺構面上 中国北宋代 1078年
図21 37	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.3	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	3					—	I 区上層遺構面上 中国北宋代 1078年
図21 38	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.8					—	I 区上層遺構面上 中国北宋代 1086年
図21 39	銅製品	銭 政和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	3					—	I 区上層遺構面上 中国北宋代 1111年
図21 40	骨角製品	双六駒	—	直径 2.0	厚さ 0.6	完形	3.2					黄白	I 区上層遺構面上
図22 41	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.2	4.2	1.8	1/2		○		○		橙	I 区上層遺構面上 白針
図22 42	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.1	4.6	1.9	完形	35.8	○				橙	II 区上層遺構面上 白針
図22 43	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.5	4.8	1.9	2/3				○		黄橙	II 区上層遺構面上 白針
図22 44	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.8	2.3	3/4						橙	II 区上層遺構面上 白針
図22 45	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.4)	2.7	口小～ 底完存		○		○		橙	II 区上層遺構面上 白針
図22 46	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.3	ほぼ完形	41.7	○		○		橙	II 区上層遺構面上 白針
図22 47	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.9	2.2	2/3		○		○		橙	II 区上層遺構面上 白針 口縁部付近煤付着
図22 48	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.2)	(8.0)	3.0	1/3		○		○		黄橙	II 区上層遺構面上 白針
図22 49	陶器	陶丸	—	直径 2.4	厚さ 2.4	完形	14					橙	II 区上層遺構面上
図22 50	土製品	双六駒	長さ 2.8	幅 2.6	厚さ 0.8	完形	7					黄橙	II 区上層遺構面上
図22 51	土製品	紡錘車?	最大径 (5.4)	厚さ 2.2	孔径 0.6	1/2	[28.1]					灰	II 区上層遺構面上
図22 52	土製品	管状土錘	長さ 4.4	幅 2.4	孔径 1.6	完形	16.8					橙	II 区上層遺構面上
図22 53	石製品	滑石鍋片 転用スタンプ	長さ 7.3	幅 4.4	厚さ 2.5	ほぼ完形	[80.8]					—	II 区上層遺構面上
図22 54	石製品	滑石鍋片 転用スタンプ	長さ 4.4	幅 6.2	厚さ 2.3	ほぼ完形	[75.2]					—	II 区上層遺構面上
図22 55	石製品	硯	長さ [7.4]	幅 8.5	厚さ 2.1	一部欠損	[207.5]						II 区上層遺構面上 鳴滝硯
図22 56	石製品	砥石	長さ [6.4]	幅 2.9	厚さ 1.9	一部欠損	[57.9]						II 区上層遺構面上 中砥(上野)
図22 57	陶器	須恵器片 転用研磨具	—	—	—	甕胴部片	129.6					暗灰	II 区上層遺構面上
図22 58	舶載磁器	青白磁 梅瓶	—	8.7	[2.1]	底部のみ 完形						灰 半透明	II 区上層遺構面上
図22 59	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.1	1.7	ほぼ完形	55.8	○		○		暗黄灰	II 区上層遺構面上 B-5 白針
図22 60	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.7	2.4	2/3		○		○		明橙灰	II 区上層遺構面上 B-5 白針
図22 61	石製品	砥石	長さ [8.7]	幅 3.3	厚さ 1.3	一部欠損	[41.2]					灰白	II 区上層遺構面上 B-5 白針
図22 62	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	II 区上層遺構面上 B-5 白針
図22 64	舶載磁器	白磁 碗IX類	(15.4)	—	[5.8]	口～体1/6						灰白 透明	II 区上層遺構面上 B-10
図22 65	陶器	瀬戸 碗	(13.8)	—	[5.9]	口～体1/5						緑灰	II 区上層遺構面上 B-10
図22 66	陶器	瀬戸 蓋?	最大径 4.5	—	1.3	完形						暗茶褐	II 区上層遺構面上 B-10
図22 67	陶器	常滑片 転用研磨具	長さ 6.0	幅 5.5	厚さ 1.0	甕胴部片	52.2					暗赤褐	II 区上層遺構面上 B-10
図22 68	石製品	砥石	長さ [7.3]	幅 3.1	厚さ 2.2	一部欠損	[83.8]					灰白	II 区上層遺構面上 B-10 中砥(伊予)
図22 69	石製品	砥石	長さ [4.9]	幅 3.4	厚さ 2.6	一部欠損	[64.5]					橙灰白	II 区上層遺構面上 B-10 仕上げ砥(出羽か)

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行*	ツラリ状	板状	ス/コ状		
図22 70	銅製品	銭 聖宋元寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面上 B-10 中国北宋代 1101年
図22 71	銅製品	銭 政和通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面上 B-10 中国北宋代 1111年
図23 72	在地土器	ロクロ かわらけ・中	(9.2)	(5.6)	2.6	2/3		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 白針
図23 73	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.6	7.8	3.5	2/3		○		○		淡黄灰	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 白針
図23 74	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.9	8.1	3.7	2/3				○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 白針
図23 75	舶載陶器	褐釉壺	(5.6)	—	[6.7]	口1/4						灰黄	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 口縁歪み強い
図23 76	陶器	瀬戸 花瓶ⅠA類	—	—	—	胴下部のみ						灰緑	Ⅱ区上層遺構面上 C-5
図23 77	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.1					—	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 中国北宋代 1038年
図23 78	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 中国北宋代 1038年
図23 79	銅製品	銭 銭種不明	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.1					—	Ⅱ区上層遺構面上 C-5
図23 80	石製品	砥石	長さ [5.4]	幅 3.3	厚さ 0.6~ 0.8	一部欠損	[26.1]					橙	Ⅱ区上層遺構面上 C-9 仕上げ砥(鳴滝)
図23 81	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面上 C-9 中国北宋代 1086年
図23 82	陶器	尾張型 山茶碗小皿	8.5	5.7	2.0	2/3						灰	Ⅱ区試掘坑内
図23 83	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	6.3	1.6	1/2		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 近世土坑 白針
図24 84	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.0)	8.0	3.4	2/3		○		○		橙	I区上層遺構面 建物1 白針
図24 85	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	(8.2)	3.5	1/2		○		○		淡橙	I区上層遺構面 建物1 白針
図24 86	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.5	8.0	3.6	4/5		○				橙	I区上層遺構面 建物1 白針
図24 87	舶載磁器	高麗青磁 瓶子	—	—	—	胴部小片						灰 透明	I区上層遺構面 建物1
図24 88	舶載磁器	龍泉窯系青磁 坏Ⅲ-1a類	(12.0)	(6.5)	4.4	1/4						灰青 不透明	I区上層遺構面 建物1
図24 89	陶器	瀬戸 入子	—	4/5	[3.2]	底4/5						灰白	I区上層遺構面 建物1
図24 90	陶器	常滑 甕	(23.7)	—	[9.6]	口~胴片						灰褐	I区上層遺構面 建物1 6b型式
図24 91	瓦質土器	火鉢IVC類	—	—	[11.6]	口~底片						暗灰	I区上層遺構面 建物1
図24 92	在地土器	かわらけ 転用円盤	—	径 4.7	厚さ 1.1	ほぼ完形						暗赤褐	I区上層遺構面 建物1
図24 93	石製品	硯	長さ [6.0]	幅 7.6	厚さ 1.9	一部欠損	[86.5]					赤褐	I区上層遺構面 建物1 鳴滝
図24 94	石製品	砥石	長さ [6.5]	幅 [6.8]	厚さ [7.0]	一部欠損	[505]					灰白~明赤灰	I区上層遺構面 建物1 中砥(天草)
図24 95	石製品	砥石	長さ [15.3]	幅 [7.9]	厚さ 4.7	一部欠損	[43.3]					灰白	I区上層遺構面 建物1 中砥(伊予)
図24 96	銅製品	銭 開元通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 建物1 中国唐代 621年
図24 97	銅製品	銭 皇宋通寶 (真書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	3					—	I区上層遺構面 建物1 中国北宋代 1038年
図24 98	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 建物1 中国北宋代 1078年
図24 99	銅製品	銭 元符通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 建物1 中国北宋代 1098年
図24 100	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.9	1.8	3/5		○		○		淡橙	I区上層遺構面 建物1床面上 白針
図24 101	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.5)	(6.7)	1.8	1/2		○		○		黄灰	I区上層遺構面 建物1床面上 白針
図24 102	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.6)	(8.8)	3.0	1/2				○		灰黄	I区上層遺構面 建物1床面上 白針
図24 103	土製品	管状土錘	長さ [4.7]	幅 1.3	孔径 0.5	一部欠損	[5.6]					橙	I区上層遺構面 建物1床面上

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤラ状	板状	ス/コ状		
図24 104	石製品	砥石	長さ [8.0]	幅 4.4	厚さ 0.7	一部欠損	[34.4]					緑灰	I区上層遺構面 建物1床面上 仕上げ砥(鳴滝)
図24 105	石製品	双六駒	—	径 2.1	厚さ 0.2	ほぼ完形	2					緑味灰	I区上層遺構面 建物1床面上
図24 106	銅製品	銭 嘉定通寶	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 建物1床面上 中国南宋代 1208年
図24 107	銅製品	銭 皇口元寶	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 建物1床面上
図25 108	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(10.2)	(4.0)	1.8	1/2		○		○		橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 109	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(5.8)	(3.7)	2.0	2/5		○		○		橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 110	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(5.8)	(3.6)	1.8	1/3		○		○		橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 111	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.3	3.9	2.0	ほぼ完形	37.1			○		橙	I区上層遺構面 井戸1 白針 二次焼成か
図25 112	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(5.8)	4.7	1.8	1/3		○				淡橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 113	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.0)	(4.2)	2.4	1/2		○		○		淡橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 114	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.7)	4.8	2.0	1/2		○		○		橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 115	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	4.8	2.2	2/3		○		○		黄橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 116	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	4.3	2.4	4/5		○				淡橙	I区上層遺構面 井戸1 白針 口縁部一部煤付着
図25 117	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.9	2.6	ほぼ完形	57.2	○		○		橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 118	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.7)	6.6	2.4	1/3		○		○		黄橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 119	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(10.4)	(6.4)	2.4	1/4		○		○		淡橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 120	在地土器	ロクロ かわらけ・中	(8.6)	6.2	3.2	1/4		○		○		橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 121	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(11.0)	(7.6)	3.6	1/3		○		○		黄橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 122	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(11.4)	(7.4)	3.3	1/4		○		○		淡橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 123	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.5)	(10.0)	2.9	1/4		○		○		淡橙	I区上層遺構面 井戸1 白針
図25 124	舶載陶器	鈎窯系 花盆か	—	—	—	体片						褐～青灰	I区上層遺構面 井戸1
図25 125	陶器	瀬戸 小天目	(11.7)	5.0	3.4	口～底2/3						暗赤褐	I区上層遺構面 井戸1 後Ⅲ期か
図25 126	陶器	瀬戸 碗	—	(4.4)	[2.7]	底片						黒褐	I区上層遺構面 井戸1
図25 127	陶器	瀬戸 縁袖小皿	—	—	[2.4]	口小片						灰緑	I区上層遺構面 井戸1
図25 128	陶器	瀬戸 縁袖小皿	—	—	[2.3]	口小片						灰緑	I区上層遺構面 井戸1
図25 129	陶器	瀬戸 卸皿	(16.6)	(8.0)	4.4	1/4						淡橙～淡黄	I区上層遺構面 井戸1 中期前半か
図25 130	陶器	瀬戸 卸皿	(11.5)	(6.0)	2.6	口～底1/4						灰緑	I区上層遺構面 井戸1 中期前半か
図25 131	陶器	瀬戸 底卸皿	—	8.8	[3.0]	底2/3						灰	I区上層遺構面 井戸1
図25 132	陶器	常滑 広口壺	(14.8)	—	[6.0]	口1/3						黒褐	I区上層遺構面 井戸1 6型式
図25 133	陶器	常滑 甕	—	—	[7.2]	口小片						褐	I区上層遺構面 井戸1 10型式
図25 134	陶器	常滑 甕	—	—	—	体片						灰	I区上層遺構面 井戸1
図25 135	陶器	常滑 甕	—	—	—	体片						茶褐	I区上層遺構面 井戸1
図25 136	陶器	常滑 甕	—	—	—	体片						赤褐	I区上層遺構面 井戸1
図25 137	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[5.7]	口小片						赤褐	I区上層遺構面 井戸1 8型式
図25 138	陶器	常滑 転用研磨具	長さ 12.0	幅 5.5	厚さ 1.5	甕胴部片	130.5					褐	I区上層遺構面 井戸1

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行'	リヤリヤ状	板状	スノコ状		
図25 139	石製品	硯	長さ [7.0]	幅 6.0	長さ 1.3	一部欠損	[69.4]					黒褐	I区上層遺構面 井戸1 鳴滝硯
図25 140	石製品	硯 不明転用品	長さ [2.4]	幅 [2.8]	厚さ 1.8	不明	[22.8]					暗赤紫	I区上層遺構面 井戸1 赤間・紫金石
図26 141	石製品	砥石	長さ [15.3]	幅 [7.9]	厚さ 4.7	一部欠損	[640]					黒褐～灰	I区上層遺構面 井戸1 荒砥(天草)
図26 142	石製品	砥石	長さ [10.3]	幅 6.5	厚さ 5.6	一部欠損	[665]					黒褐～灰	I区上層遺構面 井戸1 荒砥(天草)
図26 143	石製品	砥石	長さ [11.0]	幅 6.4	厚さ [6.6]	一部欠損	[540]					灰	I区上層遺構面 井戸1 荒砥(伊予)
図26 144	石製品	砥石	長さ [8.6]	幅 [4.8]	厚さ 3.5	一部欠損	[266]					灰	I区上層遺構面 井戸1 中砥(天草)
図26 145	石製品	砥石	長さ [12.6]	幅 5.1	厚さ 3.5	一部欠損	[263.8]					灰	I区上層遺構面 井戸1 中砥(天草)
図26 146	石製品	砥石	長さ [3.6]	幅 4.2	厚さ 1.1	一部欠損	[22.3]					灰白	I区上層遺構面 井戸1 中砥(天草)
図26 147	石製品	砥石	長さ [7.5]	幅 1.7	厚さ 1.8	一部欠損	[47.5]					灰緑	I区上層遺構面 井戸1 仕上げ砥(上野)
図26 148	石製品	砥石	長さ [4.0]	幅 3.5	厚さ 1.2	一部欠損	[34.2]					灰緑	I区上層遺構面 井戸1 仕上げ砥(湯沢?)
図26 149	石製品	加工石	長さ [4.0]	幅 [4.7]	厚さ 2.2	一部欠損	[70.6]					黒褐～灰	I区上層遺構面 井戸1
図26 150	骨角製品	栓?	長さ 2.2	長さ 1.1	長さ 1.0	完形	3.1						I区上層遺構面 井戸1 鹿角製
図26 151	貝製品	漆パレット	長さ 7.6	長さ [7.5]	長さ 0.6	一部欠損							I区上層遺構面 井戸1 ハマグリ
図26 152	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	2					—	I区上層遺構面 井戸1 中国北宋代 1078年
図26 153	銅製品	銭 至口元寶	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	2/3	1					—	I区上層遺構面 井戸1
図26 154	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.3	5.3	2.3	ほぼ完形	54			○		灰黄	I区上層遺構面 井戸1最下層 白針 口唇部煤付着
図26 155	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.8	4.1	2.2	ほぼ完形	53	○		○		赤橙	I区上層遺構面 井戸1最下層 白針 口唇部煤付着
図26 156	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.6	1.9	ほぼ完形	55	○		○		黄灰	I区上層遺構面 井戸1最下層 白針
図27 157	陶器	常滑 甕	(48.8)	21.6	77.0	口2/3～ 底完存						赤褐	II区上層遺構面 据え甕遺構 7型式か
図27 158	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.1	5.9	1.6	2/3		○		○		灰黄	II区上層遺構面 据え甕遺構 白針
図27 159	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.6	1.9	3/4		○		○		灰黄	II区上層遺構面 据え甕遺構 白針
図27 160	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.0	1.9	ほぼ完形	65.2	○		○		灰黄	II区上層遺構面 据え甕遺構 白針
図27 162	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(7.6)	(5.2)	1.8	1/2		○				黄橙	II区上層遺構面 据え甕遺構 白針
図27 162	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.2	8.0	3.4	3/4		○		○		黄橙	II区上層遺構面 据え甕遺構 白針
図27 163	陶器	ロクロ かわらけ・大	12.5	6.8	3.5	4/5		○		○		橙	II区上層遺構面 据え甕遺構 白針
図27 164	陶器	常滑 甕	—	—	[8.3]	口小片						赤褐	II区上層遺構面 据え甕遺構
図27 165	陶器	備前 すり鉢	—	—	[8.0]	口～胴片						赤褐	II区上層遺構面 据え甕遺構 166と同一個体か
図27 166	石製品	備前 すり鉢	—	—	[6.6]	底～胴片						赤褐	II区上層遺構面 据え甕遺構 165と同一個体か
図27 167	石製品	砥石	長さ [5.5]	幅 [3.8]	厚さ 1.1	ほぼ完形	[31.6]					淡黄灰	II区上層遺構面 据え甕遺構 仕上げ砥(鳴滝)
図27 168	石製品	砥石	長さ [4.3]	幅 3.3	厚さ 0.9	一部欠損	[20.4]					淡黄灰	II区上層遺構面 据え甕遺構 仕上げ砥(鳴滝)
図28 169	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	5.5	1.5	ほぼ完形	50.6	○		○		淡橙	II区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針
図28 170	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.8)	1.7	1/2		○		○		淡橙	II区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針
図28 171	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	(5.6)	2.0	1/3		○		○		淡橙	II区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針
図28 172	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.6	2.0	3/4		○		○		黄灰	II区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針
図28 173	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	2.3	1/2		○		○		橙	II区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針



( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行'	サリ状	板状	スリ状		
図28 174	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.0	2.1	4/5		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針
図28 175	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.1	2.2	3/5		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 176	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.0	2.4	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 177	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.4	2.4	3/4		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 178	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	2.2	ほぼ完形	52.1			○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 179	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.1	2.1	完形	54.8	○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 180	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.0	2.0	4/5		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針
図28 181	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	4.3	1.9	ほぼ完形	41.1	○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 182	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(13.1)	(7.7)	3.8	1/3		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針
図28 183	舶載磁器	手づくね かわらけ・小	8.0	—	2.0	1/2						淡橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 184	舶載磁器	白磁 合子蓋	最大径 (7.6)	—	[2.1]	1/2弱						水 透明	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1
図28 185	陶器	瀬戸 花瓶ⅠA類	—	—	[1.7]	蓋小片						水 透明	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中Ⅰ期か
図28 186	陶器	瀬戸 花瓶ⅠB類	3.7	4.5	10.4	ほぼ完形						褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中期様式か
図28 187	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[7.5]	口～体片						赤褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1
図28 188	陶器	常滑 転用研磨具	長さ 11.5	幅 9.3	厚さ 0.9	不明						褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1
図28 189	陶器	常滑 転用研磨具	長さ 6.8	幅 4.4	厚さ 0.9	不明						灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1
図28 190	陶器	常滑 転用研磨具	長さ [3.2]	幅 3.7	厚さ 1.2	不明						灰褐～褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1
図28 191	陶器	常滑 転用研磨具	長さ [4.2]	幅 4.2	厚さ 1.3	不明						茶褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1
図28 192	瓦質土器	香炉	(9.1)	(8.0)	6.5	2/3						暗灰～黒灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1
図28 193	石製品	砥石	長さ [7.5]	幅 [5.6]	厚さ 5.5	一部欠損	[253.8]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中砥(天草)
図28 194	石製品	砥石	長さ [7.0]	幅 3.1	厚さ 0.9	一部欠損	[72.7]					淡黄	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 195	石製品	砥石	長さ [4.5]	幅 3.0	厚さ 2.5	一部欠損	[76.5]					黒褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中砥(天草)
図28 196	石製品	砥石	長さ [4.6]	幅 3.3	厚さ 0.5	一部欠損	[13.1]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 197	石製品	砥石	長さ [5.5]	幅 3.4	厚さ 1.0	一部欠損	[31.4]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 198	石製品	砥石	長さ [4.8]	幅 3.6	厚さ 1.2	一部欠損	[37.1]					灰黄	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 199	鉄製品	砥石	長さ [3.5]	幅 [2.5]	厚さ 0.7	一部欠損	[11.6]					黄灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 200	鉄製品	蓋	9.8	—	3.4	ほぼ完形	[59.1]					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1
図28 201	鉄製品	棒状製品	長さ [12.4]	幅 0.6	厚さ 0.6	一部欠損	[9.9]					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 紡錘車の軸棒か
図28 202	ガラス片	器種不明	—	—	—	小片	[2.9]					青	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1
図28 203	銅製品	銭 咸平元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中国北宋代 998年
図28 204	銅製品	銭 景祐元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中国北宋代 1034年
図28 205	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中国北宋代 1038年
図28 206	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中国北宋代 1038年
図28 207	銅製品	銭 元豊通寶	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中国北宋代 1078年
図28 208	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 中国北宋代 1086年

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			打	ツリ状	板状	入コ状		
図28 209	銅製品	銭 嘉定通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上) 中国南宋代 1208年
図29 210	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.3)	4.4	1.6	1/3		○		○		黄灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構4 (床面上) 白針
図29 211	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	4.8	1.8	口1/4~ 底完存		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 (床面上) 白針
図29 212	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(5.0)	1.8	1/3		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構3 (床面上) 白針
図29 213	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	(4.5)	2.0	1/3		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上) 白針
図29 214	陶器	常滑 甕	—	—	[5.1]	口小片						褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上) 6b型式
図29 215	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[8.0]	口~体片						灰褐色	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上)
図29 216	陶器	東播系須恵器 片口鉢	—	—	[2.6]	口小片						灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上)
図29 217	石製品	硯	長さ [6.4]	幅 [3.6]	厚さ 2.3	一部欠損	[306.8]					灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上)
図29 218	石製品	砥石	長さ [3.4]	幅 3.3	厚さ 2.4	一部欠損	[51.1]					黄灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上) 中砥(鳴滝)
図29 219	石製品	砥石	長さ [9.0]	幅 5.3	厚さ 4.4	一部欠損	[47.6]					黄灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上) 中砥(伊予)
図29 220	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上) 中国北宋代 1038年
図29 221	銅製品	銭 嘉祐元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上) 中国北宋代 1056年
図29 222	銅製品	銭 熙寧元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上) 中国北宋代 1068年
図29 223	銅製品	銭 元符通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構1 (床面上) 中国北宋代 1098年
図30 224	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	3.6	2.3	1/2						橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針 内外面煤付着
図30 225	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.6	2.2	2/3						橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針 口縁部煤付着
図30 226	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.1	2.4	ほぼ完形	45	○				橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針 口縁部煤付着
図30 227	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	4.6	2.0	ほぼ完形	37	○				褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 228	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.9	2.3	1/2		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 229	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.0)	5.0	2.0	1/2		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 230	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.2	1.7	2/3		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 231	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.5	2.2	2/3		○				黄灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 232	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.0	2.2	2/3		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 233	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.1	2.2	ほぼ完形	51	○				橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 234	在地土器	ロクロ かわらけ・中	(9.5)	(5.5)	3.0	1/4		○				淡橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 235	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.4)	7.6	3.3	1/2		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 236	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(13.2)	7.6	3.6	3/4		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 237	舶載磁器	龍泉窯系青磁 算木文香炉	(13.1)	—	[3.5]	口小片						緑 半透明	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2
図30 238	舶載磁器	龍泉窯系青磁 香炉	—	—	[3.6]	口小片						緑	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2
図30 239	陶器	瀬戸 折縁深皿	(22.6)	—	[4.7]	口1/4						淡灰黄	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 中期様式
図30 240	陶器	瀬戸 折縁深皿	(24.6)	—	[5.6]	口1/6						灰白	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 中期様式
図30 241	陶器	瀬戸 折縁深皿	(21.5)	—	[5.5]	口1/4						淡灰緑	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 中期様式
図30 242	陶器	瀬戸 卸皿	(14.0)	—	[3.0]	口小片						淡灰緑	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 中期様式
図30 243	陶器	瀬戸 卸皿	(15.0)	—	[5.3]	口1/4						淡灰緑	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 中期様式

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	列	板状	ス/コ状		
図30 244	陶器	常滑甕	—	—	[6.6]	口小片						茶褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 6a型式
図30 245	陶器	常滑甕	—	—	[5.6]	口小片						暗褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 6a型式
図30 246	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	—	—	[7.0]	口小片						暗赤褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 7~8型式
図30 247	陶器	常滑片口鉢Ⅱ類	—	—	[3.4]	口小片						暗赤褐	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 7~8型式
図30 248	陶器	東播系須恵器片口鉢	—	—	[4.8]	口小片						灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2
図30 249	陶器	東播系須恵器片口鉢	—	—	[3.3]	口小片						灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2
図30 250	土製品	かわらけ転用円盤	長さ [2.4]	幅 2.9	厚さ 0.7	一部欠損	[5.6]					橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図30 251	在地土器	ロクロかわらけ・大	12.8	8.6	3.3	1/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 井戸状遺構 白針
図30 252	銅製品	銭 紹聖元寶(篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 井戸状遺構 中国北宋代 1094年
図31 253	土製品	管状土錘	長さ 7.1	幅 1.2	孔径 0.6	一部欠損	[9.1]					暗橙灰	I区上層遺構面 土坑1
図31 254	石製品	滑石鍋片転用スタンプ	長さ 4.6	幅 4.9	厚さ 2.8	ほぼ完形	[76.4]					—	I区上層遺構面 土坑2
図31 255	石製品	滑石鍋片転用スタンプ	長さ [1.9]	幅 3.4	厚さ 0.9	小片						—	I区上層遺構面 土坑2
図31 256	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.4	4.9	1.6	完形	43.6	○		○		明黄橙	I区上層遺構面 土坑3 白針 口唇部煤付着
図31 257	銅製品	銭 嘉定通寶(行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	I区上層遺構面 土坑5 中国北宋代 1086年
図31 258	陶器	常滑甕	(36.4)	—	[8.4]	口1/5~ 体片						暗赤褐	I区上層遺構面 土坑8 8~9型式
図31 259	瓦質土器	火鉢ⅣA類	—	—	[5.5]	口小片						淡橙灰	I区上層遺構面 土坑8
図31 260	骨製品	筆軸	長さ 3.9	直径 1.2	孔径 0.6	3/4	[2.8]					黒褐	I区上層遺構面 土坑8
図31 261	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.4	4.6	2.2	ほぼ完形	39.4	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑11 白針
図31 262	在地土器	ロクロかわらけ・小	8.1	5.3	1.6	4/5		○		○		明黄灰	I区上層遺構面 土坑11 白針
図31 263	在地土器	ロクロかわらけ・大	(11.6)	6.9	3.3	1/5		○		○		明黄橙	I区上層遺構面 土坑11 白針
図31 264	在地土器	手づくねかわらけ・大	13.4	—	3.0	3/4		○				橙	I区上層遺構面 土坑14 白針
図31 265	陶器	東播系須恵器甕	—	—	[7.1]	口小片						黒褐	I区上層遺構面 土坑18
図31 266	在地土器	ロクロかわらけ・小	(7.2)	(4.7)	2.2	1/3		○		○		黄橙	I区上層遺構面 土坑24 白針 口唇部打ち欠き 煤付着
図31 267	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.2	4.5	2.1	ほぼ完形	46.6	○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白針
図31 268	在地土器	ロクロかわらけ・中	10.7	6.6	3.3	完形	150	○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白針
図31 269	在地土器	ロクロかわらけ・大	12.7	7.4	3.3	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白針
図31 270	在地土器	ロクロかわらけ・大	13.4	8.3	3.8	完形	201	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白針 内外面に煤付着
図31 271	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.7	4.3	2.3	完形	48.5	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑33 白針 口唇部打ち欠き 口縁~底部内面煤付着
図31 272	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.4	4.9	2.2	3/4		○		○		黄橙	I区上層遺構面 土坑33 白針
図31 273	在地土器	ロクロかわらけ・大	13.2	7.2	3.7	1/2		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑34 白針
図32 274	陶器	備前すり鉢	(29.0)	—	[11.8]	口1/5~ 体1/4						暗茶褐	Ⅱ区上層遺構面 土坑35
図32 275	陶器	備前すり鉢	—	—	—	胴部小片						暗褐	Ⅱ区上層遺構面 土坑35
図32 276	瓦質土器	香炉?	最大径 (9.4)	(7.0)	[4.3]	1/3						灰~黒	I区上層遺構面 土坑35 外底面の一部漆付着
図33 277	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.8	4.8	2.3	3/4		○		○		橙	I区上層遺構面 土坑36 白針

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入/コ状		
図33 278	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.1	8.1	3.8	完形	203.7	○		○		黄橙	I区上層遺構面 土坑36 白針
図33 279	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.5	3.7	3/4		○		○		黄橙	I区上層遺構面 土坑36 白針
図33 280	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	8.5	3.5	4/5		○		○		明橙	I区上層遺構面 土坑36 白針
図33 281	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.4	7.2	3.2	ほぼ完形	176.2	○		○		黄橙	I区上層遺構面 土坑36 白針
図33 282	陶器	備前 すり鉢	(25.5)	14.0	13.3	口1/8～ 底1/2弱						橙	I区上層遺構面 土坑36
図33 283	陶器	備前 すり鉢	(26.8)	(13.2)	12.0	1/4						橙	I区上層遺構面 土坑36
図33 284	瓦質土器	香炉	(10.3)	(8.6)	4.6	1/3						淡橙	I区上層遺構面 土坑36
図33 285	瓦質土器	火鉢IVA類	—	—	[11.8]	口～体片						橙灰白	I区上層遺構面 土坑36
図33 286	石製品	砥石	長さ [6.7]	幅 6.0	厚さ 5.8	一部欠損	[365]					橙灰	I区上層遺構面 土坑36 中砥(天草)
図33 287	鉄製品	飾り金具	—	直径 6.2	厚さ 0.1	ほぼ完形	[21.3]					—	I区上層遺構面 土坑36
図33 288	銅製品	銭 至道元寶 (行書)	直径 2.6	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 土坑36 中国北宋代 995年
図33 289	銅製品	銭 開禧通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 土坑36 中国南宋代 1205年
図33 290	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 土坑36 中国北宋代 1038年
図33 291	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 土坑36 中国北宋代 1038年
図34 292	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(6.0)	(4.3)	1.5	1/3		○		○		橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 293	在地土器	ロクロ かわらけ・小	5.8	4.0	2.0	完形	34.9	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 294	在地土器	ロクロ かわらけ・小	5.7	4.2	1.9	ほぼ完形	31.2	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 295	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.0	4.9	2.0	完形	35.3	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 296	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.1	5.1	1.8	完形	35.3	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 297	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.1	5.4	2.0	完形	39.4	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 298	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.2	5.5	2.1	完形	45.7	○		○		黄橙	I区上層遺構面 土坑39 白針
図34 299	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.4	4.9	1.9	完形	38.8	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 300	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.3	4.8	2.3	完形	46.3	○		○		淡橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 301	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.6	2.3	ほぼ完形	39.6	○		○		橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 302	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.5	5.5	2.3	完形	44.6	○		○		橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 303	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.9	4.5	2.2	完形	43.3	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 304	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	1.7	ほぼ完形	48.2	○		○		黄灰	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 305	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.0	2.2	ほぼ完形	55.4	○		○		黄橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 306	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.7	5.3	2.0	完形	52.3	○		○		橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 307	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	4.5	2.6	完形	61.5	○		○		橙	I区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 308	在地土器	ロクロ かわらけ・中	9.1	6.6	3.0	2/3		○		○		橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 309	在地土器	ロクロ かわらけ・中	9.7	7.4	3.0	3/4		○		○		橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 310	在地土器	ロクロ かわらけ・中	(10.5)	6.7	3.3	1/4		○		○		淡橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 311	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.0	6.7	2.9	完形	104.6	○		○		橙	II区上層遺構面 土坑39 白針
図34 312	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.0	7.3	3.0	完形	107	○		○		橙	II区上層遺構面 土坑39 白針

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ツラリ状	板状	ス/コ状		
図34 313	在地位器	ロクロ かわらけ・中	10.8	7.1	3.0	ほぼ完形	131.8	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針 中～大の中間か
図34 314	在地位器	ロクロ かわらけ・中	10.2	6.9	2.8	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 315	在地位器	ロクロ かわらけ・中	11.2	7.0	2.9	3/4		○		○		明橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針 中～大の中間か
図34 316	在地位器	ロクロ かわらけ・中	10.2	5.5	3.0	完形	108.6	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 317	在地位器	ロクロ かわらけ・中	10.4	6.0	3.3	2/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 318	在地位器	ロクロ かわらけ・中	10.2	7.1	2.8	ほぼ完形	102.5	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39
図34 319	在地位器	ロクロ かわらけ・中	10.9	7.0	3.1	完形	130.6	○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針 中～大の中間か
図34 320	在地位器	ロクロ かわらけ・中	10.8	6.9	3.2	完形	142	○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針 中～大の中間か
図34 321	在地位器	ロクロ かわらけ・大	(12.2)	(8.7)	3.2	2/3		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 322	陶器	瀬戸 緑釉小皿	(11.2)	(5.0)	3.0	1/4						暗緑	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 後Ⅱ～Ⅲ期か
図34 323	土製品	管状土錘	長さ 4.2	最大径 2.6	孔径 1.2	ほぼ完形	[18.1]					赤橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39
図34 324	石製品	砥石	長さ [5.2]	幅 2.4	厚さ 2.0	一部欠損	[53.7]					灰白	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 中砥(上野)
図34 325	石製品	火打石	長さ 3.2	幅 2.1	厚さ 0.8	ほぼ完形	[8.3]					白色半透明	Ⅰ区上層遺構面 土坑39
図34 326	骨製品	賽子	長さ 0.8	幅 0.8	厚さ 0.8	ほぼ完形	[0.6]					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 イカサマ(奇数目のみ)
図34 327	銅製品	銭 嘉祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 中国北宋代 1056年
図34 328	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 中国北宋代 1078年
図34 329	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.5	2.1	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑42 白針 口縁部に煤付着
図34 330		天目茶碗	—	—	[5.9]	口～胴片						黄灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑43
図34 331	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.2	1.7	4/5		○		○		黄灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑46 白針 口唇部打ち欠き 全体に黒変
図34 332	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.1	5.0	1.7	2/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑46 白針
図34 333	在地位器	ロクロ かわらけ・小	(7.3)	(3.9)	2.3	1/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑46 白針
図34 334	在地位器	ロクロ かわらけ・大	12.5	7.9	3.3	4/5		○		○		黄灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑46 白針
図34 335	銅製品	銭 口宋元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑47
図34 336	陶器	瀬戸 天目茶碗A類	(11.0)	(4.7)	[5.9]	1/4						灰緑	Ⅰ区上層遺構面 土坑49
図34 337	石製品	硯	長さ [5.6]	幅 [5.5]	厚さ 1.2	一部残存	[60.2]	○		○		灰褐	Ⅰ区上層遺構面 土坑49
図34 338	石製品	砥石	長さ [8.6]	幅 4.4	厚さ 3.9	両端欠損	[219]					灰橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑49 中砥(伊予?)
図34 339	石製品	砥石	長さ [5.8]	幅 2.7	厚さ 0.6	両端欠損	[14.8]					灰黄	Ⅰ区上層遺構面 土坑49 仕上げ砥(鳴滝)
図35 340	在地位器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(5.6)	1.7	1/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑50 白針
図35 341	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	ほぼ完形	3.1					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑50 中国北宋代 1038年
図35 342	陶器	常滑 甕	(32.2)	—	[10.2]	口1/6						褐	Ⅰ区上層遺構面 土坑50
図35 343	在地位器	ロクロ かわらけ・小	(7.5)	(5.4)	1.7	1/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑53 白針
図35 344	在地位器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	(4.9)	2.3	1/3		○		○		黄灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑54 白針
図35 345	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.2	完形	47.1	○				黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑55 白針
図35 346	銅製品	煙管	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑57 上部「亀」の文字刻印

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入ノコ状		
図35 347	石製品	砥石	長さ [10.2]	幅 3.0	厚さ 2.5	完形カ	124.2					灰緑白	I区上層遺構面 土坑57 中砥(上野)
図35 348	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	I区上層遺構面 土坑60 中国北宋代 1078年
図35 349	銅製品	銭 紹聖元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 土坑60 中国北宋代 1094年
図35 350	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.2	2.1	3/4		○		○		黄橙	II区上層遺構面 土坑62 白針 口唇部一部煤付着
図35 351	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.8	2.3	ほぼ完形	47.9	○		○		淡橙	II区上層遺構面 土坑62 白針 煤付着
図35 352	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.9	7.1	3.1	完形	110.7	○		○		橙	II区上層遺構面 土坑62 白針
図35 353	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3					—	I区上層遺構面 土坑62 中国北宋代 1086年
図35 354	銅製品	銭 紹聖元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 土坑64 中国北宋代 1094年
図35 355	銅製品	銭 治平元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 土坑65 中国北宋代 1064年
図35 356	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.7	2.2	完形	47.9	○		○		黄橙	I区上層遺構面 土坑67 白針
図35 357	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(11.8)	(7.2)	3.5	1/3		○		○		橙	I区上層遺構面 土坑67 白針
図35 358	舶載磁器	龍泉窯系青磁 転用研磨具	長さ [3.9]	—	[2.7]	高台部片	37.8					灰緑 半透明	I区上層遺構面 土坑67 碗 I or II類
図35 359	石製品	滑石場銅片 転用温石か	長さ 10.3	幅 7.7	厚さ 1.4	不明	[209.2]					—	I区上層遺構面 土坑67
図35 360	石製品	砥石	長さ [10.7]	幅 3.7	厚さ 3.5	ほぼ完形	[181.4]					黄白	I区上層遺構面 土坑67 中砥(伊予?)
図35 361	石製品	砥石	長さ 5.4	幅 2.1	厚さ 0.7	ほぼ完形	[15.3]					灰黄	I区上層遺構面 土坑67 仕上げ砥(鳴滝)
図35 362	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.9	1.8	3/4		○		○		橙	II区上層遺構面 土坑68 白針
図35 363	銅製品	銭 嘉口通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	I区上層遺構面 土坑72
図35 364	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.3	5.9	1.6	2/3		○		○		黄灰	II区上層遺構面 土坑73 白針
図36 365	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 ビット2 中国北宋代 1078年
図36 366	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	(4.0)	2.3	1/3		○		○		黄灰	I区上層遺構面 ビット8 白針
図36 367	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.5)	2.0	1/3		○		○		黄灰	I区上層遺構面 ビット8 白針
図36 368	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.3	1.6	ほぼ完形	51.8	○		○		橙	I区上層遺構面 ビット10 白針
図36 369	舶載磁器	同安窯系青磁 皿 I類	—	(4.6)	[1.1]	体~底 1/2弱						オリーブ灰 透明	I区上層遺構面 ビット14
図36 370	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	I区上層遺構面 ビット17 中国北宋代 1038年
図36 371	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.9	6.0	1.9	ほぼ完形	66.1	○		○		黄灰	I区上層遺構面 ビット19 白針
図36 372	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.9	10.1	2.4	2/3		○		○		暗黄灰	I区上層遺構面 ビット19 白針
図36 373	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	9.1	2.6	3/4		○		○		暗黄灰	I区上層遺構面 ビット19 白針
図36 374	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.5	1.8	3/4		○		○		黄橙	I区上層遺構面 ビット19 白針
図36 375	陶器	瀬戸 無台碗	(9.9)	(4.7)	4.1	口1/8~ 底1/2弱						灰	I区上層遺構面 ビット21 口縁~体部は天目茶碗形
図36 376	陶器	瀬戸 柄付片口	(14.2)	—	[6.1]	口1/4 ~底片						淡緑	II区上層遺構面 ビット24
図36 377	陶器	瀬戸 瓶子	(4.0)	—	[5.0]	注口~ 肩部片						淡緑	II区上層遺構面 ビット25 I or II類 前期様式
図36 378	石製品	硯	長さ [12.2]	幅 [7.4]	厚さ [0.7]	一部残存	[114]					灰黒	I区上層遺構面 ビット34
図36 379	石製品	砥石	長さ [6.4]	幅 2.6	厚さ 1.5	一部欠損	[43.7]					黄白	I区上層遺構面 ビット34
図36 380	石製品	滑石銅片 転用スタンプ	長さ 5.9	幅 3.5	厚さ 1.1	ほぼ完形	[47]					—	I区上層遺構面 ビット35
図36 381	在地土器	ロクロ かわらけ・極小	(4.1)	(3.9)	0.6	2/5						淡橙	II区上層遺構面 ビット38 白針

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	サリ状	板状	ス/コ状		
図36 382	石製品	砥石	長さ [8.1]	幅 2.9	厚さ 2.2	一部欠損						淡赤灰白	I区上層遺構面 ビット41 中砥(天草)
図36 383	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区上層遺構面 ビット41 中国北宋代 1086年
図36 384	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(27.5)	(16.0)	11.0	1/4						黄橙～灰褐	I区上層遺構面 ビット42 6b型式か
図36 385	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	(5.3)	2.5	1/2		○		○		黄橙	I区上層遺構面 ビット49 白針 外底煤付着
図37 386	在地土器	ロクロ かわらけ・極小	3.7	2.7	0.8	5/6				○		黄橙	II区上層遺構面 B-8～10 白針
図37 387	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.9	2.1	ほぼ完形	33.6	○		○		赤橙	II区上層遺構面 B-8～10 白針 口唇部煤付着
図37 388	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.8	1.8	3/4		○		○		黄灰	II区上層遺構面 B-8～10 白針
図37 389	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.9	7.4	3.0	ほぼ完形	123.7	○				橙	II区上層遺構面 B-8～10 白針
図37 390	陶器	瀬戸 折縁深皿	—	—	[7.8]	口～胴片						淡灰黄	II区上層遺構面 B-8～10 中期様式
図37 391	陶器	瀬戸 卸皿	—	—	[3.4]	口～底片						淡灰黄	II区上層遺構面 B-8～10
図37 392	石製品	滑石鍋片 転用スタンプ	長さ [3.9]	幅 [3.7]	厚さ 2.1	体部片	32.3					黒～暗灰	II区上層遺構面 B-8～10
図37 393	石製品	滑石鍋片 転用温石か	長さ [10.3]	幅 9.0	厚さ 3.5	体部片	40.5					銀灰	II区上層遺構面 B-8～10
図37 394	石製品	砥石	長さ [8.3]	幅 3.0	厚さ 1.5	一部欠損	[54.6]					緑味灰	II区上層遺構面 B-8～10 仕上げ砥(鳴滝)
図37 395	石製品	砥石	長さ [8.0]	幅 3.9	厚さ 1.9	一部欠損	[77.8]					橙灰	II区上層遺構面 B-8～10 仕上げ砥
図37 396	石製品	砥石	長さ [7.0]	幅 3.5	厚さ 1.3	一部欠損	[45]					灰白	II区上層遺構面 B-8～10 仕上げ砥(上野・沼田)
図37 397	鉄製品	釘	長さ 6.0	幅 0.5	厚さ 0.4	完形	3.5					—	II区上層遺構面 B-8～10
図37 398	銅製品	銭 熙寧元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4					—	II区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1068年
図37 399	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	II区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1078年
図37 400	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	II区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1078年
図37 401	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	8					—	II区上層遺構面 B-8～10 2枚重ね 中国北宋代 1086年
図37 402	銅製品	銭 政和通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	II区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1111年
図37 403	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.7	1.9	2/3		○		○		橙	II区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 404	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.9	2.0	ほぼ完形	45.1	○		○		橙	II区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 405	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.6	5.4	2.3	完形	65.6	○		○		橙	II区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 406	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.2)	(4.4)	2.3	1/3		○		○		橙	II区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 407	陶器	瀬戸 水注	5.2	—	[5.9]	口頸部片						灰白～灰	II区上層遺構面 C-8～10 型式不明
図37 408	陶器	瀬戸 天目茶碗	—	—	[3.7]	口小片						暗灰緑	II区上層遺構面 C-8～10
図37 409	陶器	東播系須恵器 甕	—	—	[5.7]	口小片						橙	II区上層遺構面 C-8～10
図37 410	石製品	砥石	長さ [6.5]	幅 4.5	厚さ 2.7	一部欠損	[109.2]					褐灰	II区上層遺構面 C-8～10 中砥(天草)
図37 411	石製品	砥石	長さ [5.7]	幅 3.9	厚さ 3.2	一部欠損	[123.9]					褐灰	II区上層遺構面 C-8～10 中砥(天草)
図37 412	石製品	砥石	長さ [6.7]	幅 4.4	厚さ 4.5	一部欠損	[102]					灰白	II区上層遺構面 C-8～10 中砥(伊予)
図37 413	石製品	砥石	長さ 8.0	幅 3.9	厚さ 1.4	ほぼ完形	[74]					灰黄	II区上層遺構面 C-8～10 仕上げ砥(鳴滝)
図37 414	石製品	砥石	長さ [7.8]	幅 3.4	厚さ 1.2	一部欠損	[40.7]					灰白	II区上層遺構面 C-8～10 仕上げ砥(鳴滝)
図37 415	石製品	砥石	長さ [4.7]	幅 3.2	厚さ 0.8	一部欠損	[25]					灰黄	II区上層遺構面 C-8～10 仕上げ砥(鳴滝)
図37 416	石製品	砥石	長さ 3.5	幅 3.5	厚さ 2.0	ほぼ完形?	[42.3]					灰白	II区上層遺構面 C-8～10 仕上げ砥(出羽)

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入ノコ状		
図37 417	銅製品	銭 天禧通寶 (真書)	直径 2.6	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 C-8~10 中国北宋代 1017年
図37 418	銅製品	銭 嘉泰通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.7					—	Ⅱ区上層遺構面 C-8~10 中国南宋代 1201年
図38 419	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.0	2.0	ほぼ完形	40	○		○		淡黄橙	Ⅱ区上層遺構面 B・C-7 白針 口縁~底部内面に煤付着
図38 420	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(13.0)	(8.4)	3.0	1/3		○		○		明黄灰	Ⅱ区上層遺構面 B・C-7 白針
図38 421	銅製品	銭 軋元重寶 (行書)	直径 2.1	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区上層遺構面 B・C-7 中国唐代 758年
図38 422	銅製品	銭 祥符元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	3					—	Ⅱ区上層遺構面 B・C-7 中国北宋代 1009年
図38 423	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.3	1.7	完形	45.9	○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 D-8~10 白針
図38 424	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.6	1.9	完形	50.8	○		○		明黄灰	Ⅱ区上層遺構面 D-8~10 白針 口縁部打ち欠き, 煤付着
図38 425	銅製品	銭 至和通寶 (篆書)	直径 2.6	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 D-8~10 中国北宋代 1054年
図38 426	銅製品	銭 □□□寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	2/3	3					—	Ⅱ区上層遺構面 D-8~10
図39 427	在地土器	ロクロ かわらけ・極小	(5.8)	(4.8)	1.0	1/4		○				黄橙	I区下層遺構面 堅穴建物2 白針
図39 428	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.4	2.3	3/4		○		○		黄橙	I区下層遺構面 堅穴建物2 白針
図39 429	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.8)	(8.1)	3.2	2/3		○		○		橙	I区下層遺構面 堅穴建物2 白針
図39 430	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.6	8.0	3.3	3/4		○				黄橙	I区下層遺構面 堅穴建物2 白針
図39 431	舶載磁器	白磁 合子身	(4.2)	—	[1.8]	底片						淡灰緑	I区下層遺構面 堅穴建物2
図39 432	陶器	瀬戸 花瓶 1B類	5.5	—	[8.9]	口・頸部 のみ						暗緑褐	I区下層遺構面 堅穴建物2 中期様式か
図39 433	陶器	瀬戸 花瓶類	—	—	—	胴片						茶褐	I区下層遺構面 堅穴建物2 花瓶(中~大型)か
図39 434	石製品	砥石	長さ [7.8]	幅 [8.2]	厚さ [6.6]	一部欠損	[510]					暗灰	I区下層遺構面 堅穴建物2 荒砥(天草)
図39 435	石製品	砥石	長さ [4.2]	幅 2.9	厚さ 2.4	一部欠損	[48.9]					淡黄白	I区下層遺構面 堅穴建物2 中砥(伊予)
図39 436	石製品	砥石	長さ [5.9]	幅 3.8	厚さ 0.6	一部欠損	[22.3]					淡黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物2 仕上げ砥(鳴滝)
図39 437	石製品	砥石	長さ [7.2]	幅 4.0	厚さ 0.8	一部欠損	[33.9]					灰白	I区下層遺構面 堅穴建物2 仕上げ砥(鳴滝)
図39 438	石製品	砥石	長さ [7.1]	幅 3.5	厚さ 1.1	一部欠損	[45.3]					灰白	I区下層遺構面 堅穴建物2 仕上げ砥(鳴滝)
図39 439	骨製品	双六駒	—	直径 2.0	厚さ 0.6	完形	4.1					黒灰	I区下層遺構面 堅穴建物2
図39 440	土師器	高台付坏	(12.9)	—	[1.9]	底1/8						赤橙	I区下層遺構面 堅穴建物2 在地産盤状坏・8c前半
図39 441	土師器	坏	—	—	[3.0]	口小片						黄橙	I区下層遺構面 堅穴建物2
図39 442	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.4	6.5	1.8	3/4		○		○		黄橙	I区下層遺構面 堅穴建物2 白針
図39 443	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(11.9)	(7.0)	3.4	1/4		○				黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物2 白針
図39 444	石製品	砥石	長さ [7.1]	幅 3.7	厚さ 1.0	一部欠損	[50.3]					淡黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物2 仕上げ砥(鳴滝)
図39 445	木製品	漆器椀	—	6.5	[2.3]	底部完						黒漆地 朱文様	I区下層遺構面 堅穴建物2
図39 446	木製品	漆塗り 調度具部品	長さ 2.3	幅 [7.6]	厚さ 0.7	不明						黒漆地	I区下層遺構面 堅穴建物2 膳などの雲形装飾か
図39 447	木製品	彫像?	長さ [3.9]	幅 1.9	厚さ 2.1	不明	[1.8]					—	I区下層遺構面 堅穴建物2 表面摩滅 仏像などの頭部か
図39 448	在地土器	小型壺	(9.0)	—	[3.2]	口1/4						灰黄	I区下層遺構面 堅穴建物2 (裏込め)
図39 449	骨製品	双六駒	—	直径 1.9	厚さ 0.7	完形	2.3					黄白	I区下層遺構面 堅穴建物2 (裏込め)
図39 450	銅製品	銭 皇宋通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 堅穴建物2 (北側拡張トレンチ) 中国北宋代 1038年



( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤラ状	板状	入コ状		
図39 451	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	I 区下層遺構面 竪穴建物2 (北側拡張トレンチ) 中国北宋代 1078年
図39 452	銅製品	銭 天口元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	I 区下層遺構面 竪穴建物2 (北側拡張トレンチ)
図40 453	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.6	7.2	3.8	ほぼ完形	176.1	○		○		淡橙	I 区下層遺構面 竪穴建物3 白針 口縁部打ち欠き 内面煤付着
図40 454	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.4	8.1	3.4	ほぼ完形	171.3	○		○		橙	I 区下層遺構面 竪穴建物3 白針
図40 455	陶器	常滑 片口鉢 I 類	(20.4)	(13.2)	6.0	口1/3～ 底片						褐灰	I 区下層遺構面 竪穴建物3 無高台
図40 456	陶器	常滑 片口鉢 I 類	—	—	[6.8]	口～底片						灰	I 区下層遺構面 竪穴建物3 無高台
図40 457	陶器	東播系須恵器 甕	—	(21.0)	[4.5]	底片						黒灰	I 区下層遺構面 竪穴建物3
図40 458	陶器	産地・ 器種不明	長さ 3.2	幅 [5.8]	厚さ 1.5	小片						黒褐	I 区下層遺構面 竪穴建物3
図40 459	石製品	砥石	長さ [5.2]	幅 4.0	厚さ 0.6	一部欠損	[22.4]					灰	I 区下層遺構面 竪穴建物3 仕上げ砥(鳴滝)
図40 460	石製品	砥石	長さ [4.3]	幅 3.0	厚さ 1.2	一部欠損	[29.9]					灰白～灰黄	I 区下層遺構面 竪穴建物3 仕上げ砥(鳴滝)
図40 461	石製品	砥石	長さ [3.7]	幅 3.0	厚さ 0.6	一部欠損	[9.3]					緑白	I 区下層遺構面 竪穴建物3 仕上げ砥(鳴滝)
図40 462	骨製品	不明	—	直径 2.8	厚さ 1.5	完形	[8.5]						I 区下層遺構面 竪穴建物3 非加工か
図40 463	木製品	漆塗り 調度具部品	長さ [5.5]	幅 2.2	厚さ 2.5	脚部下						黒漆地 朱漆	I 区下層遺構面 竪穴建物3 膳脚か
図40 464	銅製品	銭 嘉祐元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I 区下層遺構面 竪穴建物3 中国北宋代 1056年
図40 465	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	I 区下層遺構面 竪穴建物3 中国北宋代 1078年
図40 466	石製品	砥石	長さ [8.3]	幅 3.6	厚さ 1.0	一部欠損	[45.7]					灰白	I 区下層遺構面 竪穴建物3 (床面上) 仕上げ砥(鳴滝)
図40 467	鉄製品	釘	長さ 7.9	幅 0.4	厚さ 0.2	完形	2.6					—	I 区下層遺構面 竪穴建物3 (床面上)
図40 468	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.4)	6.8	1.6	1/2						淡橙	I 区下層遺構面 竪穴建物3 (裏込め) 白針
図41 469	在地土器	ロクロ かわらけ・小	12.2	7.8	3.0	3/4		○		○		橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 470	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	1.8	5/6		○				黄橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 471	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.1)	(6.3)	1.7	1/3		○		○		黄橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 472	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.0	7.0	3.1	ほぼ完形	155	○				橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 473	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.2	7.8	3.0	3/4				○		橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 474	在地土器	ロクロ かわらけ・大	11.5	7.0	3.3	完形	138.4	○				橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 475	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.0	7.8	3.5	2/3		○		○		淡黄橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 476	在地土器	ロクロ かわらけ・大	11.9	8.0	3.3	5/6		○		○		黄灰	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 477	在地土器	不明容器	3.5	2.9	2.5	完形						黄橙	I 区下層遺構面 竪穴建物4 白針 口縁に3か所の窪み
図41 478	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ類	(12.2)	3.8	6.0	1/3						緑灰	I 区下層遺構面 竪穴建物4
図41 479	舶載磁器	同安窯系青磁 碗 I-1b 類	—	(5.2)	[3.0]	底片						黄緑 透明	I 区下層遺構面 竪穴建物4
図41 480	舶載磁器	青白磁 型押文皿	—	2.2	[0.7]	底片						青白 透明	I 区下層遺構面 竪穴建物4
図41 481	陶器	常滑 壺	(9.0)	—	[4.8]	口1/3						暗褐	I 区下層遺構面 竪穴建物4
図41 482	陶器	常滑 甕	—	—	—	肩部片						緑灰	I 区下層遺構面 竪穴建物4
図41 483	土製品	器種不明	—	直径 5.4	厚さ 1.8	1/2	[19.1]					肌	I 区下層遺構面 竪穴建物4

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行*	リリ状	板状	ス/コ状		
図41 484	石製品	滑石鍋片 転用温石	長さ 15.0	幅 8.7	厚さ 1.7	体部片	460					黒灰	I区下層遺構面 堅穴建物4
図41 485	石製品	砥石	長さ [9.3]	幅 4.7	厚さ 3.3	一部欠損	[207.8]					淡黄白	I区下層遺構面 堅穴建物4 中砥(伊予)
図41 486	鉄製品	釘	長さ 9.6	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	5.4					—	I区下層遺構面 堅穴建物4
図41 487	鉄製品	釘	長さ 8.4	幅 0.6	厚さ 0.5	完形	6.9					—	I区下層遺構面 堅穴建物4
図41 488	銅製品	銭 祥符元寶 (行書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 堅穴建物4 中国北宋代 1009年
図41 489	銅製品	銭 聖宋元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 堅穴建物4 中国北宋代 1101年
図41 490	銅製品	銭 □□元寶	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 堅穴建物4
図41 491	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.5	1.7	ほぼ完形	54.2	○		○		黄橙	I区下層遺構面 堅穴建物4 (床面上) 白針
図41 492	鉄製品	掛金具	長さ 11.6	幅 0.5	厚さ 0.5	完形	16.5					—	I区下層遺構面 堅穴建物4 (床面上)
図41 493	鉄製品	釘	長さ 9.0	幅 0.7	厚さ 0.4	完形	15.2					—	I区下層遺構面 堅穴建物4 (床面上)
図41 494	鉄製品	釘	長さ 8.7	幅 0.5	厚さ 0.2	完形	3.5					—	I区下層遺構面 堅穴建物4 (床面上)
図41 495	鉄製品	釘?	長さ 12.4	幅 0.5	厚さ 0.4	完形	10.5					—	I区下層遺構面 堅穴建物4 (床面上)
図41 496	銅製品	銭 淳熙元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	I区下層遺構面 堅穴建物4 (床面上) 中国南宋代 1174年
図41 497	銅製品	銭 熙寧元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 堅穴建物4 (床面上) 中国北宋代 1068年
図41 498	銅製品	銭 聖宋元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.2	完形	2					—	I区下層遺構面 堅穴建物4 (床面上) 中国北宋代 1101年
図42 499	陶器	瀬戸 入子	4.2	3.6	1.0	完形						灰	I区下層遺構面 堅穴建物5
図42 500	石製品	砥石	長さ [9.5]	幅 4.5	厚さ 3.7	一部欠損	[178.2]					黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物5 中砥(上野)
図42 501	銅製品	銭 開元通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	2					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 中国唐代 621年
図42 502	銅製品	銭 至和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 中国北宋代 1054年
図42 503	鉄製品	釘	長さ [8.7]	幅 0.3	厚さ 0.4	一部欠損	[3.9]					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 (床面上)
図42 504	銅製品	銭 紹聖元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 (床面上) 中国北宋代 1094年
図42 505	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.4	1.8	3/4		○				黄橙	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め) 白針
図42 506	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	6.0	1.65	ほぼ完形	45.6	○				橙	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め) 白針
図42 507	在地土器	碗形品	(8.0)	—	[2.9]	口1/4		○				暗黄橙	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め)
図42 508	陶器	瀬戸 卸皿	(15.2)	(11.0)	4.3	1/8						黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め) 前II期か
図42 509	土製品	馬形 (土馬)	長さ [2.7]	幅 [4.0]	高さ [1.6]	不明	[9.7]					橙	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め)
図42 510	銅製品	六器小碗	3.9	2.4	1.2	ほぼ完形	13					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め)
図42 511	銅製品	銭 天聖元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め) 中国北宋代 1023年
図42 512	銅製品	銭 至和通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め) 中国北宋代 1054年
図42 513	銅製品	銭 聖宋元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め) 中国北宋代 1101年
図42 514	銅製品	銭 □□通寶	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め)
図42 515	銅製品	銭 銭銘なし	直径 1.7	孔径 0.3	厚さ 0.1	不明	0.5					—	I区下層遺構面 堅穴建物5 (裏込め) スリ銭
図42 516	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.5	1.8	2/3		○		○		橙	I区下層遺構面 堅穴建物6
図42 517	舶載磁器	青白磁 蓋	4.6	—	1.0	1/2						淡緑 透明	I区下層遺構面 堅穴建物6
図42 518	舶載磁器	青白磁 瓶類蓋	2.8	—	1.4	2/3						淡緑白 透明	I区下層遺構面 堅穴建物6

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量(g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	サリ状	板状	スリ状		
図42 519	舶載磁器	青白磁 型押皿	—	—	[1.6]	口小片						淡水 透明	I区下層遺構面 堅穴建物6
図42 520	在地土器	ロクロ かわらけ・大	—	—	—	底小片						暗黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物6 底部外面に墨痕
図42 521	陶器	瀬戸 入子	(3.5)	(2.6)	0.9	1/4						淡黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物6
図42 522	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.2	3/4		○		○		橙	I区下層遺構面 堅穴建物6 (裏込め) 白針
図42 523	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.9	2.1	ほぼ完形	51.3	○				黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物6 (裏込め) 口縁部煤付着
図42 524	石製品	砥石	長さ [9.5]	幅 3.5	厚さ 2.9	一部欠損	[179.4]					黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物6 (裏込め) 中砥(上野砥沢)
図42 525	石製品	砥石	長さ [6.0]	幅 2.6	厚さ 2.0	一部欠損	[58.5]					灰緑	I区下層遺構面 堅穴建物6 (裏込め) 中砥(上野)
図43 526	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.7	6.6	1.8	4/5		○		○		淡橙	I区下層遺構面 堅穴建物7 白針 底部内外面黒変
図43 527	在地土器	手づくね かわらけ・小	(6.8)	—	1.3	1/2						橙	I区下層遺構面 堅穴建物7 白針
図43 528	在地土器	手づくね かわらけ・大	12.6	—	3.2	2/3						淡橙	I区下層遺構面 堅穴建物7 白針
図43 529	舶載陶器	泉州窯系 盤I-2類	—	—	[5.7]	口小片						明緑	I区下層遺構面 堅穴建物7
図43 530	陶器	常滑 甕	—	—	[9.7]	口小片						赤褐	I区下層遺構面 堅穴建物7 8型式
図43 531	鉄製品	釘	長さ [10.7]	幅 0.5	厚さ 0.3	完形	7.5					—	I区下層遺構面 堅穴建物7
図43 532	舶載陶器	泉州窯系 盤I-2b類	(35.8)	(31.0)	9.8	口2/3 ~底片						黄褐	I区下層遺構面 堅穴建物7 (下層) 黄釉鉄絵盤
図43 533	陶器	東播系須恵器 甕	—	—	[4.2]	口小片						黒褐	I区下層遺構面 堅穴建物7 (床面上)
図43 534	在地土器	ロクロ かわらけ・小	9.4	7.0	2.1	ほぼ完形	85.1			○		黄灰	I区下層遺構面 堅穴建物7 (ピットケ) 底部焼成後穿孔 白針
図44 535	陶器	瀬戸 小杯	8.7	4.7	2.0	完形						灰緑	II区下層遺構面 堅穴建物9
図44 536	陶器	瀬戸 洗(盤)	(13.7)	(8.8)	4.9	1/3						茶褐	II区下層遺構面 堅穴建物9 小型品 中期様式
図44 537	陶器	瀬戸 袴腰形香炉	—	—	[6.5]	1/8						灰緑	II区下層遺構面 堅穴建物9 中期様式(II~IV)か
図44 538	石製品	滑石鍋片 転用温石	長さ 15.0	幅 8.7	厚さ 2.1	一部欠損	[660]					灰	II区下層遺構面 堅穴建物9
図44 539	石製品	滑石鍋片 不明転用品	長さ [8.0]	幅 3.2	厚さ 2.0	体部片	79					灰白	II区下層遺構面 堅穴建物9
図44 540	石製品	砥石	長さ [17.5]	幅 6.3	厚さ 5.0	一部欠損	[910]					灰緑	II区下層遺構面 堅穴建物9 荒砥(上野) 二次加工品
図44 541	石製品	砥石	長さ [10.0]	幅 7.8	厚さ 3.1	一部欠損	[390]					灰褐~黒	II区下層遺構面 堅穴建物9 中砥(天草)
図44 542	石製品	砥石	長さ [8.2]	幅 4.0	厚さ 2.9	一部欠損	[147.5]					黄味灰白	II区下層遺構面 堅穴建物9 中砥(伊予)
図44 543	石製品	砥石	長さ [8.2]	幅 4.0	厚さ [3.3]	一部欠損	[177]					灰褐	II区下層遺構面 堅穴建物9 中砥(天草)
図44 544	鉄製品	釘	長さ 6.8	幅 0.5	厚さ 0.5	完形	4.9					—	II区下層遺構面 堅穴建物9
図44 545	鉄製品	釘	長さ [6.0]	幅 0.7	厚さ 0.3	一部欠損	[4.7]					—	II区下層遺構面 堅穴建物9
図44 546	鉄製品	釘	長さ [10.5]	幅 0.6	厚さ 0.6	一部欠損	[12.5]					—	II区下層遺構面 堅穴建物9
図44 547	舶載磁器	龍泉窯系青磁 盤	—	(22.3)	[5.1]	体1/3 ~底片						暗灰緑 半透明	II区下層遺構面 堅穴建物9 (f層) 坏III-4b大型品
図44 548	陶器	折縁深皿	(30.6)	—	[6.2]	1/4						灰緑	II区下層遺構面 堅穴建物9 (f層)
図44 549	銅製品	銭 至道元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4					—	II区下層遺構面 堅穴建物9 (床面上) 中国北宋代 995年
図44 550	銅製品	銭 皇宋通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.2	完形	4					—	II区下層遺構面 堅穴建物9 (床面上) 中国北宋代 1038年
図44 551	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	II区下層遺構面 堅穴建物9 (床面上) 中国北宋代 1078年
図44 552	銅製品	銭 銭銘不明	直径 2.0	孔径 0.5	厚さ 0.2	完形	3					—	II区下層遺構面 堅穴建物9 (床面上) スリ銭

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入コ状		
図44 553	銅製品	銭 至道元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (床面上) 中国北宋代 995年
図44 554	銅製品	銭 天禧通寶 (真書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (床面上) 中国北宋代 1017年
図45 555	在地土器	手づくね かわらけ・極小	(5.8)	(5.5)	0.8	1/6		○				乳白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 556	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	5.0	1.5	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 557	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.1	1.7	2/3		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 558	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.0	1.7	完形	39.2	○		○		橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 559	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.1	1.6	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 560	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.4	7.0	3.3	ほぼ完形	195.5	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 561	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.8	3.7	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 562	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.2	7.5	3.6	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 563	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.3	7.6	3.5	ほぼ完形	184.8	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 564	舶載磁器	白磁 合子身	(8.9)	(6.5)	2.7	1/8						水青 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 565	舶載磁器	白磁 皿IX-1類	(11.6)	(7.0)	2.7	口～底1/5						灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 566	陶器	瀬戸 入子	5.6	3.2	1.9	ほぼ完形	25.4					灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 567	土製品	管状土錘	長さ 6.3	幅 1.2	孔径 0.6	一部欠損	[7]					橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 568	石製品	砥石	長さ [7.9]	幅 4.0	厚さ 1.2	一部欠損	[67.8]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 仕上げ砥(鳴滝)
図45 569	鉄製品	用途不明	長さ 10.5	幅 1.6	厚さ 0.6	完形	23.6					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 570	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 中国北宋代 1038年
図45 571	銅製品	銭 嘉定通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 中国南宋代 1208年
図45 572	銅製品	銭 □□□寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 573	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(5.6)	2.0	1/2		○		○		暗橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底) 白針
図45 574	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(10.8)	(6.7)	3.0	1/3		○		○		明橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底) 白針
図45 575	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.0)	(7.6)	3.0	1/4		○		○		暗橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底) 白針
図45 576	舶載磁器	白磁 皿IX-2類	(9.4)	5.6	2.8	口～ 底1/2						灰白 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底)
図45 577	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6		完形	3.7					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底) 中国北宋代 1038年
図45 578	銅製品	銭 開元通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7		1/3	2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底) 中国唐代 621年
図46 579	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.7	1.7	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 白針
図46 580	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.6)	(7.7)	2.9	1/2弱		○				暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 白針
図46 581	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.8	7.8	3.7	ほぼ完形	165.9	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 白針
図46 582	舶載磁器	花瓶形?	高台径 3.5	—	[2.3]	脚部のみ						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 583	陶器	常滑 甕	—	—	[10.4]	口～体片						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 584	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[10.6]	口～体片						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 6a型式か
図46 585	石製品	砥石	長さ [4.5]	幅 3.7	厚さ 1.1	ほぼ完形	[25.9]					橙灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 仕上げ砥(出羽)
図46 586	鉄製品	釘	長さ 5.3	幅 0.5	厚さ 0.3	完形	2.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入ノコ状		
図46 587	鉄製品	釘	長さ 10.3	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	7.7					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 588	鉄製品	釘	長さ 12.1	幅 0.7	厚さ 0.4	完形	9.4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 589	木製品	漆器椀	13.0	6.9	3.2	ほぼ完形						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 無文
図46 590	木製品	杓文字	長さ 23.3	幅 [5.2]	厚さ 0.8	ほぼ完形						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 591	木製品	独楽	—	直径 4.2	厚さ 3.5	軸部欠						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 孔径0.2cm
図46 592	木製品	漆塗り 調度具部品	長さ 7.0	幅 4.3	厚さ 1.7	脚部のみ						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 膳脚か
図46 593	木製品	漆塗り 調度具部品	長さ [2.2]	幅 8.1	厚さ 0.7	不明						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 雲形裝飾
図46 594	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.0	1.7	3/4		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 白針
図46 595	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.6)	(6.6)	3.4	1/3		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 白針
図46 596	在地土器	ロクロ かわらけ・大	14.2	7.9	3.7	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 白針
図46 597	舶載磁器	白磁 皿IX-2類	—	(6.0)	[2.6]	1/2						暗灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図46 598	陶器	瀬戸 入子	(7.8)	(5.3)	2.4	1/5強						暗灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 内面煤?付着
図46 599	陶器	瀬戸 瓶子Ⅱ類	—	8.4	[6.2]	胴下部 ~底完存						灰緑~淡褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図46 600	陶器	尾張型 山茶碗	13.5	6.4	5.1	2/3						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 第6型式か
図46 601	陶器	常滑 壺	(10.6)	—	[6.0]	口1/5 ~体片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図46 602	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(36.4)	(15.8)	15.0	口1/4~ 底1/2						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 6a型式か
図47 603	石製品	滑石鍋片 転用温石	長さ 14.7	幅 5.8	厚さ 1.8	体部片	345					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 604	石製品	砥石	長さ [6.8]	幅 4.3	厚さ 0.5	一部欠損	[32.7]					淡灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 仕上げ砥(鳴滝)
図47 605	石製品	砥石	長さ [7.2]	幅 3.6	厚さ 0.9	一部欠損	[41.2]					淡黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 仕上げ砥(鳴滝)
図47 606	石製品	砥石	長さ [4.5]	幅 3.4	厚さ 0.8	一部欠損	[26]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 仕上げ砥(鳴滝)
図47 607	石製品	砥石	長さ [4.8]	幅 3.2	厚さ 0.9	一部欠損	[21.3]					淡黄白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 仕上げ砥(鳴滝)
図47 608	鉄製品	鍋	—	—	[3.6]	口小片	[104.4]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 609	鉄製品	鋳形品	長さ 16.5	幅 3.2	厚さ 0.9	完形	209.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 610	鉄製品	刀子	長さ [18.9]	幅 1.5	厚さ 0.4	一部欠損	[26.6]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 611	鉄製品	環頭釘	長さ 4.7	幅 0.6	厚さ 0.5	完形	6.3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 掛金具部品か
図47 612	鉄製品	用途不明 棒状具	長さ 14.4	幅 0.8	厚さ 0.6	完形	21.3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 613	鉄製品	用途不明 棒状具	長さ 28.6	幅 0.9	厚さ 0.8	完形	98.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 火箸か
図47 614	在地土器	用途不明 棒状具	長さ 15.6	幅 1.5	厚さ 0.5	完形	32.8					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 火箸などか
図47 615	鉄製品	用途不明 棒状具	長さ 8.6	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	6.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 616	鉄製品	釘	長さ 8.5	幅 0.5	厚さ 0.4	完形	5.9					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 617	鉄製品	釘	長さ 5.8	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 618	鉄製品	釘	長さ 7.3	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	3.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 619	鉄製品	釘	長さ 5.4	幅 0.2	厚さ 0.4	完形	1.4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 620	鉄製品	釘	長さ [5.0]	幅 0.2	厚さ 0.4	両端欠損	3.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 621	鉄製品	針	長さ [3.1]	幅 0.2	厚さ 0.3	両端欠損	0.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤラ状	板状	入/コ状		
図47 6227	銅製品	飾り金具	長さ 3.0	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	1.9	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 鋸部分
図47 622f	銅製品	飾り金具	直径 0.7	孔径 0.4	厚さ 0.1	完形	0.1	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 座金
図47 622g	銅製品	飾り金具	直径 0.7	孔径 0.2	厚さ 0.08	完形	0.1	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 座金
図47 622h	銅製品	飾り金具	直径 1.6	直径 0.4	0.3	完形	0.8	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 彫金(鶴3羽)
図47 622i	銅製品	飾り金具	直径 1.6	直径 0.5	0.2	完形	0.8	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 彫金(鶴3羽)
図47 623	木製品	漆器椀	(10.4)	7.0	3.0	1/3						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 無文
図47 624	木製品	漆器椀	(15.0)	6.8	5.2	1/3						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 無文
図47 625	木製品	漆器椀	(15.4)	6.9	6.3	口小～ 底完存						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図47 626	木製品	漆器椀	—	8.0	[5.4]	体片～ 底完存						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図48 627	木製品	漆器皿	9.8	6.7	1.0	ほぼ完形						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図48 628	木製品	漆器皿	8.8	6.6	0.8	3/4						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図48 629	木製品	漆器皿	8.8	7.2	1.0	3/4						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図3 63	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ類	(15.5)	—	[4.8]	口～体1/4						灰緑 半透明	Ⅱ区上層遺構面上(B-10)
図48 630	木製品	漆器皿	(7.8)	6.4	0.8	3/4						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図48 631	木製品	漆器皿	—	(6.4)	[0.6]	底部3/4						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図48 632	木製品	漆器皿	8.7	6.7	1.0	4/5						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 無文
図48 633	木製品	漆器皿	—	(7.0)	[0.7]	体～ 底完存						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 無文
図48 634	木製品	漆器椀	—	(6.9)	[1.8]	体～底片						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図48 635	木製品	漆器椀	13.8	6.7	2.9	4/5						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図48 6367	木製品	曲物桶	直径 8.9	高さ 5.5	底板厚さ 0.2	ほぼ完形						—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 側板厚さ0.1cm 底板に穿孔1か所
図48 636f	鉄製品	刀子	長さ 18.9	幅 1.3	厚さ 0.4	完形	18					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 6367の曲物桶内
図48 637	木製品	漆塗り 調度具部品	長さ 7.6	幅 2.4	厚さ 1.4	脚部のみ						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 膳脚
図48 638	土製品	人形	高さ [3.6]	幅 1.8	厚さ 1.7	頭部欠損	[15.2]					灰黄	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層)
図48 639	銅製品	錢 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 中国北宋代 1078年
図48 640	銅製品	錢 元豊通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 中国北宋代 1078年
図48 641	銅製品	錢 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 中国北宋代 1086年
図48 642	銅製品	錢 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 中国北宋代 1086年
図48 643	銅製品	錢 政和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (下層) 中国北宋代 1111年
図48 644	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.8	1.6	4/5		○		○		橙灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (裏込め) 白針
図48 645	舶載磁器	白磁 碗Ⅸ-2a類	—	5.2	[2.4]	体片～ 底完存						灰白 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (裏込め)
図48 646	陶器	尾張型 山茶碗	—	7.4	[2.2]	体片～ 底完存						暗赤褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (裏込め) 高台剥落か
図48 647	銅製品	錢 天盛元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7		完形	3.2					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (裏込め) 中国西夏代 1158年
図48 648	銅製品	錢 □□□寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	4					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物11 (裏込め)
図49 649	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.3	2.5	4/5				○		橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物12 白針 燈明皿

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入コ状		
図49 650	在地位器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	3.3	1/2						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 白針
図49 651	土器	南伊勢系 鍋	—	—	[2.5]	口小片						明灰～黒灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12
図49 652	石製品	砥石	長さ [5.3]	幅 2.8	厚さ 2.2	一部欠損	[27.6]					灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 中砥(上野)
図49 653	在地位器	ロクロ かわらけ・小	8.6	6.0	1.8	1/2		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 (裏込め) 白針
図49 654	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.1	1.9	完形	46.2	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 (裏込め) 白針
図49 655	陶器	常滑 壺	(9.9)	—	[5.1]	口1/4						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 (裏込め) 6型式
図49 656	陶器	瀬戸 入子	(9.7)	(4.6)	3.4	1/4						灰橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13
図49 657	木製品	漆器皿	9.2	6.4	1.0	ほぼ完形						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 無文
図49 658	骨製品	賽子	長さ 0.7	幅 0.8	厚さ 0.7	完形	0.7						Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13
図49 659	木製品	用途不明	長さ 23.9	幅 9.2	厚さ 6.7	不明						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 建築部材か
図49 660	銅製品	銭 皇宋通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4.2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 中国北宋代 1038年
図49 661	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 中国北宋代 1078年
図49 662	鉄製品	用途不明	長さ [25.5]	幅 1.7	厚さ 0.5	一部欠損	[81.9]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 (裏込め)
図49 663	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 (裏込め) 中国北宋代 1038年
図49 664	銅製品	銭 熙寧元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 (裏込め) 中国北宋代 1068年
図49 665	銅製品	銭 皇□□寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 (裏込め)
図50 666	在地位器	ロクロ かわらけ・極小	(3.3)	(3.0)	0.8	1/3						黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針
図50 667	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.4	1.9	完形	54.7	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針
図50 668	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.5	1.6	1/2		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針
図50 669	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.8	2.1	完形	48.1	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針
図50 670	在地位器	ロクロ かわらけ・小	8.1	4.9	2.0	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針
図50 671	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.0	2.0	完形	44.9	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針
図50 672	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.2	2.6	ほぼ完形	49.1	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針 口縁部打ち欠き3か所 内外面煤付着
図50 673	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.3	2.7	ほぼ完形	55.7	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針 口縁部3か所の打ち欠き 1内面煤付着
図50 674	在地位器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.9	3.3	4/5		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針
図50 675	在地位器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.9	3.6	ほぼ完形	187.9	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白針
図50 676	陶器	瀬戸 柄付片口	14.3	9.4	7.9	2/3						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14
図50 677	陶器	瀬戸 袴腰形香炉	(9.0)	—	[5.8]	1/4						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 中I期か
図50 678	陶器	常滑 角形鉢?	—	—	[5.9]	口小片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14
図50 679	陶器	常滑 片口碗	—	—	[4.2]	口小片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14
図50 680	陶器	備前 すり鉢	—	—	[4.4]	口小片						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14
図50 681	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 中国北宋代 1038年
図50 682	銅製品	銭至和通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 中国北宋代 1054年
図51 683	在地位器	ロクロ かわらけ・小	7.3	5.2	1.6	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入ノコ状		
図51 684	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(5.5)	1.7	2/3		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針
図51 685	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.7	1.9	4/5		○				黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針
図51 686	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	5.0	2.0	ほぼ完形		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針
図51 687	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	4.7	1.8	完形	71.9	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針
図51 688	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.1	2.3	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針
図51 689	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.5	2.3	3/4				○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針
図51 690	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.6)	(6.5)	3.5	3/4		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針
図51 691	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.4	8.5	3.4	2/3		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針
図51 692	在地土器	ロクロ かわらけ・大	—	—	[1.4]	底小片		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白針 底部焼成後の貫通孔
図51 693	舶載磁器	龍泉窯系青磁 杯Ⅲ-4b類	—	(5.0)	[2.4]	底部1/6						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 694	舶載磁器	青白磁 蓋	(3.8)	最大径 (5.2)	[1.0]	1/4						水青 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 695	陶器	瀬戸 入子	(4.6)	(3.3)	1.8	1/3						明灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 696	陶器	瀬戸 折縁深皿	—	—	[5.7]	口小片						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 697	陶器	尾張型 山茶碗小皿	(7.8)	(4.6)	1.5	1/4						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 698	陶器	常滑 甕	—	—	—	胴部小片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 699	陶器	常滑 甕	—	—	—	胴部小片						褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 700	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[12.0]	口～ 底1/4						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 7～8型式
図51 701	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[10.4]	口～ 底1/4						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 6～7型式
図51 702	石製品	滑石鍋転用品 用途不明	長さ [5.7]	幅 [3.4]	厚さ 1.6	体部片か	55.8					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 703	石製品	砥石	長さ [6.5]	幅 4.2	厚さ 0.5	一部欠損	[23.3]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 704	石製品	砥石	長さ [6.6]	幅 3.4	厚さ 0.8	一部欠損	[27.7]					灰黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 705	石製品	砥石	長さ 4.0	幅 [3.3]	厚さ 1.6	一部欠損	[31.9]					灰橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 706	石製品	砥石	長さ [5.3]	幅 3.0	厚さ 0.6	一部欠損	[15.7]					灰黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 707	石製品	砥石	長さ [3.5]	幅 3.0	厚さ 0.6	一部欠損	[8.2]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 708	石製品	基石(黒)	長さ 1.9	幅 1.6	厚さ 0.4	完形	2.1					黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 709	石製品	基石(黒)	長さ 1.9	幅 1.8	厚さ 0.5	完形	2.1					黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 710	石製品	基石(黒)	長さ 1.6	幅 1.5	厚さ 0.6	完形	2.2					黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 711	木製品	漆塗り 調度具部品	—	7.8	[2.5]	台座のみ						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 燭台(灯明台)の脚台か
図51 712	銅製品	用途不明	—	直径 1.4	厚さ 0.3	ほぼ完形	[1.4]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 713	銅製品	用途不明	長さ [1.5]	幅 2.8	厚さ 0.2	不明	[2.7]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 714	銅製品	銭 咸平元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国北宋代 998年
図51 715	銅製品	銭 祥符元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国北宋代 1009年
図51 716	在地土器	銭 明道元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3.3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国北宋代 1032年
図51 717	在地土器	銭 熙寧元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国北宋代 1068年
図51 718	銅製品	銭 淳熙元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国南宋代 1174年



( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入コ状		
図51 719	銅製品	銭 銭銘不明	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 720	在地土器	銭 銭銘不明	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図52 721	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.4	1.6	ほぼ完形	41.5	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 722	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.2	1.8	完形	53.6	○		○		淡橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 723	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	4.8	1.9	完形	57.2	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 724	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.7	1.8	完形	57.4	○		○		淡黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 725	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.3	1.9	完形	56.6	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 726	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	4.8	2.0	完形	57.4	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 727	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.7	1.8	ほぼ完形	65.8	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 728	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.1	2.1	完形	56.2	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 729	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	5.0	1.9	ほぼ完形	57.2	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 730	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	5.5	2.0	完形	65.1	○		○		橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 731	在地土器	ロクロ かわらけ・大	11.7	6.8	3.5	ほぼ完形	138.2	○		○		淡黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 732	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.9	7.3	3.9	ほぼ完形	203.9	○		○		淡黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 733	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	7.9	3.9	ほぼ完形	184.6	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 734	陶器	瀬戸 水滴	(1.9)	—	[1.6]	口1/2~ 体片						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上)
図52 735	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(31.4)	(14.2)	11.5	口~底1/3						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 6b型式か
図52 736	石製品	基石(黒)	長さ 1.5	幅 2.0	厚さ 0.5	完形	2.5					黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上)
図52 737	石製品	砥石	長さ [9.2]	幅 3.4	厚さ 1.4	一部欠損	[83.1]					淡黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 仕上げ砥(鳴滝)
図52 738	石製品	砥石	長さ [9.2]	幅 3.5	厚さ 1.0	一部欠損	[48.4]					暗灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 仕上げ砥(鳴滝)
図52 739	石製品	砥石	長さ [4.4]	幅 4.1	厚さ 0.5	一部欠損	[85.3]					灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 仕上げ砥(鳴滝)
図52 740	鉄製品	用途不明	長さ 13.7	幅 0.4	厚さ 0.2	ほぼ完形	[3.6]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上)
図52 741	鉄製品	柵檀板	長さ [9.6]	幅 12.8	厚さ 0.6	一部欠損	81.2					橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上)
図52 741+	銅製品	銭 紹聖元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 中国北宋代 1094年
図53 742	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.6	1.7	完形	48.3	○		○		暗橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底) 白針
図53 743	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.1	5.2	1.9	ほぼ完形	53.2	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底) 白針
図53 744	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	7.7	3.5	ほぼ完形	206.5	○		○		暗橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底) 白針
図53 745	舶載磁器	緑釉 蓋	最大径 (6.5)	—	1.9	2/3						緑黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底)
図53 746	石製品	砥石	長さ [7.4]	幅 3.3	厚さ 1.0	一部欠損						淡黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底) 仕上げ砥(鳴滝)
図53 747	鉄製品	蓋	15.2	—	4.1	2/3	[163.4]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底)
図53 748	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.3	孔径 0.6		完形	2.1					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底) 中国北宋代 1078年
図53 749	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.9	1.7	2/3		○		○		橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め) 白針
図53 750	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(9.1)	(6.8)	1.8	1/3		○		○		暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め) 白針
図53 751	在地土器	手づくね かわらけ・小	(9.0)	(7.8)	1.9	1/2						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め) 白針
図53 752	陶器	常滑 甕	—	—	[11.3]	ほぼ完形						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め) 6a型式

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物 番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	サヲ状	板状	スノコ状		
図53 753	石製品	砥石	長さ [14.1]	幅 3.4~ 4.5	厚さ 2.5	一部欠損	[226.5]					淡灰白緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め)中砥(上野砥沢)
図53 754	銅製品	銭 紹聖元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6		完形	3.4					橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め)中国北宋代 1094年
図54 755	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.5)	5.0	1.8	3/4		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 756	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.0	1.8	ほぼ完形	44.3	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 757	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.8)	(4.6)	2.3	1/2		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針 口縁部煤付着
図54 758	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.7)	4.6	2.4	4/5		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 759	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	4.6	2.0	3/5		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 760	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.0	2.1	3/5		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 761	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.3	2.0	3/4				○		淡橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 762	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.4	2.2	4/5		○		○		橙～灰黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針 外底面二次焼成か
図54 763	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.6)	2.2	1/2		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 764	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	4.4	2.0	ほぼ完形	42.1	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 765	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.5	2.1	4/5		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 766	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.5	2.3	ほぼ完形	43.5	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 767	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.6	2.2	1/2		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 768	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.0	2.3	4/5		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 769	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.8	6.8	3.2	ほぼ完形	110.3	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 770	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.8	8.2	3.6	ほぼ完形	157.3	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 771	陶器	瀬戸 入子	(8.3)	—	[2.8]	口1/3							Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16
図54 772	陶器	瀬戸 折縁深皿	(27.0)	—	[7.7]	口～体片							Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 中期様式か
図54 773	陶器	瀬戸 折縁深皿	—	—	[5.0]	口小片						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 中期様式か
図54 774	陶器	瀬戸 柄付片口	(12.2)	(8.6)	5.6	1/2							Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 内底面に5重圏線
図54 775	石製品	砥石	長さ [9.6]	幅 3.1	厚さ 2.3	一部欠損	[98.2]					淡黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 仕上げ砥(鳴滝)
図54 776	石製品	砥石	長さ [5.8]	幅 3.3	厚さ 2.0	一部欠損	[67.8]					緑味灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物17 中砥～仕上げ砥(上野砥沢)
図54 777	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 中国北宋代 1038年
図54 778	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.35	4.0	2.4	完形	49	○				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針
図54 779	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	2.0	ほぼ完形	43	○				橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針
図54 780	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	2.1	ほぼ完形	41	○		○		にぶい橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針
図54 781	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	2.2	2/3		○				淡黄褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針
図54 782	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.35	完形	43	○				にぶい橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針
図54 783	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	1.9	完形	46	○				にぶい橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針
図54 784	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.0	1.8	ほぼ完形	43.7	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針
図54 785	在地土器	ロクロ かわらけ・大	11.4	7.6	3.1	完形	157.8	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針
図54 786	在地土器	ロクロ かわらけ・大	14.0	7.7	3.5	3/4		○				淡黄褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針
図54 787	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.3)	—	1.7	4/5						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)白針

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤラ	板状	スコ状		
図54 788	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.6)	3.4	6.3	1/6						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物16 (裏込め)
図54 789	舶載磁器	龍泉窯系青磁 坏Ⅲ-1a類	—	(6.4)	[3.7]	体片～ 底1/2弱						淡灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物16 (裏込め)
図54 790	舶載磁器	白磁 皿Ⅸ-1c類	(11.2)	(5.7)	3.3	1/4						灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物16 (裏込め)
図54 791	瓦質土器	火鉢ⅠC類	—	—	[9.0]	口～底片						灰黒	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物16 (裏込め)
図54 792	銅製品	銭 口元通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	3/4	2					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物16 (裏込め)
図55 793	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.3	1.4	完形	35	○				灰白	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図55 794	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	4.5	1.6	完形	48	○		○		黄灰	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図55 795	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.0	1.8	完形	47	○		○		灰白	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図55 796	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.2	1.8	ほぼ完形	52	○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図55 797	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	1.9	完形	51	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図55 798	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.9	1.7	ほぼ完形	41	○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図55 799	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	5.1	1.8	口1/8～ 底完存		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図55 800	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.8	1.8	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針 口縁部に煤付着
図55 801	在地土器	ロクロ かわらけ・中	9.7	6.6	2.7	3/4		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針 体～底部外面に煤付着
図55 802	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(13.4)	7.7	3.8	1/3		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 堅穴状遺構2 白針
図55 803	陶器	常滑 角形盤	—	(14.7)	[2.8]	底小片						灰褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物17
図55 804	石製品	砥石	長さ [10.3]	幅 2.5	厚さ 1.1	一部欠損	[45.1]					灰白	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物17 石製品(鳴滝)
図55 805	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.2	2.2	ほぼ完形	43.2	○				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 白針 口縁部5か所に煤付着
図55 806	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.9	1.9	4/5						黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 白針 口唇部に煤付着
図55 807	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.2	2.3	4/5		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 白針
図55 808	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.8	5.7	2.5	ほぼ完形	68.8	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 白針
図55 809	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.1)	(8.0)	3.3	1/3		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 白針
図55 810	在地土器	ロクロ かわらけ・大	11.9	8.8	2.8	4/5		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 白針
図55 811	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.4	7.7	3.7	3/4		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 白針
図55 812	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	1.7	1/3		○				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 白針
図55 813	在地土器	手づくね かわらけ・大	(13.4)	—	3.2	2/3		○				黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 白針
図55 814	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅰ類	—	(4.4)	[2.0]	底1/3						灰緑 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18
図55 815	陶器	常滑 蔦口壺	—	8.0	[7.6]	胴以下1/2						茶褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18
図55 816	陶器	瀬戸 入子	5.0	3.4	1.5	完形						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18
図55 817	陶器	瀬戸 入子	(7.0)	(4.2)	2.2	1/4						灰白	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18
図55 818	土製品	管状土錘	長さ 6.9	幅 3.2	孔径 1.1	ほぼ完形	[62.8]					灰橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18
図55 819	石製品	硯	長さ 10.4	幅 7.3	厚さ 1.5	ほぼ完形	[205.3]					暗灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18
図55 820	石製品	砥石	長さ [8.1]	幅 4.0	厚さ 1.8	一部欠損	[85.3]					淡黄	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 中砥(伊予)
図55 821	石製品	砥石	長さ [5.6]	幅 3.7	厚さ 2.5	一部欠損	[83.1]					淡黄	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 中砥(伊予)
図55 822	石製品	砥石	長さ [6.8]	幅 3.8	厚さ 1.5	一部欠損	[48.4]					淡橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 中砥

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入/コ状		
図55 823	石製品	砥石	長さ [8.6]	幅 3.5	厚さ 0.9	一部欠損	[53.2]					灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 仕上げ砥(鳴滝)
図55 824	石製品	砥石	長さ [5.7]	幅 3.2	厚さ 1.4	一部欠損	[48.9]					灰橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 仕上げ砥(鳴滝)
図55 825	石製品	砥石	長さ [5.0]	幅 2.9	厚さ 1.1	一部欠損	[29.2]					灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 仕上げ砥(鳴滝)
図55 826	鉄製品	釘	長さ [4.7]	幅 0.6	厚さ 0.4	一部欠損	[3.7]					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18
図55 827	銅製品	銭 銭銘不明 (2枚錆着)	直径 2.4	孔径 —	厚さ 0.3	ほぼ完形	6.3					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物18 2枚が錆で付着
図56 828	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	(4.0)	2.3	1/3		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 白針
図56 829	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	4.3	2.0	ほぼ完形	63.9	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 白針 口唇部煤付着
図56 830	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.0	2.4	完形	56.1	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 白針
図56 831	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.4	8.3	3.6	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 白針
図56 832	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.3	6.9	3.4	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 白針
図56 833	陶器	瀬戸 折縁深皿	—	—	[5.9]	口～ 底小片						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19
図56 834	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[8.7]	口小片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19
図56 835	石製品	砥石	長さ [6.3]	幅 3.2	厚さ 1.3	両端欠損	[51.2]					灰黄	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 仕上げ砥(鳴滝)
図56 836	石製品	砥石	長さ [9.2]	幅 2.7	厚さ 1.2	一部欠損	[40.2]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 仕上げ砥(鳴滝)
図56 837	石製品	砥石	長さ [5.5]	幅 3.3	厚さ 1.0	一部欠損	[30.6]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 仕上げ砥(鳴滝)
図56 838	鉄製品	釘	長さ [3.7]	幅 0.5	厚さ 0.4	一部欠損	[1.8]					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19
図56 839	鉄製品	釘	長さ [4.2]	幅 0.5	厚さ 0.3	一部欠損	[1.3]					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19
図56 840	銅製品	銭	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 皇宋通寶 中国北宋代 1038年
図56 841	銅製品	銭 元豊通寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19 中国北宋代 1078年
図56 842	銅製品	銭 銭銘不明	直径 2.2	孔径 0.5	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物19
図57 843	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.6	1.7	完形	45.8	○		○		淡橙灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 白針
図57 844	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.3	1.7	1/2		○		○		暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 白針
図57 845	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.2	1.7	完形	63.8	○		○		暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 白針
図57 846	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.0	1.9	1/2強		○		○		暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 白針
図57 847	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	5.4	1.9	1/2強		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 白針
図57 848	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.8	7.8	3.3	ほぼ完形	169.9	○		○		淡黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 白針
図57 849	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.4	7.4	3.8	ほぼ完形	176.5	○		○		明橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 白針
図57 850	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.4)	(7.8)	3.5	1/2弱		○		○		暗橙灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 白針
図57 851	舶載磁器	龍泉窯系青磁 盤	(22.2)	—	[4.0]	口1/6 ～体片						明灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 坏Ⅲ-4類
図57 852	舶載磁器	龍泉窯系青磁 坏Ⅲ-4類	(12.6)	—	[3.8]	口1/6 ～体片						オリーブ 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20
図57 853	舶載磁器	白磁 ⅢIX-1a類	(12.6)	(5.3)	3.0	1/6						灰緑 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20
図57 854	舶載磁器	龍泉窯系青磁 Ⅲ I-1b類	(8.2)	(5.4)	1.6	1/4						淡灰緑 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20
図57 855	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[4.7]	口小片						暗赤褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 6b型式か 内面に菊花文+斜格子文の押印
図57 856	陶器	常滑片 転用研磨具	長さ [3.6]	幅 3.0	厚さ 1.1	甕胴部片	20.5					暗赤褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行	ヤリ状	板状	入/コ状		
図57 857	石製品	砥石	長さ [12.2]	幅 [10.2]	厚さ [7.2]	一部欠損	[1250]					淡橙灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 荒砥(天草)
図57 858	石製品	砥石	長さ [10.2]	幅 [5.0]	厚さ [3.5]	一部欠損	[209]			○		暗橙灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 中砥(天草)
図57 859	石製品	砥石	長さ [10.0]	幅 3.7	厚さ 0.8	一部欠損	[49.6]					淡灰白	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 仕上げ砥(鳴滝)
図57 860	石製品	砥石	長さ [6.6]	幅 4.2	厚さ 1.0	一部欠損	[35.6]					淡灰白緑	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 仕上げ砥(鳴滝)
図57 861	骨製品	用途不明 有孔円盤	—	直径 1.9	厚さ 0.6	ほぼ完形	[1.9]						Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20
図57 862	木製品	連歯下駄	長さ (17.4)	幅 7.1	高さ 5.2	一部欠損						—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20
図57 863	木製品	連歯下駄	長さ (14.5)	幅 7.0	高さ 5.5	一部欠損						—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20
図57 864	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.5	6.2	3.1	4/5		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (掘方底) 白針
図57 865	木製品	用途不明 有孔円盤	—	直径 4.2	厚さ 0.2	不明							Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (掘方底)
図57 866	銅製品	銭 開元通寶	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (掘方底) 中国唐代 621年
図57 867	銅製品	銭 元豊通寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (掘方底) 中国北宋代 1078年
図57 868	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	(4.8)	1.6	1/2弱		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (裏込め) 白針
図57 869	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	4.0	2.4	1/4		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物20 (裏込め) 白針 静止糸切り
図58 870	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.9)	(8.3)	3.2	1/3						黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 871	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ-b類	16.5	5.0	7.0	完形	455					灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 漆継ぎで修復 口縁一部に漆付着
図58 872	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ-b類	16.5	5.2	6.6	3/4	[360]					灰白 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 口縁に漆付着
図58 873	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.4)	4.3	7.5	口1/4~ 底4/5						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 874	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.6)	4.4	7.4	口1/2弱 ~底4/5						緑灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 875	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(15.0)	(4.3)	7.2	3/4						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 876	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	15.1	4.2	7.4	4/5						淡灰緑	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 877	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.7)	(3.9)	7.4	口1/2弱 ~底完存						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 878	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.5)	(4.6)	7.6	1/3						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 879	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	14.8	4.2	7.1	ほぼ完形	[320]					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 880	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ類カ	(16.4)	—	[5.0]	1/4						緑灰 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 881	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(15.4)	—	[5.4]	1/6						緑灰 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 882	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(13.0)	3.6	6.5	口1/3~ 底完存						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 883	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	13.0	3.7	6.5	3/4						水 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 884	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	12.8	3.8	6.3	ほぼ完形	[185.2]					灰緑 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 885	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	13.0	3.3	6.5	ほぼ完形	[193.5]					灰緑 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 886	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(13.5)	4.0	6.5	口1/2弱 ~底4/5						青灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 887	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	12.6	3.3	6.6	ほぼ完形	[198.1]					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 888	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	13.3	3.5	6.3	ほぼ完形	[210]					灰緑 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 889	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	12.9	3.5	6.5	ほぼ完形	[198.8]					淡灰緑 やや不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 890	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ-b類	(13.4)	4.0	5.6	口1/3~ 底完存						灰 半透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行*	ヤラ状	板状	入/コ状		
図58 891	舶載磁器	龍泉窯系青磁碗Ⅲ類か	(14.0)	—	[5.4]	1/3						緑灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 892	舶載磁器	白磁皿Ⅸ-1c類	11.0	6.6	3.0	4/5						灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 893	舶載磁器	白磁皿Ⅸ-2類	(8.7)	—	[2.4]	1/6						灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 894	舶載磁器	白磁皿Ⅸ-1b類	(9.1)	(5.4)	2.4	1/6						白 透明	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図59 895	陶器	瀬戸四耳壺	(11.0)	—	[4.8]	1/6						灰白～灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)前Ⅱ期か
図59 896	陶器	瀬戸水注Ⅰ類	(7.8)	—	[2.2]	1/4						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図59 897	陶器	瀬戸水注Ⅰ類	—	6.8	[11.7]	頸部・ 注口欠						緑灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)前Ⅱb期か
図59 898	陶器	尾張型 山茶碗小皿	8.1	4.9	1.8	完形	63.6					灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 899	陶器	尾張型 山茶碗小皿	8.1	5.4	1.6	完形	68.8					灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 900	陶器	尾張型 山茶碗	(15.0)	(6.3)	5.1	4/5						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 901	陶器	尾張型 山茶碗	(14.0)	(5.2)	4.2							灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 902	陶器	尾張型 山茶碗	(14.1)	(5.0)	4.9	1/3						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 903	陶器	尾張型 山茶碗	14.5	6.1	5.3	完形	266.5					灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 904	陶器	尾張型 山茶碗	14.4	6.3	5.2	4/5						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 905	陶器	尾張型 山茶碗	(14.8)	(7.1)	5.0	1/2弱						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式 高台剥離か
図59 906	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	33.0	13.9	13.6	4/5						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図59 907	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	30.5	14.1	13.9	1/2						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図59 908	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(22.4)	(11.5)	9.3	1/2						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図59 909	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(22.9)	(10.5)	8.5	1/3						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図59 910	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(23.0)	(12.2)	9.6	1/3						橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図60 911	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(34.8)	—	[9.8]	1/4						赤橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図60 912	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	23.6	14.3	8.6	ほぼ完形						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式 無高台
図60 913	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(33.8)	—	[10.3]	1/3						灰褐～暗灰褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図60 914	常滑	片口碗	(14.9)	—	[6.4]	1/3						茶褐	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図60 915	在地土器	小型壺	(11.8)	—	[4.0]	1/6						灰白	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図60 916	鉄製品	釘	長さ 6.7	幅 0.35	厚さ 0.3	完形	2.5					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下)
図60 917	銅製品	銭 紹熙元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	4/5						—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (倒壊壁板下) 中国南宋代 1109年
図61 918	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.9)	(5.2)	1.4	1/3		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 白針
図61 919	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.0)	(7.9)	3.5	2/3		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 白針
図61 920	在地土器	手づくね かわらけ・小	(7.8)	—	1.6	1/3		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 白針
図61 921	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 中国北宋代 1086年
図61 922	銅製品	銭 聖宋元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 中国北宋代 1101年
図61 923	陶器	尾張型 山茶碗	14.4	6.2	5.3	4/5						灰	Ⅱ区下層遺構面 堅穴建物21 (下層)

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物 番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行*	ヤリ状	板状	ス/コ状		
図61 924	在地土器	鑄付鍋	(11.3)	—	[6.5]	1/2弱						灰黄白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層) 口縁に貫通孔4か所
図61 925	土製品	かわらけ 転用円盤	—	直径 3.0	厚さ 1.5	完形	13.3					灰～黒灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層) 二次焼成
図61 926	鉄製品	用途不明 棒状製品	長さ [12.1]	幅 0.4	厚さ 0.4	一部欠損	[13.2]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層) 火箸などか
図61 927	鉄製品	釘	長さ 9.3	幅 0.6	厚さ 0.5	完形	8.2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)
図61 928	鉄製品	釘	長さ 7.6	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	3.3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)
図61 929	銅製品	用途不明	長さ [2.7]	幅 0.8	厚さ 0.1	不明	[1.6]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)
図61 930	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層) 中国北宋代 1086年
図61 931	木製品	漆器椀	—	—	—	胴小片						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)
図61 932	瓦	平瓦	長さ [16.6]	幅 [11.0]	厚さ 2.5	広端部 小片						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (裏込め) 永福寺女瓦A類か
図62 933	陶器	瀬戸 入子	2.8	2.3	0.8	完形	5.3					灰白緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 (上層)
図62 934	陶器	瀬戸 瓶子	4.5	—	[2.6]	口頸部						明灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 (上層) 漆継ぎの接合痕
図62 935	陶器	瀬戸 洗(盤)	—	—	[7.4]	1/8		○		○		明灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 (上層)
図62 936	陶器	常滑 片口鉢 I 類	(31.0)	(11.8)	14.2	1/4						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 (上層) 5型式か
図62 937	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	5.0	1.5	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 白針
図62 938	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	6.0	1.8	2/3		○				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 白針
図62 939	陶器	常滑 片口碗	(15.0)	(11.7)	7.2	1/4						褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22
図62 940	鉄製品	用途不明 角棒状製品	長さ 23.4	幅 0.7	厚さ 0.6	ほぼ完形	[25.3]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 木質(柄)付着 錐か
図62 941	銅製品	銭 熙寧元寶 (真書)	直径 2.3	孔径 0.7	厚さ 0.1	ほぼ完形	3.4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 中国北宋代 1068年
図62 942	銅製品	銭 熙寧元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	ほぼ完形	3.8					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 中国北宋代 1068年
図62 943	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.9	6.8	1.8	完形	81.5	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 白針
図62 944	陶器	灰釉陶器 碗	—	(7.3)	[1.8]	体片～ 底1/3						灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23
図62 945	在地土器	焙烙?	(26.4)	—	[5.9]	1/5						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23
図62 946	在地土器	縄文土器 深鉢?	—	—	—	胴片						褐～灰黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23
図62 947	石製品	砥石	長さ [11.1]	幅 4.3	厚さ 3.1	一部欠損	[210]					黄白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 中砥
図62 948	石製品	砥石	長さ [10.0]	幅 7.8	厚さ 2.7	一部欠損	[285]					灰黒～黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 中砥
図62 949	鉄製品	環頭釘	長さ 10.9	幅 0.6	厚さ 0.5	ほぼ完形	[13.1]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 掛金具の部品か
図62 950	銅製品	銭 天禧通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 中国北宋代 1017年
図62 951	銅製品	銭 元符通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 中国北宋代 1098年
図62 952	木製品	小槌	長さ [6.0]	幅 6.6	厚さ [5.5]	不明							Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物24 黒色系漆付着
図63 953	陶器	常滑 片口鉢 I 類	(26.0)	(13.4)	12.2	口～底1/3						灰白	Ⅱ区下層遺構面 井戸4
図63 954	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.7)	—	1.8	2/3		○				黄褐	Ⅱ区下層遺構面 井戸4 (裏込め) 白針
図63 955	石製品	砥石	長さ 5.8	幅 4.1	厚さ 1.3	ほぼ完形	[53]					灰黄白	Ⅱ区下層遺構面 井戸4 (裏込め) 仕上げ砥(鳴滝)
図63 956	鉄製品	釘か	長さ [8.6]	幅 0.5	厚さ 0.4	一部欠損	[8]					—	I 区最下層遺構面 溝1
図64 957	銅製品	銭 熙寧元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.2	完形	6					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑77 中国北宋代 1068年
図64 958	銅製品	銭 政和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	2/3	3					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑77 中国北宋代 1111年

( ) = 復元値 [ ] = 残存値

遺物 番号	種別	器種	法量 (cm)			残存率	重量 (g)	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高			行'	凹凸状	板状	凹凸状		
図64 959	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(4.4)	2.2	1/2		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 土坑78 白針
図64 960	在地土器	ロクロ かわらけ・中	11.0	6.0	3.0	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 土坑78 白針
図64 961	舶載磁器	白磁 皿	—	(6.2)	[2.3]	底1/4						白 透明	Ⅱ区下層遺構面 土坑78
図64 962	陶器	瀬戸 卸皿	—	(8.0)	[1.7]	底1/4						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 土坑78
図64 963	舶載磁器	青白磁 合子蓋	(9.0)	—	[2.1]	口1/6						淡水青 透明	Ⅱ区下層遺構面 土坑79
図64 964	瓦質土器	火鉢ⅠB類	(36.0)	(27.0)	9.7	口1/4						暗灰	Ⅱ区下層遺構面 土坑79
図64 965	銅製品	銭 天禧通寶	直径 2.2	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑79 中国北宋代 1017年
図64 966	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑82 中国北宋代 1086年
図64 967	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.4	1.5	完形	49.4	○				黄橙	Ⅱ区下層遺構面 土坑84 白針
図64 968	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑84 中国北宋代 1086年
図64 969	銅製品	銭 □□□寶 (篆書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 溝状遺構東側
図64 970	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	5					—	Ⅱ区上層遺構面 溝状遺構東側 中国北宋代 1086年
図65 971	在地土器	高台付ロクロ かわらけ・小	(9.2)	(6.0)	2.4	1/3		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 972	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	2.0	1/2						黄灰	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 973	在地土器	手づくね かわらけ・小	9.2	—	1.1	ほぼ完形	54.6					橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 974	在地土器	手づくね かわらけ・小	9.6	—	1.1	1/2		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 975	在地土器	手づくね かわらけ・小	(9.0)	—	1.6	1/2		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 976	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	2.0	1/2						橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 977	在地土器	手づくね かわらけ・小	(9.7)	—	1.6	1/2		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 978	在地土器	手づくね かわらけ・大	(13.1)	—	2.3	1/3		○				淡黄橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 979	在地土器	手づくね かわらけ・大	(13.1)	—	3.0	1/3		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 980	在地土器	手づくね かわらけ・大	(14.0)	—	2.7	1/3						橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 981	在地土器	手づくね かわらけ・大	13.8	—	2.9	2/3		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 982	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(21.2)	(11.2)	10.4	口~底1/3						灰	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 5型式カ
図65 983	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 中国北宋代 1078年



## 第五章 若宮大路周辺遺跡群のプラント・オパール分析と花粉分析

### 1. はじめに

鎌倉市の若宮大路周辺遺跡群（小町一丁目 333 番 2 地点）において行われた発掘調査で、土坑が検出された。この土坑埋土より採取された土壌試料について、プラント・オパール分析と花粉分析を行った。

### 2. 試料と分析方法

試料は、若宮大路周辺遺跡群の土坑 18 の埋土より採取された 2 試料 (WW1、WW2) である。土相について、WW1 は炭混じり黄灰色 (2.5Y6/1) 細粒砂、WW2 は暗灰黄色 (2.5Y5/2) 細粒砂である。これら 2 試料について、以下の手順にしたがって分析を行った。

#### 2-1. プラント・オパール分析

秤量した試料を乾燥後再び秤量する（絶対乾燥重量測定）。別に試料約 1g（秤量）をトールビーカーにとり、約 0.02g のガラスビーズ（直径約 0.04mm）を加える。これに 30% の過酸化水素水を約 20 ～ 30cc 加え、脱有機物処理を行う。処理後、水を加え、超音波洗浄機による試料の分散後、沈降法により 0.01mm 以下の粒子を除去する。この残渣よりグリセリンを用いて適宜プレパラートを作製し、検鏡した。同定および計数は、機動細胞珪酸体由来するプラント・オパールについて、ガラスビーズが 300 個に達するまで行った。また、植物珪酸体の写真を撮り、図版 1 に載せた。

#### 2-2. 花粉分析

試料（湿重量約 3g）を遠沈管にとり、10% 水酸化カリウム溶液を加え、10 分間湯煎する。水洗後、46% フッ化水素酸溶液を加え、1 時間放置する。水洗後、比重分離（比重 2.1 に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離）を行い、浮遊物を回収し、水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続いてアセトリシス処理（無水酢酸 9：濃硫酸 1 の割合の混酸を加え 20 分間湯煎）を行う。水洗後、残渣にグリセリンを滴下し、保存用とする。検鏡は、この残渣より適宜プレパラートを作製して行った。プレパラートは全面を検鏡し、その間に現れる花粉・胞子を全て数えた。

### 3. 分析結果

#### 3-1. プラント・オパール分析

同定・計数された各植物のプラント・オパール個数とガラスビーズ個数の比率から、試料 1g 当たりの各プラント・オパール個数を求め（付表 1）、それらの分布を図 1 に示した。以下に示す各分類群のプラント・オパール個数は、試料 1g 当たりの検出個数である。

検鏡の結果、両試料よりイネのプラント・オパールが検出された。検出個数は 180,000 個前後を示し

付表 1 試料 1g 当たりのプラント・オパール個数

試料	イネ (個/g)	イネ穎破片 (個/g)	ネザサ節型 (個/g)	ササ属型 (個/g)	他のタケ亜科 (個/g)	ヨシ属 (個/g)	シバ属 (個/g)	キビ族 (個/g)	ウシクサ族 (個/g)	不明 (個/g)
WW1	179,100	1,000	31,000	3,900	4,800	2,900	0	28,100	44,500	3,900
WW2	184,000	0	47,900	3,800	5,600	900	900	45,100	47,900	15,000

ている。また、イネの穎に形成される珪酸体の破片(イネ穎破片)が WW1 で、イネ型短細胞珪酸体は両試料で観察された。

イネ以外ではネザサ節型やウシクサ族が多く検出された。また、キビ族は両試料ともに 10,000 個を超えている。その他には、ササ属型やヨシ属、シバ属などが検出されている。

### 3-2. 花粉分析

2 試料の検鏡を行った結果、十分な量の花粉化石が得られなかった。WW2 からは花粉が検出されておらず、WW1 からはイネ科とヨモギ属が検出された。産出花粉・シダ植物孢子の一覧を付表 2 に示す。なお、十分な量の花粉化石が得られていないため、分布図は示していない。

## 4. 考察

WW1 と WW2 からは十分な量の花粉化石が得られなかった。一般的に、花粉は湿乾を繰り返す環境に弱く、酸化的環境に堆積すると、紫外線や土壌バクテリアなどによって分解され消失してしまう。そのため、堆積物が酸素と接触する機会が多い堆積環境では花粉化石が残りにくい。よって、試料採取地点は堆積時か堆積後において、好气的環境に晒されていた可能性がある。あるいは、堆積速度が速くて堆積物中に花粉が取込まれなかった可能性もある。一方で、植物珪酸体はガラス質であるため、乾燥の環境においても良好に保存される。以下では、分析試料から産出した植物珪酸体に基づき、土坑 18 の特徴について検討した。

WW1 と WW2 の 2 試料ともに突出して多く検出されたのがイネ機動細胞珪酸体であるため、埋土内に稲藁が多く混入していたとみられる。試料を採取した土坑 18 は、その形状からトイレ跡の可能性が考えられている(※)。稲藁とトイレ跡との関係性は不明であるが、ひとつに、トイレ跡が稲藁等の廃棄の場になっていた可能性が推測される。

### ※編者註

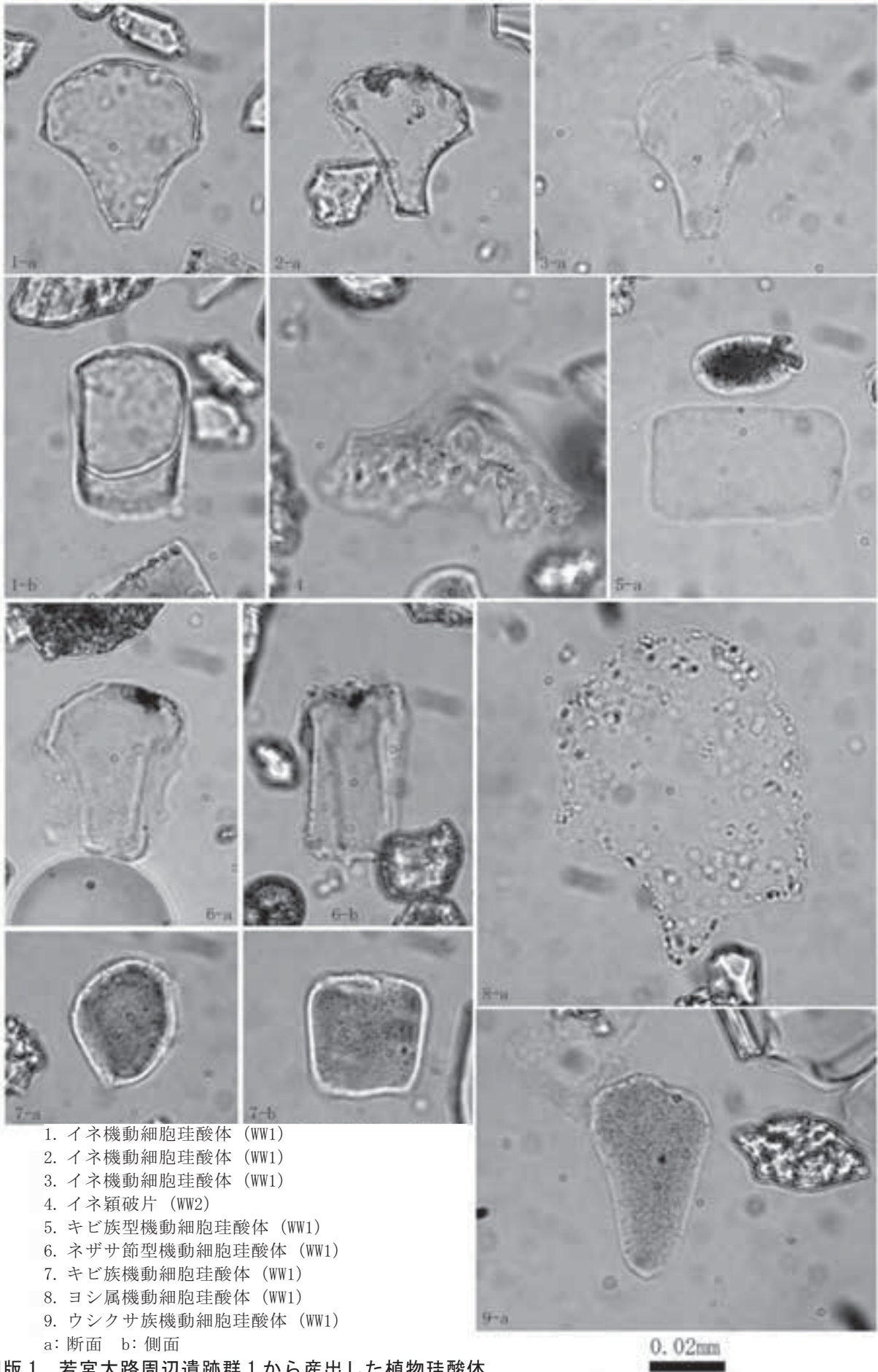
第四章で述べたように、現地調査の段階で土坑 18 と土坑 20 とが混同されてしまった節がある。土坑 20 については、下層埋土について「トイレの可能性も含む」とのメモ書きが残されている。

付表 2 産出花粉孢子一覧表

学名	和名	WW1	WW2
草本			
Gramineae	イネ科	1	-
Artemisia	ヨモギ属	1	-
Arboreal pollen	樹木花粉	-	-
Nonarboreal pollen	草本花粉	2	-
Spores	シダ植物孢子	-	-
Total Pollen & Spores	花粉・孢子総数	2	-
unknown	不明	-	-



図 1 プラント・オパール分布図



1. イネ機動細胞珪酸体 (WW1)
2. イネ機動細胞珪酸体 (WW1)
3. イネ機動細胞珪酸体 (WW1)
4. イネ穎破片 (WW2)
5. キビ族型機動細胞珪酸体 (WW1)
6. ネザサ節型機動細胞珪酸体 (WW1)
7. キビ族機動細胞珪酸体 (WW1)
8. ヨシ属機動細胞珪酸体 (WW1)
9. ウシクサ族機動細胞珪酸体 (WW1)

a: 断面 b: 側面

図版 1 若宮大路周辺遺跡群 1 から産出した植物珪酸体

## 第六章 調査成果のまとめ

### 第1節 遺物点数・重量の提示方法について

ここまで、大掴みな説明に終始してきた。時間的制約のためとはいえ現地調査時の精細な記録と所見を大幅に省略した内容となった点、お詫びしたい。

本報告では出土遺物の点数（破片数）と重量を遺構・層位単位で区別して表5に示した。地点全体の総量は提示しなかったが、各々の分析視点に応じて数値を合算し、利用いただきたい。

遺構ごとに遺物数を示すことで、遺構間の新旧関係と遺構内の遺物組成とがどのような相関性を持つのか知り得るが、本報告ではそこまで踏み込んだ検討は行えなかった。本地点のように同一の層位上で繰り返し遺構が形成された遺跡では整然とした遺物組成を見出すことは難しいが、それでも上層遺構面の土坑39や、下層遺構面の竪穴建物21・溝1などではまとまりのある遺物を抽出でき、これに遺構の新旧関係を加味して考えることで、ある程度の年代幅を抑えることは可能となろう。

重量については、かわらけはロクロ：手づくね、および大：小の量的構成を破片数と併せて客観的に示すことができ、そこに一定量の完形品が含まれていれば、個体重量の平均値（もしくは集中値）から個体数の概算値を得ることも可能となる。陶磁器類についてはかわらけと同じ効果は望めないが、情報として開示することに無駄はないと考えている。報告書の刊行がなった後、実測図が掲載されない遺物が原則として「お蔵入り」されている現状を鑑みるに、現地での出土・取り上げ状況を第三者にも復元できる提示方法が必要であり、実物に代わる基礎データとして位置付けたい思いがある。各遺物の分類認定など、現行の研究水準を反映できていない部分も多いが、今後、少しでも改善すべく心掛けたい。

### 第2節 遺構の変遷と遺物様相

前置きが長くなったが、以下、前節の視点にも照らしながら遺構の変遷と遺物様相について整理し、まとめたい。

#### （1）上層遺構面

I・II区とも土坑を主体とする遺構が検出された。同一面上での重複が著しく、また下層竪穴建物の埋土を掘り込む遺構も多くあり、基本的に新旧の遺物が混在する状況下にあったといえる。そうした中、I区井戸1やII区据甕遺構、方形竪穴状土坑（+土坑31）、土坑36・39などで一定の特徴を見出せる遺物が出土している。

井戸1では、かわらけはロクロ成形品が大多数を占め、大～小までの4法量とも器壁の分厚い資料が主体となる。瀬戸窯製品には浅い碗（小鉢か＝図25-125）など後II期と思しき製品、常滑には9型式前後の甕片（同133）など15世紀前半の要素が散見される。在地産かわらけが最も新しく製作されたという前提に立てば、井戸1の廃絶～埋没時期を15世紀前半以降に置くことが可能となる。

据甕遺構では8型式頃の常滑大甕（図27-157）が埋設され、この据え方土坑内で出土したかわらけはロクロ成形品が殆どを占め、小皿は丸みを帯びて低平、大皿は内湾・深身器形を呈する（158～163）。大甕を14世紀後半の製品とすると、かわらけはこれより古い印象を受ける。近年では8型式を14世紀前葉に置く見方も支持されているので（藤澤・山本2015）、かわらけに引き寄せて遡らせることも可能

かもしれない。

方形竪穴状土坑 1 は上部に土坑 31 が重なり、本報告では同一遺構の可能性があったとした。土坑 31 のロクロかわらけ大皿（図 31-268～269）は口縁を外方に引き伸ばして仕上げている点、方竪状 1 の内湾器形（図 28-182）より後出する要素を有する。土坑 31 の非図化遺物には瀬戸窯の縁釉小皿が含まれることから、14 世紀中頃～後半まで下らせ得る。方竪状 1 埋土の小皿（図 28-169～181）は内湾器形を基調とし、低平と深身の 2 種が認められる。床面上の小皿（図 29-210～213）は低平タイプが占める。埋土出土の瀬戸窯花瓶（図 28-186）は中Ⅱ期頃の製品と見られ、総体として 14 世紀前葉～中頃の遺物様相と捉えられる。

土坑 36 のロクロかわらけ（図 33-277～281）は、比較的薄い体部が直線的に開く。備前窯すり鉢（282・283）は、口縁が肥厚する 282 が新しい。両者で中世 3a～3b 期への移行期の資料と見なせ、14 世紀の中頃～後半に位置付けられようか。本遺構に切られる土坑 67 では大・小とも内湾するロクロかわらけが出土しており（図 35-356・357）、資料数は少ないが器形変化を示す事例となろう。

土坑 39 は、重複するどの遺構よりも新しい。ここでは完形率の高いロクロかわらけが一括廃棄され、大 6055g、小皿 1520g が出土した。大は口径 9～10cm 台前半で 107g 前後の中皿と、口径 10.5～11 cm 前後で 136g 前後の大皿に分けられる。小には口径 6～7cm で 40g 前後の小皿と、口径 7～8cm で 60g 前後の準小皿があり、これを核として、やや幅のある法量分布を示している。基本的には以上の 4 法量で構成されるが、破片資料ではこれら 4 種を判別できないため、正確な個体数も算出できない。試みに大 120g・小 50g という平均値で割り出すと、大 51 個・小 30 個に換算され、図化できた資料とは異なる構成比を示す。いずれの法量でも器壁が厚く、体部～口縁が直線的ないし外反する資料が主体となり、先述した井戸 1 の資料と近い印象を受ける。細部を見ると、本土坑の方が外反する傾向が強く、小型品では底部脇の突出する資料が目立ち、井戸 1 より粗雑化が進んだ要素と見なせる（図 34-292～321）。伴出した陶磁器類は僅少で破片資料が占めるが、瀬戸窯の縁釉小皿（322）は低い削り出し高台を有し、後Ⅳ期以降の製品と見なせる。1/4 程度が残存するもので、完形品が主体のかわらけは、これより後に製作されたと理解すべきだろう。従って 15 世紀中頃以降の年代を与えることができ、「中世都市鎌倉」としては最終段階のかわらけ一括廃棄例とも評価し得る。

以上を総合すると、本地点の上層遺構面では 14 世紀前葉～中頃に土坑主体の土地利用へと移行し、井戸をとめないながら 15 世紀中頃までは一定の営みがあったことになる。下層遺構面の竪穴建物群がいつ頃に機能を失って行ったのか、参考としたい。

## （2）下層遺構面

竪穴建物間の新旧関係は各図面に記載したので繰り返さないが、整理すると、下記のような建物変遷を提示できる。

I 期：竪穴底面の四周に柱穴を巡らせる掘立柱構造。→建物 7・21

II 期：土台材から柄組みの柱を立てる土台構造。

→建物 2・4・6・9・11・12・13・15・16・17・19・20・22・24

III 期：土台構造と思われるが、遺構間の切り合いで最も新しい建物。小規模な例が散見される。

→建物 3・5・10・14・18

遺構間の切り合いや構造材の腐朽によって必ずしも構造が明確な例ばかりではないが、以上のようにまとめた。竪穴建物の主な用途は倉庫で、建物 21 のように破損した未使用陶磁器を打ち棄てた状況は、そのことを端的に物語っている。前章でも述べたように、同様の廃棄例は鎌倉でも唯一であり、床下の

埋甕などを除いては、建物への帰属が明確に分かる出土遺物は稀である。

以下、各期の年代観について検討する。

### I 期（建物 7・21）

I 区建物 7 の出土かわらけは、埋土上層・下層ともロクロ成形と手づくねの数量が拮抗する。床面上では手づくねのみ、柱穴では遺物の全体量が少ないが、ロクロ・手づくね双方が出土している。陶磁器では埋土の上層で白磁皿 IX 類や龍泉窯系青磁坏・盤 III 類、8～9 型式の常滑甕（図 43-530）が出土し、新しい要素が混在している。下層～床面上・柱穴では、こうした傾向は見えにくくなる。柱穴 P-7 では略完形のロクロかわらけ小皿が出土し（533）、広い底部から丸みを帯びた低い体部が立ち上がる。

II 区建物 21 では龍泉窯系青磁碗 III 類や白磁皿 IX 類、尾張型 7 型式の山茶碗・山皿が倒壊した壁板下からまとまって出土し、その多くに明瞭な使用痕が見て取れなかったことから、鎌倉への搬入から間もない 1250 年前後、もしくはそれ以降に建物としての廃絶期を想定できる。また、壁材の裏込め土からも龍泉窯系青磁碗 III 類が出土しているため、構築～廃絶の期間は短かったことが推察できる。掘方からは龍泉窯系青磁碗 IV 類と思しき小片が出土しているが、これは 14 世紀以降の要素なので、分類比定の錯誤か、または何らかの理由による混入品と理解したい。

以上 2 例から検討すると、I 期の竪穴建物は 13 世紀中頃の短期間のうちに構築～廃絶を迎え、II 期の土台構造建物群へと移行したことが推察される。

### II 期（建物 2・4・6・9・11・12・13・15・16・17・19・20・22・24）

対象となる建物が多いので、遺物量の多い事例に限って検討したい。

I 区建物 4 は建物 7 より新しく、13 世紀中頃以降の構築が前提となる。出土かわらけはロクロ成形が主体で、図化資料は大・小ともに底広で丸みを帯び、小皿は低平、大皿はやや深身となる。

II 区建物 11 は造り替えて 2 時期あり、古段階の 11B は西隣の建物 12 と同一遺構となる可能性を示した。11A は掘方底面の高さを変えずに土台材を据え直して構築されており、埋土からの出土遺物については殆どが 11A の埋没時に流入したものと考えられる。上・下層を問わず、かわらけはロクロ成形品が大半を占め、丸みを帯びた体部で低平な小皿と深身の皿とで構成される。建物 11B = 12 では埋土から薄手・深身の小皿が出土している。

II 区建物 15 では、埋土・床面上から多くのロクロかわらけが出土している。床面上の小皿は低平で、口縁が外方に引き伸ばされた資料が目立つ（図 52-723～727 など）。大皿も口縁が薄く引き伸ばされ（732・733）、丸みを帯びて深身の器形である。埋土出土の小皿は丸みを帯び低平なものを主体に、深身器形の資料が加わる（図 51-689）。大皿は内湾して深身器形である（690・691）。特に小皿について、床面上と埋土出土分には器形差が見出せる。

II 区建物 16 の出土遺物もロクロかわらけが主体で、埋土出土の小皿は内湾して深身の資料が主体となる（図 54-757～767 など）。ここでは中皿も 1 点だが認められた（769）。裏込め出土の小皿にも深身器形の資料があり、低平小皿が主体となる建物よりも新しく位置付けられそうである。

II 区建物 17 は建物 21 より新しく、13 世紀中頃以降の構築であることが前提となる。ここでも出土遺物はロクロかわらけが主体で、埋土出土の小皿は丸みを帯びて低平な資料が主体となり（図 55-793～800）、本遺構を切る建物 16 の深身小皿より古い様相であることを指摘できる。

建物 19 でもロクロかわらけが主体で、大・小とも内湾して深身の資料が目立つ。

II 区建物 20 の出土品もロクロかわらけが主体となる。大・小とも体部は丸みを帯び、小皿は低平、大皿はやや深身器形を取る。建物 15 床面上に先行する資料で、目立った器形差はないものの、本遺構

の方が体部の丸みが強いようにも見受けられる。

Ⅱ区建物 24 は土台構造だが、遺構間の切り合いでは最も古い建物である。かわらけは埋土・裏込めともロクロ成形と手づくねの数量には大差がなく、建物 21 の裏込めと近い傾向を示している。掘立柱構造ではないが、Ⅰ期遺構として考えることも可能である。

### Ⅲ期（建物 3・5・10・14・18）

Ⅰ区建物 3 のロクロかわらけ大皿（図 40-453・454）は、体部が丸みを帯び深身器形となる。

Ⅰ区建物 5 では、底径が小さく体部が内湾する小皿（図 42-505）が見られる。

Ⅱ区建物 10 では、出土遺物の大多数をロクロかわらけが占めている。埋土出土の大・小とも体部に丸みを持ち、小皿は低平（図 45-556～559）、大皿は深身器形を呈する（560～563）。掘方出土の大皿（574・575）は、埋土出土のものより若干小振りである。

Ⅱ区建物 14 でもロクロかわらけが主体で、大・小ともに体部に丸味を帯び、小皿には低平（図 50-667・668）と深身（672・673）、その中間形態（669・671）も設定できようか。瀬戸窯の柄付片口（676）と袴腰形香炉（677）は中期前半の製品なので、13 世紀末～14 世紀前葉以降には埋没が進んだことを指摘できる。

Ⅱ区建物 18 でも、出土遺物の主体はロクロかわらけである。大・小とも薄手で丸みを持つ器形で、深身の資料が目立つ。

以上、竪穴建物間の新旧関係からⅡ期とⅢ期を設定したが、双方の遺物様相に顕著な差を見出すことはできず、短期間のうちに廃絶（埋め立て）と新設とを繰り返した状況が窺える。どの建物においても出土遺物の主体となるのはロクロかわらけで、大・小とも体部に丸みを帯び、浅いものから深身器形に移行することが確認できた。こうした深身への器形変化は、小皿の方が認識しやすい。

それぞれの遺物に正確な年代を当てることは難しいが、Ⅰ期建物の廃絶からⅢ期建物の埋没期となる 13 世紀中頃～14 世紀前葉頃の中で建物群の展開があったことは指摘できよう。とすると、一部は上層遺構面の上限年代に重なる可能性があり、14 世紀前葉頃に土地利用上の大きな転換期が訪れたことが分かる。鎌倉幕府の滅亡を契機に当エリアの竪穴建物群（倉庫群）も次第に需要を失い、14 世紀中頃～後半には土坑中心の土地利用に移行したと考えるのが妥当だろう。ただ、そうした変化がどの程度の速さで進んだのか、他地点・他エリアの成果も踏まえて総合的に検討する必要がある。

### Ⅰ期以前（溝 1・井戸 4・方形竪穴状遺構 3）

竪穴建物群に先行する遺構として、Ⅰ区の溝 1 とⅡ区の井戸 4・方形竪穴状土坑 3 が挙げられる。

溝 1 はⅠ期の建物 7 に切られ、本地点に建物群が展開する以前に機能していたと考えて間違いない。出土かわらけは手づくね成形品が大多数を占める点、本地点では唯一の遺構である。重量ベースで計算すると、大で 95%、小で 90%を手づくねが占める。大・小ともに器壁が非常に薄く扁平な器形を呈し、手づくねでも古い特徴を有している（図 65-972～981）。13 世紀前葉でも、古く位置付けて良いだろう。971 の高台付小皿は通常のかかわらけ組成には入らない特殊品で、ロクロ成形だが胎土の特徴は手づくねと比べて差がなく、滑らかである。

井戸 4 はⅡ区東端部の建物 15 より古い。かわらけはロクロ成形品が大部分を占め、井戸枠裏込め土から白磁皿Ⅸ類や龍泉窯系青磁坏・盤のⅢ類が出土するなど、Ⅰ期の竪穴建物と変わらない遺物組成を示している。図 63-953 と図 65-983 の常滑片口鉢Ⅰ類は 5～6 型式と見られ、13 世紀中頃以降の構築・使用期間を想定できる。井戸枠南辺から建物 21 の北辺までは約 2 m の距離があり、これら遺物組成と遺構間の新旧関係とを勘案すると、両遺構が同時期に存続していた可能性も指摘できる。よって本遺構

については、竪穴建物群Ⅰ期に属するものと理解したい。

方形竪穴状遺構3については出土遺物が全くないため年代を特定できず、結果として溝1のみが確実にⅠ期を遡る遺構ということになる。遺物様相だけを見ると、13世紀前葉でも早い段階に溝1が廃絶・埋没した後、一定期間を隔てて13世紀中葉に建物7・21と井戸4が構築され、以後、14世紀前葉まで竪穴建物が建て替えを繰り返しながら展開したという変遷が考えられる。

#### 小括

上記の検討からは、建物Ⅱ・Ⅲ期の中で個々の遺構がいつ頃に存続・廃絶し、どの建物と併存関係にあったのか、具体的には明らかにできなかった。13世紀後半～14世紀前葉＝鎌倉時代後期は都市鎌倉の稠密化が顕著になる時期で、本地点でも、そのことを追認する成果が得られた。この時期はかわらけの編年も含め、細かく解きほぐして検討することが積年の課題となっているが、本章でも不十分な考察に終始した。引き続き、検討を重ねたい。

### 第3節 「マグソ」の分析結果について

前章で示されたように、Ⅱ区下層の土坑18では、埋土の試料からイネのプラント・オパールが大量に検出されている。試料は有機質腐植土であり、鎌倉の遺跡調査者が「マグソ」と呼ぶ土である。稲藁に由来する可能性が高いことは従来から指摘されていたが、分析結果を得たことで、その推測が裏付けられたことになる。土坑内に稲藁を捨てる目的については明確でなく、これも今後の課題として残る。今回の分析は、現地調査が終了してから10年以上を経た後に依頼したものであった。よって試料採取の意図を十分に反映した内容とならなかったかもしれない。今後、同種の遺構・土壌を確認した際には、より多角的な検討に資する情報を得ることができるよう、留意したい。

#### 参考文献

藤澤良祐・山本智子 2015 「中世常滑窯編年の再検討—5型式以降を中心に—」『上県2号窯跡 第9次発掘調査報告書』愛知学院大学文学部歴史学科





1. I区上層 西半部 (西から)



2. I区上層 井戸1埋土上層 礫検出状況 (東から)



4. I区上層 井戸1埋土下層 (東から)



3. I区上層 井戸1埋土上層 (東から)



5. I区上層 井戸1完掘状況 (西から)

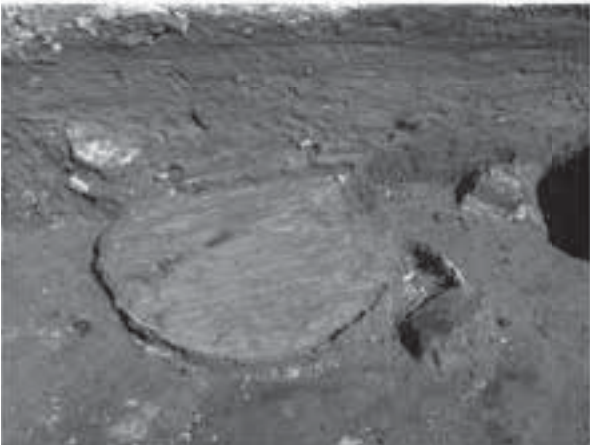
図版 2



1. I区上層 建物1 (南西から)



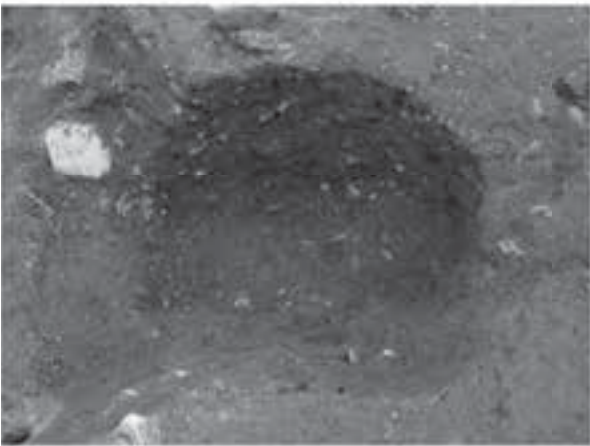
5. I区下層 建物2A西半部 (北から)



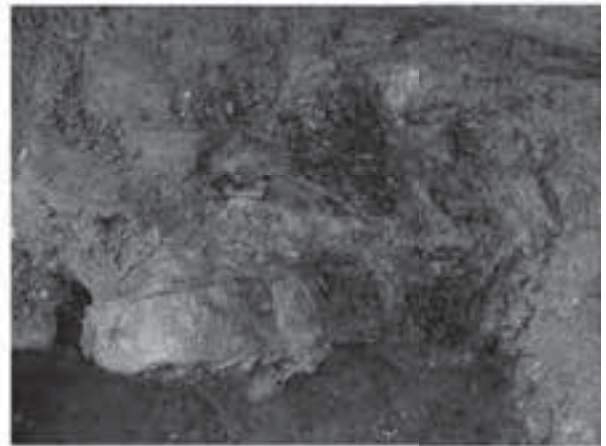
2. I区上層 建物1遺物出土状況 (南から)



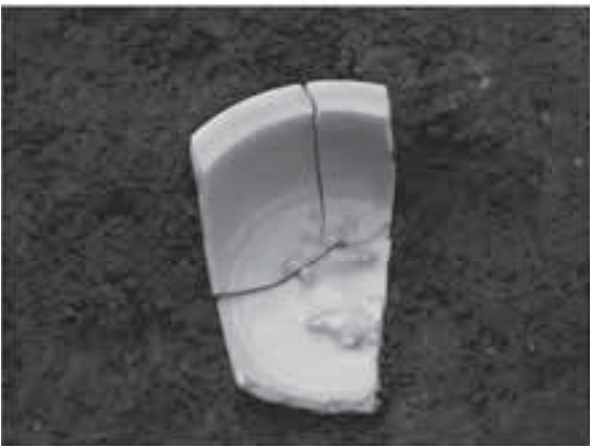
6. I区下層 建物2A遺物出土状況 (北から)



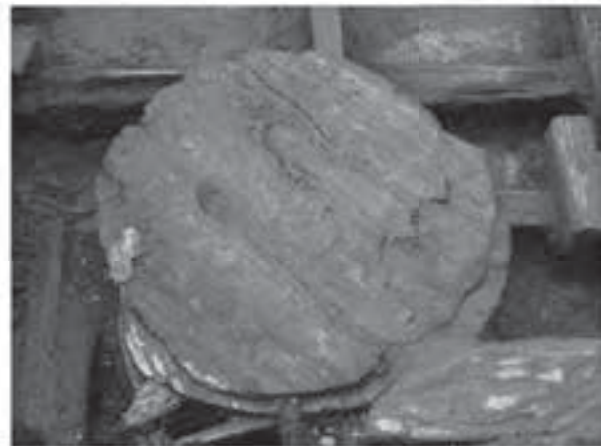
3. I区上層 土坑1 (北から)



7. I区下層 建物2A遺物出土状況 (東から)



4. I区上層 面上遺物出土状況 (北から)



8. I区下層 建物2A遺物出土状況 (南から)



1. I区下層 建物 2A 根太材 (南から)



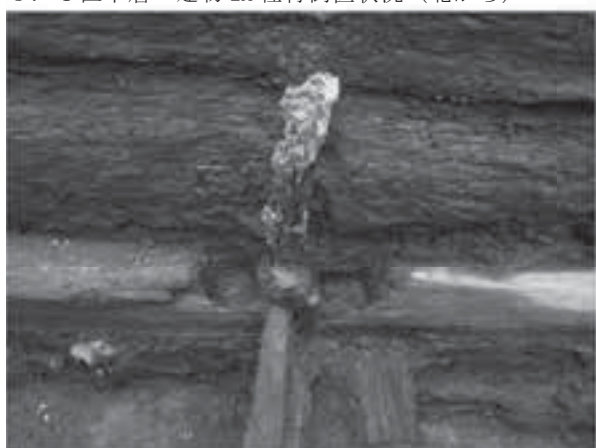
5. I区下層 建物 2A (北から)



2. I区下層 建物 2A 根太材 (東から)



3. I区下層 建物 2A 柱材倒置状況 (北から)



4. I区下層 建物 2A 束柱検出状況 (東から)



6. I区下層 建物 2A 南辺土土台材 (東から)



7. I区下層 建物 2A 柱穴ニ (左)・ホ (東から)

図版 4



1. I区下層 建物2A柱穴ハ(南西から)



2. I区下層 建物2A・2B(南から)



3. I区下層 建物2A・2B(西から)



4. I区下層 建物2B南辺壁板(西から)



5. I区下層 建物2B東辺土台材(南から)



6. I区下層 建物2B南辺土台材(東から)



1. I区下層 建物3・4 (西から)



2. I区下層 建物3 南辺壁板倒潰状況 (北から)



3. I区下層 建物4 土層断面 (東から)



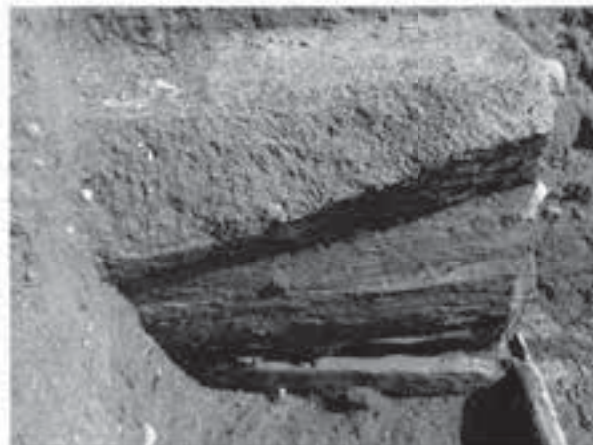
4. I区下層 建物4 土層断面 (東から)



5. I区下層 建物3 土台材 (西から)



6. I区下層 建物3 土層断面 (南から)



7. I区下層 建物3 東辺壁板 (西から)



1. I区下層 全景（東から）



2. I区下層 全景（西から）



1. I区下層 建物4土台材(北から)



5. I区下層 建物6(北西から)



2. I区下層 建物5(南から)



6. I区下層 建物6(北から)



3. I区下層 建物5壁板(東から)



4. I区下層 建物5裏込め土内遺物出土状況(北から)



7. I区下層 建物7南辺壁板・柱穴(北から)



1. I区下層 建物4(手前)・建物7(北から)



2. I区下層 建物7底面柱穴列(南から)

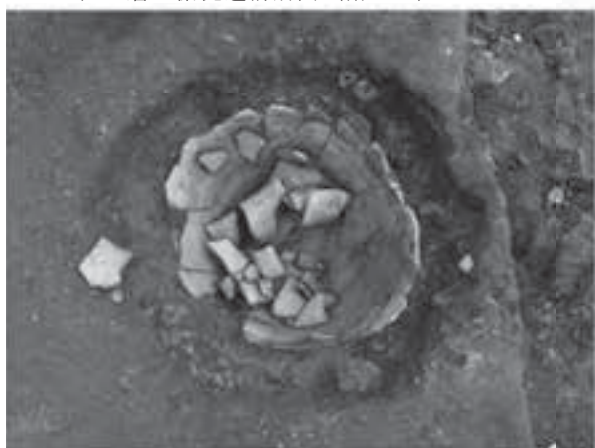


3. II区下層 溝1・南辺道路状遺構(東から)

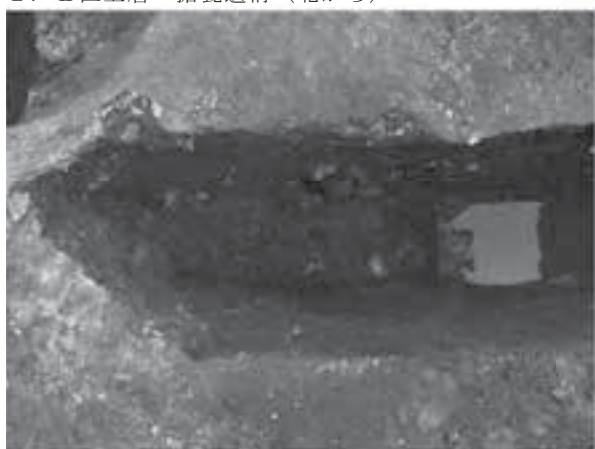




1. II区上層 据甕遺構断面 (南から)



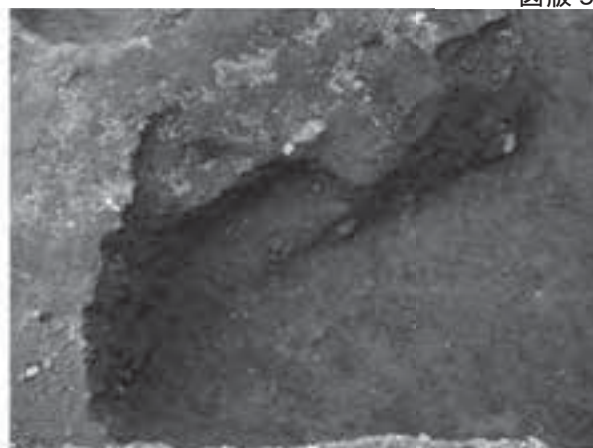
2. II区上層 据甕遺構 (北から)



3. II区下層 方竪状土坑2 (下層建物9・東から)



4. II区上層 方竪状土坑1 遺物出土状況 (北から)



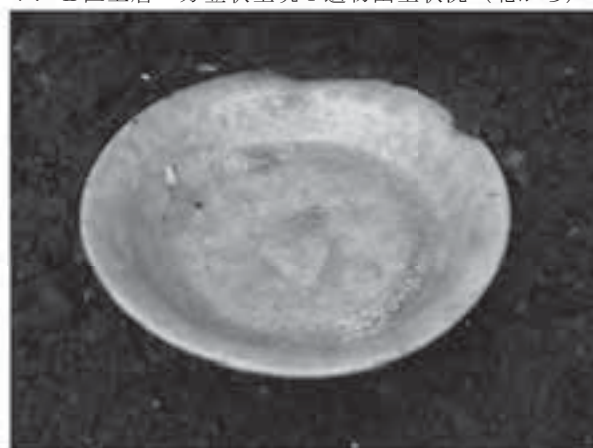
5. II区上層 方竪状土坑1 遺物出土状況 (北から)



6. 同上 アップ (北から)



7. II区上層 方竪状土坑1 遺物出土状況 (北から)



8. II区下層 建物9 遺物出土状況 (東から)



1. II区上層 全景 (東から)



2. II区上層 全景 (西から)



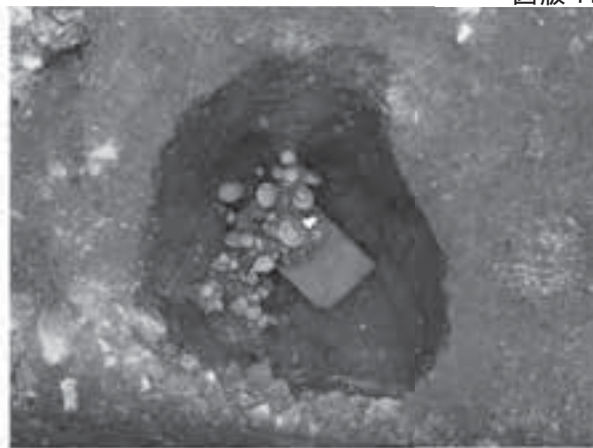
1. II区上層 方竪状土坑1 (北から)



2. II区上層 方竪状土坑2 (下層建物9)  
底面根太痕 (南から)



3. II区上層 土坑35 遺物出土状況 (北から)



4. II区上層 土坑39 遺物出土状況 (北から)



5. II区上層 土坑39 遺物出土状況 (北から)



6. II区上層 土坑31 遺物出土状況 (北から)



7. 同上 イルカ頭骨アップ (北から)



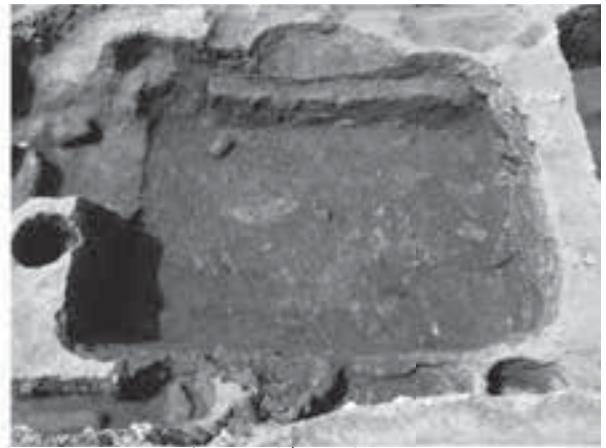
1. II区上層 溝状遺構 (東から)



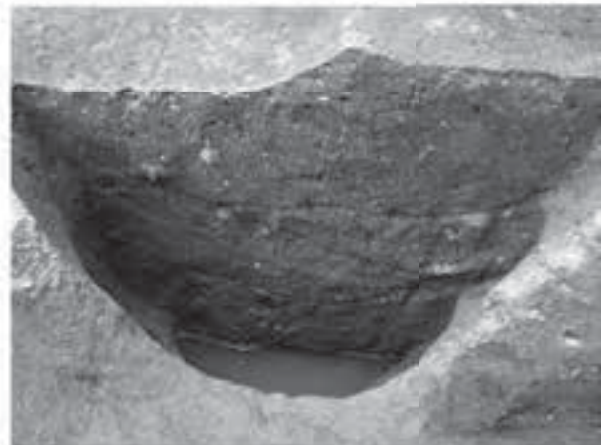
2. II区下層 建物10土層断面 (南から)



3. II区下層 建物10床面炭層 (北から)



4. II区下層 建物10 (南から)



5. II区下層 井戸2土層断面 (東から)



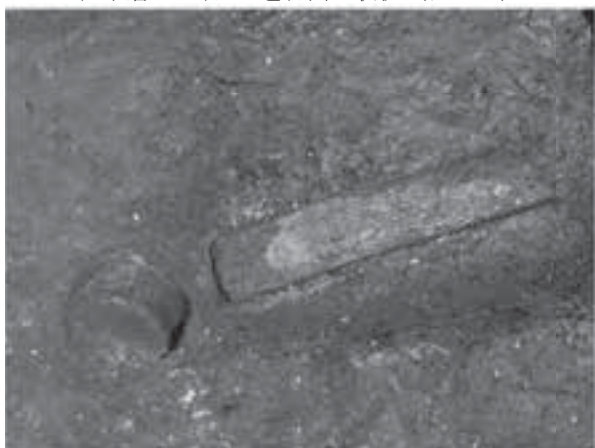
6. II区下層 井戸3 (西から)



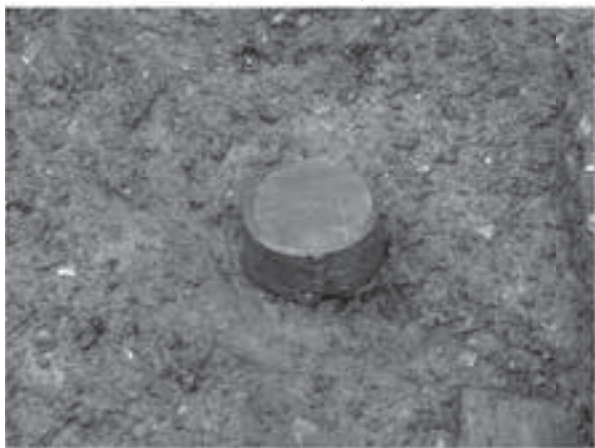
7. II区下層 井戸3土層断面 (東から)



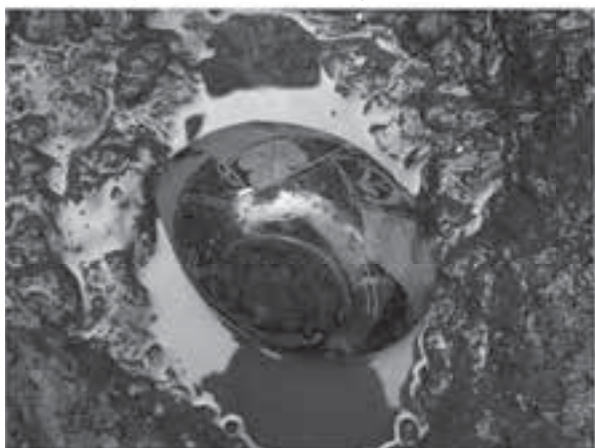
1. II区下層 建物 11 遺物出土状況 (西から)



2. II区下層 建物 11 遺物出土状況 (西から)



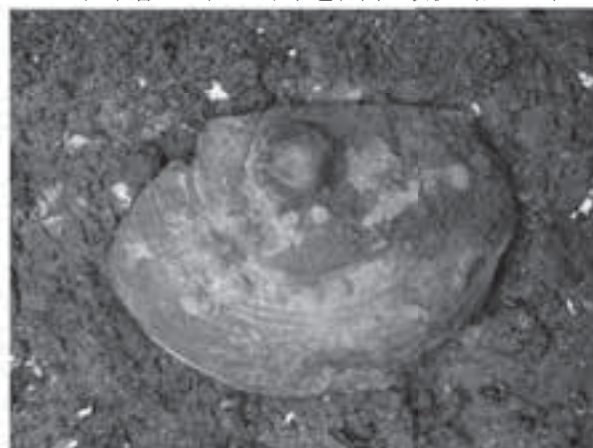
3. II区下層 建物 11 遺物出土状況 (北から)



4. II区下層 建物 11 遺物出土状況 (東から)



5. II区下層 建物 15 床下遺物出土状況 (西から)



6. II区下層 建物 15 床下遺物出土状況 (西から)



7. II区下層 建物 16 (東から)



8. II区下層 建物 18 掘り方 (南から)



1. II区下層 建物11(左)・建物12(北から)



2. II区下層 建物11(奥)・建物12(西から)



3. II区下層 建物11西辺壁板(東から)



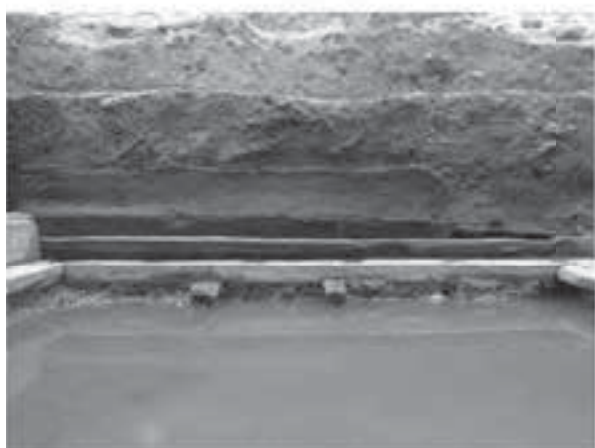
4. II区下層 建物12(南から)



1. II区下層 建物11(手前)・建物12(東から)



2. II区下層 建物11・12南辺土台材(北東から)



3. II区下層 建物11・12南辺壁板(北から)



4. II区下層 建物11南辺土台材アップ(北から)



5. II区下層 建物11東辺土台材(西から)



6. II区下層 建物12西部(北から)



7. II区下層 建物12西部(南東から)



1. II区下層 建物 15・20 (東から)



4. II区下層 建物 15 根太材 (東から)



2. II区下層 建物 15 (北から)



5. II区下層 建物 15 根太材 (北東から)



3. II区下層 建物 15 遺物出土状況 (北から)



6. II区下層 建物 15 北辺壁板 (南から)



7. II区下層 建物 15 掘り方遺物出土状況 (南から)





1. II区下層 建物19 (東から)



3. II区下層 建物17・21 (南から)



4. II区下層 建物22C (南から)



2. II区下層 建物19・24 (東から)



5. II区下層 建物22C床板 (西から)



6. 同上 アップ (西から)



1. II区下層 全景（東から）



2. II区下層 全景（西から）



1. II区下層 建物21北辺壁板倒潰状況(南から)



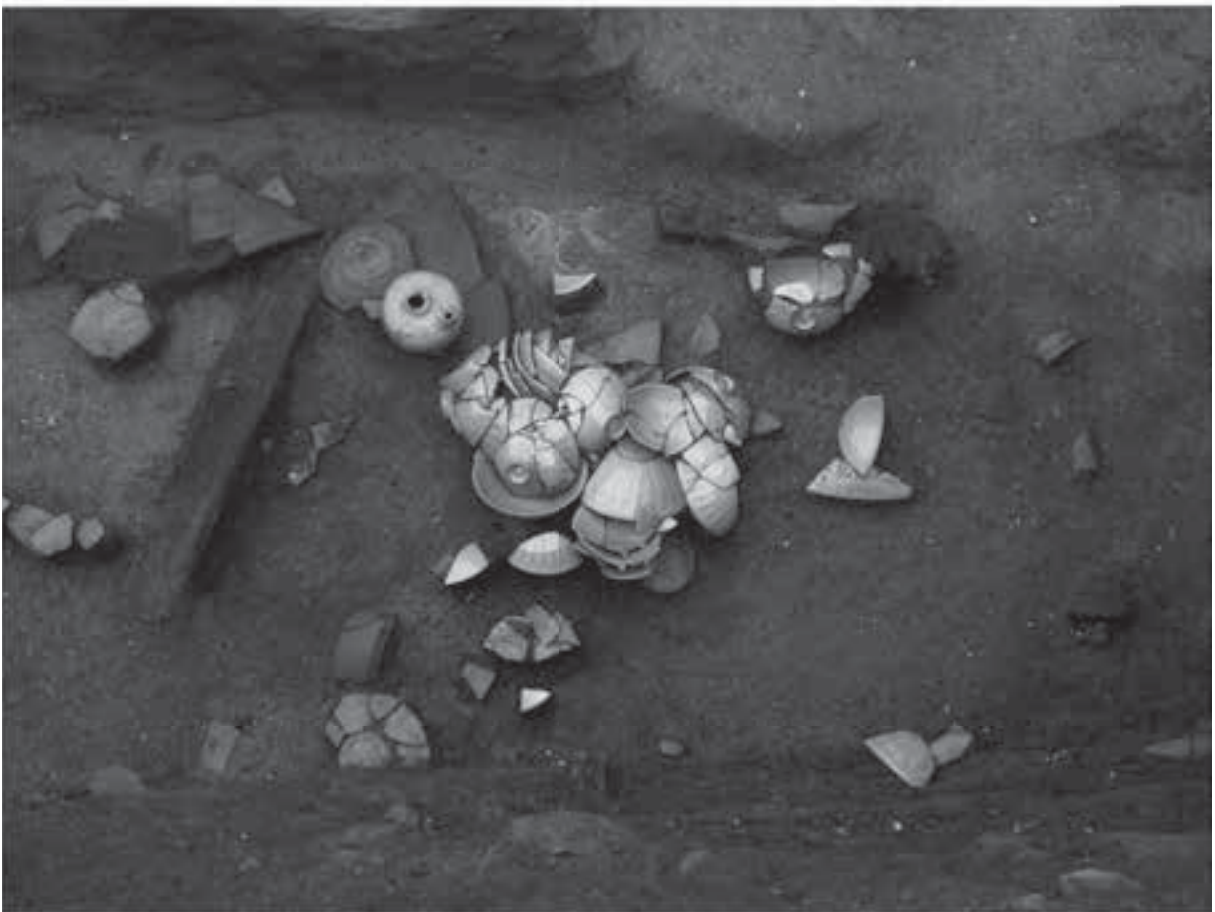
2. II区下層 建物21北辺壁板倒潰状況(東から)



3. II区下層 建物21壁板下遺物出土状況(東から)



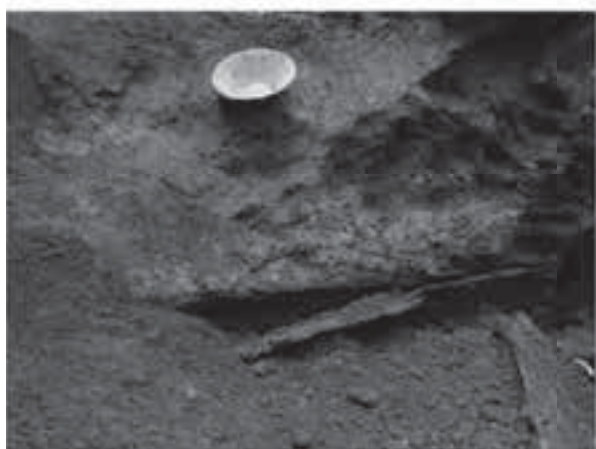
1. II区下層 建物21 壁板下遺物出土状況 (南から)



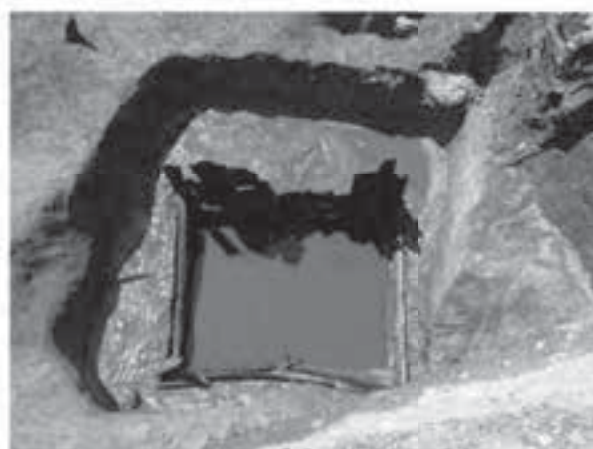
2. 同上 アップ (南から)



1. II区下層 建物21掘り方底面(南から)



2. II区下層 建物21西側遺物出土状況(東から)



4. II区下層 井戸4(東から)



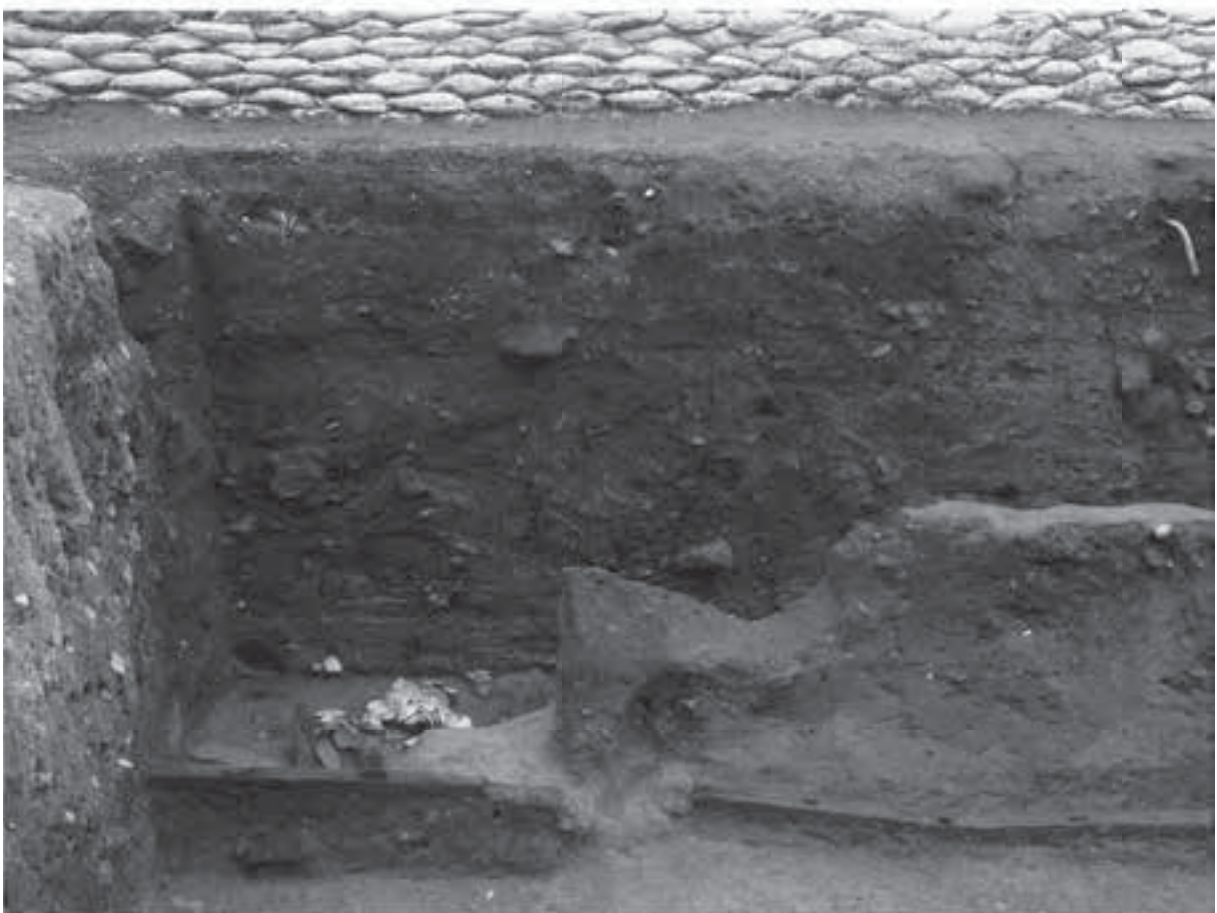
3. II区下層 竪穴状土坑3(南から)



5. 同上(北から)



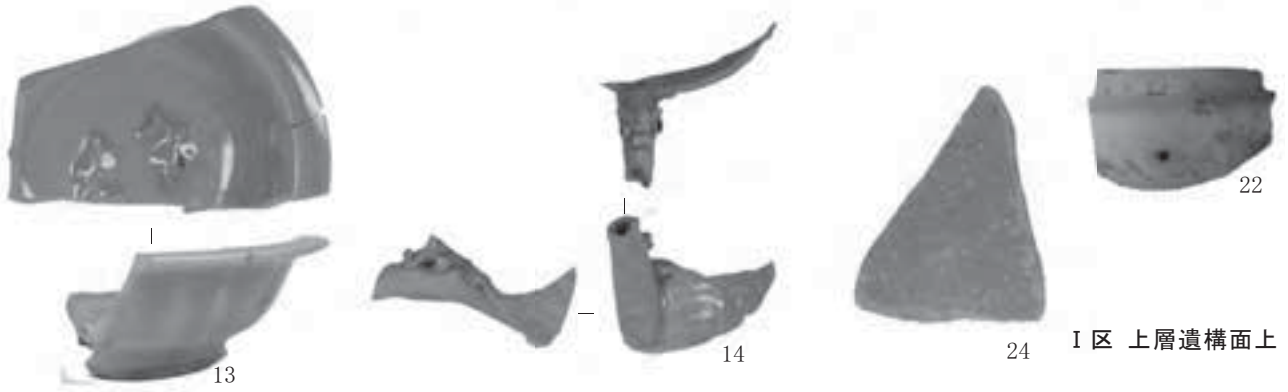
1. II区北壁 土層断面（建物11・12の新旧関係 南から）



2. II区南壁 土層断面（建物17・21の新旧関係 北から）



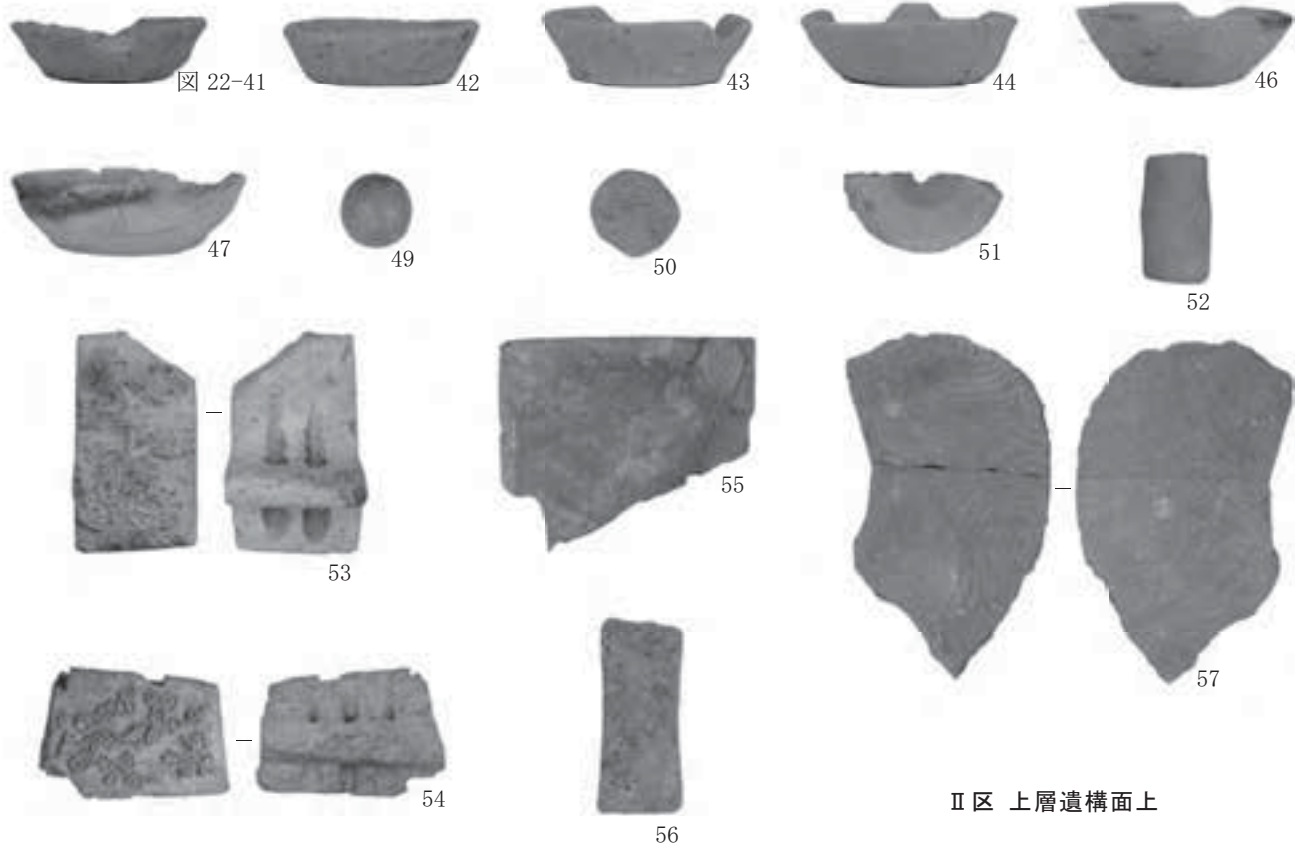
I 区 表土



I 区 上層遺構面上



I 区 上層遺構面上



II 区 上層遺構面上



図 23-75

Ⅱ区 上層遺構面上  
(C-5 グリッド)

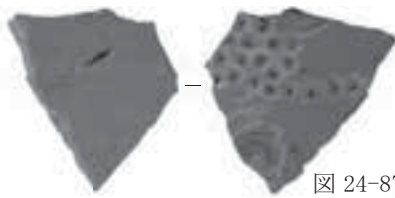


図 24-87



88



92



93



103



104

I区上層 建物 1



図 25-111



116



117



124



125



132



139

I区上層 井戸 1



図 26-141



142



144



145



147



148



150



149



151



154



155



156

I区上層 井戸 1



図 27-159



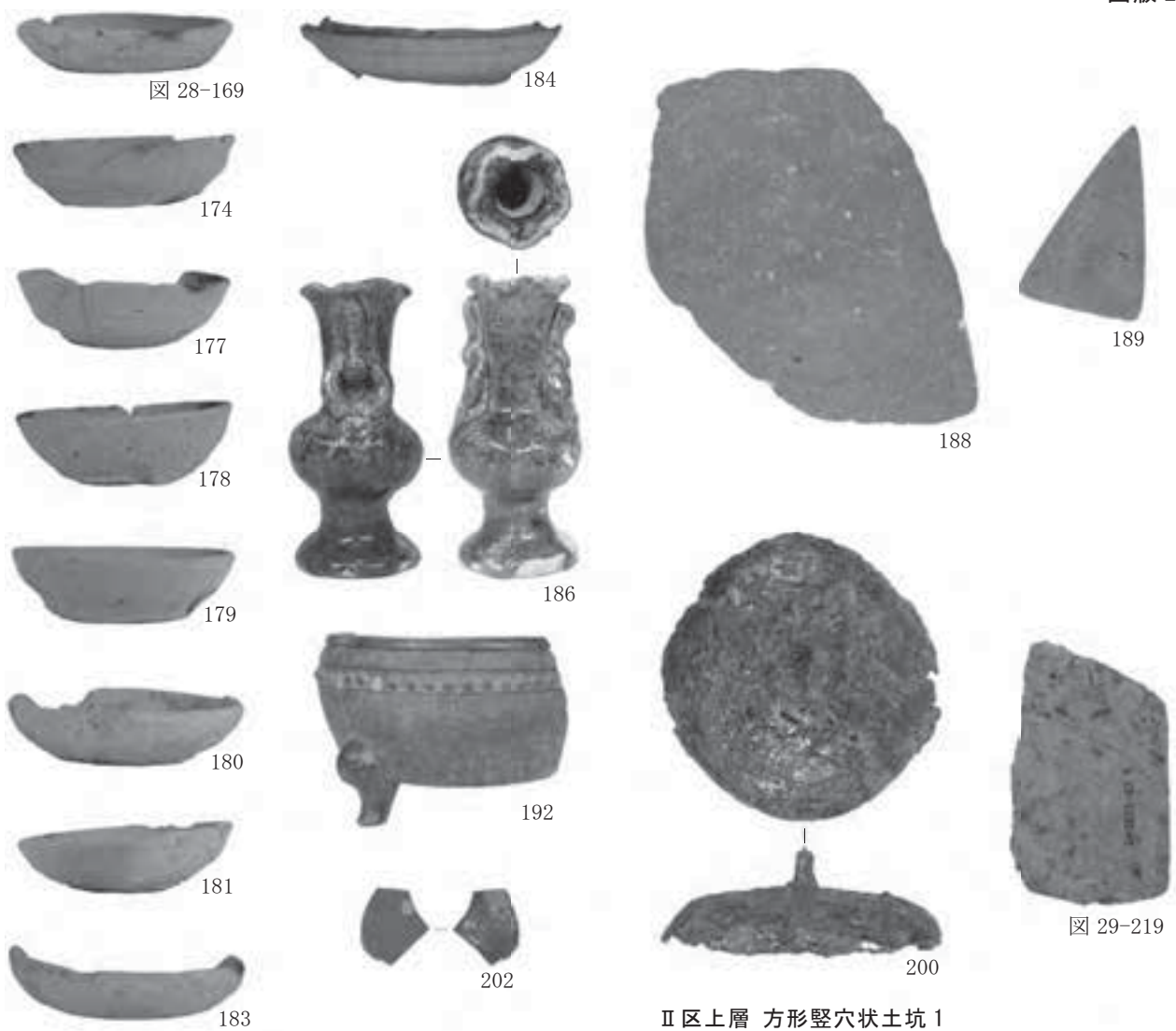
160

Ⅱ区上層 据壺遺構



163





II 区上層 方形竖穴状土坑 1



II 区上層 井戸状遺構



图 31-253  
土坑 1

土坑 2

土坑 3

土坑 8

II 区上層 土坑

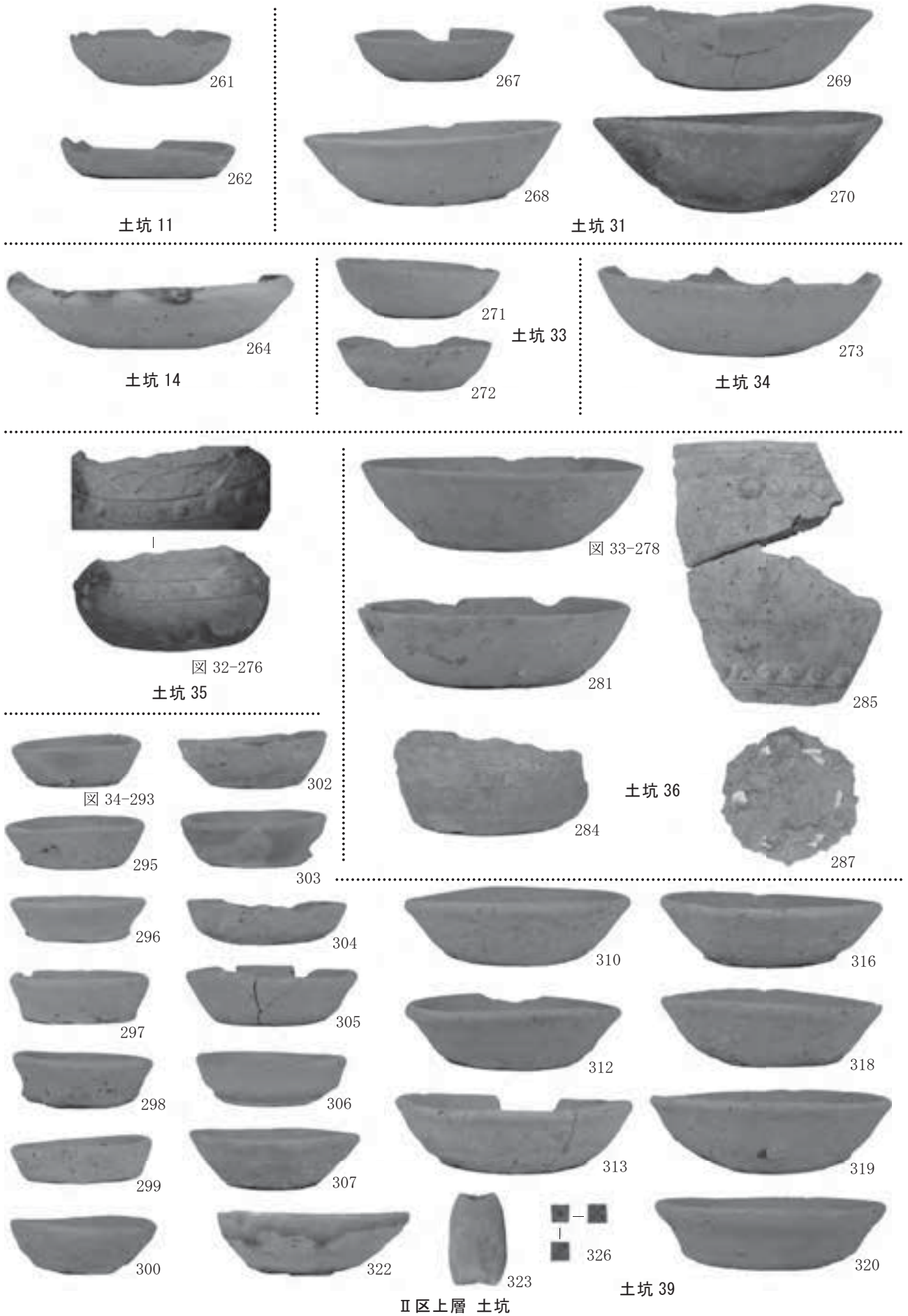




図 34-329  
土坑 42



土坑 49



土坑 57



350



351



352

土坑 62



331



332

土坑 46



345

土坑 55

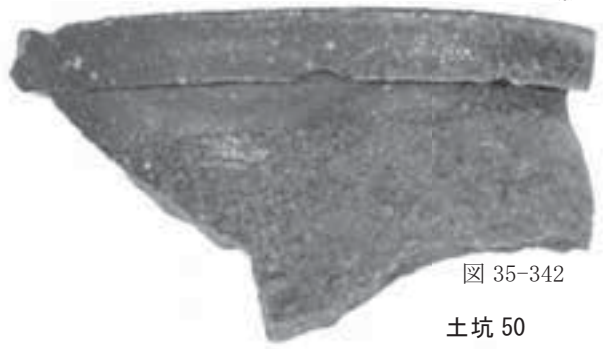


図 35-342

土坑 50

土坑 67



358



356



359



359



360



362

土坑 68

II 区上層 土坑



364

土坑 73



図 36-368  
P10



371

P19

I 区上層 ピット



374



375

P21



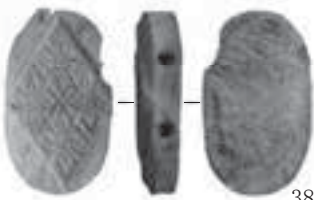
376

P24



377

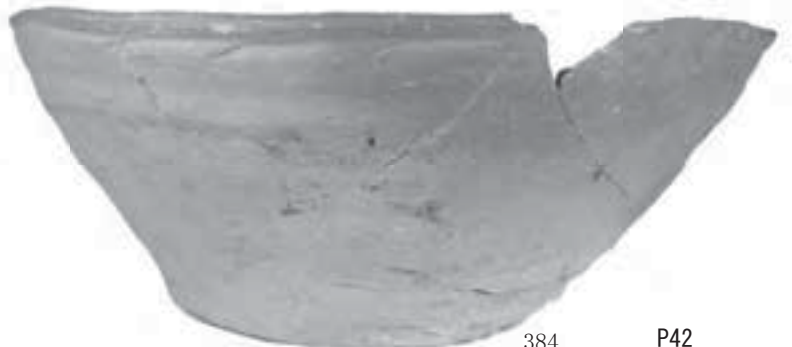
P25



380

P35

II 区上層 ピット



384

P42

図版 28



図 37-404



405

I 区 上層遺構面下  
(C-8 ~ 10 グリッド)



図 38-419

I 区 上層遺構面下  
(B・C-7 グリッド)



図 39-439

449

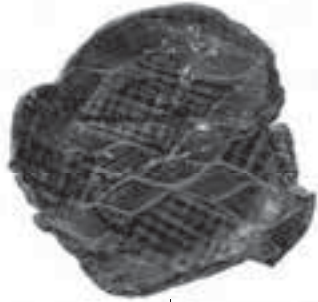
447



図 40-453



455



445

I 区下層 建物 2



454



457



466

I 区下層 建物 3



466



図 41-469



470



482



483



472



477



474



476



476



478



480



484



491



492

I 区下層 建物 4



图 42-499

500



505

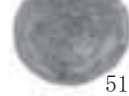


506



509

I 区下層 建物 5



510



517



518



519

I 区下層 建物 6



图 43-535



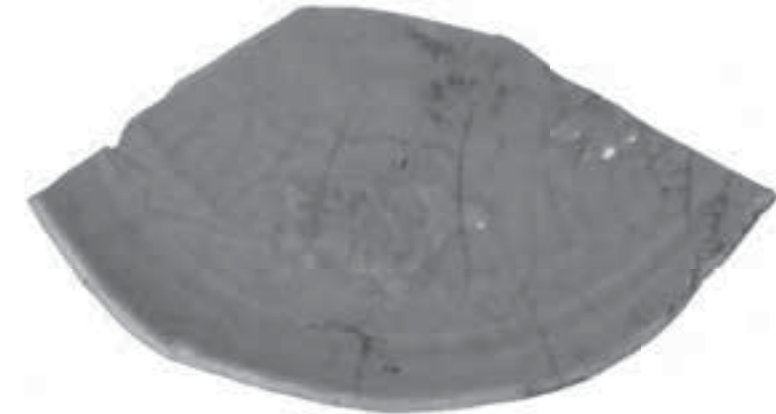
536



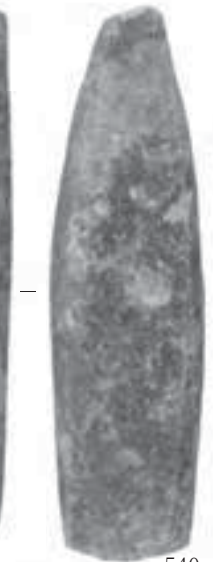
538



539



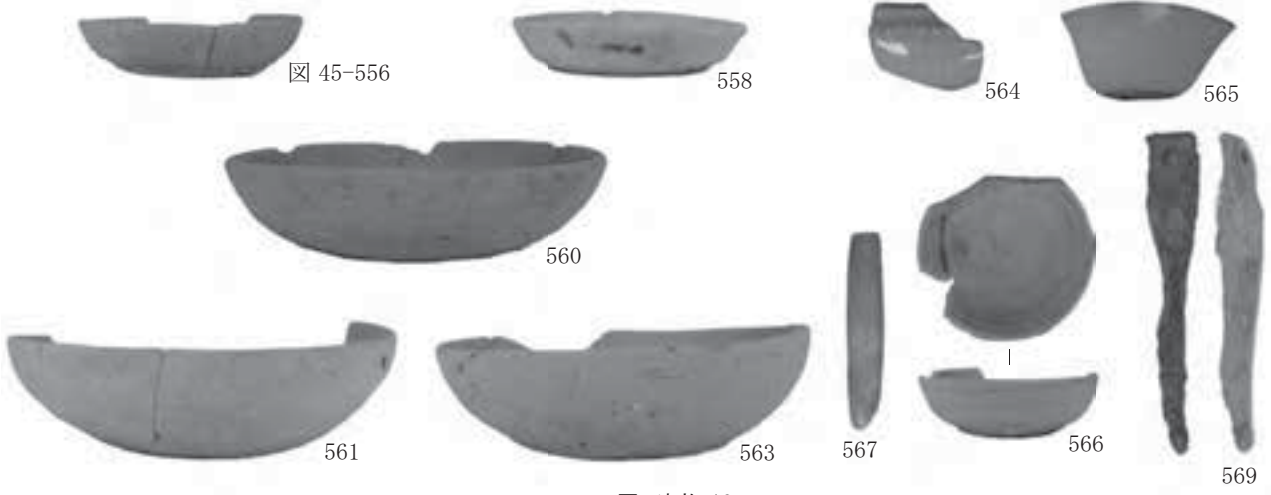
548



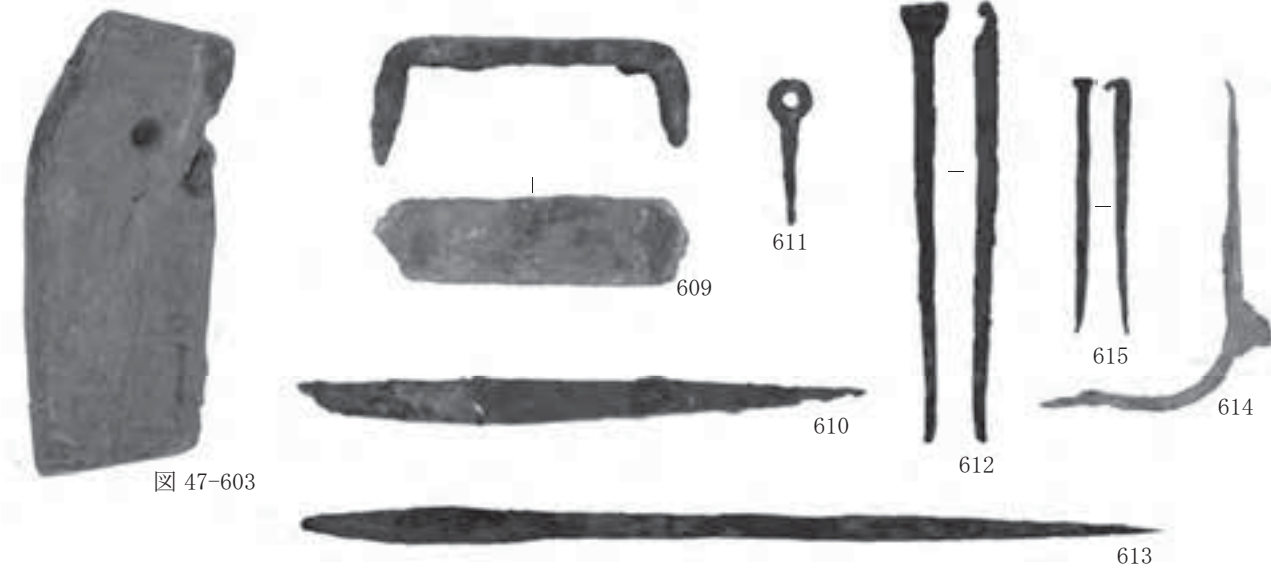
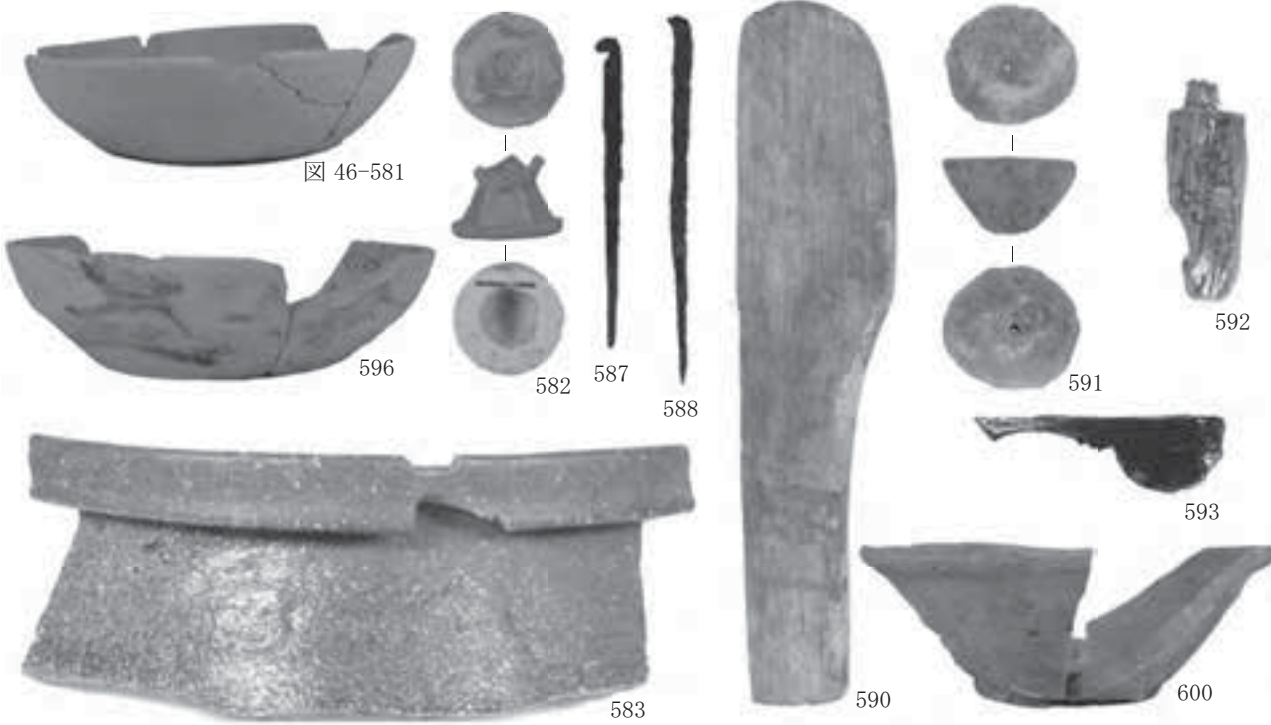
540

II 区下層 建物 9

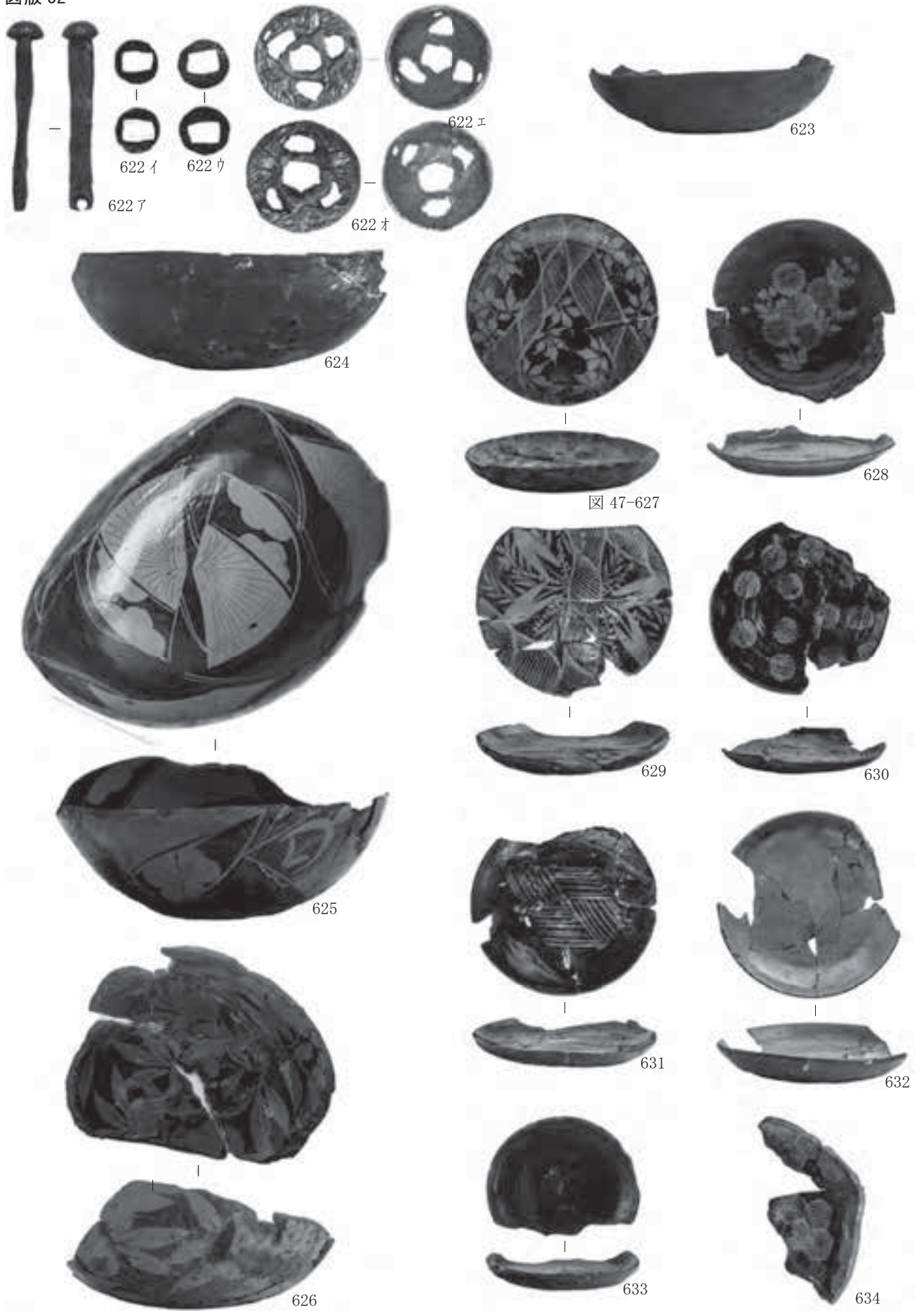




II 区下層 建物 10



II 区下層 建物 11



Ⅱ区下層 建物 11





図 48-635



図 49-649



654

Ⅱ区下層 建物 12



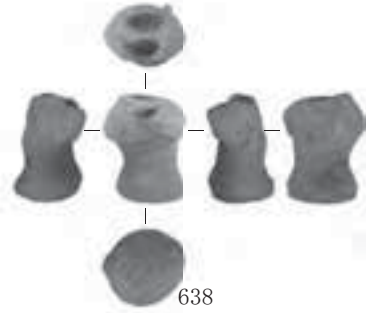
636 1



636 7



637



638



大量の箸



樹皮 (曲げ物の綴じ紐)

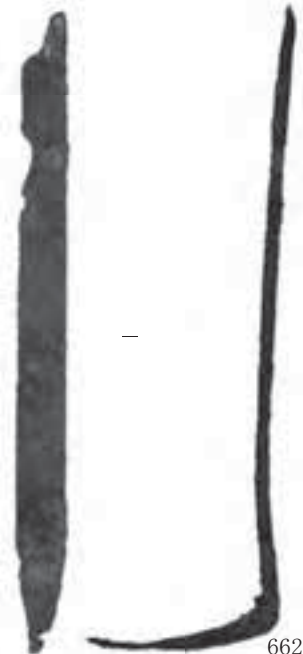
Ⅱ区下層 建物 11



657

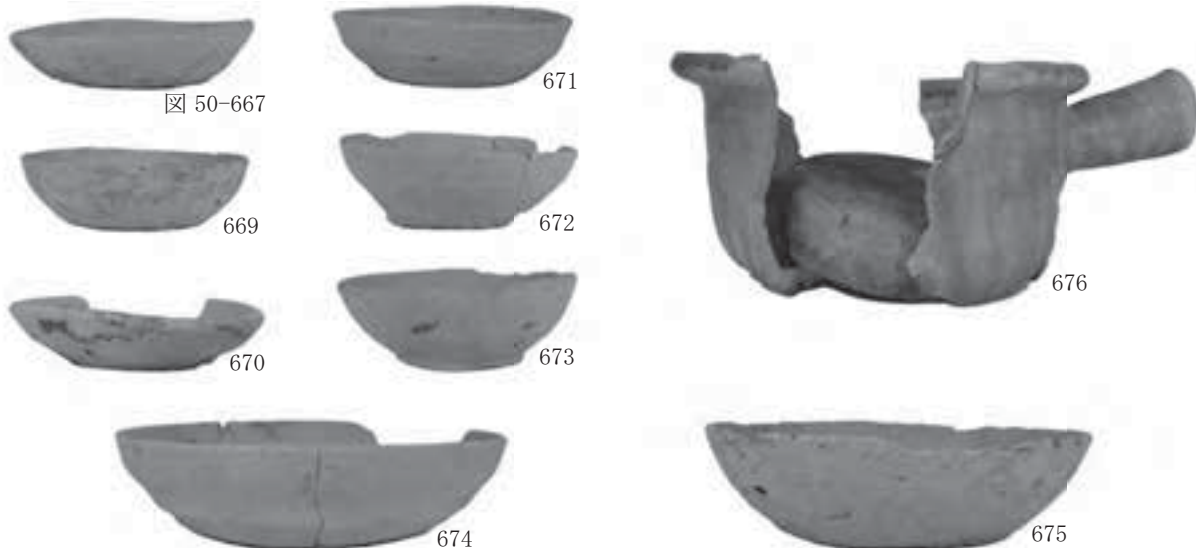


658

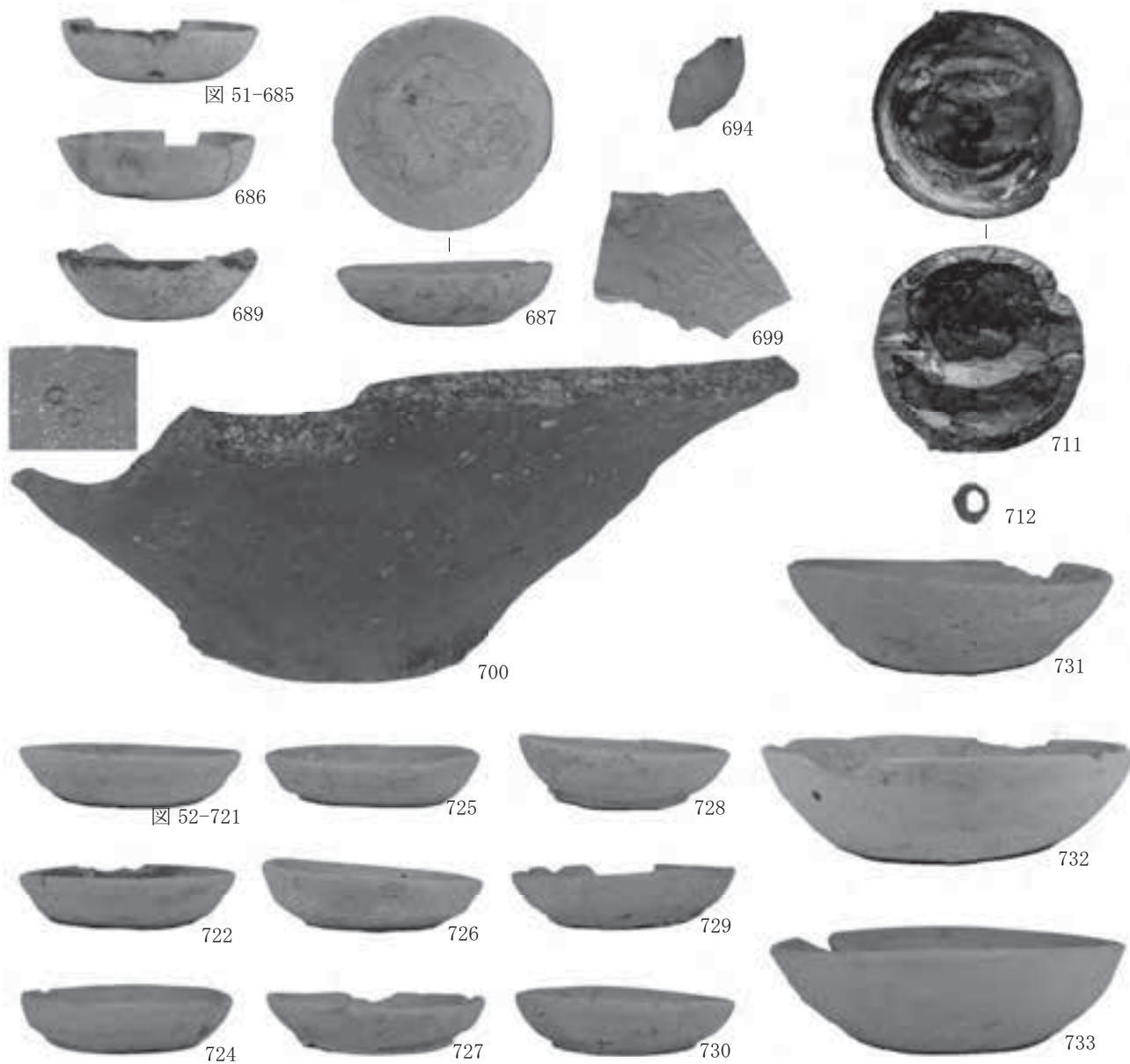


662

Ⅱ区下層 建物 13



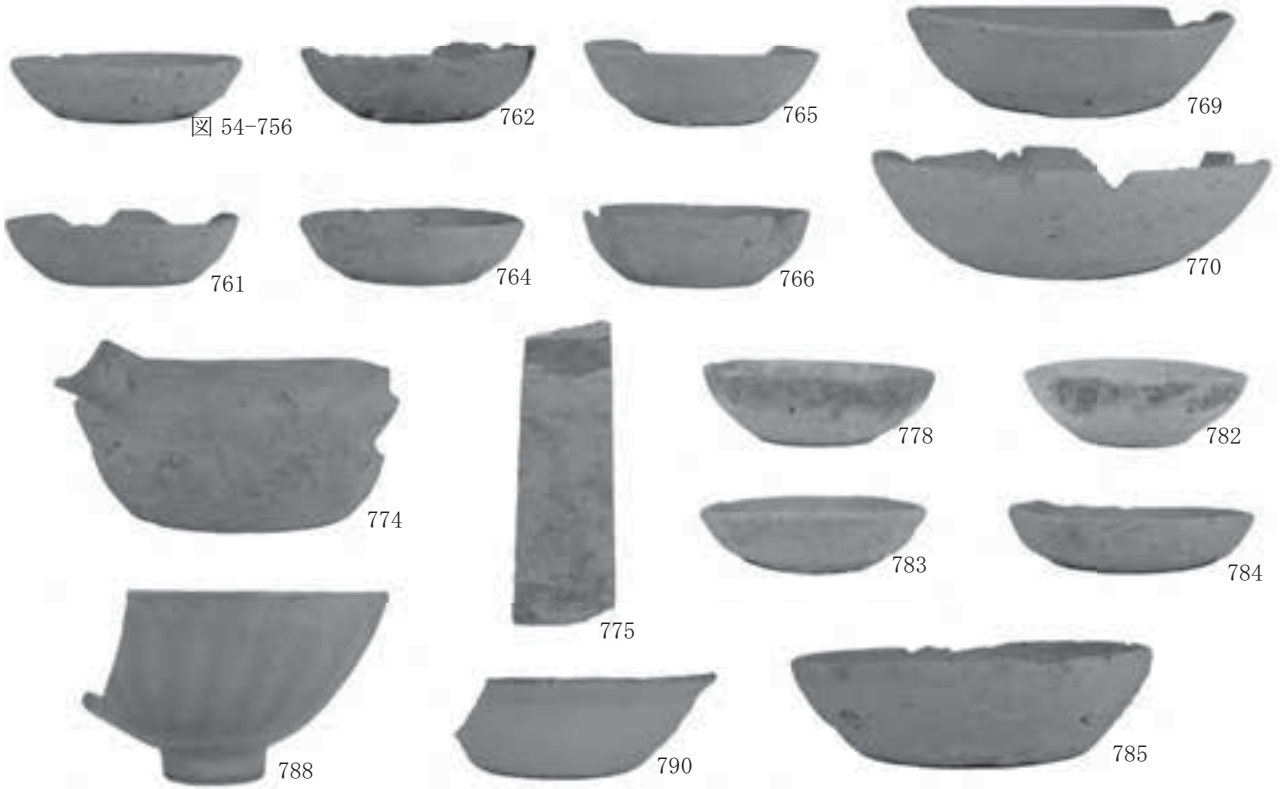
II区下層 建物 14



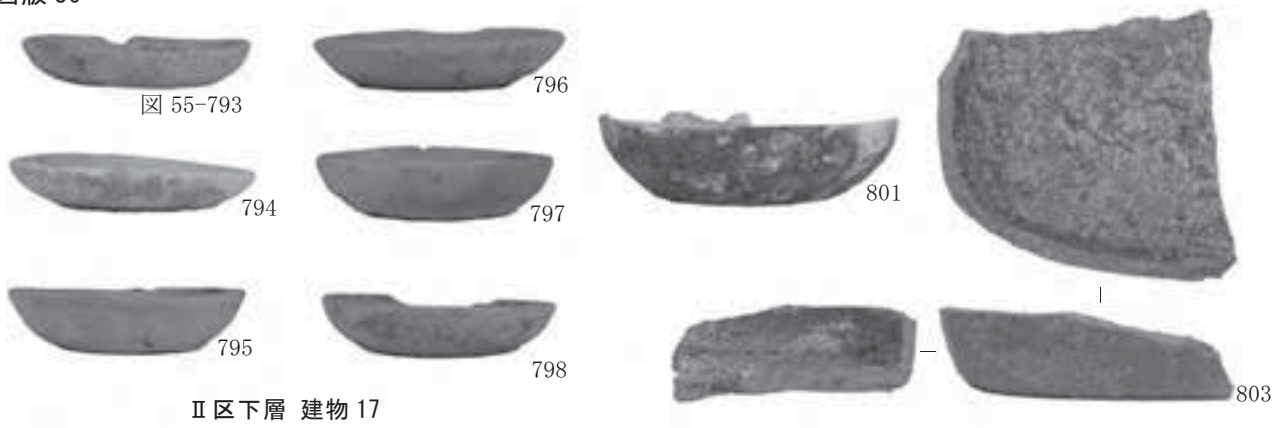
II区下層 建物 15



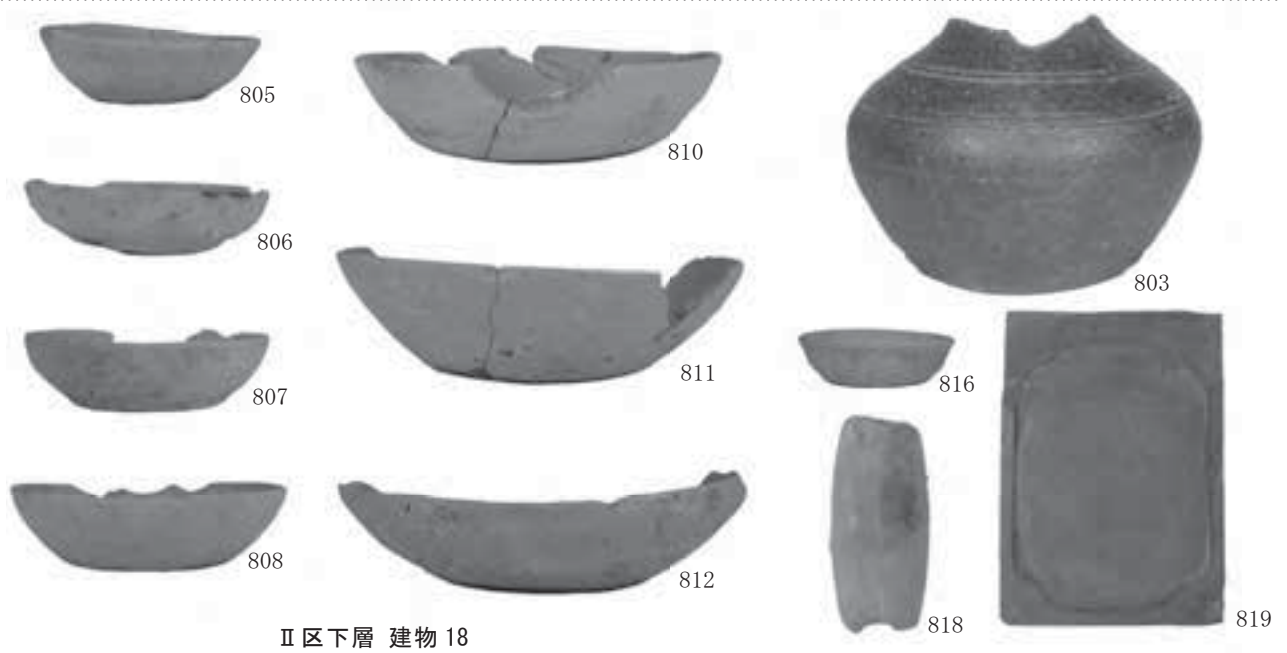
II区下層 建物 15



II区下層 建物 16



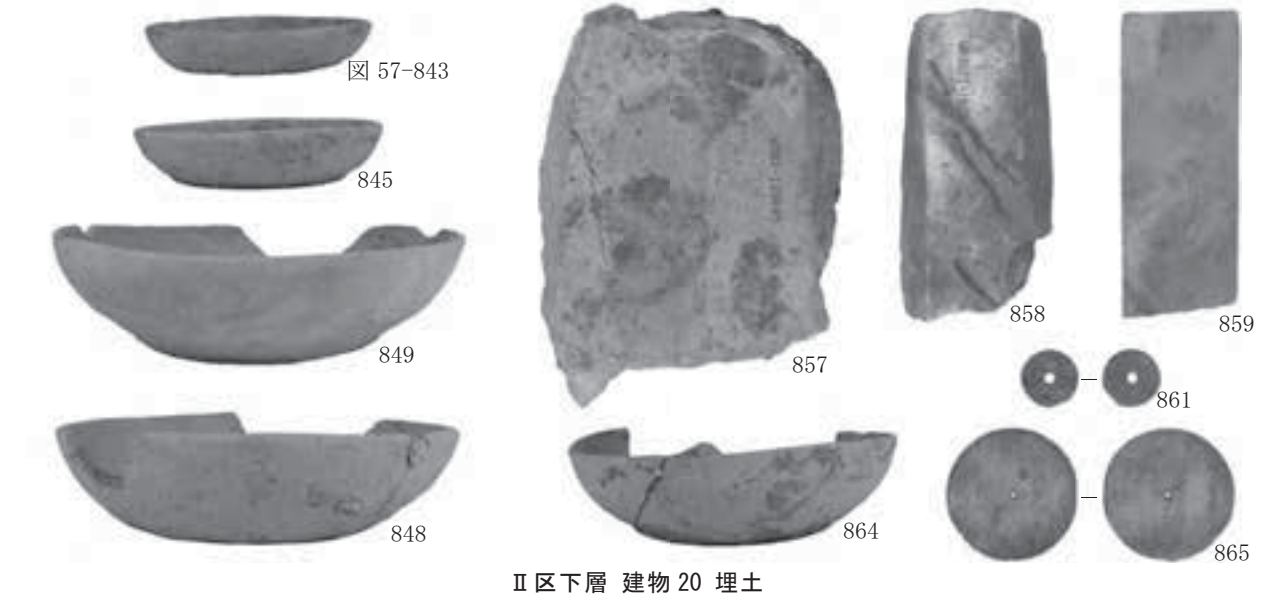
II区下層 建物 17



II区下層 建物 18



II区下層 建物 19



II区下層 建物 20 埋土



图 58-871

II 区下層 建物 21



Ⅱ区下層 建物 21



图 60-912



914



图 61-919



924



926

927



931



923



925

II 区下層 建物 21

图 62-933



934



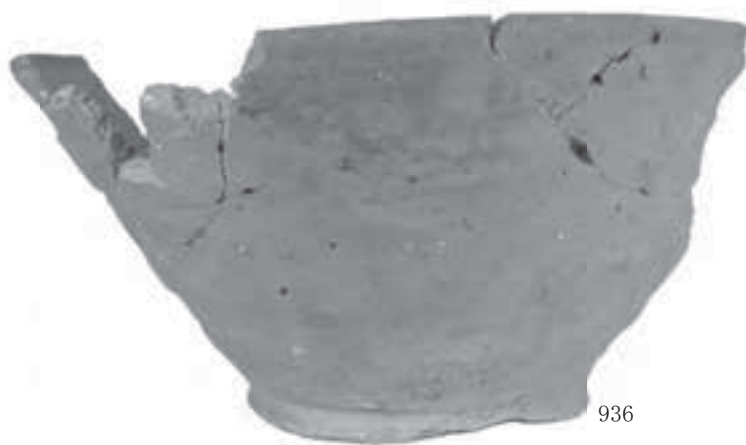
937



935



939



936



940

II 区下層 建物 22



图 62  
-943

II 区下層 建物 23



图 63-954

II 区下層 井戸 4



图 64-959



960



952

II 区下層 建物 24



949



963

II 区下層 土坑 79



967

II 区下層 土坑 84



961

II 区下層 土坑 78



图 65-971



973

I 区最下層 溝 1



972



981



图 52-741

II 区下層 建物 15